

パソコンでテレビを楽しもう

STEP 1

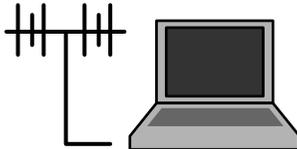
テレビを見る準備をする

参照 P.9~

1.地上デジタル放送を利用する場合は、パソコンにB-CASカードをセットします。



2.テレビアンテナの接続
テレビアンテナを、アンテナF型変換ケーブルを使ってパソコンに接続します。



3.リモコンの準備
リモコンに電池を取り付けます。

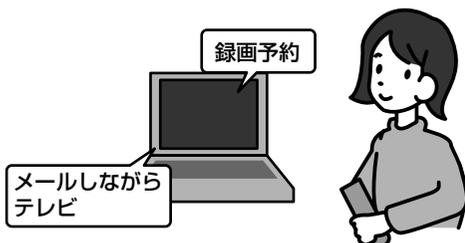
4.チャンネルを設定する
「Qosmio AV Center」
「QosmioPlayer」

STEP 2

テレビを見る

参照 P.37~

Windows上でテレビを見る
「Qosmio AV Center」



電源オフからすぐにテレビを見る
「QosmioPlayer」 *地上アナログ放送のみ



次ページ STEP 3 へ

音楽・映像・デジタルカメラの写真を楽しもう

音楽を聴く

「RoomStylePlayer」
「BeatJam」
「QosmioPlayer」

参照 P.126~



ただ聴くだけでなく、複数の音楽CDやオーディオ機器から曲を集めて、好きな順番で再生することもできます。

オリジナル音楽CDを作る

「TOSHIBA Disc Creator」

参照 P.139~



複数の音楽CDやオーディオ機器から好きな曲を集めて、自分だけのオリジナル音楽CDを作成できます。

STEP 3

テレビ番組を録画する

参照 P.55~

Windows上でハードディスク録画する
「Qosmio AV Center」

録画する準備

録画する

録画した番組を観る

電源オフからすぐにハードディスク録画する
「QosmioPlayer」

録画する

録画した番組を観る

Windows上に転送する
「QosmioPlayer 転送ユーティリティ」

*地上アナログ放送のみ

Windows上でDVDに直接録画する
「DVD MovieWriter」

オリジナルDVDの完成!



*地上アナログ放送のみ

STEP 4

録画データをDVDに保存する

参照 P.91~



オリジナルDVDの完成!

地上デジタル放送の映像をDVDに移す
「Qosmio AV Center」

映像を編集してDVDに残す
「DVD MovieWriter」*

*地上アナログ放送のみ

STEP 5

DVDの映画や映像を観る

参照 P.116~



Windows上でDVDを観る
「InterVideo WinDVD」

電源オフからすぐにDVDを観る
「QosmioPlayer」

音質・画質を整える

参照 P.143~

高画質化処理

「映像調整ユーティリティ」
「CD/DVD 静音ユーティリティ」
「TOSHIBA Virtual Sound」 など

CDやDVDの音楽・映像を調整できます。

デジタルカメラの写真を編集する

参照 P.150~

「MediaMarina/写真スタジオ」

デジタルカメラで撮った写真を編集して、オリジナルアルバムを作りたいときはこれ!

CD/DVDにコピーする
「TOSHIBA Disc Creator」
「TOSHIBA Direct Disc Writer」

もくじ

もくじ	2
はじめに	5
1 地上デジタル放送について	9
2 B-CASカードをセットする	11
① B-CASカードについて	11
② パソコンにB-CASカードをセットする	11
3 テレビアンテナを接続する	14
① アンテナについて	15
② ケーブルの接続	15
4 リモコンを使うには	17
① リモコンについて	17
② 電池の取り付け／取りはずし	18
③ リモコンの操作を有効／無効にする	20
5 チャンネル設定をする	22
① Qosmio AV Centerのチャンネル設定をする	22
② QosmioPlayerのチャンネル設定をする	32
③ CATV（ケーブルテレビ）をご利用のお客様へ	35
6 テレビを見る	37
① Qosmio AV Centerでテレビを見る	43
② QosmioPlayerでテレビを見る	50
7 テレビ番組を録画する準備（Qosmio AV Center）	55
① 電子番組表を利用するには	55
② Windowsログオンパスワードを登録する	58
8 テレビ番組を録画する	60
① Qosmio AV Centerで録画する	60
② QosmioPlayerで録画する	75
③ DVDに直接録画（DVDダイレクト録画）する (Ulead DVD MovieWriter® for TOSHIBA)	78
9 録画した番組を再生する	83
① Qosmio AV Centerで再生する	83
② QosmioPlayerで再生する	84

10 話題の言葉を調べる	89
11 録画した映像をDVDに移す (Qosmio AV Center)	91
① 録画した映像をDVDにする	91
12 映像を編集してDVDに残す (Ulead DVD MovieWriter® for TOSHIBA)	94
① 録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする	95
② テレビ番組を2つに分けて別々のDVDにする	104
③ デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする	108
④ アナログのビデオやカメラの映像を取り込んで編集する	111
13 DVDの映画や映像を観る	116
① WinDVDで観る (InterVideo WinDVD™ 5 for TOSHIBA)	116
② QosmioPlayerで観る	118
14 音楽を聴く	126
① 音楽CDを聴く (RoomStylePlayer)	126
② 音楽CDから曲を取り込んで聴く (BeatJam)	128
③ オーディオ機器から音楽を取り込む (BeatJam)	134
④ 音楽CDを聴く (QosmioPlayer)	138
15 オリジナル音楽CDを作る (TOSHIBA Disc Creator)	139
① オリジナル音楽CDを作る	139
16 音楽や映像の環境を整える	143
① Qosmio AV Centerの映像を調整する	143
② 状況にあわせて画質を調整する (高画質化処理/映像調整ユーティリティ)	144
③ ドライブの動作音を小さくする (CD/DVD静音ユーティリティ)	146
④ 状況にあわせて音質を調整する (TOSHIBA Virtual Sound)	148
17 デジタルカメラの写真を編集する (MediaMarina/写真スタジオ)	150
① 写真を観る	150
② 写真を編集する	152
③ 編集した写真をCD/DVDにコピーする (TOSHIBA Disc Creator/TOSHIBA Direct Disc Writer)	157
18 Q&A集	164

付録

1 ブースタ／アッテネータの接続	173
2 ご使用にあたってのお願い	176
3 リモコン操作一覧	192
① Qosmio AV Centerでの操作一覧	193
② Windows XPでの操作一覧	196
4 QosmioPlayerの操作一覧	198
5 QosmioPlayerの再インストール	201
6 言語コード一覧 (QosmioPlayer)	205
7 ファイアウォールを設定する (Qosmio AV Center)	207

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。本書は次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。
 お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 メモ	知っていると便利な内容を示します。
 役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
 参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 … 「 」 他のマニュアルへの参照の場合 … 『 』 おたすけナビ、できるdynabookへの参照の場合 … 〈 〉 おたすけナビには、さまざまな情報が記載されています。

- *1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- *2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
- *3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

用語について

本書では次のように定義します。

- Windows XP** ……Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版を示します。
- おたすけナビ** ……パソコン上で見ることのできる、電子マニュアルを示します。デスクトップ上の「おたすけナビ」アイコンをダブルクリックして起動します。
- ドライブ** ……DVDスーパーマルチドライブを示します。

 **参照** 詳細について
『活用ガイド 1章 3 CDやDVDを使う』

- F30/79シリーズ** ……dynabook Qosmio F30/7シリーズで、モデル名が「F30/79」で始まるモデルを示します。
- F30/77シリーズ** ……dynabook Qosmio F30/7シリーズで、モデル名が「F30/77」で始まるモデルを示します。
- F30/69シリーズ** ……モデル名が「F30/69」で始まるモデルを示します。

ご購入のモデルのシリーズ名、モデル名については、パソコン本体のプロダクトバッジを確認してください。

 **参照** プロダクトバッジ『活用ガイド 1章 1-① 前面図』

◆ 記載について

- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「***シリーズのみ」などのように注記します。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは内蔵ハードディスクや同梱のCD/DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストは、地上デジタル放送と地上アナログ放送の両方を受信できるF30/79シリーズ、F30/69シリーズを対象にしています。また、すべての画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。

◆ Trademarks

- Microsoft、Windows、Windows Media、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- BeatJam、MediaMarina、ラベルマイティは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- BeatJam、MediaMarina、おたすけナビ、ラベルマイティ5 [セレクト版] は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、BeatJam、MediaMarina、おたすけナビ、ラベルマイティ5 [セレクト版] にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- InterVideo、WinDVDはInterVideo, Inc.の登録商標または商標です。
- InterVideoはInterVideo Incorporatedの登録商標または商標です。
- UleadおよびUleadロゴ、DVD MovieWriterはUlead Systems, Inc. またはユリードシステムズ株式会社の商標または登録商標です。
- TruSurround XT、WOW HD、WOW XT、Circle Surround Xtract、SRS及び 記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
TruSurround XT、WOW HD、WOW XT、Circle Surround Xtract、TruBass、SRS 3D、Definition及びFOCUS技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
- メモリースティックはソニー株式会社の商標です。
- i.LINKは商標です。
- xD-ピクチャーカード™は、富士写真フイルム株式会社の商標です。
- W録、おたすけナビは、株式会社東芝の登録商標または商標です。
- Symantec、Norton AntiVirus、LiveUpdateはSymantec Corporationの登録商標です。
Norton Internet Securityは、Symantec Corporationの商標です。
- 「できる」は、株式会社インプレスの登録商標です。
- 「QosmioPlayer」は、ドルビーデジタルオーディオ符号化システムを使用しています。
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- 「Qosmio AV Center」は、ドルビーデジタルオーディオ符号化システムを使用しています。
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権1992-1999年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- DLNA、DLNA CERTIFIEDは、Digital Living Network Allianceの商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

◆ バックアップについて

ハードディスクや外部記憶メディアに保存しているデータは、万一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて、定期的にバックアップをとって保存してください。ハードディスクや外部記憶メディアに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いません。

なお、地上デジタル放送の録画データは、バックアップをとることができません。バックアップについて、詳しくは『セットアップガイド 4章 大切なデータを失わないために』を参照してください。

◆ 著作権について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。
- 「Qosmio AV Center」、「QosmioPlayer」、「DVD MovieWriter」で録画されたテレビ番組などは、個人で楽しむ目的だけに使用できます。

◆ リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [はじめに] → [リリース情報] をクリックする

◆ アナログ放送からデジタル放送への移行について

- デジタル放送への移行スケジュール
地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。
- 地上デジタル放送の開始にともない、現在の地上アナログ放送のチャンネルが変更される場合があります。その際には、受信チャンネルの設定を変更する必要があります。

◆ コピーワンスについて

2004年4月1日より、NHKや民放連の地上／BSデジタル放送には、著作権保護の目的から、「コピーワンス」という1回だけ録画が可能になるコピー制御信号が加えられています。コピーワンスの番組は内蔵HDD、もしくはDVDなどCPRM（Content Protection for Recordable Media）規格などで保護されたメディアにのみ記録することができます。また、一度記録された番組をコピーすることはできません。本製品内蔵のTVチューナは地上アナログ／地上デジタル放送用のものですので、BS／CSデジタル放送用のアンテナを接続して、番組を受信・視聴・録画することはできません。

◆ ワイド画面における画面の引き伸ばしについて

1. 本製品は、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご注意の上、画面モードをお選びください。
2. 本製品を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面モード切り換え機能等を利用して、画面の引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

◆ お願い

- 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされている、または同梱のCD/DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- 内蔵ハードディスクにインストールされている、または同梱のCD/DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- QosmioPlayerの動作中は、自動的に電源を入れる機能を使ってシステムを起動することはできません。タイマー予約なども実行できませんので、ご注意ください。
- 本書に記載している各お問い合わせ先は、2006年7月現在の情報です。各社の事情で受付時間などが変更になることがあります。

地上デジタル放送について

F30/79シリーズ、
F30/69シリーズのみ

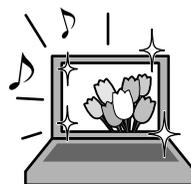
本製品の「Qosmio AV Center」では、従来の地上アナログ放送に加えて、地上デジタル放送もご利用いただけます。

地上デジタル放送の特長は？

従来のアナログ放送に比べて、次の特長があります。

- デジタルハイビジョン放送を中心とした、高画質・高音質
- データ放送や視聴者参加型のクイズ番組などの双方向通信サービスが受けられる

など



地上デジタル放送を受信するのに必要なものは？

- B-CASカード（本製品に同梱）
- 地上デジタル放送に対応したUHFアンテナ
 - * 地上デジタル放送送信局の送信アンテナの方向に向ける必要があります。
 - * 地上デジタル放送は、地域や時期により放送されていない場合があります。

地上デジタル放送の録画において、規制はあるの？

番組によって、録画できるものとできないものがあります。また「コピーワンス」という1回だけ録画が可能になるコピー制御信号が加えられているため、本製品では、内蔵ハードディスクにのみ録画することができます。DVDメディアに直接書き込むことなどはできません。

地上デジタル放送と地上アナログ放送の切替えは、ボタン1つで！

あらかじめ設定さえ行っていれば、TVを見ながらリモコンのボタンを1つ押すだけで、簡単に地上デジタル放送と地上アナログ放送を切り替えられます。



地上デジタル放送と地上アナログ放送の番組が同時に録画予約できる！

地上デジタル放送と地上アナログ放送の番組を、同時に録画予約することができます。

また、地上デジタル放送の番組を録画しているときに、地上アナログ放送の番組を見たり、反対に地上アナログ放送の番組を録画しているときに、地上デジタル放送の番組を見ることができます。

◆ 地上デジタル放送を見るために

お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されている場合に、見るすることができます。ただし、受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。詳しくは、アンテナの販売店や社団法人 地上デジタル放送推進協会のホームページ (<http://www.d-pa.org/>)、総務省地上デジタルテレビジョン受信相談センター（ナビダイヤル 0570-07-0101 平日：午前9時～午後9時、土曜・日曜・祝祭日 午前9時～午後6時）などにお問い合わせください。地上デジタル放送を見るためには、地上デジタル放送の受信に対応した設備が必要になります。

■ 個人住宅など、アンテナで直接受信している場合■

地上デジタル放送を見るためには、地上デジタル放送の受信に対応したUHFアンテナを設置し、地上デジタル放送送信局の送信アンテナの方向に向ける必要があります。このため、VHF受信用アンテナのみ設置されている場合は、新規に地上デジタル放送用のUHFアンテナが必要となります。また、アナログ放送対応のUHFアンテナでは、受信できない場合があります。

■ マンションやアパートなど、集合住宅にお住まいの場合■

現在、UHF放送を受信している設備があれば基本的には受信可能です。ただし、地上デジタル放送の受信に対応した共同受信用アンテナの設置や、ブースタ/アッテネータの調整または交換、アンテナの向きの変更が必要になる場合があります。詳しくは、お住まいの管理組合または設備維持管理会社等にお問い合わせください。

■ ケーブルテレビで受信している場合■

地上デジタル放送を配信しているケーブルテレビでは、地上デジタル放送を見ることができます。詳しくは、ご加入または最寄りのケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

2

B-CASカードをセットする

F30/79シリーズ、
F30/69シリーズのみ

パソコンで地上デジタル放送を見るためには、パソコンに^{ビーキャスト}B-CASカードをセットします。地上アナログ放送のみをお使いのかたは、この操作は必要ありませんので、「3 テレビアンテナを接続する」に進んでください。

① B-CASカードについて

- パソコンにB-CASカードをセットしないと、地上デジタル放送の視聴や、その他の放送サービスを受けることができなくなります。
- 本製品専用のB-CASカードをセットしてください。
- B-CASカードの所有権は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）に帰属します。
- B-CASカードをセットした後に、必ずユーザ登録を行ってください。B-CASカードの「ユーザー登録はがき」に必要事項を記入して、はがきを郵送するか、B-CASのホームページ（<http://www.b-cas.co.jp>）から登録します。ユーザ登録をすると、カードシステムのバージョンアップなどを無料で受けることができます。
- 次のような場合は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（カードが張ってある台紙を参照）にご連絡ください。
 - ・紛失した
 - ・盗まれた
 - ・破損した
 - ・汚れた
- 紛失したB-CASカードを再発行する場合は、再発行費用がかかります。
- パソコン本体を廃棄する場合は、セットしたB-CASカードをパソコンから取り出し、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにカードを返却してください。パソコンの廃棄については、『セットアップガイド 6章 デイリーケアとアフターケア』を参照してください。

お願い

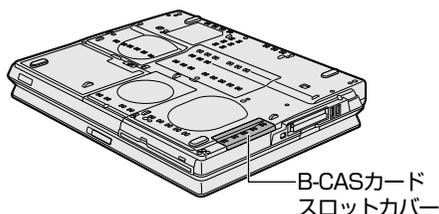
B-CASカードを取り扱うときは、次の点を守ってください。

- カード裏面の金メッキ端子部分に手を触れないこと。
- カードに衝撃を加えたり、折り曲げたりしないこと

② パソコンにB-CASカードをセットする

B-CASカードスロットの位置を確認する

B-CASカードスロットは、パソコン本体裏面のB-CASカードスロットカバーをはずしたところにあります。



B-CASカードをセットする

1 B-CASカードを台紙から取りはずす

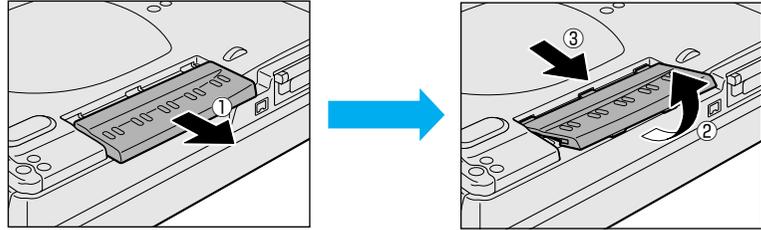
台紙には、「使用許諾契約約款」が記載されておりますので、ご使用前に必ず記載内容をご確認ください。

2 B-CASカードの番号を確認する

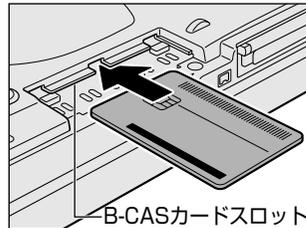
カードの裏面にバーコードとB-CASカードの番号が記載されています。

3 B-CASカードスロットカバーをはずす

B-CASカードスロットカバーを「カチッ」と音がするまで引き①、外側部分を斜めに持ち上げてから②、引き抜きます③。



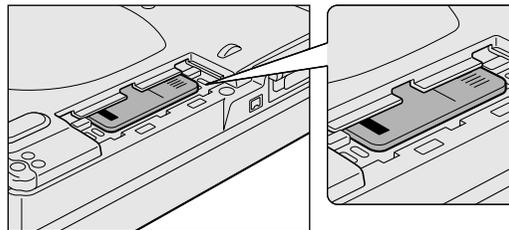
4 B-CASカードに印刷されているバーコードが見えるように「B-CAS」のロゴを下にしてから金メッキ端子部を先頭にして、B-CASカードをB-CASカードスロットの奥まで差し込む



B-CASカードは、前後や表裏を確認して差し込んでください。逆の向きで差し込まないでください。

5 B-CASカードが正しく差し込まれていることを確認する

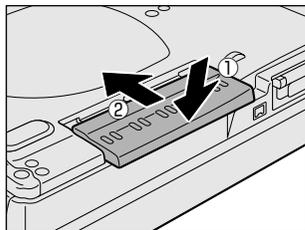
B-CASカードは、約15mm見えた状態です。



上の図のようにB-CASカードがスロットの一番奥まで差し込まれていることを確認してください。正しくカードが差し込まれていないと、地上デジタル放送を受信できません。また、B-CASカードスロットカバーを取り付ける際に、B-CASカードが破損する恐れがあります。

6 B-CASカードスロットカバーを取り付ける

B-CASカードスロットの数ミリ手前にB-CASカードカバーを置き①、「カチッ」と音がするまで静かに差し込みます②。



地上デジタル放送視聴時は、取りはずさないでください。

役立つ操作集

B-CASカードをセットした後、カード番号を忘れてしまった場合は、「Qosmio AV Center」の[B-CASカード情報]画面で確認することができます。また、B-CASカードが正しくセットされていないと、[カードテスト結果]に「NG」が表示されますので、カードがセットされている状態についても確認できます。
詳しい操作手順については、「5-①-2- 地上デジタル放送が受信できなかった場合」の「B-CASカードの情報を表示する」を参照してください。

B-CASカードの取りはずし

参照

パソコンの廃棄
『セットアップガイド
6章 5 捨てるとき/
人に譲るとき』

本製品を廃棄する場合は、次の手順でB-CASカードをB-CASカードスロットから取りはずし、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ(略称：B-CAS)にカードを返却してください。

1 B-CASカードスロットカバーをはずす

B-CASカードスロットカバーを「カチッ」と音がするまで引き、外側部分を斜めに持ち上げてから、引き抜きます。

2 B-CASカードを引き抜く

まっすぐ静かに引き抜きます。

3 B-CASカードスロットカバーを取り付ける

B-CASカードスロットの数ミリ手前にB-CASスロットカバーを置き、「カチッ」と音がするまで静かに差し込みます。

3

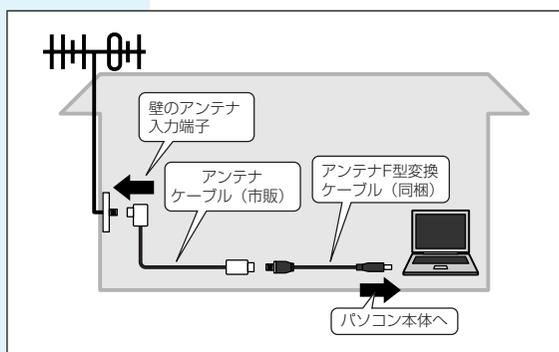
テレビアンテナを接続する

パソコンでテレビを見るには、テレビアンテナをパソコンに接続します。

◆ アンテナの種類を確認する

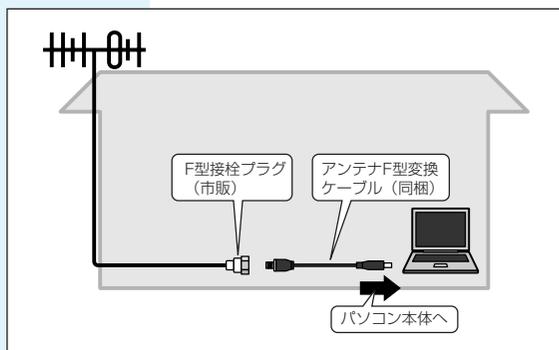
ご家庭のテレビアンテナ（アンテナ入力端子）の種類を確認してください。

■ 壁面などにアンテナ入力端子があるとき ■



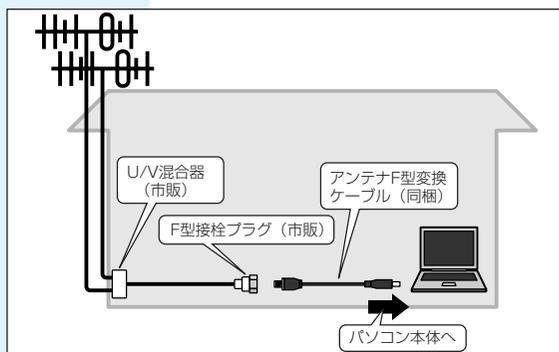
マンションなどで壁面にアンテナ入力端子だけがある場合は、市販のF型接栓プラグのついた同軸ケーブルまたはアンテナケーブルをお買い求めください。これ以外にも壁側の端子とそれに適合するプラグの形状には、いくつかタイプがあります。販売店などにご相談ください。アンテナケーブルには、一方のプラグの形状が箱型になっているものがあります。その場合は、「箱型」のプラグを壁のアンテナ入力端子へ、「ネジ型」のプラグをアンテナF型変換ケーブルへ接続してください。

■ アンテナ線が1本（UHFのみ／VHFのみ／UHF/VHF混合）のとき ■



アンテナ線の先端に市販のF型接栓プラグを取り付け、それをアンテナF型変換ケーブルへ接続します。アンテナ線の先端に市販のF型接栓プラグを取り付ける方法は、いくつかあります。取り付ける方法は販売店などにご相談ください。

■ アンテナ線が2本（UHFとVHF）のとき ■



市販のU/V混合器を取り付けてケーブルを1本にします。そのうえで、ケーブルの先端に市販のF型接栓プラグを取り付け、それをアンテナF型変換ケーブルに接続します。U/V混合器とその取り付けについては、販売店などにご相談ください。

参照 CATV（ケーブルテレビ）をご利用のお客様の場合
「5-③ CATV（ケーブルテレビ）をご利用のお客様へ」

① アンテナについて



- 画像や音声の品質はアンテナの電波受信状況によって大きく左右されます。
- 電波の弱い地域で、受信状態が悪い場合は購入店にご相談されるか、F30/79シリーズまたはF30/69シリーズの場合は同梱の「ブースタ/アッテネータ (BOOSTER/ATTENUATOR)」をご利用ください。同梱のブースタ/アッテネータのご使用方法は、「付録1 ブースタ/アッテネータの接続」をご覧ください。
- 集合住宅などでTV電波を増幅しているとき、パソコンの受信映像が乱れる場合があります。必要に応じてブースタ/アッテネータをご使用ください。

テレビ機能を使用する前に、「付録2-1 大切な録画・録音・編集について」、「付録2-2 テレビ視聴と録画について」、「付録2-3 TVチューナに関するご注意」を、よくお読みください。

② ケーブルの接続



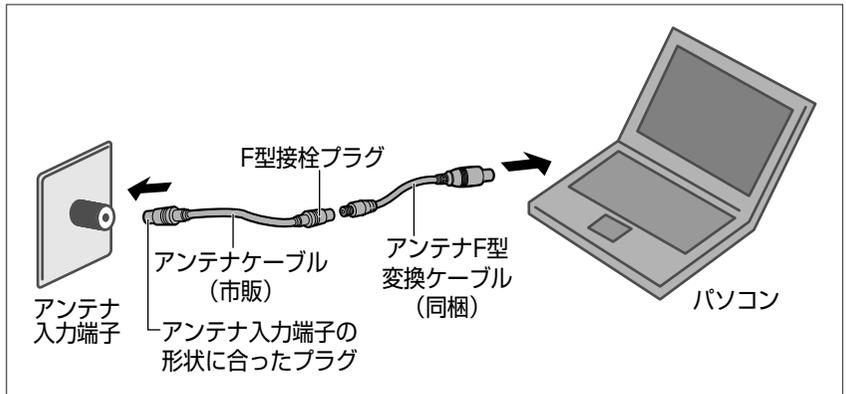
メモ

- アンテナケーブルをパソコン以外の機器（テレビやビデオなど）にも接続したい場合は、市販の分配器を使い、アンテナケーブルを2つに分けます。アンテナを分配すると、電波が弱くなります。このため、パソコンの画面がちらつくことや、テレビの映像にコマ落ちが著しく発生して、きれいに映らないことがあります。この場合は、ブースタ/アッテネータを接続してください。詳しくはお近くの販売店または、東芝PCあんしんサポート（巻末参照）にご相談ください。

お願い

パソコンのアンテナ入力端子とご家庭のテレビアンテナ（アンテナ入力端子）をケーブルで接続します。

■ケーブル接続の一例■



- ご家庭のアンテナ入力端子に接続するアンテナケーブルは、本製品に同梱されていません。ご家庭のアンテナ入力端子の形状にあった、F型接栓プラグの付いたアンテナケーブル（市販）またはF型接栓プラグ（市販）をお買い求めいただき、ご準備ください。
- アンテナケーブルをパソコン本体に接続するには、本製品に同梱されているアンテナF型変換ケーブルを使用してください。



役立つ操作集

電波の調節をする場合

電波の弱い地域で、受信状態が悪い場合や、集合住宅などでTV電波を増幅していて、極端に電波が強い場合には、ご家庭のテレビアンテナ（アンテナ入力端子）にブースタ/アッテネータを接続してから、ケーブルを接続します。F30/79シリーズまたはF30/69シリーズに同梱の「ブースター/アッテネータ」を接続する場合は、「付録1 ブースタ/アッテネータの接続」を確認してください。

注意

- 雷が鳴り出したら、アンテナ線には触れないこと
感電の原因となります。
- アンテナがパソコン本体に接続されている間は、ACアダプタを必ずパソコン本体
に接続すること
落雷により感電するおそれがあります。

1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

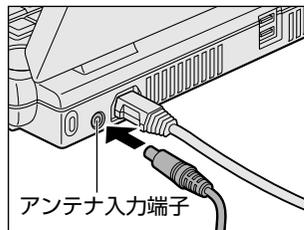
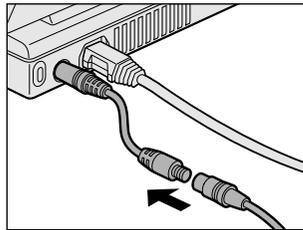
参照

電源を切る
『セットアップガイド
1章 4-① 電源を切
る』

2 ACアダプタと電源コードを接続する

参照

接続方法
『セットアップガイド
1章 パソコンの準備』

3 アンテナF型変換ケーブルをアンテナ入力端子に接続する**4** アンテナF型変換ケーブルにアンテナケーブルのF型接栓プラグを接続する

4

リモコンを使うには

リモコンを使って、離れた場所からパソコンの機能の一部を操作することができます。

① リモコンについて

お願い

参照 「Qosmio AV Center」
使用中のリモコン操作
について
「付録3-① Qosmio AV
Centerでの操作一覧」

参照 Windows XP使用中
のリモコン操作につ
いて
「付録3-② Windows
XPでの操作一覧」

参照 「QosmioPlayer」
使用中のリモコン操作
について
「付録4 Qosmio
Playerの操作一覧」

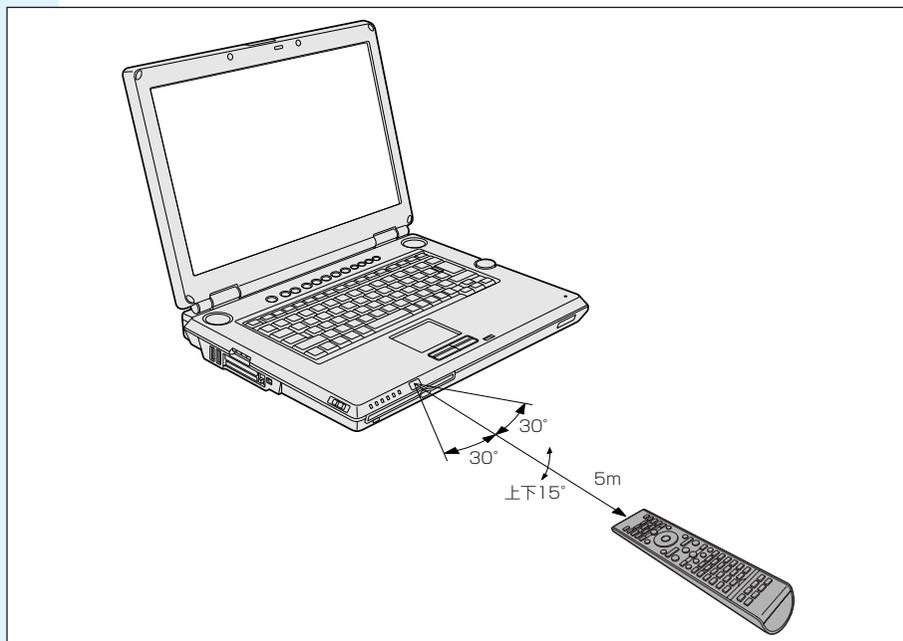
操作にあたって

- リモコンは本製品専用です。
- アプリケーションの中には、リモコン操作に対応していないものもあります。

■使用範囲■

パソコン本体に向けてリモコンの操作ボタンを押します。使用範囲は、次の距離と角度を目安にしてください。

距離	リモコン受光窓正面より約5m以内
角度	リモコン受光窓正面より左右約30度以内、上下約15度以内



■使用時の注意■

使用範囲内でも、次のような場合はリモコンが誤動作したり操作できない場合があります。

- パソコン本体とリモコンの間に障害物があるとき
- リモコン受光窓に直射日光や蛍光灯の強い光があたっているとき
- リモコン受光窓、またはリモコンの発光部が汚れているとき
- 本製品とリモコンが複数台あるとき
- 電池が消耗したとき

② 電池の取り付け／取りはずし

リモコンをご使用になる前に、同梱の乾電池を取り付けてください。



警告

- リモコンに使用している電池は、幼児の手の届くところに置かないこと
誤って飲み込むと窒息のおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。



注意

- リモコンに使用している電池の取り扱いについては、次のことを必ず守ること
 - ・ 指定以外の電池は使用しない
 - ・ 極性表示 [(+) と (-)] を間違えて挿入しない
 - ・ 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れてはいけない
 - ・ 乾電池に表示されている [使用推奨期限] を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに使用しない
 - ・ 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない
 - ・ 金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に携帯、保管しない
 - ・ 使用済みの乾電池は、電極 [(+) と (-)] にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って保管、廃棄すること

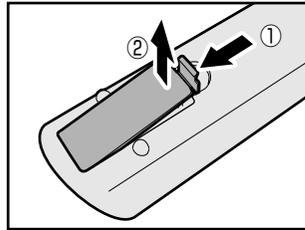
これらを守らないと、発熱・液もれ・破裂などにより、やけど、けがの原因となります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないでふき取ってください。

■使用できる乾電池■

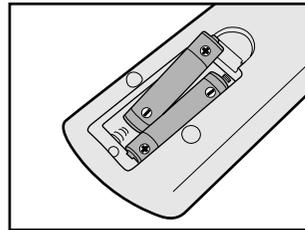
同梱されている乾電池が消耗した場合は、市販の電池と交換してください。使用できる電池は、単4形マンガン電池、単4形アルカリ電池、単4形オキシライド電池（2本）です。その他の電池は使用できません。

1 取り付け／取りはずし

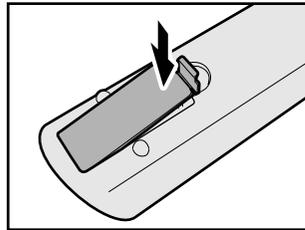
初めてリモコンを使用するときには、同梱の乾電池を取り付けてください。
リモコンに使用している電池が消耗すると、リモコン操作ができなかったり、到達距離が短くなります。その場合は、使用できる乾電池をお確かめのうえ購入いただき、次のように電池を取りはずしてから、新しい電池を取り付けてください。

1 リモコン裏側の電池カバーを開ける

ツメ部分を矢印の方向に押しながら①、開けます②。

2 電池をセット／交換する

+ (プラス)、- (マイナス) をよく確認してセットしてください。

3 電池カバーを閉める

「カチッ」という音がするまで押してください。

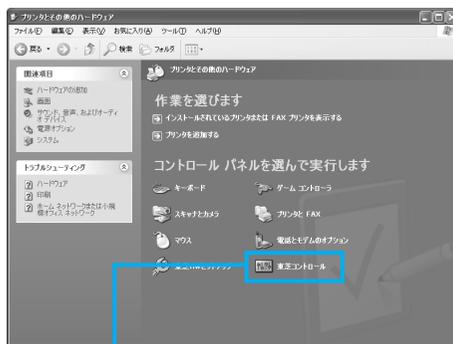
③ リモコンの操作を有効／無効にする

次の手順でリモコンの操作を有効／無効にすることができます。ご購入の状態では、有効に設定されています。

1 【コントロールパネル】を開く



2 【東芝コントロール】を起動する



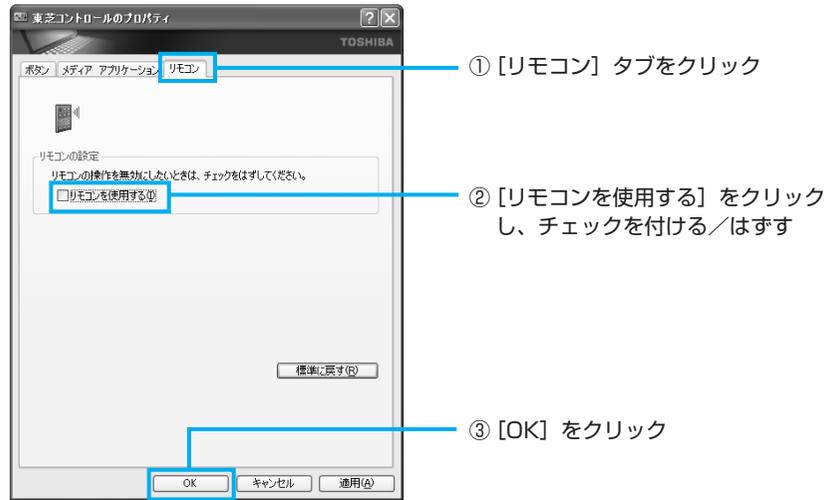
① 【プリンタとその他のハードウェア】
をクリック

② 【東芝コントロール】 をクリック

【東芝コントロールのプロパティ】 画面が表示されます。

3 有効／無効を設定する

リモコンを使う（有効）ときは、
[リモコンを使用する] に
チェックを付けます。
使わない（無効）ときは、
チェックをはずします。



「東芝コントロール」の問い合わせは、東芝PCあんしんサポート（巻末参照）へお願いいたします。

5

チャンネル設定をする

参照 「Qosmio AV Center」、
「QosmioPlayer」について
「6 テレビを見る」

初めてテレビを見る前に、テレビ映像を受信するチャンネル（放送局）をお住まいの地域にあわせて設定します。

本製品でテレビを見るには、「Qosmio AV Center」または「QosmioPlayer」を使用します。チャンネル設定は、それぞれ個別に設定する必要があります。

① Qosmio AV Centerのチャンネル設定をする

「Qosmio AV Center」では、地上アナログ放送と地上デジタル放送のチャンネル設定を個別に行います。

お願い

- 「Qosmio AV Center」ご利用時には、コンピュータの管理者アカウントでお使いください。制限付きアカウント、Guestアカウントではご利用になれません。
 - F30/79シリーズ、F30/69シリーズの場合は、初めて「Qosmio AV Center」を起動したときは、地上デジタル放送の初期化処理を行うため、「Qosmio AV Center」の画面が表示されるまでに数分かかります（時間がかかる旨をお知らせするメッセージが表示されますので、内容を確認して [OK] ボタンをクリックしてください）。
- 「初期設定が完了しました」というメッセージが表示されましたら、内容を確認して [OK] ボタンをクリックしてください。

セキュリティに関する警告メッセージが表示されたときは

「Norton Internet Security」をインストールしている場合は、「Qosmio AV Center」を起動すると、次のようなメッセージ画面が表示されます



(表示例)

警告の内容を確認し、メッセージの中に次の「Qosmio AV Center」のプログラムファイルに対するものがあれば、メッセージ画面で「許可」を設定してください。

- TAVApp.exe
- TAVLauncher.exe
- TAVScheduler.exe
- TDLNAHTTP.exe
- TDLNADMP.exe
- TDLNADMS.exe

これらのプログラムに対して「遮断」を設定すると、電子番組表など「Qosmio AV Center」の機能の一部をご利用になれない場合があります。この場合は、ファイアウォールの設定を確認してください。

参照 ファイアウォールの設定「付録7 ファイアウォールを設定する」

1 地上アナログ放送のチャンネル設定をする

チャンネルの設定は、お住まいの地域の地域名を設定することで自動的に行われます。また、チャンネルの設定は、放送のある時間帯に行ってください。

準備

メモ

- 『地域名と東芝チャンネルコード一覧』を表示するには、[スタート] → [すべてのプログラム] → [Qosmio AV Center] → [地域名と東芝チャンネルコード一覧] をクリックします。

あらかじめ、『地域名と東芝チャンネルコード一覧』を参照して、お住まいの地域の「地域名」を確認しておいてください。
『地域名と東芝チャンネルコード一覧』に、お住まいの地域名がないときは、アンテナが向いている近くの「地域名」か、テレビに映る放送局が多い地域の「地域名」を選んで設定してください。その後で、手動でチャンネルを調整してください。

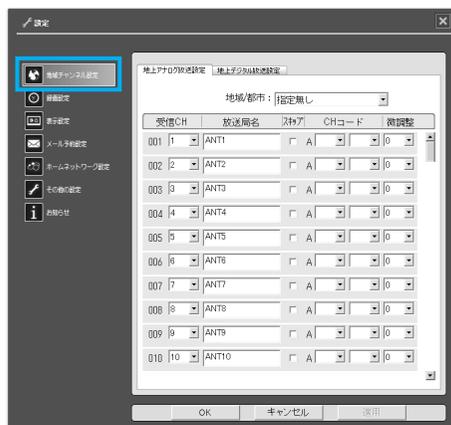
1 「Qosmio AV Center」を起動する

- ① リモコンの [HOME] ボタンを押す
「Qosmio AV Center」が起動します。



- ② タッチパッドまたはマウスで [設定] をクリック
[設定] 画面が表示されます。

2 [地域チャンネル設定] をクリックする



F30/77シリーズの場合は、手順4へ進んでください。

3

【地上アナログ放送設定】をクリックする

F30/79シリーズ、
F30/69シリーズのみ

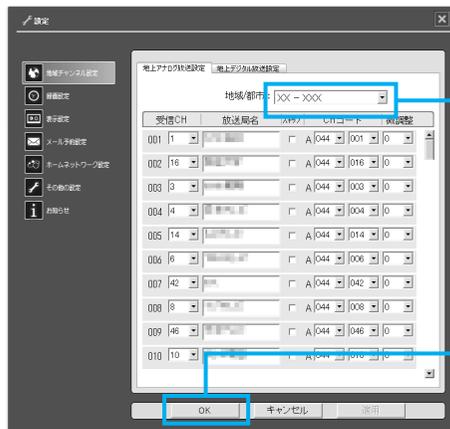


4

【地域/都市】を設定する

メモ

- 地上アナログ放送で電子番組表を利用する場合は東芝チャンネルコードの設定が必要です。地域名を選択すると、それに対応した東芝チャンネルコードが【CHコード】欄に自動的に設定されます。通常は変更する必要はありません。東芝チャンネルコードの詳細や、手で設定したい場合は、「Qosmio AV Center」のヘルプを確認してください。
- 使わないチャンネルを画面に表示しないようにするには、使わないチャンネルの【スキップ】欄をチェック (☑) します。



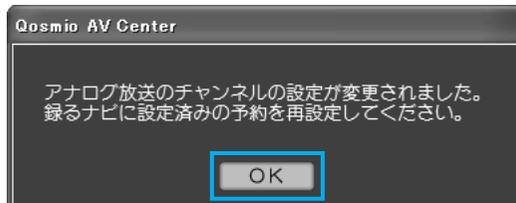
① 地域を選択する

② [OK] をクリック

手でチャンネルを調整する場合は、手順①で地域名を選択した後に、調整したいチャンネルの【受信CH】欄で受信チャンネルを選択してから、手順②を行ってください。

地域名にあわせて、チャンネルが設定されました。

次のメッセージが表示された場合は、【OK】をクリックしてください。

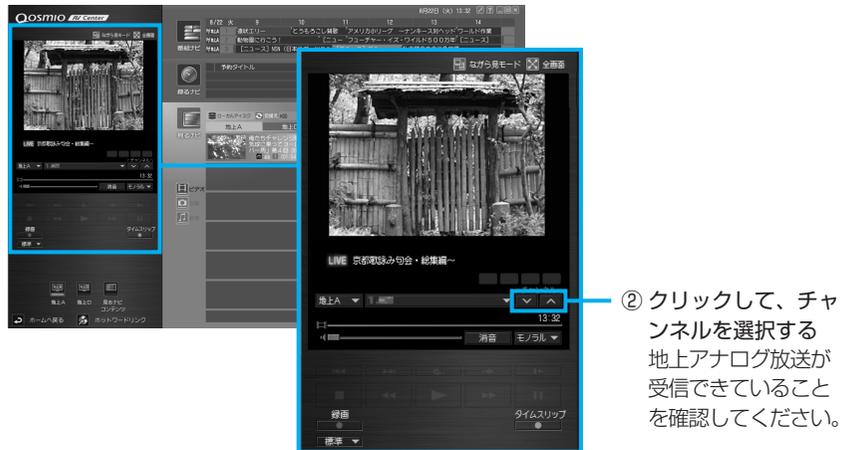
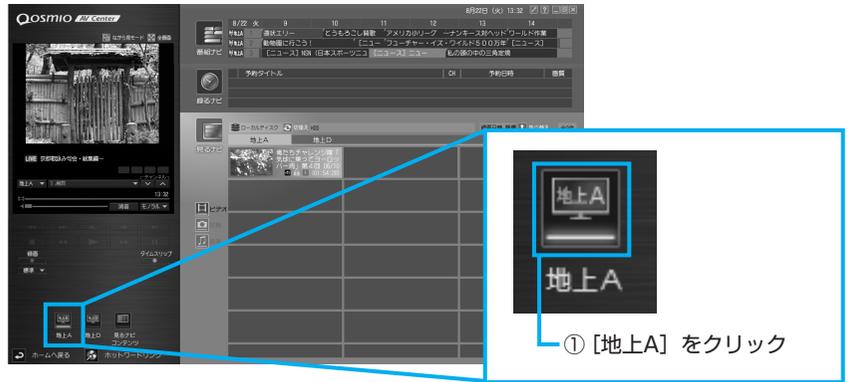


「Qosmio AV Center」のマウスモード画面に戻ります。

実際にテレビを視聴して、チャンネルの設定ができていないか確認します。

5 地上アナログ放送が受信できているか確認する

■F30/79シリーズ、F30/69シリーズの場合■

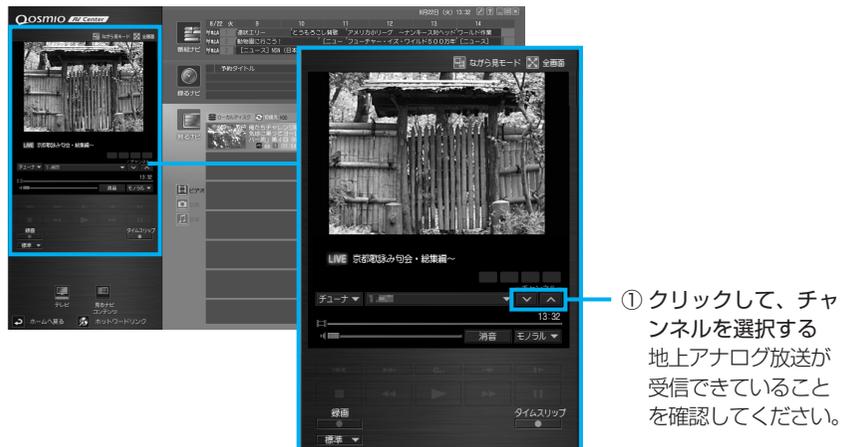


メモ

- テレビを視聴したときに、画面にゴースト（二重映り）が出た場合、「ゴーストリデュース」機能の設定（「GR設定」）を有効にすることで、これを軽減することができます。

参照 ▶ 「Qosmio AV Center」のヘルプ

■F30/77シリーズの場合■



お願い

- 地上デジタル放送開始にともない、地上アナログ放送の放送局のチャンネル変更があった場合は、手動で該当放送局名の受信チャンネルを変更してください。
- うまく受信できないときは、近隣の番号もお試しく下さい。
- CATVなどによる難視聴対策を行っている地域では、「地上アナログ放送設定」画面で設定できる「地域/都市」を選択しても、うまく受信できない場合があります。UHFチャンネル（『地域名と東芝チャンネルコード一覧』の受信CHの欄が、13以上の数字が記入されているチャンネル）だけが映らない場合は、難視聴対策地域であることが考えられます。その場合は手動でチャンネルを設定してください。手動で設定する場合は、受信CHを1～12の間で変更して受信内容を確認するか、お使いのビデオまたはビデオデッキなどの設定を参考にして設定してください。
- マンションなどでCATV局から地上放送局を受信している場合、お住まいの環境で提供されている受信CH番号を確認のうえ、チャンネル設定（変更）からチャンネル別に受信CHを設定する必要があります。また、有料放送については、「Qosmio AV Center」では受信できません。外部入力で録画を行う必要があります。

2 地上デジタル放送のチャンネル設定をする

F30/79シリーズ、
F30/69シリーズのみ

『地上デジタル放送局一覧』でお住まいの地域で地上デジタル放送が受信できることをご確認のうえ、地上デジタル放送をご利用ください。
チャンネルの設定は、お住まいの地域の地域名を指定してチャンネルスキャン操作を行うことで自動的に行われます。
地上デジタル放送をご利用になる場合は、必ず設定してください。

準備

あらかじめ、『地上デジタル放送局一覧』でお住まいの地域の地域名を確認してください。

メモ

- 『地上デジタル放送局一覧』を表示するには、[スタート] → [すべてのプログラム] → [Qosmio AV Center] → [地上デジタル放送局一覧] をクリックします。



1 「Qosmio AV Center」を起動する

- ① リモコンの [HOME] ボタンを押す
「Qosmio AV Center」が起動します。

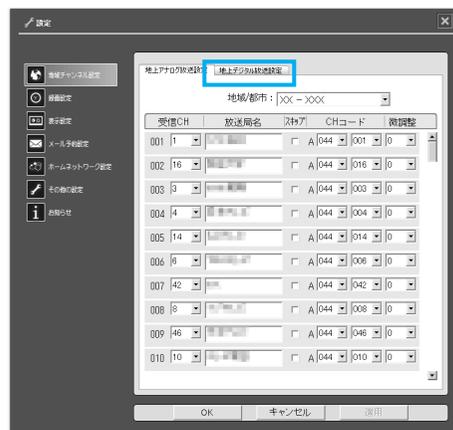


- ② タッチパッドまたはマウスで [設定] をクリック
[設定] 画面が表示されます。

2 [地域チャンネル設定] をクリックする



3 [地上デジタル放送設定] タブをクリックする



4 [チャンネルスキャン] をクリックする

メモ

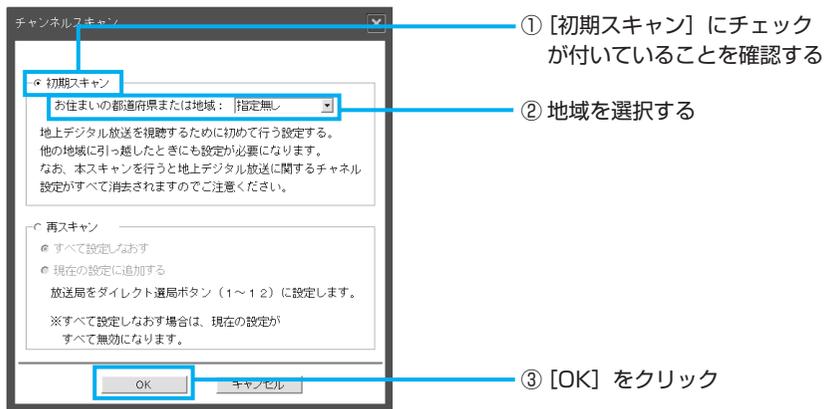
- 使わないチャンネルを画面に表示しないようにするには、チャンネルスキャンを行った後で、[チャンネルスキップ設定] をクリックして表示される [チャンネルスキップ] 画面でチャンネルのスキップ設定を行います。
- 手でチャンネルを設定したい場合は、チャンネルスキャンを行った後で、[手動設定] をクリックして表示される [手動設定] 画面で設定を行います。
詳細は、「Qosmio AV Center」のヘルプを確認してください。



5 【お住まいの都道府県または地域】を設定する

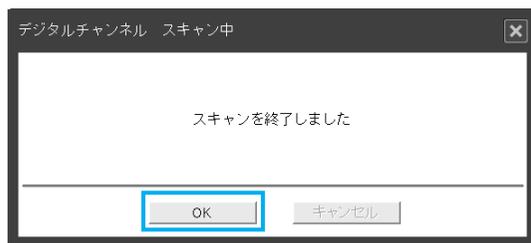


- 地上デジタル放送の放送局は追加・更新されることがあります。このようなときは、定期的に放送局のスカンをを行い、設定に追加するなどしましょう。
[チャンネルスキャン] 画面の [再スキャン] で設定します。詳細は、「Qosmio AV Center」のヘルプを確認してください。



チャンネルのスカンが開始され、スカン中のメッセージが表示されます。終了すると、終了のメッセージが表示されます。

6 【OK】をクリックする

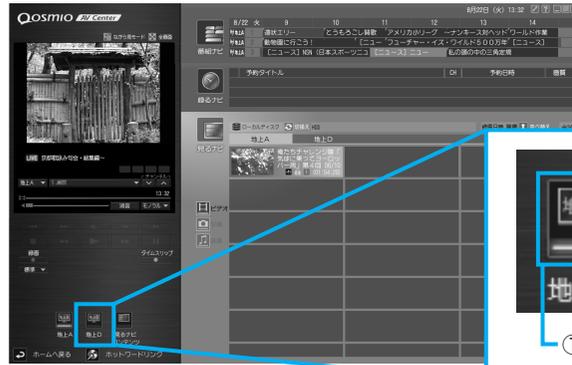


【地上デジタル放送設定】画面に戻ります。

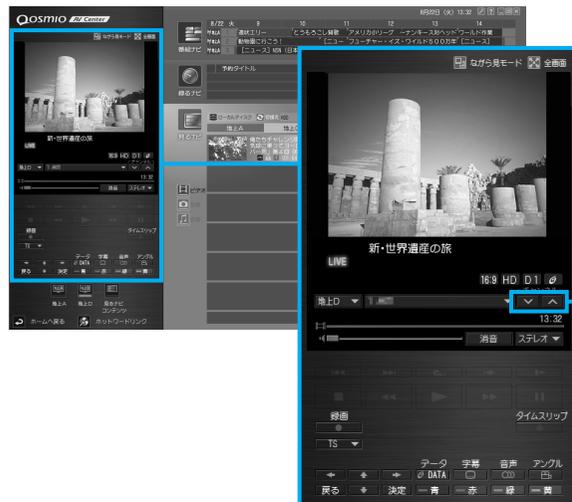
7 【OK】をクリックする

「Qosmio AV Center」のマウスモード画面に戻ります。実際にテレビを視聴して、チャンネルの設定ができていないか確認します。

8 地上デジタル放送が受信できているか確認する



① [地上D] をクリック



② クリックして、チャンネルを選択する
地上デジタル放送が受信できていることを確認してください。

参照 「Qosmio AV Center」のヘルプ

地上デジタル放送の受信が確認できなかった場合は、次ページの「地上デジタル放送が受信できなかった場合」を確認してください。

地上デジタル放送が受信できなかった場合

地上デジタル放送が受信できなかった場合は、次の内容を確認し、正しく設定しなおしてください。

- B-CASカードの情報を表示する
B-CASカードが使用できるかを確認します。
- アンテナ、アンテナケーブル、ブースタ/アッテネータを確認する
アンテナの向きの調節や、アンテナケーブルやブースタ/アッテネータ（接続している場合）の接続を確認してください。正しく接続されていなかった場合は接続しなおし、再度チャンネル設定を行います。
- お住まいの地域が地上デジタル放送の受信エリアかどうかを確認する
社団法人地上デジタル放送推進協会（D-pa）のホームページで、確認します。

それぞれの確認方法について説明します。

◆ B-CASカードの情報を表示する

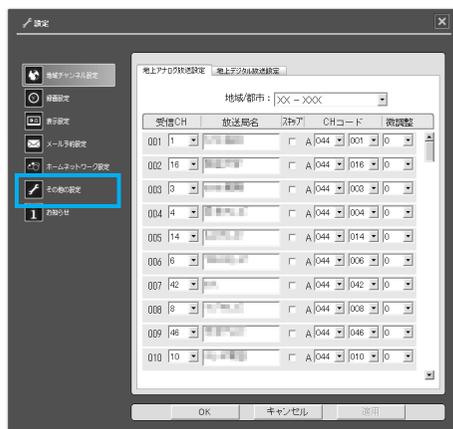
1 「Qosmio AV Center」を起動する

- ① リモコンの [HOME] ボタンを押す
「Qosmio AV Center」が起動します。

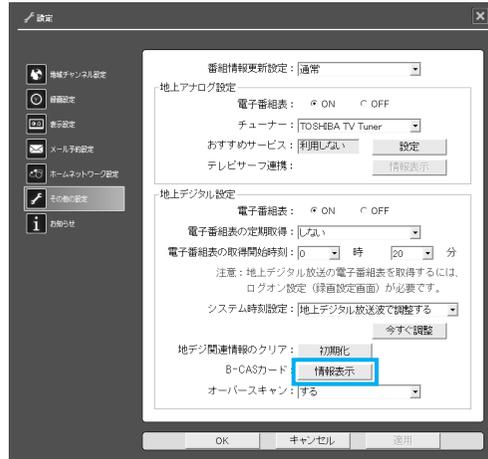


- ② タッチパッドまたはマウスで [設定] をクリック
[設定] 画面が表示されます。

2 [その他の設定] をクリックする

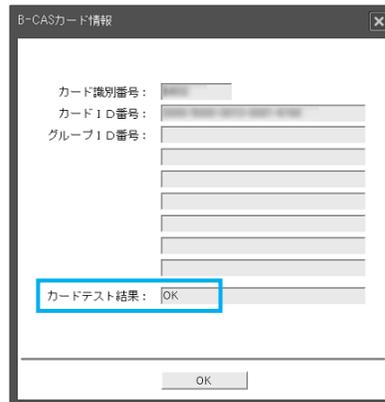


3 [B-CASカード] の [情報表示] ボタンをクリックする



[B-CASカード情報] 画面が表示されます。

4 B-CASカードの状態を確認する



[カードテスト結果] で「NG」が表示された場合は、B-CASカードが正しくセットされていない可能性があります。「2 B-CASカードをセットする」を確認し、B-CASカードを正しくセットしてください。

確認が終わったら、「Qosmio AV Center」のマウスモード画面に戻りましょう。

5 [OK] をクリックする

[B-CASカード情報] 画面が閉じます。

6 [OK] をクリックする

B-CASカードが正しくセットされているのに、地上デジタル放送が受信できない場合は、アンテナの向きや調整や、アンテナケーブルの接続を確認した後、もう1度チャンネル設定を行います。

◆ アンテナ、アンテナケーブル、ブースタ/アッテネータを確認する

次の点を確認してください。

- アンテナの向きを調節する
- アンテナケーブルの接続を確認する
- ブースタ/アッテネータの接続を確認する（接続している場合）

正しく接続されていなかった場合は接続しなおし、再度チャンネル設定を行ってください。

それでも地上デジタル放送が受信できない場合は、社団法人地上デジタル放送推進協会（D-pa）のホームページで、お住まいの地域がデジタル放送の受信エリアかどうかを確認します。

◆ お住まいの地域がデジタル放送の受信エリアかどうかを確認する

受信エリアに関しての情報は、社団法人地上デジタル放送推進協会（D-pa）のホームページで確認してください。なお、受信エリア内であっても、電波が弱い場合や受信状態が悪い場合は受信できないことがあります。

URL：http://www.d-pa.org/

② QosmioPlayerのチャンネル設定をする

次のように操作して、チャンネル設定を行ってください。

ここでは、チャンネル設定を「地域設定」と「個別設定」で行う方法を説明します。

■ 「地域設定」で設定する場合の準備■

あらかじめ、別紙の『地域コード一覧』を参照し、お住まいの地域の地域コードを確認しておいてください。

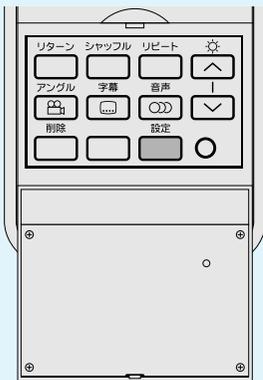
『地域コード一覧』で、お住まいの地域の地域コードがわからない場合は、手順3で「オートスキャン」を選択してください。

「地域設定」と「個別設定」の設定方法は、次の手順1～3-①までは同じです。以降の手順は、それぞれの説明をご覧ください。



1 パソコンが電源オフまたは休止状態のとき、リモコンの【TV】ボタンを押す

パソコンの電源が入り、「QosmioPlayer (TV)」が起動します。

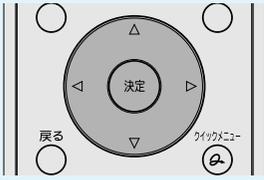


2 リモコンの【設定】ボタンを押す

「テレビ設定メニュー」画面が表示されます。



3 チャンネル設定を行う



チャンネル設定には「地域設定」と「個別設定」の他に次の方法もあります。必要に応じて選択してください。

- 「オートスキャン」
- 「チャンネル微調整」

【オートスキャン】

選択すると、確認画面が表示されます。「[はい]」を選択すると、受信可能なすべてのチャンネルを自動的に検出し、チャンネルを再設定します。

オートスキャンを実行すると、それまでのチャンネル番号の設定は失われ、新たにチャンネル番号が割り当てられます。オートスキャンを実行して、映るチャンネルが1つも検出できなかった場合は、チャンネルリストは再設定されません。

【チャンネル微調整】

選択すると、チャンネル微調整画面が表示されます。リモコンの方向ボタン（左右）でTV映像を見ながら調整します。

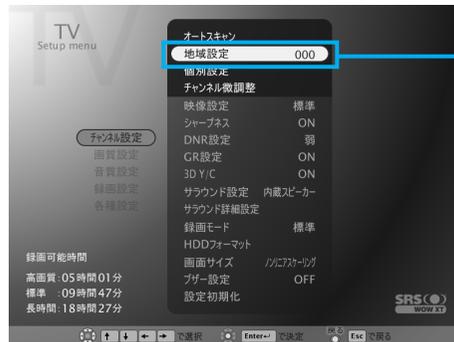


- ① リモコンの方向ボタンで「チャンネル設定」を選択し、「決定」ボタンを押す

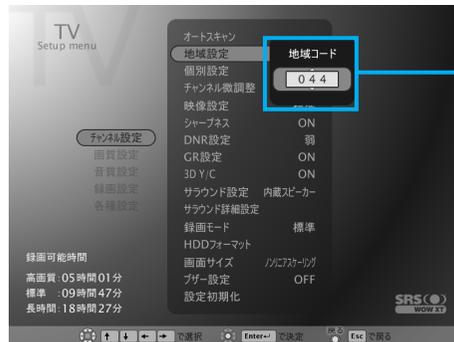


以降の操作は、「地域設定」と「個別設定」とで手順が異なります。

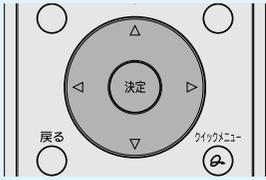
■ 「地域設定」の場合 ■



- ② リモコンの方向ボタンで「地域設定」を選択し、「決定」ボタンを押す



- ③ リモコンの方向ボタン（上下）で「地域コード」を入力し、「決定」ボタンを押す
*画面は、東京23区の地域コードを入力した表示例です。



■「個別設定」の場合■



② リモコンの方向ボタンで【個別設定】を選択し、【決定】ボタンを押す

【チャンネル・個別設定】画面が表示されます。

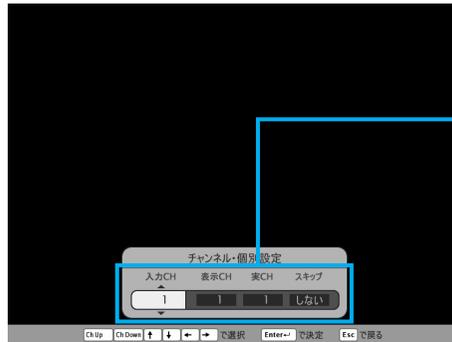
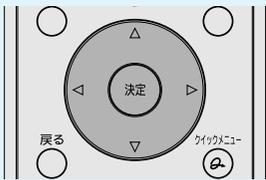


個別設定で変更できる項目は、次のとおりです。

- 入力CH : リモコンまたはキーボードから入力するチャンネルです。
- 表示CH : チャンネル変更を行ったときに表示されるチャンネルです。
- 実CH : 入力チャンネルを選択したときに、実際に切り替えられるチャンネルです。
- スキップ : 「する」、「しない」のいずれかを選択できます。「する」に設定した入力チャンネルは、リモコンまたはキーボードから選択することができなくなります。

設定を変更したいチャンネルの選択を切り替えるには、リモコンの【チャンネルH】、【チャンネルV】を使用します。

設定項目の選択を切り替えるには、リモコンの方向ボタン（左右）を使用します。設定値を変更するには、リモコンの方向ボタン（上下）を使用します。



- ③ リモコンの【チャンネルH】、【チャンネルV】ボタンで設定したいチャンネルを選択する
- ④ リモコンの方向ボタン（左右）で、【入力CH】、【表示CH】、【実CH】、【スキップ】のいずれかを選択し、方向ボタン（上下）で設定値を変更することができます。
- ⑤ 複数のチャンネルを設定する場合は、③と④を繰り返す
- ⑥ リモコンの【決定】ボタンを押す

チャンネルが設定されました。

テレビ映像が、パソコンの本体液晶ディスプレイに表示されます。

参照 「QosmioPlayer」の終了方法
「6-②-1 QosmioPlayer (TV) の起動/終了」

③ CATV（ケーブルテレビ）をご利用のお客様へ

CATV番組の受信には、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。
詳しくは、各CATV会社にお問い合わせください。

**F30/79シリーズ、
F30/69シリーズのみ**

メモ

- ホームターミナル側の出力端子は、『ホームターミナルに付属の説明書』を確認してください。
- パソコン本体の各コネクタへの接続方法は、次の説明を確認してください。

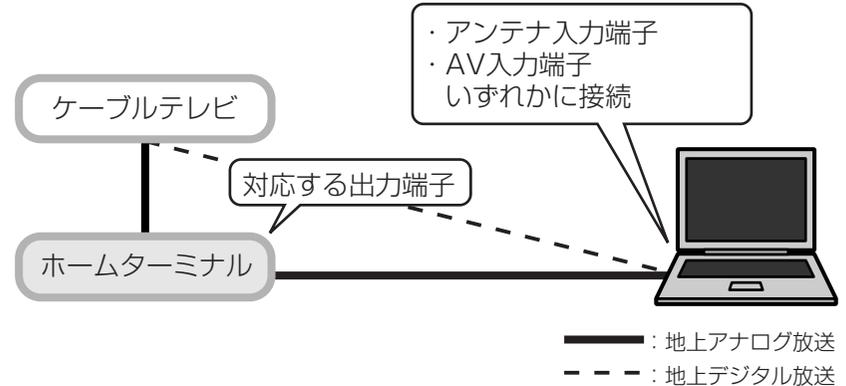
参照 「3-②-1 アンテナF型変換ケーブルの接続」

参照 「12-④-1 機器を接続する」

CATV（ケーブルテレビ）をご利用のお客様が、本製品でCATV番組を見るには、ホームターミナル（アダプタ、セットトップボックスなど、名称はCATV会社によって異なります）と、パソコン本体を接続します。

■CATVでの地上デジタル放送受信について■

CATVから地上デジタル放送を受信できるかどうかは、CATV会社によって異なります。ご契約のCATVがパススルー方式の場合、CATVの端子とパソコン本体のアンテナ入力端子を接続すれば視聴できます（同一周波数パススルー方式、周波数変換パススルー方式に対応しています）。トランスモジュレーション方式の場合は受信できません。
詳しくは、CATV会社にお問い合わせください。



接続するコネクタによって、使用できる機能が異なります。

○：できる ×：できない

テレビ機能	Qosmio AV Center			
	QosmioPlayer*1			
	DVD MovieWriter (直接録画)*1			
できること	電子番組表の利用	チャンネル設定	チャンネルの切替え	有料チャンネルの視聴
アンテナ入力端子	○*2	必要	○	×
AV入力端子	×	不要	×*3	○*4

*1 地上アナログ放送のみ対応しています。

*2 電子番組表で提供されるのは、地上アナログ放送と地上デジタル放送の番組のみです。なお、地上デジタル放送が受信できるかどうかは、CATV会社によって異なります。

*3 チャンネルの切替えは、ホームターミナル側で操作してください。

また、パソコンに映像を表示するには次の操作を行います。

「Qosmio AV Center」：リモコンの【入力切換】ボタンを押して、【コンボジット】に切り替える

「QosmioPlayer」：リモコンの【入力切換】ボタンを押して、【ビデオ入力】に切り替える

「DVD MovieWriter」：「DVD MovieWriter」の操作画面の【詳細設定】→【ビデオのプロパティ】をクリックして表示される画面で、【ソースを入力】タブの【ソースを入力】を【コンボジット】に切り替える

*4 お客様が視聴契約を結んでいて、視聴可能な番組が対象です。

著作権保護技術の採用により、録画禁止のものは視聴したり録画したりできません。また、アナログTVまたは外部入力からの番組に関しては「録画1回可能」なものでも、パソコンでの視聴や録画はできません。



1 チャンネル設定をする

アンテナ入力端子を使って接続した場合は、接続後に、チャンネル設定を行ってください。

◆ Qosmio AV Centerのチャンネル設定

次のように操作してください。

- ①「Qosmio AV Center」を起動し、[設定] をクリックする
- ② [地域チャンネル設定] をクリックする
F30/77シリーズの場合は、手順④へ進んでください。
- ③ [地上アナログ放送設定] タブをクリックする
- ④ [地域/都市] で [指定無し] を選択する
ポジション001～113すべての [スキップ] 欄のチェックがはずれます。
- ⑤ ポジション001から順次、[受信CH] 欄でCATVの受信チャンネルを選択する
CATVのC13～C63が、「Qosmio AV Center」の受信チャンネル63 (CBL13)～113 (CBL63) に割り当てられています。
[放送局名] 欄は、受信チャンネルの放送局名に変更できます。
受信チャンネルが複数ある場合は、受信チャンネルごとにポジションを割り当てて、操作をくり返してください。
なお、電子番組表を利用する場合は、東芝チャンネルコードの設定が必要です。
- ⑥ [OK] ボタンをクリックする
チャンネルが設定されます。
- ⑦「チャンネルの設定が変更されました。」というメッセージが表示された場合は、[OK] ボタンをクリックする
- ⑧ 地上デジタル放送が受信できる場合は、地上デジタル放送のチャンネル設定を行う
- ⑨ 放送が受信できているか確認する
「本節-① Qosmio AV Centerのチャンネル設定をする」と同様です。

参照

東芝チャンネルコードの設定について「Qosmio AV Center」のヘルプの「手動でチャンネルを変更する」

◆ QosmioPlayerのチャンネル設定

次のように操作してください。

- ①「QosmioPlayer」を起動し、リモコンの [設定] ボタンを押す
- ② [テレビ設定メニュー] で [チャンネル設定] を選択する
「本節-② QosmioPlayerのチャンネル設定をする」の手順1～3の①までと同様です。
- ③ [オートスキャン] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押す
確認画面が表示されます。
- ④ [はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押す
受信可能なすべてのチャンネルが自動的に検出され、チャンネルが設定されます。
[テレビ設定メニュー] が閉じます。
テレビ映像が、パソコンの本体液晶ディスプレイに表示されます。

参照

個別設定について「本節-② QosmioPlayerのチャンネル設定をする」

必要に応じて、チャンネルの個別設定を行ってください。
個別設定方法は、手順③で [オートスキャン] の代わりに [個別設定] を選択し、設定したい番号と実際のチャンネルを入力します。

6

テレビを見る

2種類のテレビ機能が用意されています。お好みで使い分けてください。

■Windows上でテレビが見られる「Qosmio AV Center」^{コスミオ エービー センター}■

インターネットやメールなど、パソコンで作業をしているときでも、テレビを見ることが出来ます。F30/79シリーズ、F30/69シリーズでは地上アナログ放送と地上デジタル放送の両方を、F30/77シリーズでは地上アナログ放送のみを受信することができます。ナビ画面では、テレビ機能のほか本製品に用意されているAV機能を簡単に起動できます。

■電源OFFからすぐにテレビが見られる「QosmioPlayer」^{コスミオプレーヤ}■

Windowsを起動せずに、テレビを見ることが出来るため、Windowsの起動時間を待つ必要がありません。地上アナログ放送のみ受信することができます。

1 Qosmio AV Centerとは

「Qosmio AV Center」でテレビを見たり録画する前に、「付録2-4 「Qosmio AV Center」の使用にあたって」をよくお読みください。

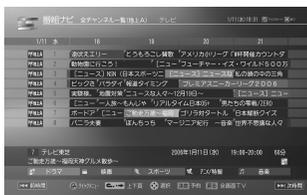
「Qosmio AV Center」は、テレビを見る／録画する機能のほか、映像を観る、音楽を聴く、写真を見るといったエンターテイメントへの入り口を1つにまとめた、Windows上のアプリケーションです。

■「Qosmio AV Center」(テレビ) でできること■

「Qosmio AV Center」のおもな機能は次のとおりです。

3つのナビ画面で、番組表の確認、テレビ録画の録画予約、再生などが簡単に出来ます。

番組ナビ (リモコンモード)



録るナビ (リモコンモード)



見るナビ (リモコンモード)



F30/77シリーズでは、地上アナログ放送のみ視聴できます。

参照先は、表外の<参照先>を確認してください。

機能	地上アナログ放送	地上デジタル放送	参照先
テレビを見る	○	○	1
音声多重放送のテレビを見る	○	○	2
地上アナログ放送に切り替える	—	○	1
地上デジタル放送に切り替える	○	—	1
画面の表示サイズを切り替える	○	○	2
字幕放送を見る	—	○	2
音声を切り替える	—	○	2
お好み再生	○	—	1
データ放送を楽しむ	—	○	2
録画する	○	○	3
電子番組表を使って録画予約する	○	○	3
電子番組表で検索する	○	○	2
おすすめサービスを利用する	○	—	3
スポーツ延長／ドラマ延長	○	—	2
番組延長録画	—	○	2
「録るナビ」で録画予約した内容を管理する	○	○	2
マニュアルで録画予約する	○	○	2
メールで録画予約する	○	○	2
プレイバック録画	○	—	3
録画した番組を再生する	○	○	4
早見早聞	○	○	4
早戻し再生・早送り再生	○	○	2
スロー再生	○	○	2
ワンタッチリプレイ・ワンタッチスキップ	○	○	2
番組の頭出し	○	○	2
次の番組へジャンプする	○	○	2
レジューム機能	○	○	2
録画番組のファイルを保護する	○	○	2
追っかけ再生	○	—	3

● 地上アナログ放送録画中と地上デジタル放送録画中にできること

機能	地上アナログ録画中	地上デジタル録画中	参照先
地上デジタル放送の番組を見る	○	○*1	2
地上アナログ放送の番組を見る	○*1	○	2
地上デジタル放送の番組を録画する	○	—	2
地上アナログ放送の番組を録画する	—	○	2

*1 録画中のチャンネル以外は視聴できません。

<参照先>

- 1 : 「本節-① Qosmio AV Centerでテレビを見る」
- 2 : 「Qosmio AV Center」のヘルプ
- 3 : 「8-① Qosmio AV Centerで録画する」
- 4 : 「9-① Qosmio AV Centerで再生する」

- 「Qosmio AV Center」では、テレビ以外にも、映像や音楽の機能やホームネットワーク上のコンテンツなどを楽しむことができます。詳しくは「Qosmio AV Center」のヘルプと「11 録画した映像をDVDに移す」「12 映像を編集してDVDに残す」「13-① WinDVDで観る」「14-① 音楽CDを聴く (RoomStylePlayer)」「17 デジタルカメラの写真を編集する」を確認してください。

■「Qosmio AV Center」の画面■

「Qosmio AV Center」には、おもに、起動時に表示される「ホーム画面」、リモコンで操作する「リモコンモード」、タッチパッドやマウスで操作する「マウスモード」、プレイヤー画面（テレビや録画番組を見る画面）部分だけを最前面に表示する「ながら見モード」の4種類の画面があります。起動時は、ホーム画面が表示されます。必要に応じて切り替えて使用します。

●ホーム画面

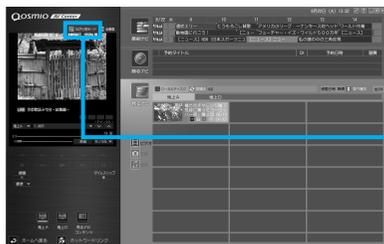


●リモコンモード画面（見るナビ）



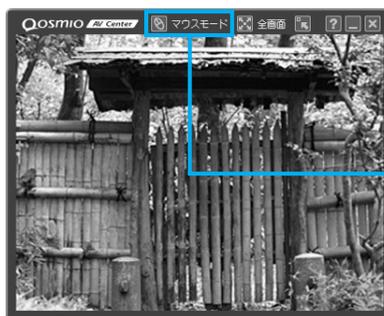
リモコンの「画面モード」ボタンを押す、または各ナビ画面右上の「マウスモード」をクリックするとマウスモードに切り替わります。

●マウスモード画面



リモコンの「画面モード」、または「番組ナビ」「録るナビ」「見るナビ」ボタンを押すと、リモコンモードに切り替わります。

●ながら見モード画面



ながら見モード

「ながら見モード」をクリックすると、ながら見モードに切り替わります。

マウスモード

「マウスモード」をクリックすると、マウスモードに切り替わります。



全画面

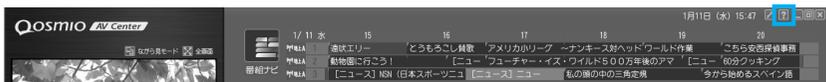
マウスモード、ながら見モードの「全画面」をクリックすると、テレビや録画番組を見る画面が全画面表示に切り替わります。

ヘルプの起動方法

「Qosmio AV Center」の機能や使いかたについて、詳しくは、「Qosmio AV Center」のヘルプを確認してください。

1 マウスモード、ながら見モードのときに、**?** をクリックする

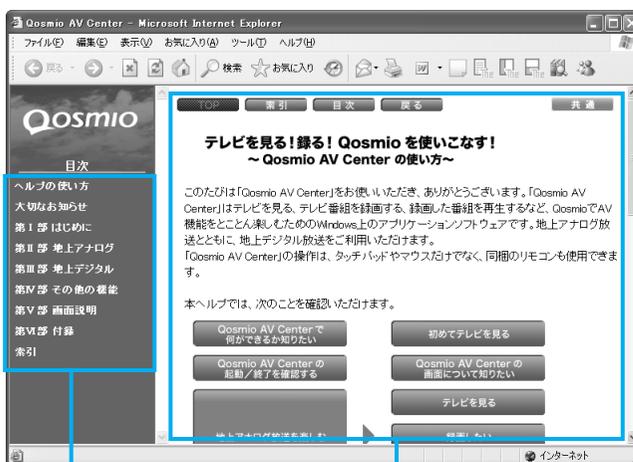
- マウスモード



- ながら見モード



ヘルプが起動します。



目次です。

見たい内容をクリックすると、説明が表示されます。

「Qosmio AV Center」の問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号 : 0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）

技術相談窓口 受付時間 : 9:00～19:00（年中無休）

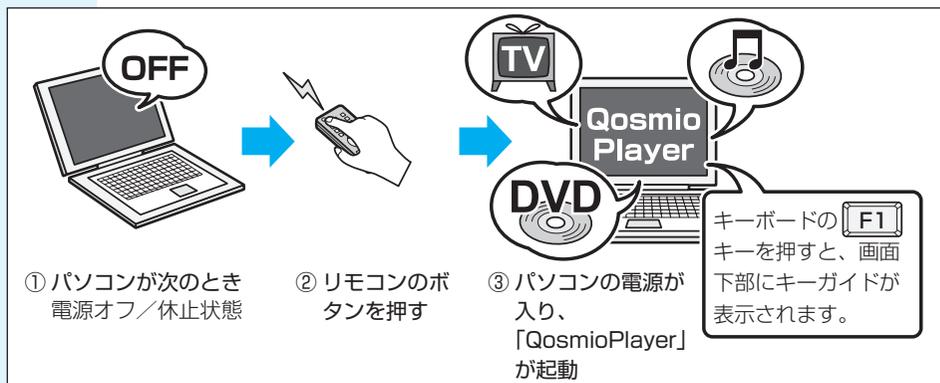
システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直取回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

メモ

- **[F1]** キーを押すと、すべてのモードのときに、ヘルプを起動できます。

2 QosmioPlayerとは

「QosmioPlayer」を使うと、リモコンやフロントオペレーションパネルのボタンや、キーボードのキーを押すだけで、Windowsを起動せずに、テレビ映像を表示したり、テレビ番組を録画したり、音楽CDやDVD-Videoを再生できます。



■ 「QosmioPlayer」でできること■

「QosmioPlayer」のおもな機能は次のとおりです。参照先は表外の〈参照先〉を確認してください。

- テレビ「QosmioPlayer (TV)」 *地上アナログ放送のみ

機能	参照先
テレビを見る	1
お好み再生	1
追っかけ再生	2
画面の表示サイズを切り替える	1
放送中のテレビ番組を録画する	2
ライブラリで録画した番組を管理する	3
音声を切り替える	4
高画質で残したい、長時間録画したい	2
Windowsに録画ファイルをコピーする	3

- 映像/音楽

機能	参照先
音楽を聴く「QosmioPlayer (CD)」	5
映像を観る「QosmioPlayer (DVD)」	6

〈参照先〉

- 1: 「本節-② QosmioPlayerでテレビを見る」
- 2: 「8-② QosmioPlayerで録画する」
- 3: 「9-② QosmioPlayerで再生する」
- 4: 「付録4 QosmioPlayerの操作一覧」
- 5: 「14-④ 音楽CDを聴く (QosmioPlayer)」
- 6: 「13-② QosmioPlayerで観る」

ライブラリ



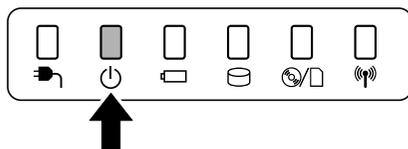
- QosmioPlayerの動作中は、自動的に電源を入れる機能を使ってシステムを起動することはできません。タイマー予約なども実行できませんので、ご注意ください。
- QosmioPlayer (TV) は、テレビ設定メニューでチャンネル設定を行ってから使用してください。

参照▶ 詳細について「5-② QosmioPlayerのチャンネル設定をする」

- F30/79シリーズ、F30/69シリーズで、BIOSセットアップの「Dynamic CPU Frequency Mode」を「Always Low」に設定すると、「QosmioPlayer」の映像がコマ落ちする場合があります。安定してご覧いただくために「Dynamically Switchable」または「Always High」に設定してください。

◆ QosmioPlayerに関する表示

「QosmioPlayer」使用中は、Power  LEDが緑色に点灯します。



◆ QosmioPlayerについて

- 「QosmioPlayer」には、SRS社のSRS WOW XT（エスアールエス・ワウ・エックスティ）技術を使用して、サウンドの音質を調整できる機能があります。
- ご購入時の状態では、QosmioPlayer領域として、ハードディスク容量のうち約20GBを使用しています。
- 「QosmioPlayer」を使用中に、リモコンやキーボードからの操作が効かなくなったときには、パソコン本体の電源スイッチを5秒以上押し続けて強制終了し、起動し直してください。
- 「QosmioPlayer」は、タッチパッドやマウスからの操作には対応していません。
- Windowsは、「QosmioPlayer」を終了してからのみ、起動できます。Windows起動中は、「QosmioPlayer」は使用できません。

◆ 「QosmioPlayer」の問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号 : 0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）

技術相談窓口 受付時間 : 9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

① Qosmio AV Centerでテレビを見る

参照 リモコンモードで見る
「本項 1 テレビ視聴画面の起動/終了」

参照 マウスモードで見る
「Qosmio AV Center」のヘルプ

参照 ながら見モードで見る
「Qosmio AV Center」のヘルプ

ここでは、「Qosmio AV Center」でテレビを見る方法を説明します。「Qosmio AV Center」では、次の視聴方法を選んで使うことができます。

- **リモコンモードのテレビ視聴画面**
テレビ映像が画面全体に表示されます。おもにリモコンで操作します。
- **マウスモードのプレイヤー画面**
テレビ映像がプレイヤー画面（テレビやコンテンツを視聴/再生する画面）に表示されます。おもにタッチパッドまたはマウスで操作します。
- **ながら見モード**
プレイヤー画面部分を最前面に表示させるモードです。おもにタッチパッドまたはマウスで操作します。
Windows上でホームページやメールをチェックしたり、文書作成をしたりしながら、テレビを見ることができます。

1 テレビ視聴画面の起動/終了

ここでは、リモコンモードのテレビ視聴画面でテレビを見る方法を説明します。「Qosmio AV Center」でテレビを見たり録画する前に、「付録2-4 「Qosmio AV Center」の使用にあたって」をよくお読みください。

起動

1 起動する

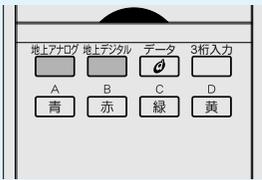
- ① リモコンの [HOME] ボタンを押す
「Qosmio AV Center」が起動します。



- ② リモコンの方向ボタンで [TV] を選択し、[決定] ボタンを押す

「テレビ視聴」画面が表示されます。
このとき、直前に視聴していた放送チャンネルの番組が表示されます。

F30/79シリーズ、 F30/69シリーズのみ



■放送形式を切り替える■

F30/79シリーズ、F30/69シリーズで地上アナログと地上デジタル放送を切り替える方法は、次のとおりです。

①リモコンの【地上アナログ】ボタンまたは【地上デジタル】ボタンを押す

地上アナログ放送の番組を見たい場合は【地上アナログ】ボタンを、地上デジタル放送の番組を見たい場合は【地上デジタル】ボタンを押します。

メモ

- Windowsが起動していて「Qosmio AV Center」が起動していないとき、リモコンの【TV】ボタンを押して、「テレビ視聴」画面を起動することもできます。
- 電波の受信状態が悪いときは、テレビの映りが悪くなります。アンテナの向きを調整したり、ブースタ/アッテネータを接続して調整したり、チャンネルを手動設定してチャンネルの調整をしてください。また、地上アナログ放送では画面にゴースト（二重映り）が出た場合、「ゴーストリデュース」機能の設定（「GR設定」）を有効にすることで、これを軽減することができます。

参照 リモコン操作について
「付録3-① Qosmio AV Centerでの操作一覧」

参照 画面に表示されるアイコンなどの表示情報について
「Qosmio AV Center」のヘルプ

参照 データ放送について
「Qosmio AV Center」のヘルプ

「テレビ視聴」画面

●地上アナログ放送の場合



リモコンのボタンを使って、チャンネルの変更（切替え）、音声多重の切替え、音量の調整ができます。

画面全体に地上アナログ放送の「テレビ視聴」画面が表示されます。

●地上デジタル放送の場合



5.1chサラウンド放送の音声は、2chに変換されて出力されます。

リモコンのボタンを使って、チャンネルの変更（切替え）、音量の調整、音声多重の切替え、音声の切替え、字幕の表示、データ放送の利用ができます。

画面全体に地上デジタル放送の「テレビ視聴」画面が表示されます。

画面には、番組についての情報を表すアイコンなどが表示されます。これらを表示しないように設定することもできます。

役立つ操作集

「データ放送」について

地上デジタル放送では、テレビを視聴しながら、天気予報や交通情報、ニュースなど、地上デジタル放送局が提供する情報を画面に表示することができます。

情報を見るだけでなく、アンケートや投票、クイズへの回答などが可能なデータ放送を、放送局が提供することがあります。

なお、放送局や番組によって、データ放送が行われていない場合があります。

「ながら見モード」でテレビを見る

「ながら見モード」にすると、他のWindowsアプリケーションが起動している場合でも、プレイヤー画面（テレビやコンテンツを視聴／再生する画面）部分を最前面に表示するため、ホームページやメールをチェックしたり、文書を作成したりしながら、気になるテレビ番組を見ることができます。



映像表示ウィンドウ

ながら見モードの画面は「映像表示ウィンドウ」と「コントロールウィンドウ」とに分かれます。それぞれ個別に画面を移動することができます。

また、「映像表示ウィンドウ」はウィンドウの大きさを変えることができます。



コントロールウィンドウ

詳細は、「Qosmio AV Center」のヘルプを確認してください。

お願い

- 「ながら見モード」でテレビを視聴しているときに他のアプリケーションが動作していると、音が飛んだり、映像が正しく表示されないなど、正常に動作しない場合があります。
- 複雑なデータ放送を表示しているときは、映像がコマ落ちしたり乱れる場合があります。そのような場合は、データ放送を非表示にしてご覧ください。

◆ 終了

視聴しているテレビを消して、「Qosmio AV Center」のホーム画面に戻る方法を説明します。

1 リモコンの [HOME] ボタンを押す



テレビ視聴を終了し、「Qosmio AV Center」のホーム画面に戻ります。

2 チャンネルを変える

視聴しているテレビのチャンネルを変えましょう。

地上アナログ放送の場合

1 「Qosmio AV Center」でテレビ（地上アナログ放送）を表示する

参照 テレビを見る
「本項 1 テレビ視聴画面の起動/終了」



2 リモコンで、チャンネルの番号の数字ボタンを押す

数字ボタンで変更できるチャンネルは、CH1～CH12までです。

または、リモコンの [チャンネル入] または [チャンネルV] ボタンを押します。

チャンネルが切り替わります。

お願い

- チャンネルを切り替えるときは1秒以上の間隔を空けて操作してください。

地上デジタル放送の場合

F30/79シリーズ、 F30/69シリーズのみ

メモ

- 『地上デジタル放送局一覧』を表示するには、[スタート] → [すべてのプログラム] → [Qosmio AV Center] → [地上デジタル放送局一覧] をクリックします。

参照

テレビを見る
「本項 1 テレビ視聴
画面の起動/終了」



お願い

地上デジタル放送のチャンネル番号については、『地上デジタル放送局一覧』を確認してください。

1 「Qosmio AV Center」でテレビ（地上デジタル放送）を表示する

2 リモコンで、チャンネルの番号の数字ボタンを押す

数字ボタンで変更できるチャンネルは、CH1～CH12までです。

または、リモコンの [チャンネル入] または [チャンネルV] ボタンを押します。

チャンネルが切り替わります。

● 3桁チャンネル番号で切り替える

地上デジタル放送では、1つのチャンネル番号に対して放送局が複数の番組を提供することができます。

各々の番組には3桁のチャンネル番号が割り付けられます。

(例) チャンネル番号「2」の場合

各番組に対して、3桁チャンネル番号「021」や「022」などが割り付けられる

3桁チャンネル番号で切り替える場合は、リモコンの [3桁入力] ボタンを押した後、チャンネル番号の数字ボタンを押します。

(例) 011チャンネルに切り替えたい場合

①リモコンで [3桁入力]、[0]、[1]、[1] の順にボタンを押す

- チャンネルを切り替えるときは1秒以上の間隔を空けて操作してください。

メモ

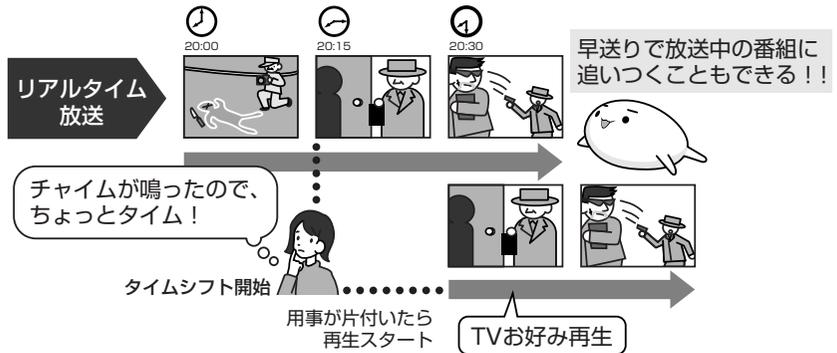
- タイムシフトできる時間は最大9時間です。ハードディスクに番組内容を保存しますので、ハードディスクの空き容量によってタイムシフトできる時間は異なります。

参照

録画とハードディスクの容量の関係について
「8-① Qosmio AV Centerで録画する」

* 地上アナログ放送のみ

放送中の番組を見ているときに電話や来客などがあって視聴を中断する場合、あらかじめ「タイムシフト（タイムスリップ機能）」を使うと、見逃したシーンの続きを、用事が終わった後から見ることができます。



「お好み再生」をするときには、あらかじめタイムシフト（タイムスリップ機能）を開始しておく必要があります。タイムシフトが動作中のときは、録画をしていなくても一定の時間、番組のデータはハードディスクに保存されます。そのため、録画した番組を再生する要領で「早戻し」、「早送り」、「スロー再生」、「一時停止」、「再生」などを行い、番組を見ることができます。

「タイムシフト」が動作中は、ハードディスクに番組が録画されている状態になります。ハードディスクの空き容量を確認してください。

お願い

お好み再生について

- タイムシフト中にチャンネル変更はできません。
- 早戻しができるのは、タイムシフト（タイムスリップ機能）を開始してから見ていた番組に限ります。タイムシフト開始以前、または開始後に視聴していなかった番組について早戻しをして見ることはできません。
- リモコンの「タイムスリップ」ボタンを押してから、もう1度「タイムスリップ」ボタンを押すまでの間、タイムシフトを行い、番組データをすべてハードディスクに保存します。「早送り」ボタンで映像の早送りをし、ライブ映像に追いついても、そのままタイムシフトを継続します。放送中の番組はハードディスクに記録されます。
- 「お好み再生」は、ハードディスクに空き容量がなくなると停止します。また、空き容量がまったくない場合には、「お好み再生」は動作しません。
- ハードディスクの記録状態によっては、「お好み再生」時の再生画像が数秒間後戻りしたり、一時停止することがあります。
- 予約録画の開始時刻になると、「お好み再生」は停止します。
- 「お好み再生」中に次の操作はできません。これらの操作を行う際は、「お好み再生」を停止してから操作してください。
 - ・ ホーム画面へ戻る
 - ・ リモコンモードで「番組ナビ」、「録るナビ」、「見るナビ」を表示する
 - ・ 「見るナビ」の新規登録、削除、並べ替え、検索、編集の操作
- 本製品には有寿命部品が含まれています。「Qosmio AV Center」で過去のシーンに戻って録画する場合、本体液晶ディスプレイやハードディスクユニットなどの有寿命部品が連続稼働になりますので、計画的なご利用をおすすめします。

なお、有寿命部品については、『セットアップガイド 6章 デイリーケアとアフターケア』をご覧ください。

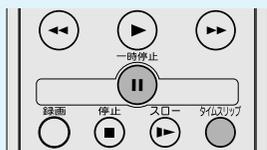
1

番組を見ているときに、リモコンの【タイムスリップ】ボタンを押し、すぐに【一時停止】ボタンを押す

【タイムスリップ】ボタンを押してからの放送内容は、ハードディスクに一時的に録画されます。

【一時停止】ボタンを押すと、映像を一時停止します。

用事が終わりました。中断していたテレビの視聴を再開します。【タイムスリップ】ボタンを押してからの放送内容を見てみましょう。



メモ

- タイムシフトを開始した後、一時停止をしなくても、「早戻し」、「早送り」などで好きな位置から再生を開始することもできます。

2

リモコンの【再生】ボタンを押す

番組の続きを視聴できます。

「早戻し」、「早送り」、「スロー再生」で好きな位置、お好みの速度で番組の視聴を楽しむことができます。

また、「一時停止」をすることもできます。



3

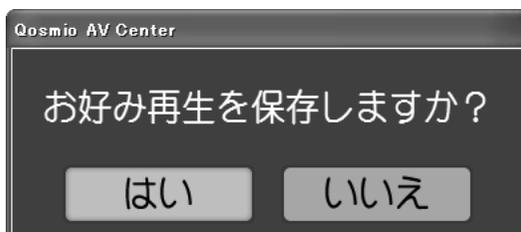
お好み再生を止めるときは、リモコンの【タイムスリップ】ボタンを押す

ハードディスクへの記録が止まります。書き込んだ内容を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。



4

リモコンの方向ボタンで【はい】または【いいえ】を選択し、【決定】ボタンを押す



6

テレビを見る

② QosmioPlayerでテレビを見る

* 地上アナログ放送のみ

ここでは、「QosmioPlayer」でテレビを見る方法を説明します。

1 QosmioPlayer (TV) の起動／終了

◆ 起動

次の手順で「QosmioPlayer (TV)」を起動します。



1 パソコンが電源オフまたは休止状態のとき、リモコンの【TV】ボタンを押す

パソコンの電源が入り、「QosmioPlayer (TV)」が起動します。
テレビ映像が、パソコンの本体液晶ディスプレイに表示されます。

◆ 終了

お願い

- 「QosmioPlayer」は、必ず、正しい手順で終了してください。
Windows起動中には、ディスプレイを閉じることによって休止状態またはスタンバイにする機能がありますが、「QosmioPlayer」起動中には対応していません。

リモコンで「QosmioPlayer」を終了するには、次のように操作してください。

1 リモコンの【電源】ボタンを押す

「QosmioPlayer」が終了します。
「QosmioPlayer」を起動する前の状態が、電源オフだった場合は電源オフに、休止状態だった場合は休止状態になります。



2 お好み再生

参照 お好み再生について
「本節 ①-3 お好み再生」



あらかじめタイムスリップを開始しておく、視聴を中断したいときに映像を一時停止し、後から再生することができます。

■映像をタイムスリップする■

テレビを見ているときに、[タイムスリップ] ボタンを押してください。

画面にお好み再生アイコン () が表示され、映像が再生します。

[表示] ボタンを押して、情報を常時表示している状態にすると、画面左上にタイムスリップを開始してからの時間のカウンタが表示されます。

■タイムスリップから一時停止する■

お好み再生開始後、[一時停止] ボタンを押してください。映像を一時停止します。

■一時停止したシーンから再生する■

[再生] ボタンを押してください。

■お好み再生を停止する■

[停止] ボタンまたは [タイムスリップ] ボタンを押してください。

停止すると、放送中の映像に戻ります。

お好み再生は、放送中の映像に完全に追いつくことはできません。早送り、スキップは、放送中の映像の2～3秒手前に戻ります。

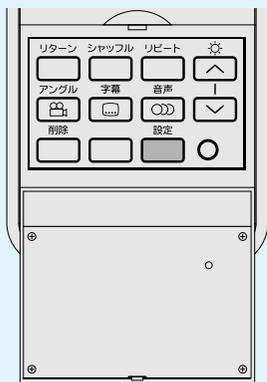
テレビ設定

テレビ設定メニューでは、チャンネルや画質など、テレビを見るうえでのさまざまな設定をすることができます。

次のように操作して、テレビ設定メニューを起動できます。

1 リモコンの [設定] ボタンを押す

[テレビ設定メニュー] 画面が表示されます。



(表示例)

メモ

- 録画タイトルの再生中には、テレビ設定メニューの設定はできません。

操作方法は、画面下部のキー操作表示を参照してください。

テレビ設定メニューを終了してテレビ視聴に戻るには、リモコンの [設定] ボタンを押してください。

◆ チャンネル設定

参照 チャンネル設定方法
「5-② QosmioPlayerのチャンネル設定をする」

「QosmioPlayer」のチャンネル設定を行います。

チャンネル設定方法は、「オートスキャン」、「地域設定」、「個別設定」、「チャンネル微調整」から、必要に応じて選択できます。

画質設定

テレビ視聴時の画質について設定します。

■映像設定■

映像の明るさ、色合い、コントラスト、濃さを設定します。

[テレビ設定メニュー] 画面で、[画質設定] → [映像設定] を選択してください。メニューが表示され、「あざやか」、「標準」、「映画」、「お好み」のいずれかの映像タイプを選択できます。

「お好み」を選択すると、明るさ、色合い、コントラスト、濃さを好みにあわせて調整できます。

■シャープネス■

映像の輪郭を強調し、くっきりした映像にします。

[テレビ設定メニュー] 画面で、[画質設定] → [シャープネス] を選択してください。メニューが表示され、「ON」、「OFF」のいずれかを設定できます。

■DNR設定■

映像のノイズを自動的に軽減します。

[テレビ設定メニュー] 画面で、[画質設定] → [DNR設定] を選択してください。メニューが表示され、「強」、「弱」、「OFF」のいずれかを設定できます。

■GR設定■

画面に出てしまうゴースト（二重映り）を軽減します。

電波の反射などにより地上波放送にゴーストが表示されてしまうことがあります。GR設定を「ON」にするとゴーストが減り、見やすい映像にできます。

[テレビ設定メニュー] 画面で、[画質設定] → [GR設定] を選択してください。「ON」、「OFF」のいずれかを設定できます。

■3D Y/C分離■

縞模様を映し出したときに現れる虹色のノイズや、異なる絵柄の境目に現れるちらつきを抑えます。気になる輪郭の不自然さを抑え、クリアな映像を映し出します。

[テレビ設定メニュー] 画面で、[画質設定] → [3D Y/C] を選択してください。「ON」、「OFF」のいずれかを設定できます。

音質設定

SRS社のSRS WOW XT（エスアールエス・ワウ・エクスティ）技術を使用して、音楽や音声を聴く環境にあわせて、サウンドの音質を調整します。

■サラウンド設定■

音楽や音声を聴く環境ごとに適した音質に設定したモードが用意されています。お好みにあわせて選択してください。

[テレビ設定メニュー] 画面で、[音質設定] → [サラウンド設定] を選択してください。メニューが表示され、「内蔵スピーカー」、「外部接続スピーカー」、「開放型ヘッドフォン」、「密閉型ヘッドフォン」、「OFF」のいずれかを設定できます。

メモ

- [QosmioPlayer (TV)] の [映像設定]、[シャープネス] で設定した内容は、「QosmioPlayer (DVD)」にも反映されます。

メモ

- ノイズリダクションの効果による残像感が気になる場合は、DNR設定を「OFF」にしてください。

メモ

- テレビ視聴の状態によっては、GR設定を「ON」（有効）にしてもゴーストは軽減されません。また、地域によってはGR設定を「OFF」（無効）に設定したほうが、見やすい映像になる場合があります。状況に応じて設定してください。

メモ

- [QosmioPlayer (TV)] の [音質設定] で設定した内容は、「QosmioPlayer (DVD)」にも反映されます。

メモ

- [サウンド設定] で「OFF」を選択してる場合には、[サウンド詳細設定] は設定できません。

参照 ▶ 録画設定について
「8-②-3- 録画設定」

■サウンド詳細設定■

[サウンド設定] で選択したモードの音質を、さらに詳しく調節します。
[テレビ設定メニュー] 画面で、[音質設定] → [サウンド詳細設定] を選択してください。メニューが表示され、次の設定を調節できます。

- SRSレベル : 音のステレオ感（広がり）を調節する
- Focusレベル : 音のクリア感を調節する
- スピーカーサイズ : 音の低音感を調節する
スピーカーサイズとは、スピーカやヘッドフォンがどのぐらいの低音を再生できるかを表した数値です。
- TruBassレベル : 音の低音感を調節する
スピーカーサイズに応じた低音レベルを調節します。
- 初期設定に戻す : [サウンド詳細設定] の設定を標準値に戻す

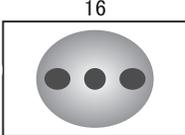
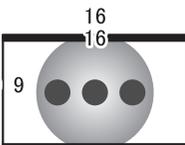
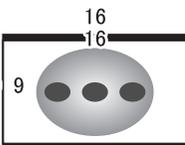
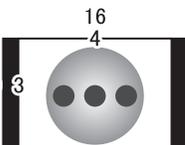
録画設定

「QosmioPlayer」で、テレビ映像を録画するときの設定を行います。

各種設定

■画面サイズ■

「QosmioPlayer (TV)」での画面サイズを設定します。
[テレビ設定メニュー] 画面で、[各種設定] → [画面サイズ] を選択してください。次のいずれかを設定できます。

画面サイズ	内容
ノンリニアスケールリング 	通常（4:3）のテレビをディスプレイのサイズにあわせて全画面表示にしたサイズです。画面中心部の伸張率はほぼそのまま、ディスプレイのサイズにあわせて全画面表示します。
ズーム 	通常（4:3）のテレビの画面の一部を拡大して表示したサイズです。アスペクト比（画面の縦・横の比）を変えずに「ノーマル」表示の画面をズーム（拡大）して表示します。
フル 	通常のテレビを16：9に拡張して表示したサイズです。画面のどこでも一定の伸張率で、アスペクト比を変えて（4：3表示→16：9表示）表示します。
ノーマル 	通常（4：3）のテレビと同じサイズです。

メモ

- 「QosmioPlayer (TV)」の「ブザー設定」で設定した内容は、「QosmioPlayer (DVD)」にも反映されます。

■ブザー設定■

「QosmioPlayer」を操作したときに、ピープ音を鳴らすかどうかを設定します。
[テレビ設定メニュー] 画面で、[各種設定] → [ブザー設定] を選択してください。「ON」、「OFF」のいずれかを設定できます。

■設定初期化■

* 録画中は、設定初期化を選択できません。録画を停止してから設定してください。

地域設定と音量と輝度の設定以外は、すべて初期状態に戻します。

[テレビ設定メニュー] 画面で、[各種設定] → [設定初期化] を選択してください。

各設定画面で次の操作または状態になった場合は、設定中の項目は保存されず、テレビ画面に戻ります。

- 画面の明るさ調整
- 音量の調整
- 消音（ミュート）
- バッテリ残量の不足
- リモコンの [設定] ボタン、またはキーボードの **[F2]** キーを押した場合
- リモコンの [項目選択] ボタン、またはキーボードの **[F9]** キーか **[TAB]** キーを押した場合
- 録画終了
- 録画時のHDD空き容量不足

また、各設定画面で次の操作を行うと、設定中の項目は保存されません。

- 「QosmioPlayer (CD)」または「QosmioPlayer (DVD)」への切替え
- 「QosmioPlayer (TV)」の終了

7

テレビ番組を録画する準備

「QosmioPlayer」、[DVD MovieWriter]で録画する場合は、本節の操作は必要ありません。

参照 ▶ 「8-② QosmioPlayerで録画する」

参照 ▶ 「8-③ DVDに直接録画（DVDダイレクト録画）する」

「Qosmio AV Center」では、テレビ番組を録画する前に次の準備が必要です。

■電子番組表を利用する設定をする■

「電子番組表」とは、画面上で見られる「番組データ」の表です。地上アナログ放送の場合、インターネットからダウンロードします。地上デジタル放送の場合、放送電波の中に入って送られてきます。これを使ってテレビ番組の録画予約を行います。あらかじめ、電子番組表を利用できるように設定しておきます。

■Windowsログオンパスワードの登録■

予約録画の実行時に、パソコンの電源がオフまたはログオフ状態時でも自動起動して録画を開始できるように、あらかじめ「Windowsログオンパスワード」と「アカウント（ユーザ）名」を登録しておきます。

① 電子番組表を利用するには

地上アナログ放送の場合

iNET
東芝提供のインターネット接続型番組情報提供サービスデータの提供元：株式会社日刊編集センター（2006年7月現在）

お願い

電子番組表をお使いになる前に、「付録2-4 「Qosmio AV Center」の使用にあたって」をよくお読みください。

「Qosmio AV Center」では、地上アナログ放送の場合「iNET」を使ってインターネットから番組データをダウンロードします。「iNET」は最大8日分の番組データを取り込むことができます。「Qosmio AV Center」では、iNETを使って取得できるチャンネル数は最大で32チャンネルです。「Qosmio AV Center」ではダウンロードした「電子番組表」を「番組ナビ」で利用します。

電子番組表を利用するにあたって

- コンピュータの管理者アカウントでログオンしてください。管理者権限がないユーザの場合、電子番組表の情報をダウンロードできません。
- iNETを利用する場合は、インターネットに常時接続する環境が必要です。あらかじめ、インターネット接続の環境をお客様自身でご用意ください。
- インターネット接続環境の中でご使用になっているルータのDHCP機能がうまく働かない場合（その場合、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバのIPアドレスが取得できずにエラーになります。）は、ルータのメーカーにお問い合わせください。
- インターネット接続ファイアウォールやセキュリティソフトが制限をかけていると、電子番組表のダウンロードがうまくできない（失敗する）ことがあります。この場合は、「付録7 ファイアウォールを設定する」を参照して、ファイアウォールやセキュリティソフトの設定を変更してください。
- お客様がインターネット接続するためにプロキシサーバを使用する場合は、プロキシサーバの設定も必要となります。
- インターネットに接続するための通信料やプロバイダ料金はお客様の負担となります。
- パソコンの状態が電源オフ/スタンバイ/休止状態の場合、およびログオフ状態の場合は、電子番組表をダウンロード（更新）することはできません。

地上デジタル放送の場合

F30/79シリーズ、
F30/69シリーズのみ

お願い

電子番組表をお使いになる前に、「付録2-4 「Qosmio AV Center」の使用にあたって」をよくお読みください。

地上デジタル放送の場合、電子番組表は放送電波の中に入って送られてきます。電波が受信できれば、番組表は自動更新されます。

電子番組表を利用するにあたって

- 「設定」の「その他の設定」画面で地上デジタル設定の「電子番組表の定期取得」が「する」に設定されている場合は、「電子番組表の取得開始時刻」で設定された時刻に、番組表のデータ取得（ダウンロード）を開始します。パソコンの状態が電源オフ/スタンバイ/休止状態でも、自動的に起動してデータを取得します。パソコンを自動的に起動させたくない場合は、「電子番組表の定期取得」を「しない」に設定してください。「しない」に設定した場合、定期的なデータ取得は行われませんが、地上デジタル放送の放送波からデータを取得可能です。
- 電子番組表の全データを取得するために最大で2時間程度かかることがあります。電子番組表のデータは、地上デジタル放送の電波が受信できれば自動更新されますが、地上デジタル放送を視聴中または録画中は、視聴/録画しているチャンネル以外のデータを取得できないことがあります。また、「設定」の「その他の設定」画面で「電子番組表の定期取得」が「する」に設定されている場合は、電子番組表の情報取得開始時刻に、地上デジタル放送のテレビ視聴や予約録画で「Qosmio AV Center」が動作していると、番組表のデータが取得できないことがあります。電子番組表の全データを取得したい場合や、電子番組表の情報取得開始時刻に「Qosmio AV Center」を起動している場合は、地上デジタル放送のテレビ視聴や録画を行わない状態（ホーム画面、地上アナログ放送の視聴/録画、ビデオ再生、写真表示、音楽再生など）で、2時間程度お待ちください。
- 電子番組表の情報取得の設定時刻には、必ずテレビアンテナを接続しておいてください。テレビアンテナが抜けた場合など、放送波の受信レベルが低い場合は、電子番組表を更新できないため、予約録画が正しく行えないことがあります。

1

電子番組表の更新と表示について

あらかじめ、電子番組表利用のための設定をしておく必要があります。購入時は、電子番組表が利用できるように設定されています。利用できないように設定を変更する場合や設定を確認する場合は、「Qosmio AV Center」のヘルプを参照してください。



メモ

- 地上アナログ放送の場合、サーバへのアクセス時や電子番組表情報のダウンロード時には、インターネットに接続します。接続している間の通信料金やプロバイダ使用料などの費用はお客様の負担となります。
- 地上デジタル放送の場合、パソコンの時計（日付と時刻）と放送波の時計が大きくずれていると、電子番組表が正しく表示されなかったり、予約録画に失敗することがあります。「設定」の「その他の設定」画面の「システム時刻設定」を「地上デジタル放送波で調整する」に設定しておくことをおすすめします。

■電子番組表はいつ更新されるの？■

- 地上アナログ放送の電子番組表の場合
「Qosmio AV Center」の「設定」の「その他の設定」画面で「電子番組表」の設定が「ON」に設定されると、「地域チャンネル設定」画面で指定されたチャンネル情報を使用してiNETのサーバへアクセスし、情報をダウンロードします。チャンネルが正しく設定されていないとダウンロードされません。ダウンロードの際、次回の「更新予定日時」をサーバから知らされます。以降、「Qosmio AV Center」が起動したとき、またはパソコンにログオン中に、この時刻を過ぎていると、自動的にiNETのサーバへアクセスし、情報をダウンロード（更新）します。「更新予定日時」はiNETのサーバへアクセスするたびに、サーバから知らされますので、この更新動作を繰り返します。
- 地上デジタル放送の電子番組表の場合
地上デジタル放送の電子番組表は、地上デジタル放送の電波が受信できれば自動更新されますが、地上デジタル放送を視聴中または録画中は、視聴/録画しているチャンネル以外のデータを取得できないことがあります。「Qosmio AV Center」では、あらかじめ設定された時刻に、自動的にデータをダウンロードすることができます。「設定」の「その他の設定」画面で「電子番組表の定期取得」を「する」に設定すると、「電子番組表の取得開始時刻」で設定された時刻に、パソコンが自動的に起動し、データ取得を開始します。パソコンの状態が電源オフ/スタンバイ/休止状態でも、パソコンが自動的に起動してデータを取得します。

■電子番組表が表示されないとき■

電子番組表が表示されないときや、番組表が更新されないときは、次の項目を確認してください。

地上アナログ放送と地上デジタル放送共通

- 電子番組表利用の設定が正しくされているか

参照▶「Qosmio AV Center」のヘルプ

地上アナログ放送の場合

- コンピュータの管理者アカウントでログオンしているか
- インターネットに接続されているか

参照▶《できるdynabook》

- チャンネル設定が正しくされているか

参照▶「5-①-1 地上アナログ放送のチャンネル設定をする」

- ファイアウォールの設定

参照▶「付録7 ファイアウォールを設定する」

- パソコンの時計（日付と時刻）が正しく設定されているか

参照▶『セットアップガイド 1章 パソコンの準備』

地上デジタル放送の場合

- 地上デジタル放送が受信できているか

参照▶「5-①-2- 地上デジタル放送が受信できなかった場合」

- チャンネル設定が正しくされているか

参照▶「5-①-2 地上デジタル放送のチャンネル設定をする」

- ホーム画面または地上アナログ放送を視聴している状態（地上デジタル放送を視聴・録画していない状態）で、2時間程度待つ

参照▶「本項- 地上デジタル放送の場合」

- パソコンの時計（日付と時刻）が放送局の日付と時刻と同期がとれているか

参照▶「Qosmio AV Center」のヘルプ

**F30/79シリーズ、
F30/69シリーズのみ**

② Windowsログインパスワードを登録する

お願い

参照 ログオンパスワードの設定方法
『セットアップガイド
1章 パソコンの準備』

参照 Windowsのアカウントとパソコンの電源状態の詳細について
「Qosmio AV Center」のヘルプ

「Qosmio AV Center」で録画予約を行う場合、ログオフの状態（ログオン画面や「ようこそ」画面）で予約録画を実行するときには、お使いのWindowsのユーザアカウント名とログオンパスワードを「Qosmio AV Center」に登録しておく必要があります。

- 管理者権限を持つユーザアカウント名とログオンパスワードを登録してください。

■Windowsのログオンパスワードについて■

あらかじめ、「コントロールパネル」の「ユーザーアカウント」で、Windowsのログオンパスワードを設定しておいてください。

■ログオンパスワードと録画予約について■

- パソコンが休止状態やスタンバイ状態時には、「ログオンパスワードの設定」を行っていないだけでも予約録画を実行（自動起動して録画を開始）します。
- シングルユーザで「パスワードなし」でお使いのかたは、「ログオフ」状態から予約録画を実行する（自動起動して録画を開始する）機能をお使いいただくことはできません。
- 「録画設定」画面で登録できる「ログオンパスワード」の設定は、「Qosmio AV Center」で1ユーザ分だけです。パソコンを複数のユーザで「パスワードあり」でお使いのかたは、どなたか1人に決めていただき、そのユーザ名とパスワードを登録するようにしてください。

1 「Qosmio AV Center」を起動する

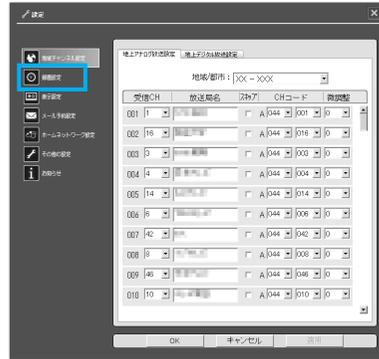
- ① リモコンの [HOME] ボタンを押す
「Qosmio AV Center」が起動します。



- ② タッチパッドまたはマウスで [設定] をクリック
[設定] 画面が表示されます。

2 [録画設定] をクリックする

■F30/79シリーズ、
F30/69シリーズの場合■

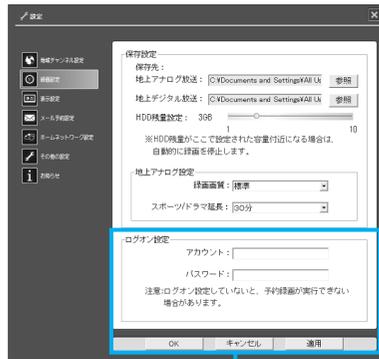


■F30/77シリーズの場合■

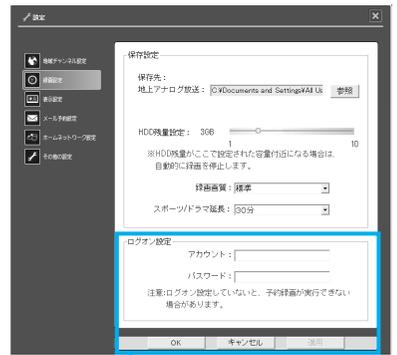


3 [アカウント] と [パスワード] を設定する

■F30/79シリーズ、
F30/69シリーズの場合■



■F30/77シリーズの場合■



メモ

- パスワードなしの場合（パスワードを設定しない場合は、予約録画ができない場合があります。パスワードなしの設定にはしないでください。パソコンのログオンパスワードを設定していない場合は、パソコンにログオンパスワードを設定し、同じパスワードを設定してください。

参照 ログオンパスワードの設定方法
『セットアップガイド
1章 パソコンの準備』

ログオン設定

アカウント:

パスワード:

注意:ログオン設定していないと、予約録画が実行できない場合があります。

OK キャンセル 適用

① Windowsのユーザーアカウント名を入力する

② Windowsのログオンパスワードを入力する

③ [OK] をクリック

これでログオンパスワードの設定ができました。
「Qosmio AV Center」のマウスモード画面に戻ります。

8

テレビ番組を録画する

本製品でテレビ番組を録画するには、3つの方法があります。お好みで使い分けてください。

■Windows上でハードディスク録画する「Qosmio AV Center」^{コスミオ エービー センター} ■

放送中のテレビ番組を見ながら録画できます。また、予約録画や、プレイバック録画もできます。

■電源OFFからすぐにハードディスク録画する「QosmioPlayer」^{コスミオプレーヤ} ■

* 地上アナログ放送のみ

Windowsを起動せずに、放送中のテレビ番組を見ながら録画できます。

■Windows上でDVDに直接録画する「DVD MovieWriter」^{ディーブイディー ムービーライター} ■

* 地上アナログ放送のみ

放送中のテレビ番組を見ながら、DVDに録画できます。

「Ulead DVD MovieWriter[®] for TOSHIBA」を使います。

① Qosmio AV Centerで録画する

ここでは、「Qosmio AV Center」でテレビ番組を録画する方法を説明します。「Qosmio AV Center」でテレビを見たり録画する前に、「付録2-4 「Qosmio AV Center」の使用にあたって」をよくお読みください。

録画について

■地上アナログ放送の場合■

録画したテレビ番組は、パソコンのハードディスクに保存されます。「Qosmio AV Center」では、録画するときに「画質」を選択することができます（4モード対応録画）。同じ番組でも選択した「画質」によって録画に必要なハードディスクの容量が異なります。

ハードディスクに空き容量がないと、録画や予約録画の実行はできません。録画が途中であっても、空き容量がなくなると録画を自動的に終了します。

「Qosmio AV Center」で設定できる画質と1時間録画するのに必要なハードディスク容量（目安）は次のとおりです。購入時の録画画質の設定は、「標準」です。

録画画質	ビットレート	解像度	画質	1時間録画するのに必要なハードディスク容量
高画質	約8.0Mbps	720×480	高	約3.5GB
標準	約4.0Mbps	720×480	↓	約1.8GB
長時間1	約2.0Mbps	352×480	↓	約0.9GB
長時間2	約1.4Mbps	352×480	低	約0.6GB

■地上デジタル放送の場合■

録画したテレビ番組は、パソコンのハードディスクに保存されます。「Qosmio AV Center」では、放送される番組データをそのまま録画するため、録画画質（ビットレートなど）の設定はできません。また、番組内に含まれる複数の音声ストリーム（吹き替えなど）や映像ストリーム（アングルなど）、二ヶ国語放送についても、再生したときに番組放送時と同じ動作で再生できるように録画されます。

ハードディスクに空き容量がないと、録画や予約録画の実行はできません。録画が途中であっても、空き容量がなくなると録画を自動的に終了します。

参照

録画画質の設定
「Qosmio AV Center」のヘルプ

F30/79シリーズ、
F30/69シリーズのみ

「Qosmio AV Center」で1時間録画するのに必要なハードディスク容量（目安）は次のとおりです。放送の種類やビットレート、解像度、容量は番組によって異なります。

放送の種類	画質	1時間録画するのに必要なハードディスク容量
デジタルハイビジョン放送	高	約7.1GB
デジタル標準放送	標準	約3.6GB

なお、「録るナビ」画面下部に表示される録画可能時間も、あくまで目安であり、実際の録画ファイル容量／録画時間とは異なる場合があります。

お願い

地上デジタル放送の録画について

- 地上デジタル放送の番組は、パソコン本体の内蔵ハードディスクに録画できます。DVDメディア等へ直接書き込むことはできません。
- 地上デジタル放送の録画ファイルは、録画したパソコンで「Qosmio AV Center」を使用した場合のみ再生できます。他の録画／再生機器や外付けHDD、パソコンなどにコピーまたは移動して再生することはできません（CPRM対応のDVD-RAMにDVD-VR形式で移動することはできません）。
- 地上デジタル放送の録画ファイルは、バックアップをとることはできません。
- 地上デジタル放送の録画ファイルは編集できません。

録画方法

「Qosmio AV Center」では次の録画方法を選んで使うことができます。

- **通常録画**
現在見ている番組をすぐに録画できます。録画した番組のデータはハードディスクに保存されます。
- **「番組ナビ」で録画予約する**
「番組ナビ」の電子番組表や、「おすすめサービス」の番組リストから番組を選んで録画予約できます。「番組名」や「録画時間」がわからなくても、「番組ナビ」表から簡単に予約できます。
- **マニュアル予約で録画予約する**
「予約詳細」画面に、チャンネルや放送日、放送時間を直接入力・設定し、手動で録画予約します。
- **メールで録画予約する**
外出先で「録画予約を忘れた！」というときに便利なのが「メール録画予約」機能です。携帯電話やパソコンからメールを送って録画予約できます。

■ご購入時の録画に関する設定■

- 録画品質 : 標準
- 録画した番組データの保存場所 : C:¥Documents and Settings¥All Users¥共有ドキュメント¥共有ビデオ

参照▶ 通常録画「本項 1 放送中のテレビ番組を録画する」

参照▶ 「番組ナビ」で録画予約
「本項 2 電子番組表から録画予約する」

参照▶ マニュアル予約
「Qosmio AV Center」のヘルプ

参照▶ メールで録画予約
「Qosmio AV Center」のヘルプ

参照▶ 録画に関する設定項目
「Qosmio AV Center」のヘルプ

「Qosmio AV Center」での録画にあたって

- 「Qosmio AV Center」で録画したテレビ番組などは、個人で楽しむ目的だけに使用できます。
- 録画中および録画準備中は、「Qosmio AV Center」を終了することはできません。「Qosmio AV Center」を終了させる場合には、録画を停止または録画予約をキャンセルしてから終了してください。また、録画中および録画準備中にWindowsの終了を行わないでください。
- 「Qosmio AV Center」でテレビを視聴する、あるいは録画をするなどの動作中に、画面解像度や色数の設定変更は行わないでください。
- 必ずACアダプタを接続してご使用ください。バッテリー駆動で使用すると、バッテリーの消耗などにより、録画が失敗したり、音が飛んだりするおそれがあります。

1 放送中のテレビ番組を録画する

放送中のテレビ番組を見ながら録画する方法を説明します。

1 「Qosmio AV Center」でテレビ視聴画面を表示する

参照 「6-① Qosmio AV Centerでテレビを見る」

2 番組を見ながら、録画したいシーンでリモコンの【録画】ボタンを押す

録画が開始されます。

録画中の画面は、画面左上隅に「●」と表示されます。

録画中にチャンネルを変更して別の番組を録画するには、1度、録画を停止します。詳細は「Qosmio AV Center」のヘルプを確認してください。

■F30/79シリーズまたはF30/69シリーズの場合■

- 地上アナログ放送の番組を録画しているとき
録画中は、他の地上アナログ放送の番組を見ることはできませんが、地上デジタル放送の番組を見ることができます。
また、地上デジタル放送の番組を同時に録画することもできます。
- 地上デジタル放送の番組を録画しているとき
録画中は、他の地上デジタル放送の番組を見ることができませんが、地上アナログ放送の番組を見ることができます。
また、地上アナログ放送の番組を同時に録画することもできます。

参照 録画中に地上デジタル放送の番組を見る／地上デジタル放送の番組を同時録画する「Qosmio AV Center」のヘルプ

参照 録画中に地上アナログ放送の番組を見る／地上アナログ放送の番組を同時録画する「Qosmio AV Center」のヘルプ

3 録画を停止したいシーンで、リモコンの【停止】ボタンを押す

録画を停止します。



2 電子番組表から録画予約する

メモ

- 地上アナログ放送と地上デジタル放送で表示される画面の詳細が異なる場合がありますが、基本的な設定手順は同じです。

参照 「7-① 電子番組表を利用するには」

お願い

「Qosmio AV Center」で電子番組表から録画予約するには、「番組ナビ」と「録るナビ」を使用します。「番組ナビ」は、電子番組表から番組を選んで録画予約ができる画面です。また、録画予約したリストは「録るナビ」で一覧表示して確認できます。後から削除したり、内容を変更することもできます。

「番組ナビ」を使うためには、あらかじめ、電子番組表の利用のための設定をしておく必要があります。

- 予約録画を行うときは、パソコンの時計（日付と時刻）を正しく設定してください。また、録画予約の実行中に、パソコンの時計を変更しないでください。

1 起動する

- ① リモコンの [HOME] ボタンを押す
「Qosmio AV Center」が起動します。



- ② リモコンの方向ボタンで [番組ナビ] を選択し、[決定] ボタンを押す

メモ

- 手順1の②で、リモコンの [番組ナビ] ボタンを押して、[番組ナビ] 画面を起動することもできます。

参照 「番組ナビ」の詳細「Qosmio AV Center」のヘルプ

「番組ナビ」画面が表示されます。「番組ナビ」画面には、「全チャンネルの一覧」と「チャンネル別」の2種類の表示形式があります。番組の「タイトル」「ジャンル」「キーワード」「出演者」*1から番組内容を検索することもできます。

*1 地上アナログ放送の場合

F30/77シリーズの場合は、手順3へ進んでください。

F30/79シリーズまたはF30/69シリーズでは、地上アナログ放送用の番組表と地上デジタル放送用の番組表が個別に用意されています。番組表の切替えは次のとおりです。

F30/79シリーズ、
F30/69シリーズのみ



2 リモコンの [地上アナログ] ボタンまたは [地上デジタル] ボタンを押す

地上アナログ放送用の番組表を表示したい場合は [地上アナログ] ボタンを、地上デジタル放送用の番組表を表示したい場合は [地上デジタル] ボタンを押します。

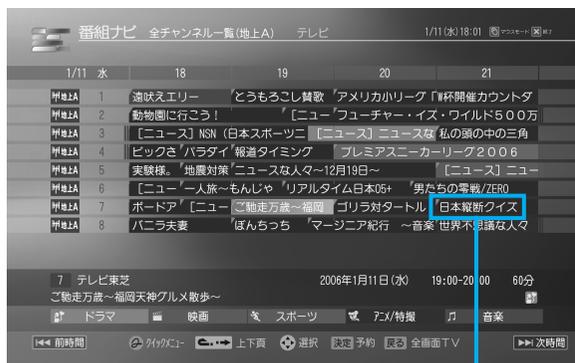
3

録画したい番組を選択する

リモコンの「頁(前)スキップ」ボタン／「頁(次)スキップ」ボタンを押すと、表示される時間を切り替えます。



参照 ▶ 「番組ナビ」画面の詳細
「Qosmio AV Center」のヘルプ



リモコンの「ワンタッチリプレイ」ボタンを押すとページの上に、「ワンタッチスキップ」ボタンを押すとページの下にスクロールします。

① リモコンの方向ボタンを押して番組を選択し、「決定」ボタンを押す

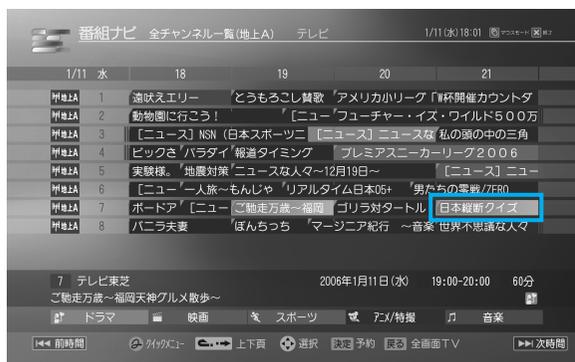
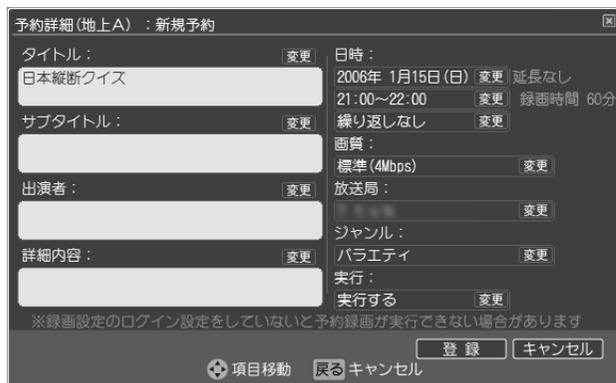
番組を選択すると、画面に番組情報が表示されます。さらに詳細な番組情報を確認することもできます。

「予約詳細」画面が表示されます。

4

予約内容を確認し、リモコンの「決定」ボタンを押す

内容を変更したい項目がある場合は、「決定」ボタンを押す前に変更してください。



「番組ナビ」画面に戻ります。録画予約した番組に色が付きます。

メモ

- 予約できる番組数は地上アナログ放送／地上デジタル放送それぞれ50番組までです。録画予約は録画開始日が62日先までできます。予約できる番組数は、メール予約など、他の方法で録画予約した番組数も含みます。

引き続き、他の番組の録画を予約したい場合は、手順3～4をくり返してください。これで予約ができました。

5

予約したい番組の設定がすべて終わったら、リモコンの [HOME] ボタンを押す

「Qosmio AV Center」のホーム画面に戻ります。

■録画予約が終わった後は■

録画予約の入力が終わったら、「Qosmio AV Center」を終了しておくこともできます。また、パソコンをスタンバイ、休止状態、電源オフの状態にした場合は、予約録画の開始時刻になると自動的にパソコンが起動して録画を実行します。

ログオフ状態のときに、自動的にパソコンを起動して録画を実行するためには、あらかじめWindowsのログオンパスワードの登録が必要です。

■録画予約が重複した場合■

録画時刻の重複する予約を実行すると、録画開始時刻が優先されます。「Qosmio AV Center」は、録画予約の「録画開始時刻」を見て次の録画を開始します。録画時刻が重複していると、番組が最後まで終了していても、次の予約録画の開始30秒前になると、今録画している番組の録画を終了し、次の録画を開始します。「録るナビ」などで録画予約の状況を確認し、録画時刻が重複しないようにしてください。

「録画開始時刻」が同じ場合は、先に登録された予約が優先されます。

なお、地上アナログ放送の番組と地上デジタル放送の番組の予約録画時刻が重複していても、両方の番組を同時に録画できます（W録）。

3

「おすすめサービス」から録画予約をする

「おすすめサービス」とはインターネットに接続することで番組録画予約をより簡単に楽しく使っていただくための機能です。

全国のQosmioと東芝製HDD&DVDレコーダのユーザが録画予約している番組を集計して、ジャンル別や時間帯別に録画予約ランキングを番組リストで表示し、録画予約することができます。

*「おすすめサービス」に表示されるのは地上アナログ放送の番組ですが、F30/79シリーズ、F30/69シリーズでは、対応する番組情報が取得できれば、地上デジタル放送の番組も録画予約することができます。

お願い

- 本サービスをご利用になるには、インターネットの常時接続環境が必要です。
- 本サービスをご利用になるには、iNET電子番組表をご利用いただく必要があります。
- 本サービスでは地上アナログ放送番組がおすすめ表示の対象となります（2006年7月現在）。
- 「おすすめサービス」の画面から地上デジタル放送の番組を録画予約する場合、「おすすめサービス」の画面に表示されている地上アナログ放送の番組の放送時間をもとに、地上デジタル放送の電子番組表を検索します。そのため、「予約詳細（おすすめ）」画面で「地上Dで登録」を実行しても、番組情報を取得できない場合や同一の番組が取得できない場合は、地上デジタル放送の番組を予約できないことがあります。

参照

「おすすめサービス」の設定
「Qosmio AV Center」のヘルプ

■準備■

「おすすめサービス」を使用するには、あらかじめ登録が必要です。

1 「Qosmio AV Center」を起動する



- ① リモコンの [HOME] ボタンを押す
「Qosmio AV Center」が起動します。



- ② リモコンの方向ボタンで [番組ナビ] を選択し、[決定] ボタンを押す

メモ

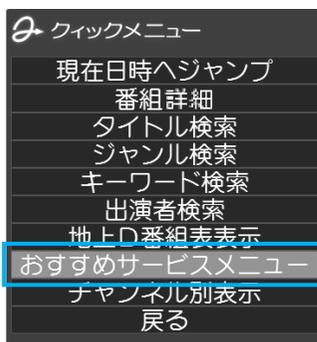
- 手順1の②で、リモコンの [番組ナビ] ボタンを押して、[番組ナビ] 画面を起動することもできます。

[番組ナビ] 画面が表示されます。

2 【おすすめサービスメニュー】を表示する



- ① リモコンの [クイックメニュー] ボタンを押す
「クイックメニュー」が表示されます。



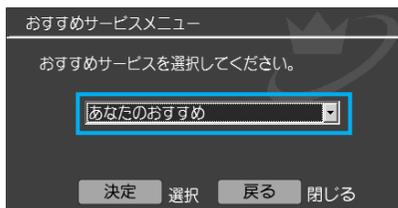
- ② リモコンの方向ボタンで [おすすめサービスメニュー] を選択し、[決定] ボタンを押す

(表示例)

[おすすめサービスメニュー] 画面が表示されます。

3 「おすすめサービス」を表示する

リモコンの方向ボタンで表示したいメニューを選択し、[決定] ボタンを押す



「おすすめサービス」にはいろいろなメニューがあります。これらは、インターネットに接続して番組録画予約をより簡単に楽しく使用していただくための機能です。毎日、サーバから次のようなサービスをご提供しています。

■録画予約ランキング■

iNET電子番組表を利用している全国のお客さまが録画予約している番組を集計し、最新のランキングを表示します。

■あなたのおすすめ■

毎日の録画履歴などを元にしてお客さまの好まれる番組の傾向を学習し、お客さまだけのおすすめ順に番組を検索して表示します。

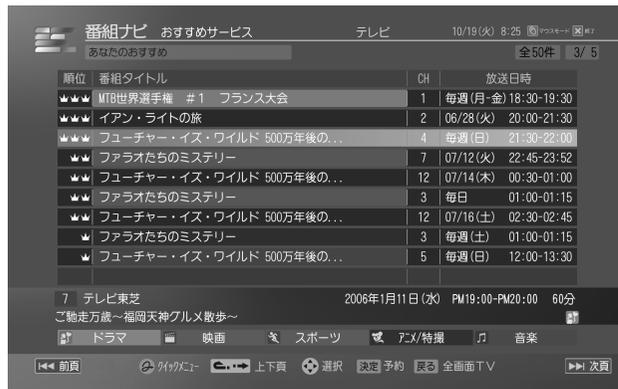
*本機能は、予約録画の履歴が無い場合は表示されません。

■みんなからのおすすめ■

iNET電子番組表を利用している全国のお客さまの予約状況を集計・比較し、お客さまのお好みと近い番組を検索して表示します。

表示したいメニューを選択してください。

「おすすめサービス」の、選択したメニューが表示されます。



参照 電子番組表の録画予約
「本項 2 電子番組表から録画予約する」

「おすすめサービス」からの録画予約の方法は、モデルによって異なります。

地上アナログ放送の場合は、電子番組表から録画予約する方法と同じです。

地上デジタル放送の場合（F30/79シリーズ、F30/69シリーズのみ）は、次の手順で行います。

F30/79シリーズ、F30/69シリーズで「おすすめサービス」から録画予約する

前項手順3以降の操作方法を説明します。

1 録画したい番組を選択する

① リモコンの方向ボタンを押して番組を選択し、[決定] ボタンを押す

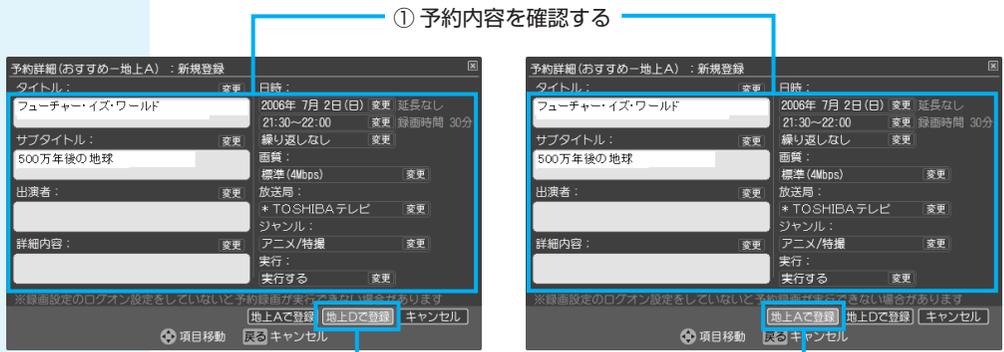


【予約詳細】画面が表示されます。

2 予約内容を確認し、録画したい放送の種類を選択する

■地上デジタル放送の場合■

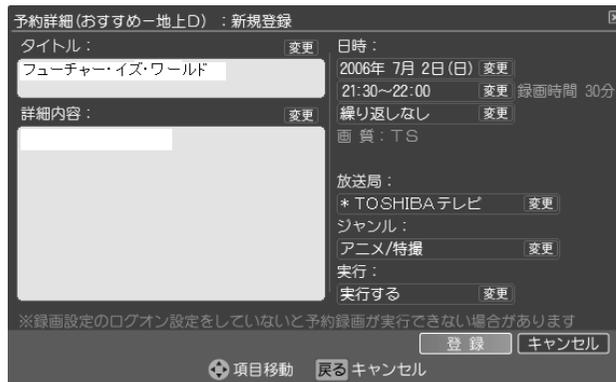
■地上アナログ放送の場合■



② [地上Dで登録] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押す

② [地上Aで登録] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押す

地上アナログ放送の場合は、ここまでで予約操作完了です。
地上デジタル放送の場合、地上デジタル放送で放送される番組の候補があるときは、次の画面が表示されます。続けて以降の操作を行ってください。

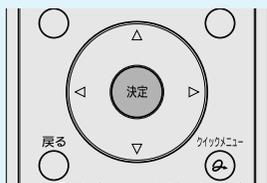


選択された番組の放送時間情報をもとに地上デジタル放送の電子番組表が検索され、対応する地上デジタル放送の番組が表示されます。
表示される地上デジタル放送の番組情報もとの番組と異なる場合があります。番組情報を確認してから予約してください。

3 予約内容を確認し、リモコンの [決定] ボタンを押す

これで地上デジタル放送の予約ができました。

「おすすめサービス」のランキングに表示されている地上アナログ放送の番組の放送時間情報を元に、地上デジタル放送の電子番組表を検索します。そのため、「地上Dで登録」を選択しても、番組情報を取得出来なかったり同一の番組が取得できなかった場合は、地上デジタル放送の番組を予約できないことがあります。




役立つ操作集

テレビサーフ連携

テレビサーフとは、東芝が提供するデジタル家電とネットワークサービスに連携した、テレビ番組の情報提供と録画予約をサポートするポータルサイトサービスです。

テレビサーフでは、ご利用中の携帯電話やパソコンからも、「Qosmio AV Center」に配信されるあなただけのおすすめ番組メニューや、録画予約ランキングをチェックできます。

テレビサーフについての詳しい情報は、テレビサーフWebサイト (<http://tvsurf.jp/>) をご覧ください。



The screenshot shows the TOSHIBA TVsurf website interface. The main content area features a "録画予約ランキング" (Recording Reservation Ranking) section. Below the heading, there are tabs for "地域で選ぶ" (Select by region), "時間帯で選ぶ" (Select by time zone), and "ジャンルで選ぶ" (Select by genre). The "全国ランキング" (National Ranking) is currently selected, displaying a table of programs.

順位	番組名	放送日	放送時間
1	初めに初めに!	06/26	21:00-22:09
2	丸藤サムライ(最終回)	06/29	22:00-23:09
3	フューリーの結核	06/27	21:00-22:04
4	世界の知らない	06/29	22:00-22:54
5	流石の先生-全和生先生登場	06/29	21:00-22:54

At the bottom of the screenshot, there is a copyright notice: "Copyright © 2005-2006 TOSHIBA CORPORATION, All Rights Reserved."

4

録画予約した内容を確認する

録画予約された番組は、「録るナビ」で確認できます。
地上アナログ放送用の録画予約を表示する画面と、地上デジタル放送用の録画予約を表示する画面が、個別に用意されています。
「録るナビ」で、録画予約の変更や取り消しもできます。

1

「Qosmio AV Center」を起動する

- ① リモコンの [HOME] ボタンを押す
「Qosmio AV Center」が起動します。



- 手順1の②で、リモコンの「録るナビ」ボタンを押して、「録るナビ」画面を起動することもできます。



- ② リモコンの方向ボタンで「録るナビ」を選択し、「決定」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。
F30/77シリーズの場合は、手順3へ進んでください。

2

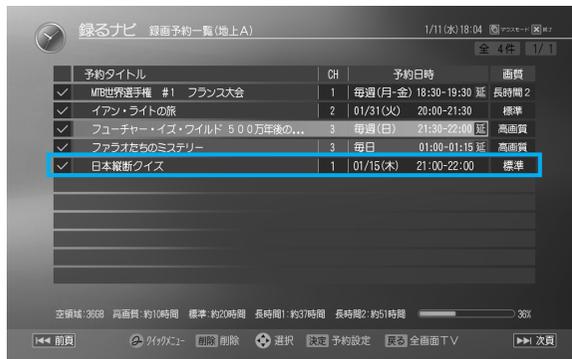
リモコンの「地上アナログ」ボタンまたは「地上デジタル」ボタンを押す

地上アナログ放送用の画面を表示したい場合は「地上アナログ」ボタンを、地上デジタル放送用の画面を表示したい場合は「地上デジタル」ボタンを押します。

F30/79シリーズ、
F30/69シリーズのみ



参照 ▶ 録画予約の変更、取り消しについて
「Qosmio AV Center」のヘルプ



「録るナビ」画面では、録画予約した番組を一覧で確認できます。

3

確認が終わったら、リモコンの [HOME] ボタンを押す
「Qosmio AV Center」のホーム画面に戻ります。



5 過去のシーンに戻って録画する（プレイバック録画）

メモ

- タイムシフトできる時間は最大9時間です。ハードディスクに番組内容を保存しますので、ハードディスクの空き容量によってタイムシフトできる時間は異なります。

* 地上アナログ放送のみ

テレビ番組を見て、「さっきのシーンを録画しておけばよかった。」と思ったときのために、「プレイバック録画（つまみ録り機能）」を行いましょう。プレイバック録画はタイムシフト（タイムスリップ機能）を開始しておくことで、過去のシーンに戻って録画することができる機能です。タイムシフト中は放送中のテレビ番組をハードディスクドライブ内に仮録画しておくため、過去のシーンに戻って、必要な部分や保存しておきたいシーンだけを「つまみ録り」録画することができます。



お願い

プレイバック録画を行うにあたって

- タイムシフト中にチャンネル変更はできません。
- プレイバック録画の「開始」と「終了」の時間表示は目安です。
- 本機能は、タイムシフト（タイムスリップ）を設定して仮録画した映像から、一部を切り取るための機能です。タイムシフト開始時から仮録画した映像すべてを保存したい場合は、本機能を使用する必要はありません。タイムシフト（タイムスリップ）停止時に仮録画した映像を保存できます。
- [タイムスリップ] ボタンを押してから、もう1度 [タイムスリップ] ボタンを押すまでの間、タイムシフト（タイムスリップ）を行い、番組データをすべてハードディスクに保存します。[早送り] ボタンや [ワンタッチスキップ] ボタンで映像の早送りをし、放送中の映像に追いついても、そのままタイムシフト（タイムスリップ）を継続します。
- 本製品には有寿命部品が含まれています。「Qosmio AV Center」で過去のシーンに戻って録画する場合、本体液晶ディスプレイやハードディスクユニットなどの有寿命部品が連続稼動になりますので、計画的なご利用をおすすめします。
なお、有寿命部品については、『セットアップガイド 6章 デイリーケアとアフターケア』をご覧ください。

1 「Qosmio AV Center」のマウスモードでテレビ視聴画面を表示する



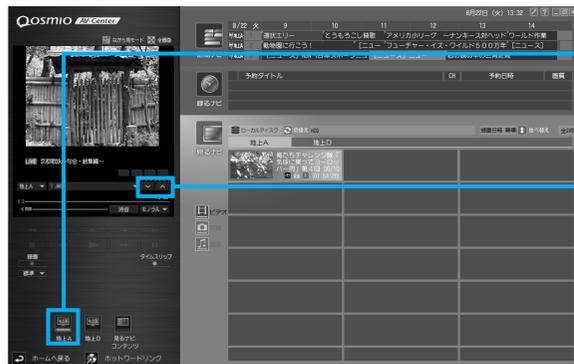
- ① リモコンの [HOME] ボタンを押す
「Qosmio AV Center」が起動します。



- ② タッチパッドまたはマウスで [TV] をクリック

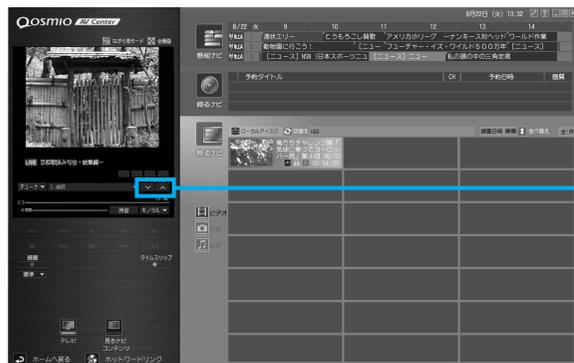
2 録画する番組を表示する

■F30/79シリーズ、F30/69シリーズの場合■
プレイバック録画ができるのは、地上アナログ放送のみです。



- ① [地上A] をクリック
- ② クリックして、チャンネルを選択する

■F30/77シリーズの場合■



- ① クリックして、チャンネルを選択する

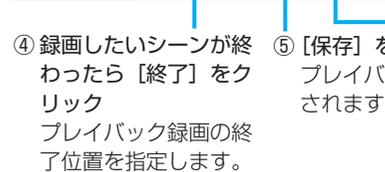
3 プレイバック録画（つまみ録り機能）を行う



① [タイムスリップ] をクリック
タイムシフト（タイムスリップ機能）が開始されます。放送内容は、ハードディスクに一時的に録画されます。



② [早戻し] をクリック
タイムシフト（タイムスリップ機能）を開始したシーンまで戻り、そこから自動的に番組が再生されます。



③ 録画を開始したいシーンが表示されている状態で、[開始] をクリック
プレイバック録画（つまみ録り機能）の開始位置を指定します。

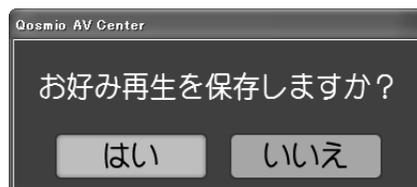
④ 録画したいシーンが終わったら [終了] をクリック
プレイバック録画の終了位置を指定します。

⑤ [保存] をクリック
プレイバック録画が開始されます。

⑥ [タイムスリップ] をクリック
タイムシフト（タイムスリップ機能）が終了します。

タイムシフトを終了すると、タイムシフト中に書き込んだ番組データを保存するか、消去するかを選択するメッセージが表示されます。

4 保存する場合は [はい]、保存しない場合は [いいえ] をクリックする



メモ

- 早戻しができるのは、タイムシフトを開始してから見ていた番組に限ります。それまで視聴していなかった番組について巻き戻して見ることはできません。
- 手順②の後や③の後で、「早送り」、「スロー再生」、「一時停止」もできます。
- 「一時停止」をクリックしてスライダを操作し、開始位置や終了位置の映像を探すこともできます。
- 録画したいシーンが複数ある場合は、手順③～⑤をくり返してください。

* 地上アナログ放送のみ

録画予約の録画実行中に用事が早く終わって帰宅したときなど、録画が終了するのを待たずに、番組の始めから録画内容の再生を始めたい。このようなときには、「追っかけ再生」ができます。

録画をしながら、すでに録画したシーンの最初から再生できます。または、早送りして再生をして、リアルタイム（ライブ）の放送に追いつくこともできます。「録画」は、録画を停止するまで、または録画予約した番組の録画終了時刻になるまで、継続します。



お願い

追っかけ再生を行うにあたって

- 「追っかけ再生」中にハードディスクの空き容量がなくなると録画は停止しますが、録画された分までは追っかけ再生を続けます。空き容量がない場合は録画ができないので、「追っかけ再生」も動作しません。
- 「追っかけ再生」の再生画像が画面に出るまでに、時間がかかることがあります。
- 「追っかけ再生」では、実際の放送位置には追いつきません。見ている映像は、実際の放送よりも数秒遅れがあります。
- ディスクの記録状態によっては、再生画像が数秒間後戻りしたり、一時停止することがあります。

1

「Qosmio AV Center」で地上アナログ放送の番組を録画する

参照 「本項-1 放送中のテレビ番組を録画する」

参照 「本項-2 電子番組表から録画予約する」

2

録画中に、リモコンの【タイムスリップ】ボタンを押す

録画している番組の先頭から再生が始まります。早戻しができるのは、現在録画中の番組に限ります。それまで視聴していなかった番組や、すでに録画した別の番組については、早戻しして見ることはできません。

「早戻し」、「早送り」、「スロー再生」、「一時停止」を行うこともできます。早送りができるのは、録画している実際の放送の数秒前までです。



3 追っかけ再生を終了するとき、リモコンの【タイムスリップ】ボタンを押す



タイムシフトが終了されます。
画面が放送中のライブ映像（録画中）に戻ります。
「録画」は、録画を停止するまで、または録画予約した番組の録画終了時刻になるまで、継続します。

2 QosmioPlayerで録画する

* 地上アナログ放送のみ

ここでは、「QosmioPlayer (TV)」を使ってテレビ番組を録画する方法について説明します。

1 テレビ番組を録画する

「QosmioPlayer (TV)」で録画したテレビ番組は、録画タイトルとしてライブラリに登録されます。登録できるのは50件までです。

1 「QosmioPlayer (TV)」でテレビ視聴画面を表示する

参照 「6-2」
QosmioPlayerでテレビを見る」



2 番組を見ながら、録画したいシーンでリモコンの【録画】ボタンを押す

画面に録画アイコン（●）が表示され、録画が開始されます。

メモ

- 録画中は、他の番組を視聴することはできません。



3 録画を停止したいシーンで、リモコンの【停止】ボタンを押す 録画を停止します。

お願い

「QosmioPlayer (TV)」での録画にあたって

- テレビ映像の録画中は、「QosmioPlayer (TV)」を終了しないでください。
- テレビ映像の録画中は、「QosmioPlayer (CD)」や「QosmioPlayer (DVD)」への切替えができません。
- ハードディスクに録画用の空き容量がない場合はメッセージが表示され、録画は開始されません。
- すでにライブラリに録画タイトルが50件ある場合、録画はできません。
- 外部入力機器からコピープロテクトがかかった映像を録画すると録画データの映像が単色に塗りつぶされます。

2 追っかけ再生

参照 追っかけ再生について
「本節 ①-6 追っかけ再生」



録画中にタイムスリップを開始しておく、録画しながら、タイムスリップを開始したシーンに戻って再生できます。録画が終了していなくても、録画した映像を見ることができて便利です。

■映像をタイムスリップする■

録画中に、[タイムスリップ] ボタンを押してください。

画面に追っかけ再生アイコン () が表示されます。

[表示] ボタンを押して、情報を常時表示している状態にすると、画面左上にタイムスリップを開始してからの時間のカウンタと録画時間のカウンタが表示されます。

■見たいシーンに戻る■

タイムスリップ開始後、[早戻し] ボタンを押してください。

■追っかけ再生を停止する■

[タイムスリップ] ボタンを押してください。

停止すると、録画中の映像に戻ります。

追っかけ再生は、録画中の映像に完全に追いつくことはできません。早送り、スキップは、録画中の映像の2～3秒手前に戻ります。

3 録画タイトルのバックアップ

お願い

●ハードディスクや外部記憶メディアに保存しているデータは、万一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。

ハードディスクや外部記憶メディアに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いません。

参照 「9-②- 2 Windows上で再生する／DVDに残す」

録画タイトルは、ハードディスク上にあるQosmioPlayer領域の中の録画領域に保存されています。

録画タイトルのバックアップをとるには、録画タイトルをWindowsに転送してから、Windows上でバックアップをとってください。

録画タイトルをWindowsに転送するには、「QosmioPlayer転送ユーティリティ」を使います。

参照 「12 映像を編集してDVDに残す」

Windowsに転送した録画タイトルをDVDに残すには、「DVD MovieWriter」を使います。

録画設定

* 録画中は、録画設定を選択できません。録画を停止してから設定してください。



テレビ設定メニューで、テレビ映像を録画するための設定ができます。次のように操作して、テレビ設定メニューを起動できます。

1 リモコンの [設定] ボタンを押す

[テレビ設定メニュー] 画面が表示されます。

録画設定

■録画モード■

テレビ映像を録画するとき、どのような画質で録画するかを設定します。[テレビ設定メニュー] 画面で、[録画設定] → [録画モード] を選択してください。メニューが表示され、次のいずれかを設定できます。

録画モード	ビットレート	画質	録画可能時間
● 高画質	約8Mbps	高	約5時間00分
● 標準 (標準値)	約4Mbps	↓	約9時間50分
● 長時間	約2Mbps	低	約18時間30分

録画できる時間は、テレビ設定メニューに表示されます。録画可能な時間は、あくまでも目安であり、実際の録画時間とは異なる場合があります。

1タイトルの最長録画時間は約180分ですので、180分を経過すると録画は停止します。

最大50タイトルまで録画することができますが、ハードディスクの空き容量により、録画できるタイトル数は異なります。

■HDDフォーマット■

録画したすべてのテレビ映像を消去します。HDDフォーマットを実行すると、今までに「QosmioPlayer」でハードディスクに録画した番組（QosmioPlayer領域にある録画データ）はすべて消失します。よく確認してから実行してください。

[テレビ設定メニュー] 画面で、[録画設定] → [HDDフォーマット] を選択してください。確認のメッセージが2度表示され、2度とも [はい] を選択するとフォーマットが実行されます。

③ DVDに直接録画（DVDダイレクト録画）する

DVDダイレクト録画ができるのは、地上アナログ放送のみです。

「DVD MovieWriter」では、パソコンでテレビを見ながら、番組をDVDに直接録画（DVDダイレクト録画）することができます。デジタルビデオカメラ、ビデオデッキやその他の映像機器の映像を直接ダビングすることもできます。ここでは、テレビ番組をDVDに直接録画する方法について説明します。

お願い

メモ

- 直接録画をする前に、「付録2-5 DVDへの直接録画について」をよくお読みください。
- あらかじめ「QosmioPlayer」や「Qosmio AV Center」でテレビが見られることを確認してください。
- デジタルビデオカメラ、ビデオデッキやその他の映像機器をパソコンに接続して、映像をDVDに直接ダビングすることもできます。手順1で機器をパソコンに接続し、手順7で映像を再生しながら録画してください。機器の接続方法については、『ビデオデッキなどに付属の説明書』を確認してください。テレビ番組を直接録画するときは、デジタルビデオカメラを接続しないでください。

DVDへの直接録画について

- サポートしているメディアと、書き込みできるフォーマットは次のとおりです。
 - ・ DVD-RAM : -VRフォーマット
 - ・ DVD-RW : DVD-Videoフォーマット、-VRフォーマット、+VRフォーマット
 - ・ DVD+RW : DVD-Videoフォーマット、+VRフォーマット
 - ・ DVD-R*1、DVD+R*2 : DVD-Videoフォーマット

*1 DVD-R DLを含みます。
*2 DVD+R DLを含みます。
- 直接録画できる時間は、録画品質によって異なります。品質は、手順7の形式で選択してください。それぞれの品質で、4.7GBのDVDに録画できる時間の目安は次のとおりです。
 - ・ DVD-HQ（品質高） : 最大約60分
 - ・ DVD-GQ（品質良） : 最大約90分
 - ・ DVD-SP（標準再生） : 最大約120分
 - ・ DVD-LP（長時間再生） : 最大約180分
 - ・ DVD-EP（拡張再生） : 最大約240分ディスクがいっぱいになると録画は停止します。ディスク容量を超えるような長時間録画を行う場合は、「本節① Qosmio AV Centerで録画する」を確認して「Qosmio AV Center」でハードディスクに録画してください

1 テレビアンテナを、アンテナF型変換ケーブルを使ってパソコンに接続していることを確認する

接続方法と使用上の注意については、「3 テレビアンテナを接続する」を確認してください。

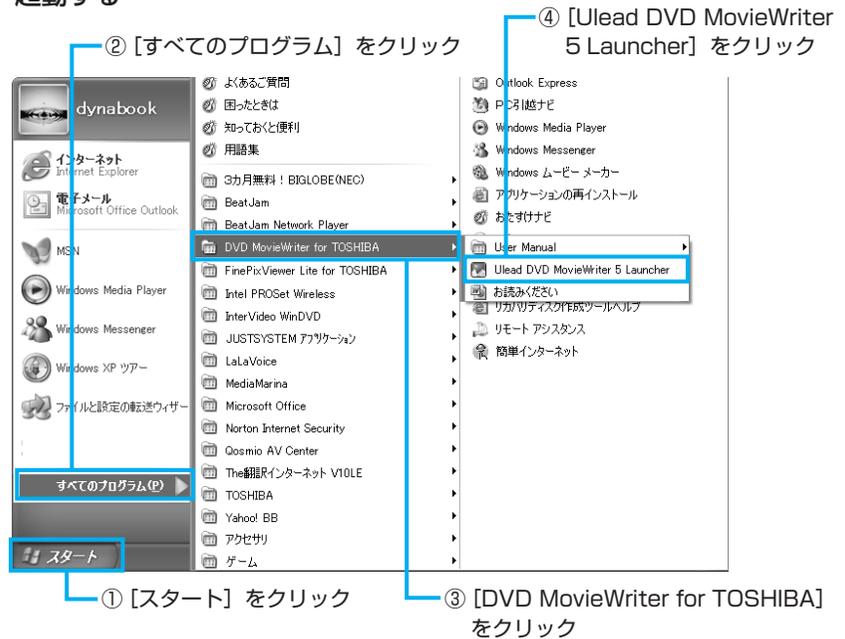
2 Windowsが起動している状態で、ドライブにDVDをセットする

DVDが自動的に中に吸い込まれるまで押しください。



3 起動する

はじめて起動したときは、[ユーザー登録] 画面が表示されます。インターネットに接続できない場合や後で登録したい場合は、[後で登録] ボタンを、インターネットに接続している場合は、[今すぐ登録] ボタンをクリックしてください。



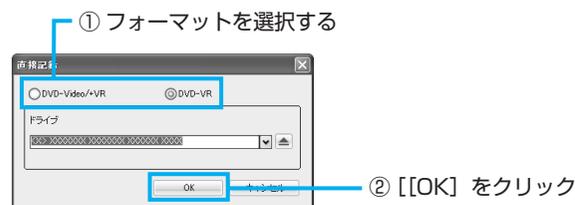
「DVD MovieWriter」が起動します。

4 [DVDに直接録画] をクリックする



5 フォーマットを選択する

セットしたメディアによっては、フォーマットが決まっています。その場合は、内容を確認してください。



「ディスクフォーマットが適切ではありません。」というメッセージが表示された場合は、フォーマットが必要です。フォーマットを行ってから直接録画に使用してください。はじめて起動したときやDVDをセットしている場合は、設定を行う画面が表示されず。2回目以降の起動で設定を行っている場合やDVDをセットしていない場合は、[ビデオからディスクに書き込む] 画面が表示されます。手順7に進んでください。

6



メモ

- F30/79シリーズ、F30/69シリーズで地上デジタル放送の録画はできません。

テレビの設定を行う

最初に地上アナログ放送のチャンネル設定を行います。チャンネルの設定は、スキャンを開始すると自動的に行われます。チャンネルの設定は、放送のある時間帯に行ってください。

① [OK] をクリック



② [アンテナ] をチェック



③ [スキャン開始] をクリック

④ [OK] をクリック

■ 次の画面が表示された場合 ■

セットしたメディアによっては、レコーディング形式を選択する画面が表示されます。

参照

レコーディング形式
「12-書き込み可能な
メディア」

⑤ レコーディング形式を選択



⑥ [OK] をクリック

7 DVDに残したい映像や番組を選んで、書き込むときの設定を行う

[ビデオからディスクに書き込む] 画面で、DVDに映像を取り込むときの設定を行います。

表示される項目は、セットしたメディアによって異なります。各項目の詳細は、「DVD MovieWriter」のヘルプを参照してください。

【ソース】

DVDに書き込む映像を選択します。

テレビ番組を録画する場合 [アナログTV]

デジタルビデオカメラから取り込む場合 [DV]

HDV規格対応ビデオカメラから取り込む場合... [HDV]

【デュレーション】

キャプチャの長さ（録画時間）を設定します。

【TVチャンネル】

[ソース] で [アナログTV] を選択した場合、DVDに録画する番組を選択します。

チャンネルがない場合は [TVマネージャ] ボタンをクリックし、設定しなおします。

【ナビゲーションコントロール】

[ソース] や [TVチャンネル] で選択した映像や番組を表示します。

[ソース] で [DV] を選択した場合は画面下のボタンでデジタルビデオカメラの再生や停止などを行うことができます。



【書き込みオプション】

DVDに書き込むときの設定を行う画面が表示されます。

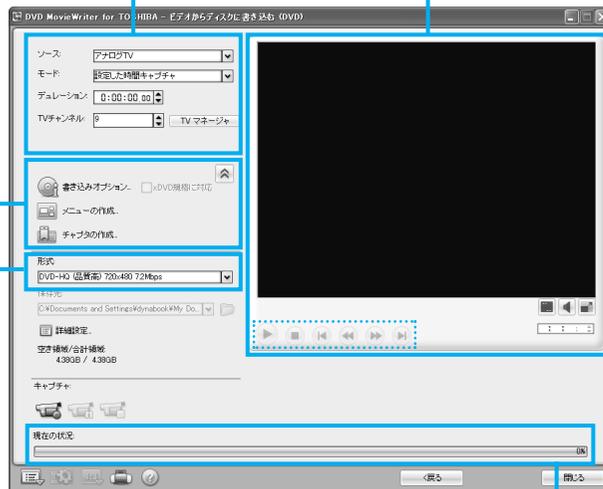
【メニューの作成】

DVDのメニュー画面を作成します。

【チャプタの作成】

チャプタを自動的に追加します。

【メニューの作成】と【チャプタの作成】は設定後、もう1度クリックすると、設定をしなおしたり、設定を削除したりすることができます。



【形式】

録画品質を選択します。

- ・ DVD-HQ (品質高) 720×480 7.2Mbps
- ・ DVD-GQ (品質良) 720×480 5.5Mbps
- ・ DVD-SP (標準再生) 352×480 3.6Mbps
- ・ DVD-LP (長時間再生) 352×480 2.4Mbps
- ・ DVD-EP (拡張再生) 352×480 1.6Mbps

【現在の状況】

書き込みなどの作業の進行状況を表示します。

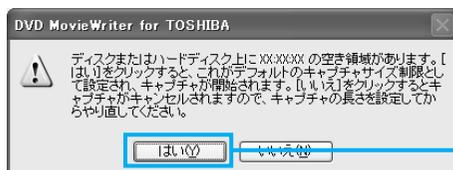
8 DVDへの書き込みを開始する

キャプチャ:



① [キャプチャを開始] をクリック

[デュレーション] でキャプチャの長さを設定していない場合は、メッセージが表示されます。内容を確認してください。



② [はい] をクリック

DVDへの書き込みが始まります。書き込みを開始すると画面下の「現在の状況」に、パソコンの状態とDVDの容量が表示されます。



9 DVDへの書き込みを終了する

DVDへの書き込みを終了します。

キャプチャ:



[キャプチャ停止] をクリック

■メッセージが表示された場合■

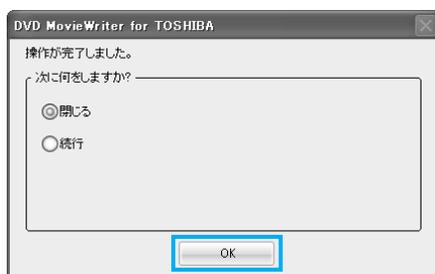
書き込んだメディアによってはメッセージが表示されます。内容を確認してください。



[はい] をクリック

DVDに最終処理を行います。「現在の状況」に処理の進行状況が表示されます。DVDの書き込みが終了すると、メッセージが表示されます。

10 [OK] をクリックする



直接録画が終了し、ドライブからディスクが半分くらい出てきます。

9

録画した番組を再生する

ここでは、録画したテレビ番組を再生する方法を説明します。

① Qosmio AV Centerで再生する

ここでは、「Qosmio AV Center」で録画したテレビ番組を再生する方法を説明します。録画したテレビ番組は、「見るナビ」画面から探すことができます。F30/79シリーズ、F30/69シリーズの「見るナビ」では、地上アナログ放送で録画した番組と地上デジタル放送で録画した番組を個別に管理しています。

1 起動する

- ① リモコンの [HOME] ボタンを押す
「Qosmio AV Center」が起動します。



- ② リモコンの方向ボタンで [見るナビ] を選択し、[決定] ボタンを押す

「見るナビ」画面が表示されます。
F30/77シリーズの場合、手順3へ進んでください。

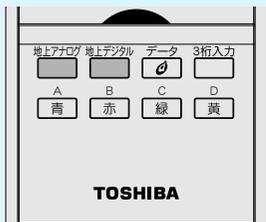
メモ

- 手順1の②で、リモコンの [見るナビ] ボタンを押して、「見るナビ」画面を起動することもできます。

F30/79シリーズ、
F30/69シリーズのみ

2 リモコンの [地上アナログ] ボタンまたは [地上デジタル] ボタンを押す

地上アナログ放送で録画した番組用の画面を表示したい場合は [地上アナログ] ボタンを、地上デジタル放送で録画した番組用の画面を表示したい場合は、[地上デジタル] ボタンを押します。



参照 ▶ 「見るナビ」画面の詳細について「Qosmio AV Center」のヘルプ



「見るナビ」画面では、録画した番組を一覧で確認できます。



3 リモコンの方向ボタンで録画番組を選択し、[決定] ボタンを押す
ページを切り替える場合は、リモコンの [頁 (前) スキップ] または [頁 (次) スキップ] を押してください。

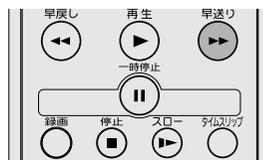
画面全体に、録画した番組が再生されます。

役立つ操作集

約1.5倍速で再生する (早見早聞)

「Qosmio AV Center」の「早見早聞」機能を使うと、約1.5倍速で早送り再生ができます。このとき、音も約1.5倍で再生されます。

早見早聞機能を使って約1.5倍速の早送り再生をする場合は、本項「Qosmio AV Centerで再生する」の手順3の後 [早送り] ボタンを押してください。



参照 レジューム機能、番組の頭出し機能について「Qosmio AV Center」のヘルプ

■前回停止した位置から再生する (レジューム機能) ■

「Qosmio AV Center」では、録画番組 (ビデオ) の再生を中断し、途中までしか再生していない状態のとき、中断した場所を覚えています。次回の再生時に、前回再生を停止した位置から再生を開始します。

ハードディスクへの記録内容や状態などの条件によって、タイトルやディスクの先頭から再生が始まるなど、再生位置が異なることがあります。

レジューム機能を使わず、最初から見たいときは、「番組の頭だし」機能を使ってください。

② QosmioPlayerで再生する

* 地上アナログ放送のみ

「QosmioPlayer (TV)」で録画したテレビ番組を再生するには、次の方法があります。

- **ライブラリから再生する**
「QosmioPlayer (TV)」上で再生する方法です。
- **Windows上で再生する**
「QosmioPlayer (TV)」で録画したテレビ番組を、Windows上で再生することができます。
録画したテレビ番組をDVDに残したい場合は、Windows上で再生する方法を利用します。

1 ライブラリから再生する

ここでは、ライブラリに登録された録画タイトルを、「QosmioPlayer (TV)」で再生する方法を説明します。

ライブラリには、録画タイトルが一覧表示されます。録画タイトルには、チャンネル、録画開始日時、録画時間、画質が表示されます。また、録画中の録画タイトルには録画アイコン (●) が表示されます。録画タイトルは、新しいものが上から順に表示されます。

ライブラリには、録画タイトルの保存に使用できる、ハードディスクの空き容量と総容量も表示されます。

参照 「6-② QosmioPlayerでテレビを見る」

1 「QosmioPlayer (TV)」でテレビ視聴画面を表示する



2 リモコンの「見るナビ」ボタンを押す

ライブラリが表示されます。

3 リモコンの方向ボタンで録画タイトルを選択する



(表示例)

4 リモコンの「再生」ボタンを押す

録画した番組が、パソコンの本体液晶ディスプレイに表示されます。

■録画した番組の再生について■

- モノラル音声を録画した場合は、左チャンネルと右チャンネル両方に同じ音声が記録されます。
- ニヶ国語放送を録画した場合、再生音は「主音声」と「副音声」が同時に出力されますので、リモコンの「音多」ボタンまたはキーボードの[A]キーを押して、出力する音声を選択してください。
- 録画タイトルの再生中は、「主」「副」の表示は行われません。ニヶ国語放送およびモノラル放送を録画したタイトルでも「L」「R」で表示されます。

2 Windows上で再生する/DVDに残す

「QosmioPlayer (TV)」で録画したテレビ番組を、Windows上のアプリケーションで再生したり、編集してDVDに残したりするには、ライブラリに登録されている録画タイトルを、Windowsに転送する必要があります。

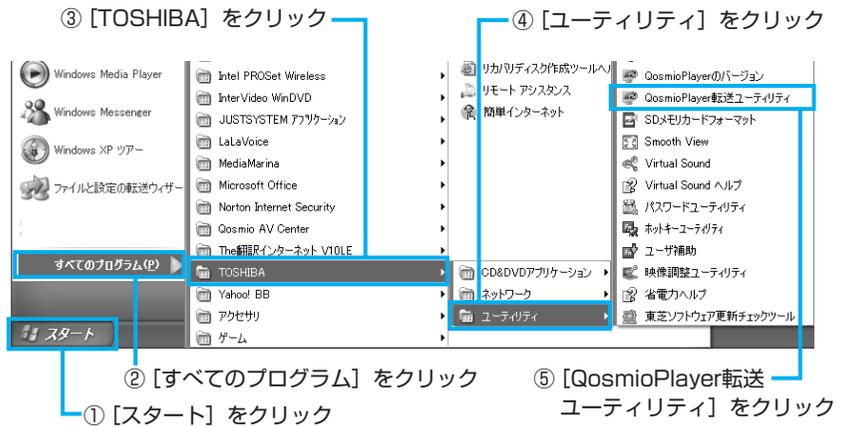
◆録画データをWindows上へ転送する

転送には、「QosmioPlayer転送ユーティリティ」を使います。
録画タイトルはMPEGファイルとして転送されます。

お願い

- 録画データの転送中は、スタンバイや休止状態にしないでください。
- バッテリー駆動で使用中に録画データの転送を行うと、バッテリーの消耗などによって転送に失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。
- 録画データの転送を行う場合は、コンピュータの管理者アカウントが必要です。必ず、コンピュータの管理者アカウントでログオンしてから、録画データの転送を行ってください。
- ハードディスクを頻繁に使うアプリケーション（「ディスクデフラグ」など）を録画データの転送中に使用しないでください。録画データの転送に失敗する場合があります。
- 「QosmioPlayer転送ユーティリティ」で削除した録画データを復元することはできません。削除する前に、よく確認してから行ってください。

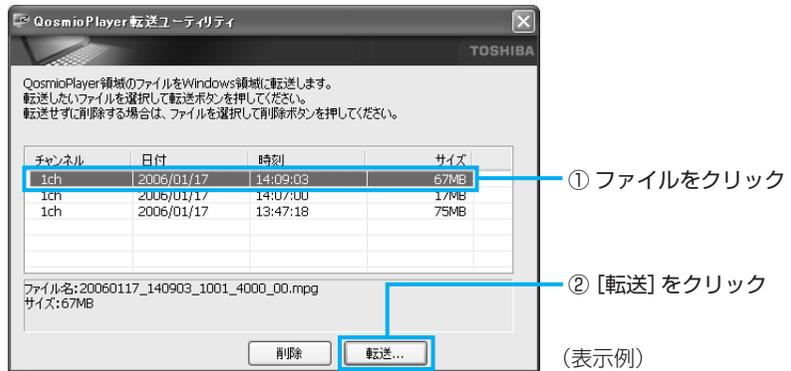
1 Windows上で、「QosmioPlayer転送ユーティリティ」を起動する



2 転送するファイルを選択する



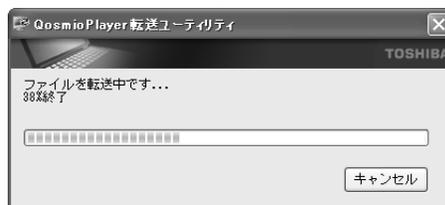
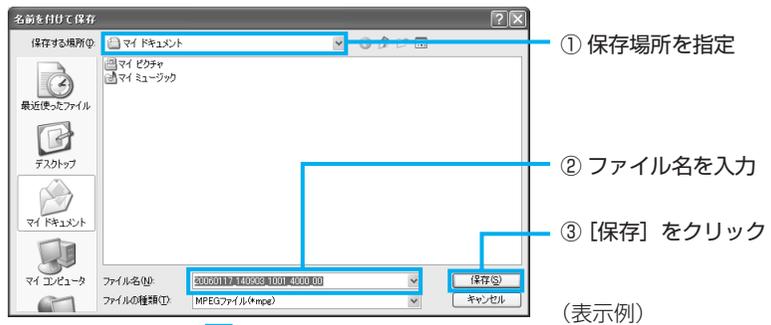
- [QosmioPlayer転送ユーティリティ] 画面でファイル名を選択し、[削除] ボタンをクリックすると、「QosmioPlayer」のライブラリから録画データを削除できます。削除した録画データを復元することはできませんので、よく確認してから行ってください。



3 保存場所を指定する



- ご購入時の状態では、保存場所は「マイドキュメント」に指定されています。



ファイルの転送が開始され、「ファイルを転送中です... ××%終了」というメッセージと進行状況が表示されます。

中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。「ただいまファイルを転送中です。終了しますか？」というメッセージが表示されます。転送を中止する場合は [はい] ボタン、中止するのをやめる場合は [いいえ] ボタンをクリックしてください。録画データの転送を途中で中止した場合は、途中まで転送したファイルが保存されます。

終了すると、「転送が完了しました。転送元のファイルを削除しますか？」というメッセージが表示されます。

4 転送元のファイルを削除する場合は [はい] ボタン、削除しない場合は [いいえ] ボタンをクリックする

メモ

- 録画データの転送に失敗した場合は、再度転送を実行してください。



[はい] ボタンをクリックすると、「QosmioPlayer」のライブラリから録画データが削除されます。削除した録画データを復元することはできませんので、よく確認してから行ってください。

[QosmioPlayer転送ユーティリティ] 画面に戻ります。続けて、別のファイルの転送を行う場合は、手順2から操作を繰り返してください。ファイルの転送を終了する場合は、[閉じる] ボタンをクリックしてください。

「QosmioPlayer転送ユーティリティ」の問い合わせは、東芝PCあんしんサポート（巻末参照）へお願いいたします。

◆ 転送した録画データを再生する

参照 「見るナビ」への取り込み
「Qosmio AV Center」のヘルプ

参照 「見るナビ」からの再生
「本節 ① Qosmio AV Centerで再生する」

参照 「12 映像を編集してDVDに残す」

Windowsに転送した録画データをWindows上で再生するには、「Qosmio AV Center」を使います。「Qosmio AV Center」の「見るナビ」で、クイックメニューから「新規登録」を選択し、録画データを「見るナビ」に取り込んでください。

◆ DVDに残す

Windowsに転送した録画データをDVDに残すには、「DVD MovieWriter」を使います。

3

ライブラリから録画タイトルを削除する

お願い

- 削除した録画タイトルを復元することはできません。削除する前に、よく確認してから行ってください。

録画したテレビ映像のタイトルを削除するには、次のように操作してください。録画中のタイトルは、削除することができません。録画をいったん停止してから削除してください。

1

ライブラリを表示する

参照

ライブラリの表示
「本項-1 ライブラリ
から再生する」



2

リモコンの方向ボタンで削除するタイトルを選択し、[決定] ボタンを押す



(表示例)



メモ

- リモコンの方向ボタンで削除するタイトルを選択し、[削除] ボタンを押しても削除することができます。

3

リモコンの方向ボタンで [削除] を選択し、[決定] ボタンを押す



4

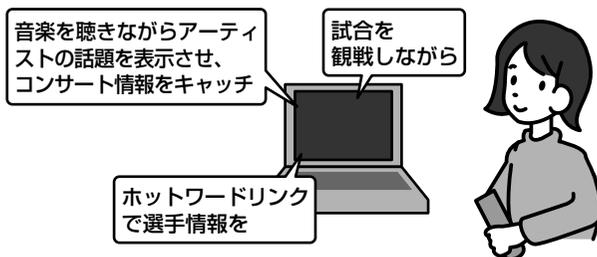
リモコンの方向ボタンで [はい] を選択し、[決定] ボタンを押す



選択したタイトルが削除されます。

「Qosmio AV Center」では、テレビや新聞で話題になっている最新の言葉（キーワード）がわかりやすく一覧表示され、簡単な操作により、インターネットで調べることができます。

テレビ番組を観たり録画したりする合間に気になるキーワードをクリックして、さまざまな情報を閲覧して楽しむことができます。この機能を、「ホットワードリンク」と呼びます。



参照 電子番組表について「7-① 電子番組表を利用するには」

ホットワードリンクは、iNET電子番組表を利用できる状態と同じ設定で、利用できます。

お願い

- 本サービスを利用するには、インターネットに常時接続しておく必要があります。
- 本サービスの内容は予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本サービスは、お客様への予告なく一時停止したり、終了する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1 ホットワードリンクを起動する

1 「Qosmio AV Center」を起動する

- ① リモコンの [HOME] ボタンを押す
「Qosmio AV Center」が起動します。



- ② リモコンの方向ボタンで [ホットワードリンク] を選択し、[決定] ボタンを押す

ホットワードリンクのキーワードリストが表示されます。

メモ

- [ホットワードリンク] ボタンはマウスモードのプレイヤー画面や [ながら見モード] 画面にもあります。ホーム画面と同様に、[ホットワードリンク] ボタンをクリックしてホットワードリンクを起動することができます。

地デジ
放送 パソコン テレビ インターネット

HD DVD
高画質 新作 映画

ホットワードリンクのリスト画面は、変更になる可能性があります。本画面は例としてご覧ください。

(表示例)



表示されているリストから興味のあるキーワードをクリックすると、それに関する情報が表示されます。

地デジ パソコン の検索結果: 10,305件 (1-10件を表示) ... 次ページ

NEWS

東芝から「ホットワードリンク」搭載パソコン発売

[地デジをパソコンで観る: 地デジ対応パソコンの購入・利用方法...](#)

地上デジタル放送(地デジ)に対応したパソコンが各社から次々と発売されている。テレビをPCで楽しむ時代です。PCで楽しむ上では、...

[http://www3.toshiba.co.jp/pc/sample/digital/...](http://www3.toshiba.co.jp/pc/sample/digital/)

[地デジパソコンで、インターネットを観る...](#)

東芝の地デジ対応パソコン Qosmio(コスミオ)に「ホットワードリンク」が搭載されました。旬な話題のキーワードを表示し、そこからインターネットの検索サービスで楽々情報検索...

[http://www3.toshiba.co.jp/pc/qosmio/sample/hw/...](http://www3.toshiba.co.jp/pc/qosmio/sample/hw/)

[地デジワンセグ、地上アナログ放送対応パソコン...](#)

地上デジタル放送 - 地デジ - は、従来までの地上アナログ放送とことなり、デジタルの特長を生かした高精細な画面が必要となります。パソコンでは、...

[http://www3.toshiba.co.jp/pc/smp/1chideji/hw/...](http://www3.toshiba.co.jp/pc/smp/1chideji/hw/)

(表示例)



役立つ操作集

もっとたくさんの情報を見る

ホットワードリンク画面から、連動するWebサイト「テレビサーフ」へのリンクをクリックしてください。より多くの情報が表示されます。

録画した映像をDVDに移す

F30/79シリーズ、
F30/69シリーズのみ

「Qosmio AV Center」では、地上デジタル放送を録画したデータを、DVD-RAMに保存（移動／ムーブ）することができます。

地上デジタル放送以外の映像データをDVDにする方法は、「12-① 録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」を参照してください。

① 録画した映像をDVDにする



メモ

- 移動（ムーブ）機能を実行する前に、「付録2-4「Qosmio AV Center」の使用にあたって」をよくお読みください。

CPRM（Content Protection for Recordable Media）という著作権保護技術に対応したDVD-RAMにのみ、移動（ムーブ）ができます。

Qosmio AV Centerでは、地上デジタル放送の著作権が保護されたデータ（コピーワンス）を、通常のテレビと同じSD解像度（720×480）に変換してDVD-RAMに記録します。作成したDVD-RAMはDVD-VR形式になります。

録画データをDVDに移動（ムーブ）する前に、「付録2-4- 地上デジタル放送の録画ファイルのDVD移動に関する注意事項」をよくお読みください。

1 マウスモードで「見るナビ」画面を表示する

- ① リモコンの [HOME] ボタンを押す
「Qosmio AV Center」が起動します。



- ② タッチパッドまたはマウスで「見るナビ」をクリック

「見るナビ」画面が表示されます。

2 「地上デジタル」を選択する

参照

「見るナビ」画面の詳細について「Qosmio AV Center」のヘルプ

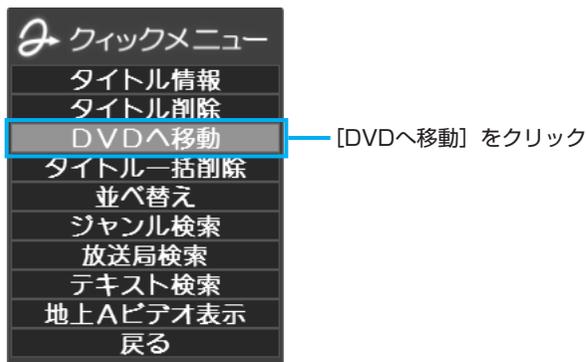


「見るナビ」画面では、録画した番組を一覧で確認できます。

- ① 「地上D」をクリック

「見るナビ」(ビデオ)が表示されていない場合は、「見るナビ」の「ビデオ」をクリックしてください。
地上アナログ放送用の「見るナビ」(ビデオ)が表示されている場合は、「地上D」タブをクリックしてください。

3 保存したい録画番組上で右クリックし、表示されたクイックメニューから「DVDへ移動」をクリックする



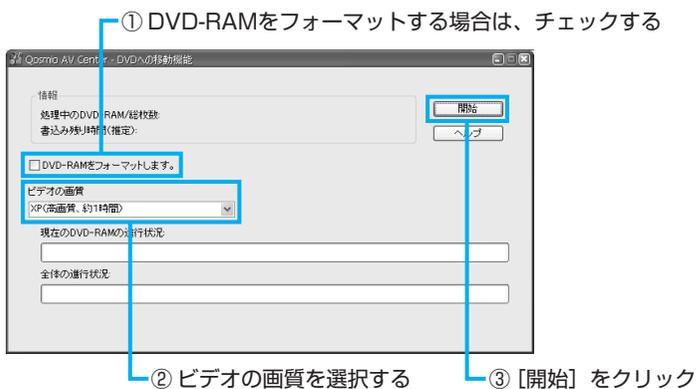
[本機能の説明と使用する上でのご注意] 画面が表示されます。必ず画面の内容をよくお読みのうえ、「OK」をクリックしてください。

クイックメニューの「DVDへ移動」を実行すると、「見るナビ」から番組データが削除されます。録画データの移動(DVDへの書き込み作業)を開始しなかった場合は、表示は元に戻ります。

4 画質を選択する

参照

操作の詳細については、画面上の「ヘルプ」ボタンをクリックして表示されるヘルプを参照してください。



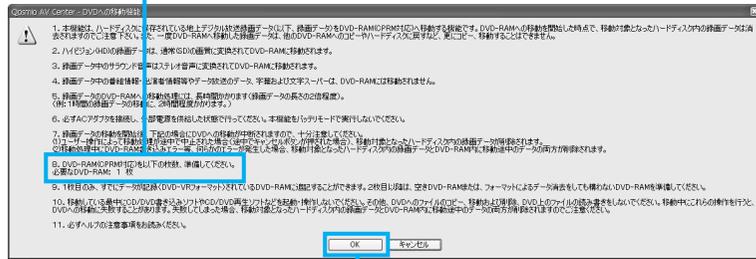
ビデオの画質は、次の中から選択できます。

- XP (高画質、約1時間) : 一番高画質で、1枚のディスクに約1時間収録が可能
- SP (標準画質、約2時間) : 標準的な画質で、1枚のディスクに約2時間収録が可能
- LP (長時間、約3時間30分) : 画質を落とし、1枚のディスクに約3時間30分収録が可能

5 DVDの枚数を確認する

表示された画面の内容をよくお読みください。

① 8項を確認し、表示された枚数のDVDを用意する

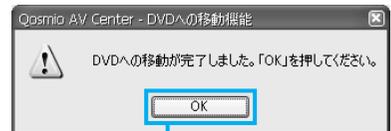
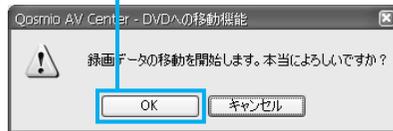


② [OK] をクリック

6 データをDVDに移す

移動（ムーブ）開始の確認画面が表示されます。

① [OK] をクリック



② [OK] をクリック
移動が完了します。

移動中の状態を示す画面が表示されます。



移動（ムーブ）機能でDVDへ移したデータは、「InterVideo WinDVD」で再生してください。

12

映像を編集してDVDに残す

メモ

- 映像を編集する前に、「付録2-8 テレビ番組の取り込みについて」「付録2-9 「DVD MovieWriter」の使用にあたって」をよくお読みください。

DVDメニューとは

DVDをセットしたときに表示されるタイトル画面のことです。

映像を編集してDVDに残すには、Windows上で動作する「DVD MovieWriter」を使います。

地上アナログ放送で録画したテレビ番組やデジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンで編集し、DVDに残すことができます。

「DVD MovieWriter」では、地上デジタル放送の番組を、DVDメディア等へ直接書き込んだり、コピー・移動したりすることはできません。

地上デジタル放送の録画データをDVDに移動する方法は、「11 録画した映像をDVDに移す」を参照してください。

書き込み可能なメディア

「DVD MovieWriter」には、次のフォーマット（映像を書き込むときの記録形式）が用意されています。

- DVD-Videoフォーマット ● -VRフォーマット ● +VRフォーマット

フォーマットによって、書き込みできるメディアの種類が異なります。

○：使用できる ×：使用できない

<DVD-Videoフォーマット>

もっとも一般的なDVD形式です。ほとんどの家庭用DVDビデオレコーダやパソコンと再生互換があります。DVDメニューの作成を行うことができます。

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW	DVD-RAM
×	×	○*1	○	○*2	○	×

*1 DVD-R DLを含みます。

*2 DVD+R DLを含みます。

<-VRフォーマット>

再編集可能なDVDを作成します。一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できない場合があります。DVDメニューを作成することはできません。

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW	DVD-RAM
×	×	×	○	×	×	○

<+VRフォーマット>

再編集可能なDVDを作成します。DVD+VRに対応した家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでのみ再生できます。DVDメニューを作成することができます。

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW	DVD-RAM
×	×	×	○	×	○	×

ヘルプの起動方法

「DVD MovieWriter」についての詳細は、ヘルプを確認してください。メイン画面左下に起動するボタンがあります。



① [ヘルプ] をクリックする

① 録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする

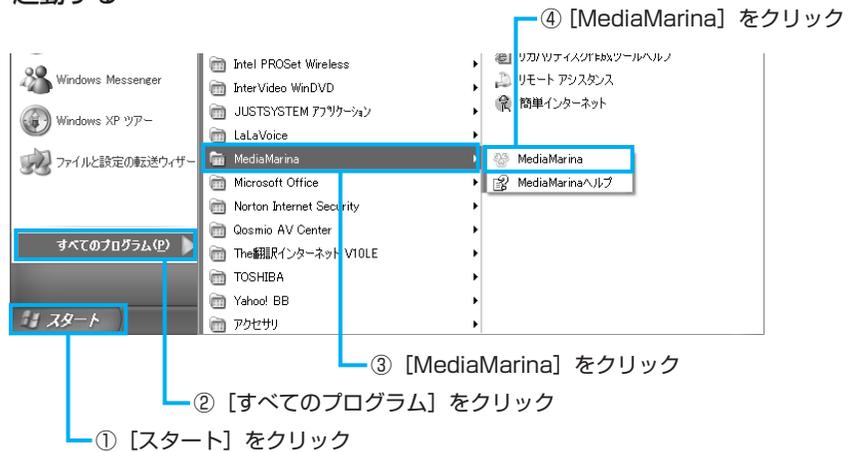
ここでは、録画したテレビ番組や、あらかじめファイルにしておいたビデオ映像などをDVDに書き込む方法を説明します。

参照

QosmioPlayer転送ユーティリティ
「9-②-2 Windows上で再生する/DVDに残す」

2

起動する



「MediaMarina」が起動します。

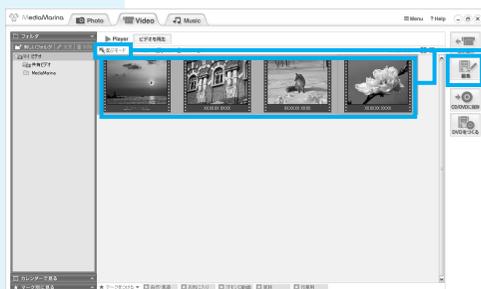
初めて起動したときは、[使用許諾契約の確認] 画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、[同意する] を選択してください。続けて、ユーザ登録をおすすめする画面が表示されます。この方法でユーザ登録を行うには、インターネットに接続できる環境とメールが受信できる環境が必要です。ユーザ登録を行う場合は、[今すぐ登録] ボタンをクリックし、画面の指示に従ってユーザ登録を行ってください。後でユーザ登録を行う場合は、[閉じる] ボタンをクリックしてください。

12

映像を編集してDVDに残す

3 編集したい映像ファイルを選択する

- ① リモコンの [項目選択] ボタンで [Video] を選択し、[決定] ボタンを押す
- ② リモコンの [項目選択] ボタンで [ビデオライブラリ] を選択し、[決定] ボタンを押す



- ③ DVDを作成または映像を編集するファイルをクリック

[選ぶモード] をクリックすると、複数のファイルをクリックで選択できます。ファイル形式によって、サムネイルが表示されます。

- ④ [編集] をクリック

メッセージが表示され、[OK] ボタンをクリックすると「DVD MovieWriter」が起動します。

■ [マイビデオ] 以外のフォルダから映像ファイルを選択する ■

「MediaMarina」の [ビデオライブラリ] には、パソコン本体の [マイビデオ] フォルダに保存されている映像ファイルが表示されます。

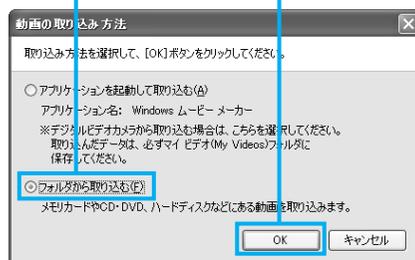
他の場所に保存されている映像ファイルを編集したい場合は、次のように操作してください。



- ① 手順3-②で、[ビデオの取り込み] を選択し、[決定] ボタンを押す

- ② [フォルダから取り込む] をクリックする

- ③ [OK] をクリックする

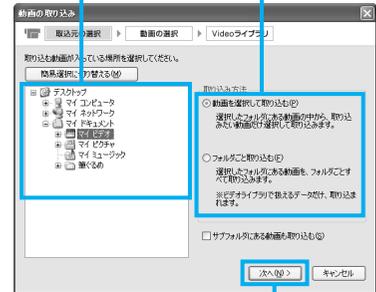


次ページへ

④ [フォルダ選択に切り替える]
をクリックする

⑤ フォルダを選択する

⑥ 取り込み方法を選択する



⑦ クリックする

⑥で選択した取り込み方法によってボタンの名称は異なります。
⑥で [動画を選択して取り込む] をチェックした場合は、このあと [動画の取り込み] 画面が表示されますので、動画を選択し、[取り込み] ボタンをクリックしてください。

取り込みが完了すると、次の画面が表示されます。



⑧ [OK] をクリックする

[MediaMarina] 画面に、取り込んだ映像ファイルが表示されます。
前ページ手順3の③~④を実行して、編集したい映像ファイルを選択してください。


役立つ操作集
「Qosmio AV Center」で録画した映像を編集する

「Qosmio AV Center」で「見るナビ」を起動すると、それまでに録画して保存しておいた映像ファイルの一覧が表示されます。編集したいファイルを選択して右クリックし、表示されたメニューで [編集・保存] をクリックすると、手順4の画面が表示されます。

4

映像ファイルが取り込まれる

「ソースを選択してインポート（ステップ：1/3）」画面が表示され、画面下部の「メディアリスト」に編集したい映像ファイルが追加されます。

メモ

- ここでは、「DVD Movie Writer」で映像を取り込む方法を説明しています。同様の作業は「Windows® Movie Maker2（Windowsムービーメーカー）」でも実行できます。操作方法は「Windowsムービーメーカー」のヘルプをご覧ください。

メモ

- 映像用DVDはタイトル、チャプタの一部を除いて、設定されています。DVD再生時に、各タイトルやチャプタから再生できます。



「メディアリスト」に表示される画面の1つ1つが、DVDのメニューに表示されるタイトルになります。

DVDのタイトルとチャプタの構造（例）

- DVD（メディア）
- タイトル1
 - チャプタ1
 - チャプタ2
 - タイトル2
 - チャプタ1…

役立つ操作集

映像ファイルを取り込む

「メディアの追加」に用意されている各ボタンをクリックすると、映像ファイルを取り込むことができます。

【ビデオ装置からビデオをキャプチャ】

デジタルビデオカメラから映像を取り込みます。

【ビデオファイルの追加】

「Qosmio AV Center」で録画した映像や、「QosmioPlayer転送ユーティリティ」でWindows上に保存した映像など、本製品で作成した映像ファイルをメディアリストに追加します。

* 一部サポートしていないファイルもあります。



【スライドショーを作成】

複数の画像などをスライドショーに加工して取り込みます。

【ディスクやハードドライブからDVD-VideoまたはDVD-VRファイルをインポート】

「DVD MovieWriter」で作成したDVDから映像を取り込みます。タイトルやチャプタを選択して、取り込むこともできます。

参照

デジタルビデオカメラから映像を取り込む方法
「本節③ デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする」

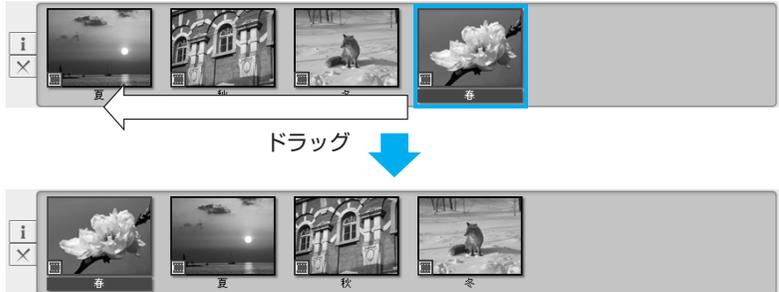
次は、編集を行います。

5 クリップを並び替える

「メディアリスト」の映像ファイル（タイトル）が複数ある場合、左から順に再生されます。複数の映像ファイル（タイトル）を再生させたい順に並び替えたい場合の手順を説明します。



映像ファイル（タイトル）をドラッグアンドドロップして、書き込みたい順番に並び替えます。



タイトルが並び替えられました。

次は、DVDのメニュー画面を作成します。

👤 役立つ操作集

映像ファイルを加工する

取り込んだファイルの編集や加工には、「メディアの編集」のアイコンを使用します。

メディアの編集	
ビデオのカット編集...	[ビデオのカット編集] CMなど、映像の不要な部分を削除する場合に使用します。
ビデオの結合/分割	[ビデオの結合/分割] 結合は、選択している2つ以上の取り込んだファイルを、1つのファイル（タイトル）に結合します。分割は、結合したファイル（タイトル）を元に戻します。
テキスト/オーディオ/効果の追加...	[テキスト/オーディオ/効果の追加] 選択したファイルにタイトルを入れたり、マイク（市販）を使用して、音声を追加したりできます。
チャプタの追加/編集...	[チャプタの追加/編集] 選択した映像ファイル（タイトル）内にチャプタを設定することができます。
選択したクリップをエクスポート	[メニューを作成] チェックを付けたら、DVDメニュー画面を作成することができます。
<input checked="" type="checkbox"/> メニューを作成	

メモ

6 DVDのメニュー画面を作成する

● DVDメニューの作成では、ここで説明している内容以外にも、次のような加工ができます。

● 画像（静止画）や音楽の追加。また、タイトルやエフェクトをかけることも可能です。

● 「現在表示されているメニュー」で、DVDメニューの背景画像、文字入力やボタンの変更。

これらについての詳細は、「DVD MovieWriter」のヘルプを確認してください。



① [次へ] をクリック

[メニューを選択（ステップ：2/3）] 画面が表示されます。ここではあらかじめ用意されているDVDメニューを使います。



7 プレビュー画面で動作を確認する

DVDメニューの動作を確認することができます。



① [プレビュー] をクリックする

作成したDVDメニューを確認できる画面に切り替わります。

② リモコンのボタンをクリックし、動作を確認する



③ クリックしてメニュー作成画面に戻る


役立つ操作集

画面サイズを切り替える

購入時は4:3の画面サイズ用に作成する設定になっていますが、Qosmioのようなワイド画面にも対応した設定に切り替えることができます。

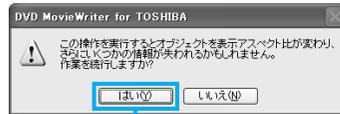


① [表示アスペクト比を変更] をクリックする

② 表示されたメニューから [16:9] をクリックする
確認画面が表示されます。



確認画面が表示されます。



③ [はい] をクリックする



ワイド画面に対応した表示に切り替わります。

編集途中のデータを保存する

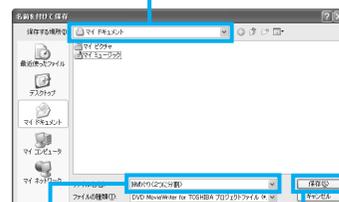
データの編集からDVDへの書き込みを一度に行うと、時間がかかります。DVDへの書き込みは中断することができませんが、編集中のデータを保存して、あとから再開することができます。

② [名前を付けて保存] をクリック



① [設定とオプション] をクリック

③ 保存場所を指定



④ ファイル名を入力

⑤ [保存] をクリック

保存したデータを「プロジェクトファイル」と呼びます。

データの編集を再開するときは次の手順でプロジェクトファイルを読み出します。

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [DVD MovieWriter for TOSHIBA] → [Ulead DVD MovieWriter 5 Launcher] をクリックする
- ② [DVDの作成] → [既存のプロジェクトを開く] をクリックする
- ③ ファイルを選択し、[OK] ボタンをクリックする

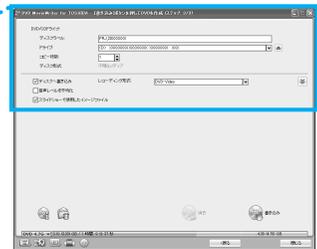
これで、編集したい映像を1つにまとめ、DVDメニューを作ることができました。次は、DVDに書き込みます。

8 書き込むディスクを設定する



① [次へ] をクリックする

[[書き込み] ボタンを押してDVDを作成 (ステップ: 3/3) 画面が表示されます。



② 作成するDVDの名前を入力する

③ 作成するDVDの枚数を指定する

④ レコーディング形式を選択する
メディアによってDVD-Video、DVD-VR、DVD+VRから選択します。

⑤ 必要に応じてチェックを付ける
音量の異なる複数の映像データを1つにまとめている場合、チェックを付けると全体を通してバランスのとれた音量に自動的に調整します。

⑥ ディスクへ書き込み
⑦ 音声レベルを平均化
⑧ スライドショーで利用したイメージファイル

参照 レコーディング形式「本節-書き込み可能なメディア」

9 ドライブにDVDをセットする



メモ

- DVDまたはハードディスクに書き出す前に、「付録2-10 DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて」をよくお読みください。



DVDが自動的に中に吸い込まれるまで押してください。

10 DVDに書き込む



メモ

- 映像の書き込みには時間がかかる場合があります。

① [書き込み] をクリックする



役立つ操作集

映像ファイルの長さを確認する

画面下部のメーターの色で、映像ファイルの長さがわかります。緑色の部分は1枚のDVDに保存できますが、黄色や赤色の部分は、1枚のDVDの容量を超えています。「本節② テレビ番組を2つに分けて別々のDVDにする」を参考にして、映像ファイルを2枚のDVDにするか、いらぬ部分を削除してください。

また、メーターが超えている場合でも、映像の品質が落ちますが、長時間の映像ファイルを1枚のDVDに書き込むことが可能です（DVDピッタリ記録）。[書き込み] をクリックして、右のメッセージが表示されたときに [はい] をクリックしてください。

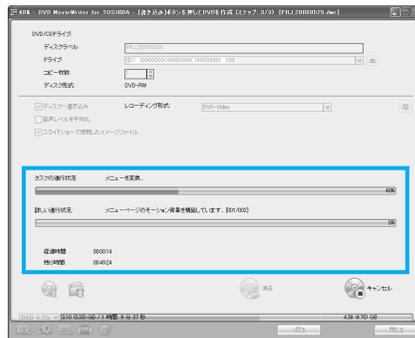
条件によりDVDに書き込めない場合もあります。書き込める条件の目安は、4.7GBのDVDの場合、DVD-EP（拡張再生）で録画した240分以下の映像ファイルです。



DVDの書き込みが始まります。



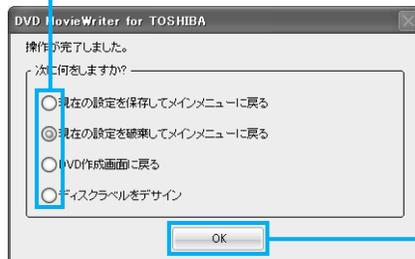
書き込みを開始すると画面に「タスクの進行状況」と「詳しい進行状況」が表示されます。



DVDの書き込みが終了すると、メッセージが表示されます。



② 選択する



③ [OK] をクリック

DVDの書き込みが終了し、ドライブからディスクが半分くらい出てきます。

■②で「現在の設定を保存してメインメニューに戻る」を選択した場合
作成・編集したデータを保存していない場合は、「名前を付けて保存」画面が表示されますので、保存場所とファイル名を指定してください。
保存したデータを「プロジェクトファイル」と呼びます。プロジェクトファイルは、あとから呼び出して、再編集することができます。プロジェクトファイルの呼び出し方法は、手順7の役立つ操作集を確認してください。

② テレビ番組を2つに分けて別々のDVDにする

メモ

- DVD1枚とは4.7GB1層のDVDメディアを指しています。DVD-RAMで両面あるメディアの場合は、片面ずつ映像を書き込むことができます。
- 4.7GBのDVDメディアに書き込める映像データは4.3GB (DVD+R DLメディア (8.5GB) の場合、7.92GB) です。

1 映像ファイルを取り込む

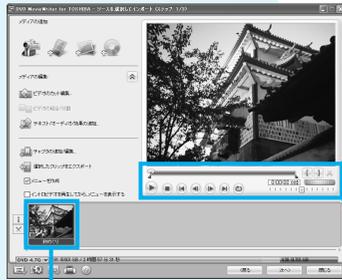
「本節① 録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」の手順1~4と同じ操作を行ってください。

2 保存するDVDの容量を選択する



「現在のプロジェクトタイプ」をクリックし、「DVD 4.7G」、「DVD 8.5G」から選択します。

3 映像ファイル（タイトル）の前半をDVDにする



① 「メディアリスト」の2つに分ける映像ファイル（タイトル）をクリック



画面下の映像ファイルの容量を示すメーターが赤色や黄色の場合は、1枚のDVDに書き込むことができません。メーターが緑色で収まるように調整してください。



これで映像ファイル（タイトル）の前半部分が残ります。これをDVD（1枚目）にします。

「本節① 録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」手順6から手順10の①までと同じ操作を行ってください。DVD作成前に編集したい場合は「本節①」手順5の役立つ操作集を確認してください。



DVDの書き込みが終了すると、次のメッセージが表示されます。



⑤ [OK] をクリック

DVDの書き込みが終了し、ドライブからディスクが半分くらい出てきます。

次に、映像ファイル（タイトル）の後半部分をDVDにします。

4 [ソースを選択してインポート (ステップ: 1/3)] 画面に戻る



役立つ操作集

プロジェクトファイルを作成する

前半のDVDをもう1度編集したり、DVDをもう1度作成したい場合は、後半のDVDを編集、作成する前にデータを保存して、プロジェクトファイルを作成してください。

作成したプロジェクトファイルを開くと、ファイルを作成した時点から再開することができます。

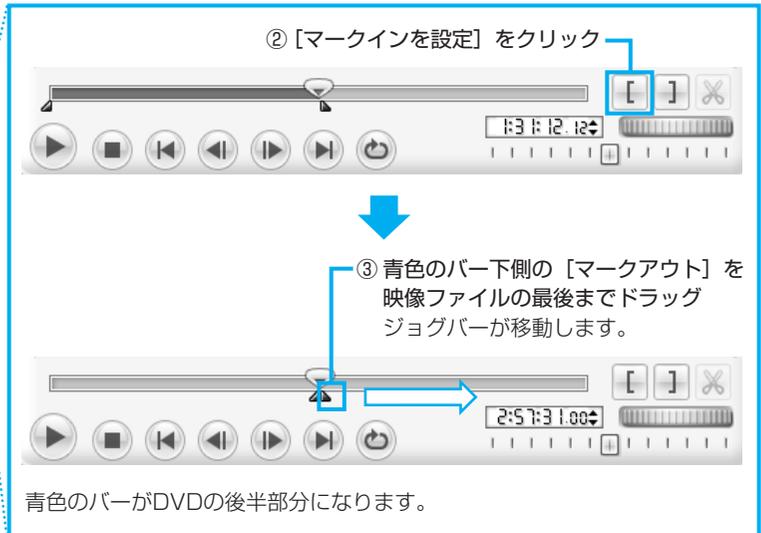
プロジェクトファイルの作成方法とデータ編集の再開方法については、「本節① 録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」手順7の役立つ操作集を確認してください。

後半のDVDのデータも、プロジェクトファイルを作成することをおすすめします。

5 映像ファイル（タイトル）の後半をDVDにする



① 「メディアリスト」の2つに分ける映像ファイル（タイトル）をクリック



これで映像ファイル（タイトル）の後半部分が残ります。これをDVD（2枚目）にします。

「本節① 録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」手順6から手順10までと同じ操作を行ってください。DVD作成前に編集したい場合は「本節①」手順5の役立つ操作集を確認してください。

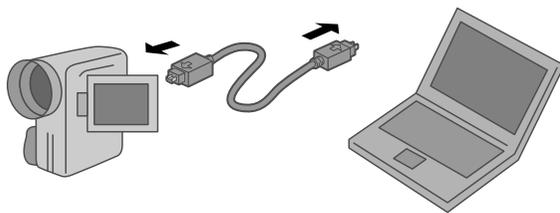
③ デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする

ここでは、デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンに取込む方法を説明します。

1 デジタルビデオカメラをパソコンに接続し、電源を入れる

参照

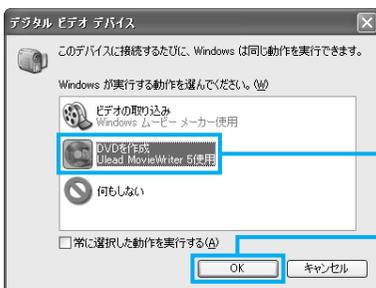
デジタルビデオカメラの接続と電源の入れかた『デジタルビデオカメラに付属の説明書』



2 やりたいことを指定する

メモ

- デジタルビデオカメラやビデオデッキの映像を直接ダビングすることができます。手順2で [キャンセル] ボタンをクリックし、「8-③ DVDに直接録画(DVDダイレクト録画する)」の手順2に進んでください。



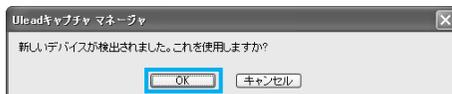
① [DVDを作成 Ulead MovieWriter 5 使用] をクリック

② [OK] をクリック

「DVD MovieWriter」が起動します。

■ はじめて接続した場合 ■

「DVD MovieWriter」起動後にはじめてデジタルビデオカメラを接続した場合、[Uleadキャプチャ マネージャ] 画面が表示されます。



[OK] をクリックしてください。

3 新規作成画面を表示する

① [ディスクの新規作成] をクリック



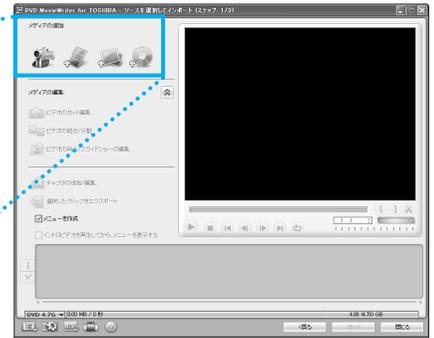
② [次へ] をクリック

[ソースを選択してインポート (ステップ: 1/3)] 画面が表示されます。

4 取り込む映像の設定をする



① 「メディアの追加」の「ビデオ装置からビデオをキャプチャ」をクリック



「キャプチャ開始」画面に切り替わります。

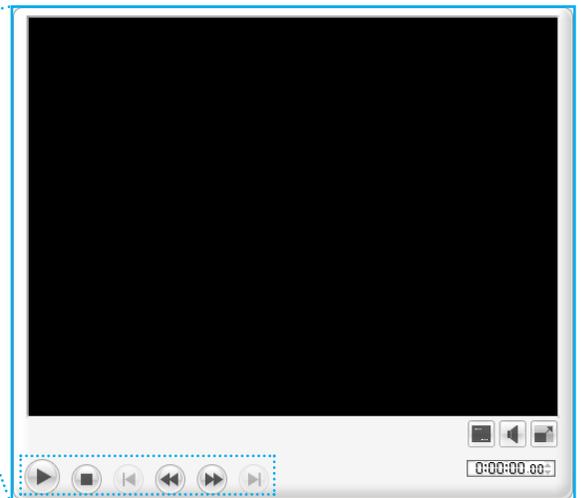
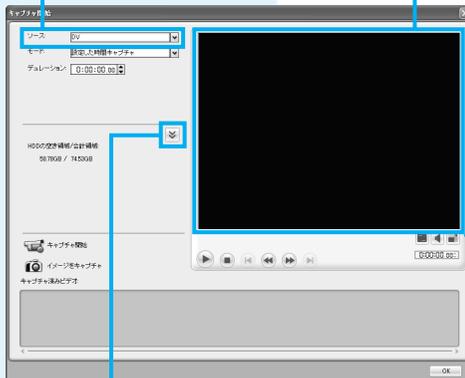


【ソース】

デジタルビデオカメラの場合は [DV]、HDV規格対応ビデオカメラの場合は [HDV] を選択してください。

【ナビゲーションコントロール】

映像の再生や停止、録画などを操作する画面です。



【高度なキャプチャ設定を表示/非表示】 ボタンをクリックすると、取り込む映像の録画品質と保存先を設定できます。

【形式】で次の録画品質を設定できます。HDV規格対応ビデオカメラの場合は、「MPEG」のみ設定できます。

- ・ DVD-HQ (品質高) 720×480 7.2Mbps
- ・ DVD-GQ (品質良) 720×480 5.5Mbps
- ・ DVD-SP (標準再生) 352×480 3.6Mbps
- ・ DVD-LP (長時間再生) 352×480 2.4Mbps
- ・ DVD-EP (拡張再生) 352×480 1.6Mbps
- ・ MPEG
- ・ AVI

② 録画開始位置を確認する

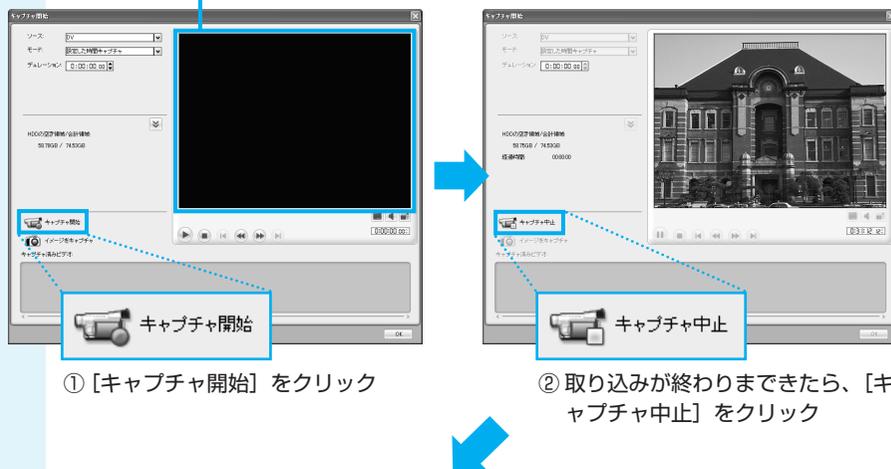
【再生 (一時停止)】、【停止】、【早送り】、【先送り】の各ボタンで操作してデジタルビデオカメラの映像を【ナビゲーションコントロール】に表示することができます。

録画を始めるところまで再生したら、【停止】または【一時停止】 ボタンをクリックしてください。

5 映像を取り込む



- アナログのビデオカメラやビデオデッキの映像を取り込みたい場合は、手順5-①で [キャプチャ開始] をクリックする前に、ビデオカメラやビデオデッキを操作して映像を再生してください。取り込みたい個所の少し前からビデオを再生し、[キャプチャ開始] をクリックしてください。



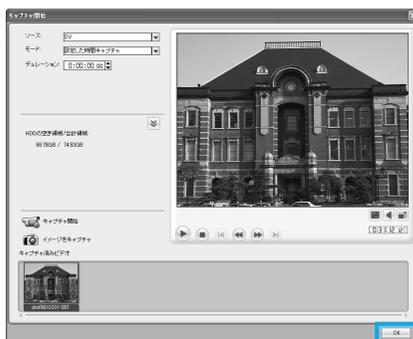
「キャプチャ済みビデオ」に映像ファイルが表示され、映像が取り込まれました。



複数のテープから映像を取り込みたい場合は、テープを入れ替えて手順4～5をくり返してください。

6 デジタルビデオカメラの電源を切り、パソコンと接続しているケーブルを取りはずす

7 [OK] をクリックする



[ソースを選択してインポート (ステップ: 1/3)] 画面に切り替わります。以降の操作は、「本節① 録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」の手順5に進んでください。

◆ 「DVD MovieWriter」の問い合わせ先

インタービデオジャパン ユーザーサポート

お問い合わせの前にホームページ (<http://www.intervideo.co.jp/>) のサポートページをご確認ください。

当製品の無償サポート期間は、ご購入後1年間となります。

TEL : 045-226-3899
 FAX : 045-226-3895
 ホームページ : <http://www.intervideo.co.jp/>
 E-mail : techsupp@intervideo.co.jp
 受付時間 : 月～金 9:30～17:00
 (12:00～13:30および土、日、祝祭日、特定休業日は休み)

④ アナログのビデオやカメラの映像を取り込んで編集する

本製品では、アナログのビデオデッキやビデオカメラの映像を取り込んで、本製品で録画したデータと同じように編集したりDVDに書き込んだりすることができます。

「Qosmio AV Center」を使用する方法と「DVD MovieWriter」を使用する方法があります。

■録画した映像ファイルについて■

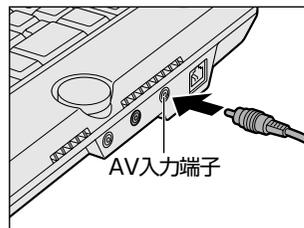
- 「Qosmio AV Center」で録画されたテレビ番組などは、個人で楽しむ目的だけに使用できます。
- 著作権保護技術の採用により、録画禁止のものは視聴したり録画したりできません。また、アナログTVまたは外部入力からの番組に関しては、録画1回可能なものでも、パソコンでの視聴や録画はできません。
- 外部入力機器からコピープロテクトがかかった映像を録画すると録画データの映像が単色に塗りつぶされます。

1 機器を接続する

同梱のビデオ入力ケーブルをAV入力端子に接続すると、外部機器の映像をパソコン本体のディスプレイに表示させることができます。

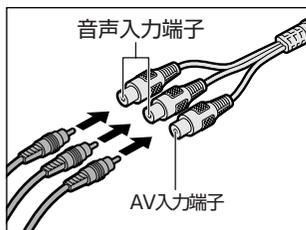
次の手順で、外部機器の映像を表示させてください。

1 ビデオ入力ケーブルのプラグを、パソコン本体のAV入力端子に差し込む



取りはずすときは、AV入力端子からビデオ入力ケーブルのプラグを抜きます。

2 接続する機器用の出力ケーブルのプラグを、ビデオ入力ケーブルの音声入力端子とAV入力端子に差し込む



出力ケーブルのプラグは3色に色分けされています。次のように対応させて差し込んでください。

赤：音声右、白：音声左、黄：映像

出力ケーブルの名称は、ビデオケーブル、AVケーブル、TV出力ケーブルなど接続する機器によって異なります。接続する機器の説明書を確認してください。

3 接続する機器用の出力ケーブルのもう一方のプラグを、接続する機器の出力端子に差し込む

2 「Qosmio AV Center」で映像を取り込む

1 「Qosmio AV Center」を起動する

- ① リモコンの [HOME] ボタンを押す
「Qosmio AV Center」が起動します。

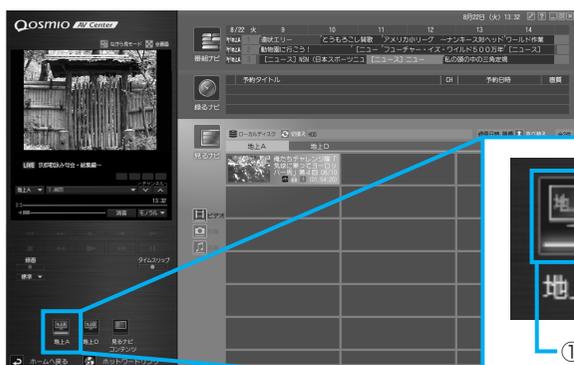


- ② タッチパッドまたはマウスで [TV] をクリックする

F30/77シリーズの場合は、手順3へ進んでください。

2 地上アナログ放送のテレビ視聴画面を表示する

F30/79シリーズ、
F30/69シリーズのみ

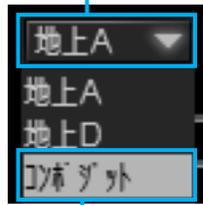


- ① [地上A] をクリックする

3 接続端子を設定する

■F30/79シリーズ、
F30/69シリーズの場合■

① [地上A▼] をクリック

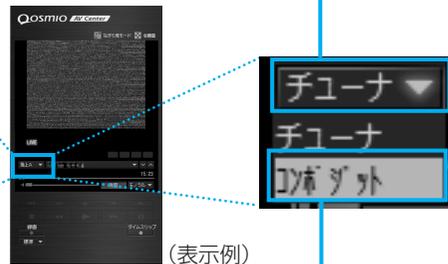


② [コンポジット] をクリック

AV入力端子に接続した機器で再生する映像が、「Qosmio AV Center」に表示されま
す。再生や停止などの操作は、接続した機器で行ってください。

■F30/77シリーズの場合■

① [チューナ▼] をクリック



② [コンポジット] をクリック

4 録画する



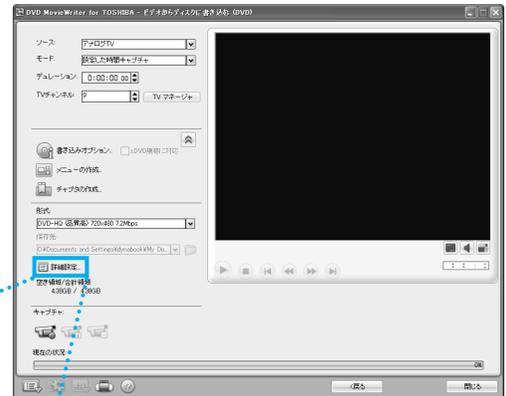
(表示例)

[録画] をクリック

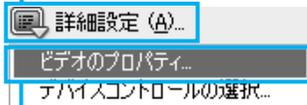
録画

接続した機器で再生している映像が録画されます。録画が終わったら、[停止] ボタン
をクリックしてください。
ここで録画した映像を編集する方法は、「本節 ① 録画したテレビ番組や映像ファイルを
DVDにする」を参照してください。

- 1 「DVD MovieWriter」を起動し、書き込むDVDの設定を行う
「本節③ デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする」の手順2から4の①と同じ操作を行ってください。
- 2 入力装置を切り替える



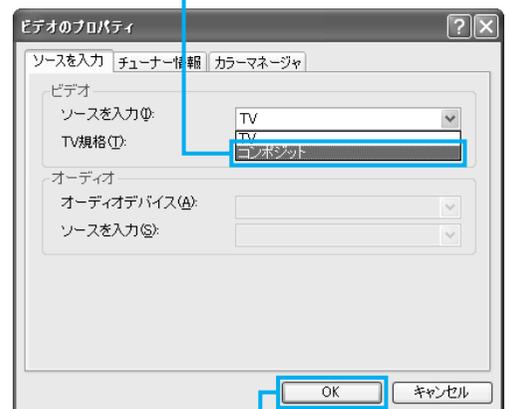
① 「詳細設定」をクリック



② 表示されたメニューから
「ビデオのプロパティ」を
クリック



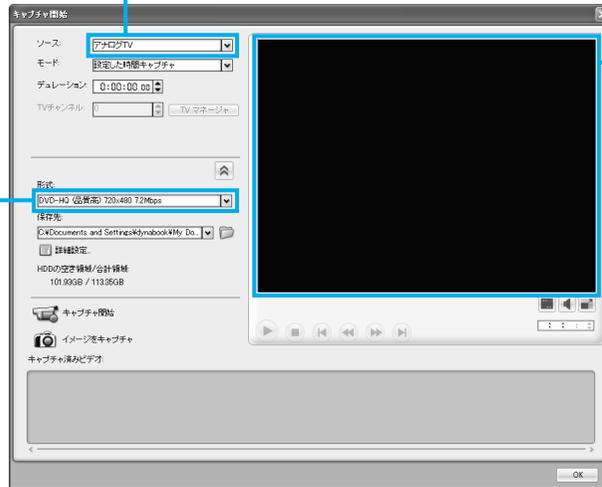
③ 「コンポジット」をクリック



④ 「OK」をクリック

3 取り込む映像の設定をする

[ソース] を [アナログTV] に設定すると、[ナビゲーションコントロール] に映像が表示されます。



[ナビゲーションコントロール]

録画品質を設定する

[形式] で録画品質を設定できます。

- ・ DVD-HQ (品質高) 720×480 7.2Mbps
- ・ DVD-GQ (品質良) 720×480 5.5Mbps
- ・ DVD-SP (標準再生) 352×480 3.6Mbps
- ・ DVD-LP (長時間再生) 352×480 2.4Mbps
- ・ DVD-EP (拡張再生) 352×480 1.6Mbps
- ・ MPEG

このあとは「本節③ デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする」の手順5以降と同じ操作を行ってください。

13

DVDの映画や映像を観る

用語について

本節では、「DVD」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、「DVD-Video」を示します。

DVDの映画や映像を観るには、次の方法があります。本製品では、DVD-Videoの再生ができます。

■Windows上でDVDが見られる「^{インタービデオ ウィンディーブイディー}InterVideo WinDVD」■

Windows上でDVDを再生するには、「^{インタービデオ ウィンディーブイディー ファイブフォー トウシバ}InterVideo WinDVD™ 5 for TOSHIBA」を使います。

■電源OFFからすぐにDVDが見られる「^{コスミオプレーヤ}QosmioPlayer」■

Windowsを起動せずに、DVDを見ることができます。
Windowsの起動時間を待つ必要がありません。

① WinDVDで観る

ここでは、「InterVideo WinDVD」でDVD-Videoの映像を観る方法を説明します。「InterVideo WinDVD」を使う前に、「付録2-6 Windows上でのDVD-Videoの再生にあたって」をよくお読みください。

1

DVDが自動的に中に吸い込まれるまで押ししてください。

Windowsが起動している状態で、ドライブにDVDをセットする



Windowsが実行する動作を選択する画面が表示された場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

2

起動する

- ① リモコンの【HOME】ボタンを押す
「Qosmio AV Center」が起動します。



- ② リモコンの方向ボタンで【CD/DVD】を選択し、【決定】ボタンを押す

3 「InterVideo WinDVD」が起動する

再生するDVD-Videoによっては、表示が一部異なる場合があります。また、操作ボタンの一部は、機能対応している場合のみ表示できます。

メインウィンドウ



メインウィンドウとWinDVDコントロールパネルが表示されるので、操作ボタンを使ってDVDの映像（DVD-Video）を観ましょう。

WinDVDコントロールパネル



操作ボタン

再生

ディスクの再生をスタートします。再生中は設定された間隔でオートリピートします。

コマ送り

一時停止

コマ戻し

停止

ボリューム

上にドラッグすると音量が上がります。下にドラッグすると音量が下がります。

ミュート

クリックすると消音になります。消音の状態をクリックすると、元の音量に戻ります。

ヘルプ

ヘルプを表示します。

最小化

画面を最小化します。

フルスクリーン

画面を最大化します。

カウンタ

再生中のDVDのチャプターや再生時間などを表示します。



■WinDVDについて■

- 本製品で再生できるのは、DVD-Videoです。Video CDとは異なります。DVDが入っていたパッケージやDVDの盤面に「DVD-Video」と記載されていることを確認してください。
- 同梱のリモコンを使って再生操作を行うことができます。詳細は「付録3-② Windows XPでの操作一覧」を確認してください。
- 「InterVideo WinDVD」は、[スタート] → [すべてのプログラム] → [InterVideo WinDVD] → [InterVideo WinDVD] をクリックしても起動できます。
- 「InterVideo WinDVD」は、手順1の後でリモコンの [CD/DVD] ボタンを押して起動することもできます。



役立つ操作集

パソコンをDVDプレーヤ代わりに使う

パソコンの「InterVideo WinDVD」で再生している映像を、ご家庭のテレビまたは外部ディスプレイにも表示することができます。

パソコン本体にテレビまたは外部ディスプレイを接続し、映像を表示するための設定を行う必要があります。詳しくは、『活用ガイド3章 周辺機器を使って機能を広げよう』を確認してください。

◆ 「InterVideo WinDVD」の問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号 : 0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）

技術相談窓口 受付時間 : 9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

② QosmioPlayerで観る

参照 「QosmioPlayer」について「6-2 QosmioPlayerとは」

「QosmioPlayer」で、DVD-Videoを観る機能を「QosmioPlayer (DVD)」とよびます。DVDを観る前に、「付録2-7 「QosmioPlayer (CD)」 「QosmioPlayer (DVD)」の使用にあたって」をよくお読みください。

参照 「InterVideo WinDVD」について「本節① WinDVDで観る」

「Qosmio AV Center」のムーブ（移動）機能でDVDに移動した映像データは、「InterVideo WinDVD」で再生してください。

1 DVDを観る

ここでは、「QosmioPlayer (DVD)」でDVD-Videoを再生する方法について説明します。



1 パソコンが電源オフまたは休止状態のとき、リモコンの [CD/DVD] ボタンを押す

パソコンの電源が入り、「QosmioPlayer」が起動します。メディアの挿入をうながすメッセージが表示されます。メディアがセットされているときは、自動的に再生が始まります。

電源オフまたは休止状態のときにドライブにDVDをセットすると、リモコンの [CD/DVD] ボタンを押さなくても「QosmioPlayer (DVD)」が起動し、自動的にDVDの再生が始まります。

2 ドライブにDVDをセットする

DVDが自動的に中に吸い込まれるまで押ししてください。



再生が始まります。再生が開始するまで、少し時間がかかる場合があります。

メモ

- 「QosmioPlayer」で再生できるCDは音楽CDのみです。再生できないCDをセットした場合も、同様のメッセージが表示されますので、同様の方法を行ってください。



参照

続き再生について
「本項- DVD再生に関するさまざまな操作- 続き再生」



■再生できないDVDをセットした場合■

「QosmioPlayer」で再生できるDVDは、DVD-Videoのみです。「QosmioPlayer」で再生できないDVDをセットした場合、「再生できません。」というメッセージが表示されます。

次のいずれかの方法を行ってください。

- 「QosmioPlayer」で使用できるDVDに入れ替える
リモコンの「取り出し」ボタンを押して、ディスクを取り出してください。その後、DVD-Videoをセットしてください。
- Windowsを起動する
リモコンの「電源」ボタンを押して「QosmioPlayer」を終了してください。パソコンが電源オフまたは休止状態になってから、もう1度、「電源」ボタンを押すと、Windowsが起動します。Windows上で、DVDを使用してください。

◆ 再生の停止

再生を停止するには、リモコンの「停止」ボタンを押します。次のメッセージが表示された場合、続き再生ができます。続き再生が可能な状態にしておけば、再生を停止した画面から、その続きを再生できます。



◆ DVDの取り出し

DVDを取り出すには、「QosmioPlayer」起動中に、リモコンの「取り出し」ボタンを押します。「QosmioPlayer」を終了してパソコンが電源オフまたは休止状態になってからでも、リモコンの「取り出し」ボタンを押して、DVDを取り出すことができます。

終了

お願い

- 「QosmioPlayer」は、必ず、正しい手順で終了してください。
Windows起動中には、ディスプレイを閉じることによって休止状態またはスタンバイにする機能がありますが、「QosmioPlayer」起動中には対応していません。

リモコンで「QosmioPlayer」を終了するには、次のように操作してください。

1 リモコンの【電源】ボタンを押す

「QosmioPlayer」が終了します。
「QosmioPlayer」を起動する前の状態が、電源オフだった場合は電源オフに、休止状態だった場合は休止状態になります。



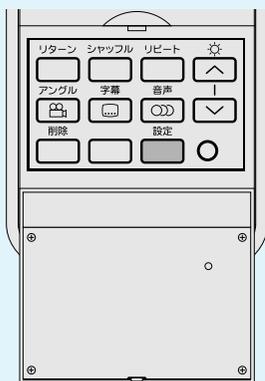
DVD設定

DVD設定メニューでは、DVDを再生するうえでのさまざまな設定をすることができます。

DVD設定メニューを起動するには、次のように操作してください。

1 リモコンの【設定】ボタンを押す

【DVD設定メニュー】画面が表示されます。



(表示例)

DVD設定メニューを終了してDVD再生に戻るには、リモコンの【設定】ボタンを押してください。

設定できる項目は、次のようになっています。

表示設定

「QosmioPlayer (DVD)」でDVDを再生する場合の画面表示について、次の設定ができます。

■表示モード■

本製品では対応しておりません。

■アングルアイコン■

マルチアングルを示すアイコンを、画面に表示するかどうかを設定します。アイコンを表示するように設定しておく、マルチアングルが用意されているシーンを再生しているときに、アングルの切り替えができる場合は、画面右上にアイコンが表示されます。

表示ON : アイコンを表示する

表示OFF : アイコンを表示しない

アングルアイコン



* DVD再生中は、DVD設定メニュー画面からの設定はできません。再生を停止してから設定してください。

言語設定

「QosmioPlayer (DVD)」でDVDを再生場合の言語について、設定できます。本機能はQosmioPlayer (DVD) の初期設定です。再生するDVDにあらかじめ音声、字幕、ディスクメニュー言語が設定されている場合は、その設定が優先されます。言語コードの入力画面では、「付録6 言語コード一覧」を参照して、設定したい言語の言語コードを入力してください。タイトルに設定した言語が含まれていない場合には、タイトルが指定する言語が使用されます。

■音声言語■

複数の言語の音声を用意されているDVDを再生する際の、音声言語を設定します。どのような言語が用意されているかは、再生するDVDによって異なります。

日本語 : 日本語の音声を再生する

その他 : 設定したい言語の言語コードを入力する

日本語以外の言語を設定したい場合に選択してください。

■字幕言語■

複数の言語の字幕が用意されているDVDを再生する際の、字幕言語を設定します。どのような言語が用意されているかは、再生するDVDによって異なります。

日本語 : 日本語の字幕を表示する

その他 : 設定したい言語の言語コードを入力する

日本語以外の言語を字幕表示させたい場合に選択してください。

字幕なし : 字幕を表示しない

■ディスクメニュー言語■

複数の言語のディスクメニューが用意されているDVDを再生する際の、メニュー言語を設定します。どのような言語が用意されているかは、再生するDVDによって異なります。

日本語 : 日本語のメニューを表示する

その他 : 設定したい言語の言語コードを入力する

日本語以外の言語を設定したい場合に選択してください。

画質設定

DVD再生時の画質について設定します。

■映像設定■

映像の明るさ、色合い、コントラスト、濃さを設定します。

「あざやか」、「標準」、「映画」、「お好み」のいずれかの映像タイプを選択できます。「お好み」を選択すると、明るさ、色合い、コントラスト、濃さを好みに合わせて調整できます。

■シャープネス■

映像の輪郭を強調し、くっきりした映像にします。

「ON」、「OFF」のいずれかを設定できます。

音質設定

SRS社のSRS WOW XT（エスアールエス・ワウ・エックスティ）技術を使用して、音楽や声を聴く環境にあわせて、サウンドの音質を調整します。

■サラウンド設定■

音楽や声を聴く環境ごとに適した音質に設定したモードが用意されています。お好みにあわせて選択してください。

[DVD設定メニュー] 画面で、[音質設定] → [サラウンド設定] を選択してください。メニューが表示され、「内蔵スピーカー」、「外部接続スピーカー」、「開放型ヘッドフォン」、「密閉型ヘッドフォン」、「OFF」のいずれかを設定できます。

■サラウンド詳細設定■

[サラウンド設定] で選択したモードの音質を、さらに詳しく調節します。

[DVD設定メニュー] 画面で、[音質設定] → [サラウンド詳細設定] を選択してください。

メニューが表示され、次の設定を調節できます。

- SRSレベル : 音のステレオ感（広がり）を調節する
- Focusレベル : 音のクリア感を調節する
- スピーカーサイズ : 音の低音感を調節する
スピーカーサイズとは、スピーカやヘッドフォンがどのぐらいの低音を再生できるかを表した数値です。
- TruBassレベル : 音の低音感を調節する
スピーカーサイズに応じた低音レベルを調節します。
- 初期設定に戻す : [サラウンド詳細設定] の設定を標準値に戻す

各種設定

■省電力モード■

バッテリー駆動時のDVD再生時間を長くするために、省電力機能を使用するかどうかを設定します。

「ON」、「OFF」のいずれかを設定できます。

■ブザー設定■

QosmioPlayerを操作したときに、ブープ音を鳴らすかどうかを設定します。

「ON」、「OFF」のいずれかを設定できます。

メモ

- 「QosmioPlayer (DVD)」の [映像設定]、[シャープネス] で設定した内容は、「QosmioPlayer (TV)」にも反映されます。

メモ

- 「QosmioPlayer (DVD)」の [音質設定] で設定した内容は、「QosmioPlayer (TV)」にも反映されます。

メモ

- [省電力モード] の設定は、「QosmioPlayer (DVD)」のみに有効です。
- [省電力モード] を「ON」に設定した場合、バッテリー駆動時には、一部の高画質化処理が行われません。

メモ

- 「QosmioPlayer (DVD)」の [ブザー設定] で設定した内容は、「QosmioPlayer (TV)」にも反映されます。

メモ

- DVDによって、シーンあるいはディスク全体でリジューム再生を禁止しているなどにより、リジューム再生できないことがあります。リジュームできるのは、過去に再生した20枚以内です。

■オートリジューム機能■

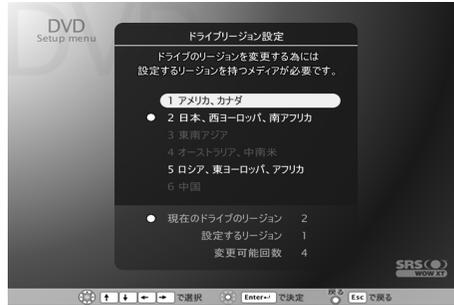
過去に再生したDVDの前回再生していた場面から再生を開始します。「ON」、「OFF」のいずれかを設定できます。

「ON」に設定すると、次のときにオートリジューム機能を実行します。

- 過去に再生していたDVDを挿入したとき
- DVDが挿入された状態でQosmioPlayer (DVD) を起動したとき
- 再生中にQosmioPlayer (TV) に切り替えて、もう1度QosmioPlayer (DVD) に戻したとき

■ドライブリージョン設定■

ドライブの^{リージョン}Regionを設定・変更するときには使用します。



(表示例)

ドライブのRegionについては、次の説明をお読みください。

- Regionとは、DVD-Videoを再生する地域を制限するコードのことです。
- ディスクのRegionとドライブのRegionが一致していないと再生することができません。
- Regionは1から6があり、通常日本向けに販売されているディスクはRegion 2を持っています。
- 出荷時には、ドライブはRegion 2に設定されています。
- ドライブのRegionは4回まで変更できます。4回変更すると、それ以降は最後に変更した値に固定されます。
- Regionを変更するためには、変更したいRegionを含むディスクを挿入する必要があります。また、最後の変更時には、そのRegionのみを含むディスクを挿入してください。

DVD再生に関するさまざまな操作

DVDのおもな再生操作については、「付録4 QosmioPlayerの操作一覧」をご覧ください。

ここでは、その他のDVD再生に関する操作を説明します。

- 表記について
本節でQosmioPlayerの操作を説明する上で、次の記号を使用します。

 **リモコン** : 同梱のリモコンからの操作を示します。

 **キーボード** : パソコン本体のキーボードからの操作を示します。

■DVDメニュー選択■

DVDのメニューを表示し、再生したいタイトルやチャプタを選択するには、次のように操作してください。

 **リモコン**

方向ボタンで選択し、[決定] ボタンで再生を開始する

 **キーボード**

方向キーで選択し、[ENTER]キーで再生を開始する

DVDには構造によってさまざまなメニューが用意されています。この操作をしたときに表示されるメニューは、DVDによって異なります。

参照 DVDメニューの表示方法「付録4 QosmioPlayerの操作一覧」





■ 続き再生 ■

前回再生を停止した場面から、その続きを再生できます。画面に「[再生] を押すと、続き再生」と表示されている状態で、次のように操作してください。



[再生] ボタンを押す



[SPACE]キーを押す

次のような場合は、続き再生できません。

- 前回再生停止した後、設定メニューから設定を変更した
- 再生しているDVDが、続き再生機能に対応していないなど

■ 再生するタイトルの選択 ■

再生するタイトルを選択するには、次のように操作してください。



[T]キーを押した後、再生したいタイトル番号の数字キーを押す

停止中に[T]キーを押した場合は、タイトル番号を入力した後、[ENTER]キーを押します。

再生するDVDによっては、本機能は動作しない場合があります。

■ 再生アングルの選択 ■

DVDによっては、複数のカメラアングル（角度）からの映像が用意されています。このアングルを切り替えて再生するには、DVD再生中に次のように操作してください。



[アングル] ボタンを押す



[G]キーを押す

現在のアングル番号が表示されます。アングル番号が表示されているときにこの操作をすると、1回押すごとに、DVDに用意されているアングルが切り替わります。アングル番号は、操作してから数秒たつと消えます。

■ 字幕の選択 ■

DVDによっては字幕が用意されていて、再生画面に表示できます。複数の言語で字幕が用意されているDVDの場合は、表示したい字幕を選択できます。DVD再生中に次のように操作してください。



[字幕] ボタンを押す



[S]キーを押す

画面に現在の字幕情報が表示されます。1回押すごとに、DVDに用意されている字幕が切り替わります。字幕なしにすることもできます。



メモ

- DVDによっては、アングルを切り替えてもすぐに映像が切り替わらない場合があります。
- 早送りまたは早戻し中は、アングルを切り替えることができません。



メモ

- DVDによっては、自動的に字幕が表示されます。
- 再生している場面によっては、字幕表示の操作をしてもすぐには字幕が表示されないことがあります。
- DVDによっては、字幕の言語や表示／非表示の切り替えを、ディスクメニューで選択できます。



メモ

- DVDによっては、音声の言語の切替えを、ディスクメニューで選択できます。

■ 音声を切り替える ■

DVDによっては、複数の音声（吹き替え）が用意されています。音声を切り替えるには、DVD再生中に次のように操作してください。



[音声] ボタンを押す



(A)キーを押す

画面に現在の音声情報が表示されます。1回押すごとに、DVDに用意されている音声切り替わります。

14

音楽を聴く

「RoomStylePlayer」「BeatJam」を使う前に、「付録2-14「RoomStylePlayer」「BeatJam」を使うために」をよくお読みください。

本製品で音楽CDを聴くには、2種類の方法があります。お好みで使い分けてください。

■**Windows上で音楽CDが聴ける「RoomStylePlayer」**^{ルームスタイルプレーヤ}「BeatJam」^{ビートジャム} ■
インターネットやメールなど、パソコンで作業をしているときでも、音楽CDを聴くことができます。「RoomStylePlayer」は音楽CDを聴くときに使用し、「BeatJam」は音楽ファイルを作ったり、好きな音楽ファイルのリストを作ったりすることができます。

■**電源OFFからすぐに音楽CDを聴ける「QosmioPlayer」**^{コスミオプレーヤ} ■

Windowsを起動せずに、音楽CDを聴くことができます。

Windowsの起動時間を待つ必要がありません。

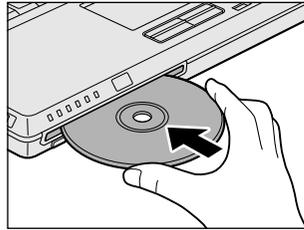
① 音楽CDを聴く (RoomStylePlayer)

ここでは、リモコンで音楽CDを聴く方法を説明します。

1

CDが自動的に中に吸い込まれるまで押してください。

ドライブに音楽CDをセットする



[Audio CD] 画面が表示された場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

2

起動する

①リモコンの [CD/DVD] ボタンを押す
「RoomStylePlayer」が起動します。

初めて起動したときは、[使用許諾契約の確認] 画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、[同意する] ボタンをクリックしてください。次に「バックアップツール」についての画面が表示されます。内容を確認後、[OK] ボタンをクリックしてください。続けて、ユーザ登録をおすすめする画面が表示されます。この方法でユーザ登録を行うには、インターネットに接続できる環境とメールが受信できる環境が必要です。ユーザ登録を行う場合は、[今すぐ登録] ボタンをクリックし、画面の指示に従ってユーザ登録を行ってください。後でユーザ登録を行う場合は、[閉じる] ボタンをクリックしてください。

続けて [東芝 Qosmio PC でBeatJamをご使用になるときの注意] 画面が表示されます。確認後は [今後、このメッセージを表示しない] をチェックし、[OK] ボタンをクリックしてください。

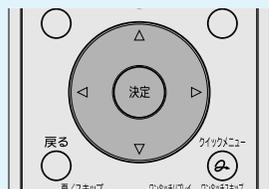
CDの音楽ファイルが一覧表示されます。曲は、「Track (トラック)」と表示されます。



メモ

- [東芝 Qosmio PC で BeatJamをご使用になるときの注意] は、[スタート] → [すべてのプログラム] → [BeatJam] → [東芝 Qosmio PC で BeatJamをご使用になるときの注意] をクリックすると、表示することができます。
- リモコンの [CD/DVD] ボタンの代わりに、パソコン本体の [CD/DVD] ボタンを押して起動することもできます。

3 リモコンでリストから再生する曲を選択する



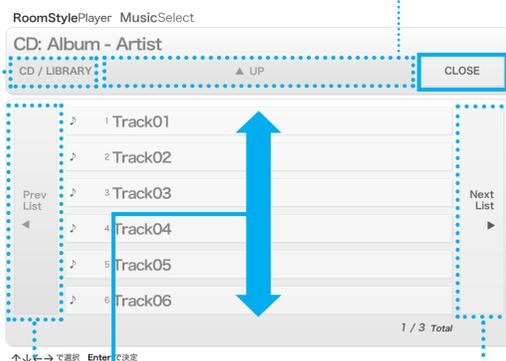
CD/LIBRARY

リストの表示をCD → ライブラリ → CD …と切り替えます。ライブラリは、パソコン本体に保存されている音楽ファイルのリストです。



メモ

- RoomStylePlayer は、[スタート] → [すべてのプログラム] → [BeatJam] → [RoomStyleプレーヤー] をクリックしても起動できません。手順3の画面が表示されます。



▲ UP

パソコン本体のライブラリを表示している場合、ひとつ上のフォルダ階層へ移動します。

CLOSE

リスト画面を終了します。終了すると、「RoomStylePlayer」の再生画面と同じものが表示されますが、音楽ファイルが再生されるわけではありません。

Next List

1画面に表示しきれなかったリストの続きを表示します。

- ① リモコンの方向ボタンで再生する曲を選び、[決定] ボタンを押す

Prev List

1画面に表示しきれなかったリストの、最初の方を表示します。

選択した曲から再生が始まります。再生中は、次のような画面が表示されます。

RoomStylePlayerの操作画面

左から順番に、

モーションパッケージ
再生時に表示させる画像を選べます。

設定
再生時に表示させるタイトルとアーティスト名を設定します。

Mainプレーヤー
「BeatJam」のCDパネルが表示されます。

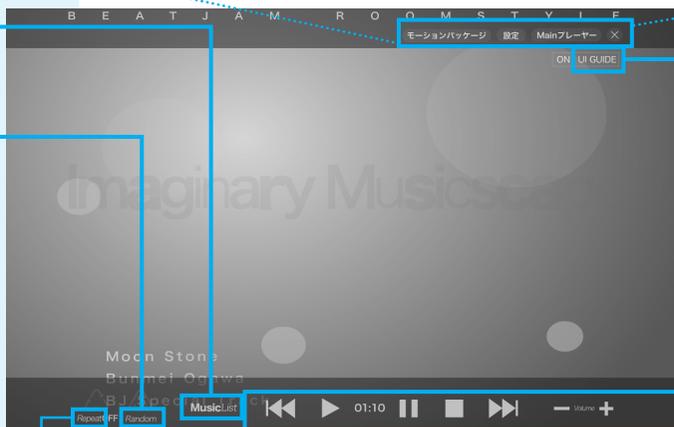
終了
リスト画面に戻ります。

MusicList

音楽ファイルのリスト画面を表示します。

Random

クリックすることにより、通常再生 → ランダム再生 → 通常再生と切り替わります。



UI GUIDE

モーションパッケージが [Blue] の場合のみ表示されます。各ボタンにカーソルをあわせたとき、ボタンの役割を表示する/しないを切り替えます。「UI GUIDE」の隣に「ON」または「OFF」と表示され、設定状態が確認できます。



Repeat

クリックすることにより、リピートオフ (通常再生) → 一曲リピート → 全曲リピート → リピートオフ (通常再生) と切り替わります。「Repeat」の隣に「OFF」「One」「ALL」のいずれかが表示され、設定状態が確認できます。

再生/一時停止、停止、音量、前の曲に戻る、次の曲に進むなどが、リモコンと同じように操作できます。



■RoomStylePlayerの終了方法■

「RoomStylePlayer」の操作画面を終了する方法について説明します。

1 リモコンの【戻る】ボタンを押す

デスクトップ画面に戻ります。

② 音楽CDから曲を取り込んで聴く (BeatJam)

ここでは、「BeatJam」で音楽CDの曲をパソコンに録音して、音楽ファイルを作る方法を説明します。音楽ファイルを作ったら、そのファイルを再生してみましょう。

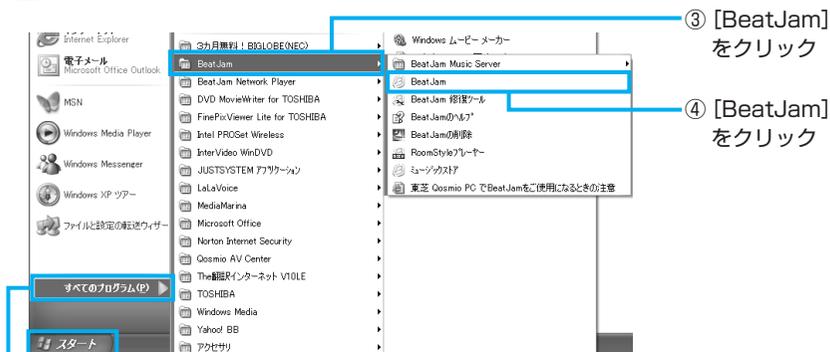
1 ドライブに音楽CDをセットする

CDが自動的に中に吸い込まれるまで押してください。



【Audio CD】画面が表示された場合は【キャンセル】ボタンをクリックしてください。

2 起動する



① 【スタート】をクリック

② 【すべてのプログラム】をクリック

③ 【BeatJam】
をクリック

④ 【BeatJam】
をクリック

メモ

- 【東芝 Qosmio PC で BeatJamをご使用になるときの注意】は、【スタート】 → 【すべてのプログラム】 → 【BeatJam】 → 【東芝 Qosmio PC で BeatJamをご使用になるときの注意】をクリックすると、表示することができます。

「BeatJam」が起動します。

初めて起動したときは、【使用許諾契約の確認】画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、【同意する】ボタンをクリックしてください。次に、「バックアップツール」についての画面が表示されます。内容を確認後、【OK】ボタンをクリックしてください。続けて、ユーザ登録をおすすめする画面が表示されます。この方法でユーザ登録を行うには、インターネットに接続できる環境とメールが受信できる環境が必要です。ユーザ登録を行う場合は、【今すぐ登録】ボタンをクリックし、画面の指示に従ってユーザ登録を行ってください。後でユーザ登録を行う場合は、【閉じる】ボタンをクリックしてください。

続けて【東芝 Qosmio PC で BeatJamをご使用になるときの注意】画面が表示されます。確認後は【今後、このメッセージを表示しない】をチェックし、【OK】ボタンをクリックしてください。

3 CDパネルを表示する

すでにCDパネルが表示されている場合は、手順4に進んでください。



CDパネルが表示されます。

4 音楽CDから録音する曲と、録音形式を選択する

次の録音形式が選択できます。

OpenMG Audio形式

著作権保護機能に対応する形式のこと。OpenMG Audio形式で録音した音楽ファイルは、再生できる機器などが限られる。手順③では [OpenMG Audio] を選択する。

WindowsMedia形式

「Windows Media Player」標準のデータ形式のこと。手順③では [WMA] を選択する。

WAVE形式

MIDIやサウンドカード、電子楽器に対応する、Windowsで一般的に使われている形式のこと。手順③では [WAV] を選択する。

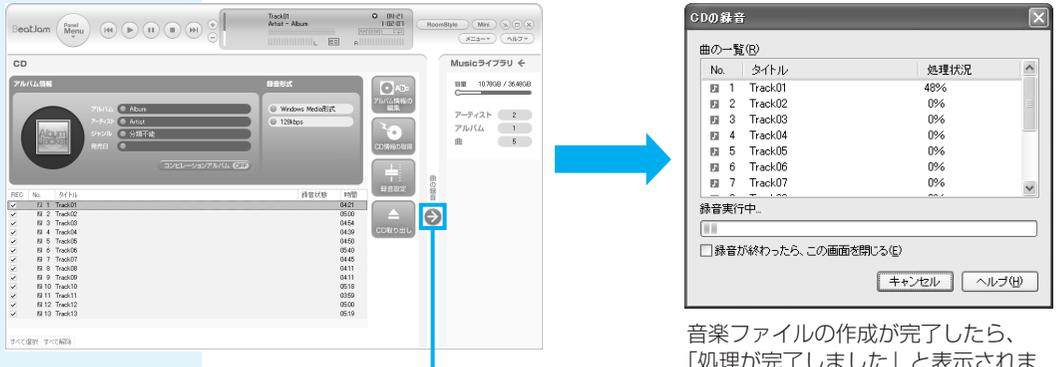


- 「BeatJam」では、MP3ファイルの再生は可能ですが、MP3形式のデータを作成することができません。
- 「音楽CDの曲情報を Gracenote CDDDB® から取り込むことができます。Gracenote CDDDB® については、「BeatJam」のヘルプを確認してください。音楽認識技術及び関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。



5 【録音の開始】 ボタンをクリックする

音楽CDの曲がパソコンに録音され、音楽ファイルの作成が始まります。



① 【録音の開始】 をクリック

音楽ファイルの作成が完了したら、「処理が完了しました」と表示されます。

6 録音する画面を閉じる



① 【閉じる】 をクリック

作成した音楽ファイルは、ライブラリパネルで再生できます。次の手順で、作成した音楽ファイルを再生してみましょう。

7 Musicライブラリパネルを表示する



Musicライブラリパネルが表示されます。

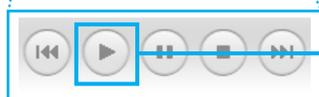
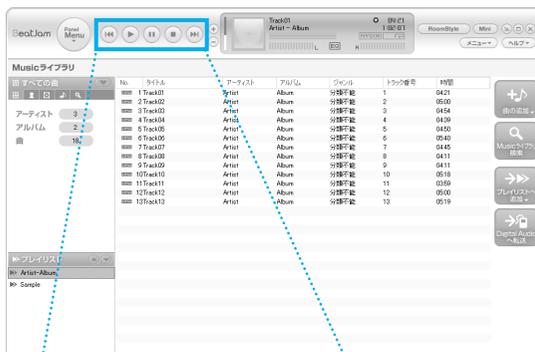
8

音楽ファイルを再生する



メモ

- 音楽を聴くアプリケーションとして、「Windows Media Player」も用意されています。「Windows Media Player」についての詳細は、『ヘルプとサポートセンター』を確認してください。



① [再生] をクリック

音楽ファイルの再生が始まります。

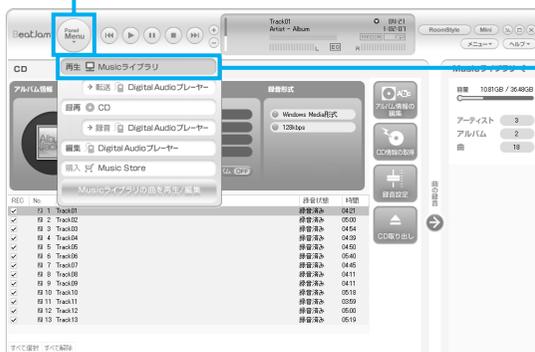
自分だけの演奏リスト（プレイリスト）を作る

ここでは、プレイリストを作る方法を説明します。音楽ファイルを好きな順番に並べて1つにまとめたものを「プレイリスト」といい、自分だけの演奏リストを作ることができます。

1

Musicライブラリパネルを表示する

① [Panel Menu] をクリック

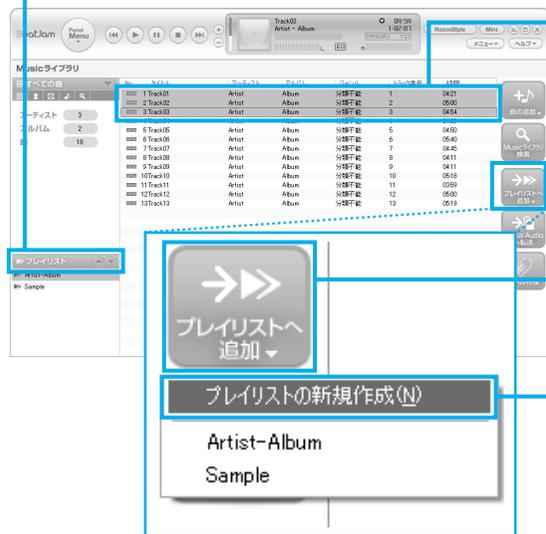


② [Musicライブラリ] をクリック

Musicライブラリパネルが表示されます。

2 プレイリストに入れたい曲を選択する

- ① 新規作成するプレイリストに入れたい曲が入っているプレイリストをクリック
ここでは [Artist-Album] をクリックします。



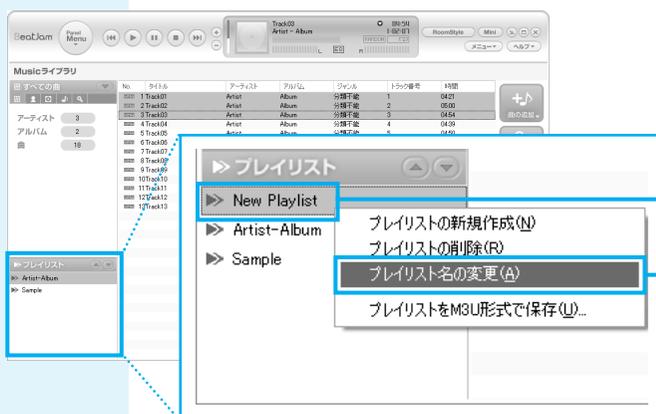
- ② 入れたい曲を選択する曲を複数選択したいときは、[CTRL]キーを押したまま曲をクリックします。

- ③ [プレイリストへ追加] をクリック

- ④ [プレイリストの新規作成(N)] をクリック

新しいプレイリストが追加されます。
プレイリストの名前は変更できます。

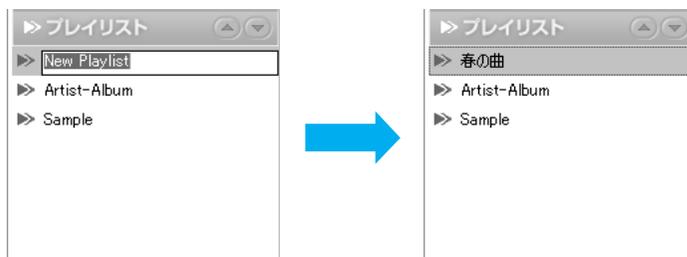
3 プレイリストに名前を付ける



- ① プレイリストを右クリック

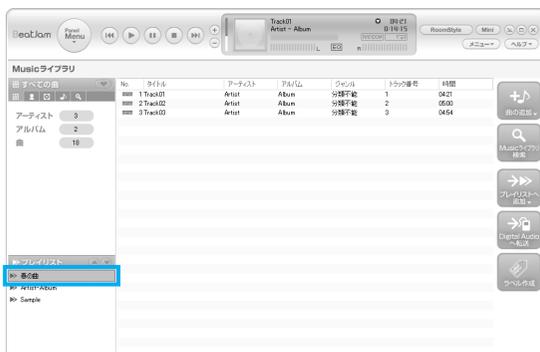
- ② [プレイリスト名の変更] をクリック

プレイリストの名前が変更できる状態になります。キーボードから、名前を入力してください。ここでは「春の曲」と入力します。



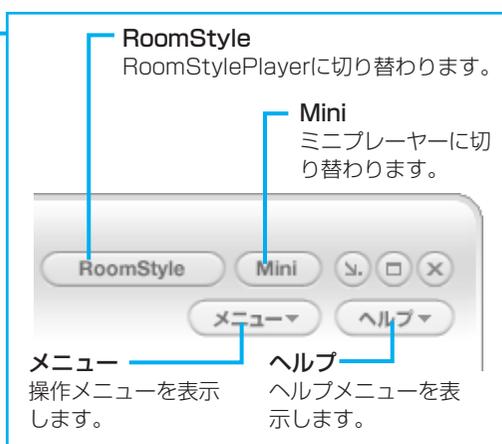
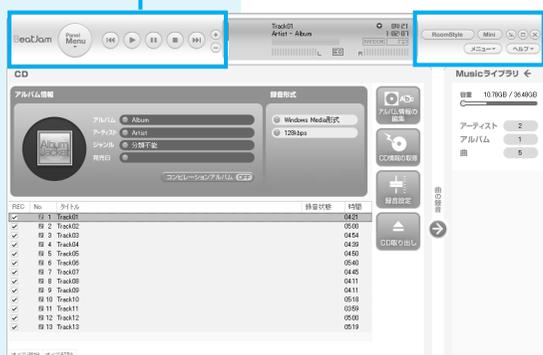
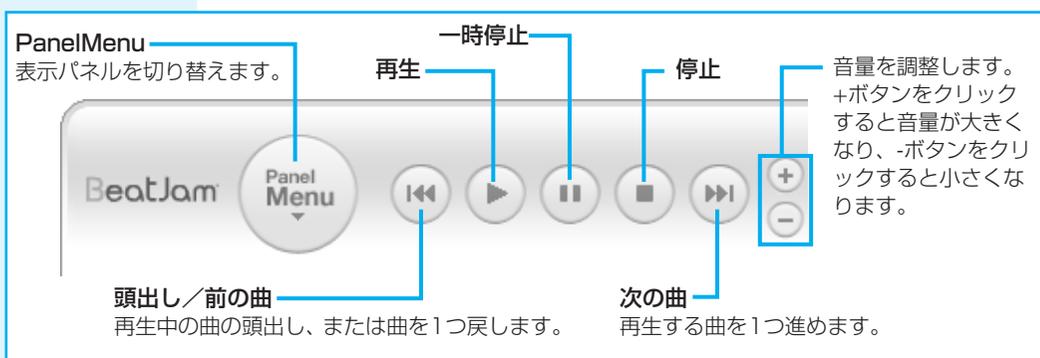
4 プレイリストが完成

新しいプレイリスト（[春の曲]）をクリックして、曲が追加されたことを確認しましょう。



CDパネルの操作画面

ここでは、CDパネルの操作画面について説明します。



■ミニプレーヤー■

[Mini] ボタン（ **Mini** ）をクリックすると、ミニプレーヤーに切り替わります。操作ボタンや音量調節など、音楽を聴くための機能を集約した画面です。



③ オーディオ機器から音楽を取り込む (BeatJam)

本製品のマイク入力端子にオーディオ機器を接続し、オーディオ機器から音楽を取り込むことができます。

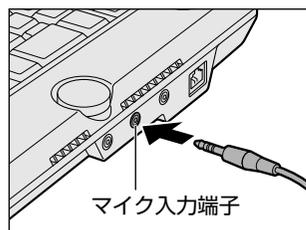
1 オーディオ機器とパソコンを接続する

市販のオーディオケーブルを使用してください。
オーディオケーブルのプラグは、次のものを使用してください。

- パソコン本体に接続する側 : 3.5mmφステレオミニジャックタイプのプラグ
 - オーディオ機器に接続する側 : オーディオ機器のLINE OUT端子 (出力端子) に対応するプラグ
- 詳しくは、『オーディオ機器に付属の説明書』を確認してください。

1 オーディオケーブルのプラグをパソコン本体のマイク入力端子に差し込む

コネクタの形状を確認して差し込んでください。



2 オーディオケーブルのもう一方のプラグをオーディオ機器のLINE OUT端子 (出力端子) に差し込む

続けて、オーディオ機器からの入力を有効に設定します。

3 [ボリュームコントロール] 画面を表示する

② [すべてのプログラム] をクリック

④ [エンターテインメント] をクリック

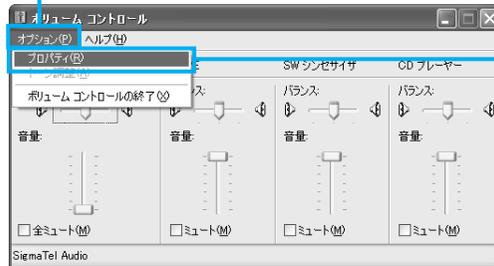
⑤ [ボリュームコントロール] をクリック

③ [アクセサリ] をクリック

① [スタート] をクリック

4 【録音コントロール】画面で、ライン入力を選択する

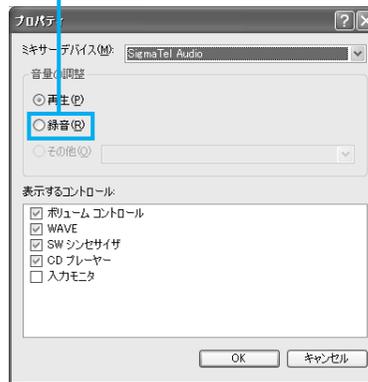
① 【オプション】 をクリック



② 【プロパティ】 をクリック



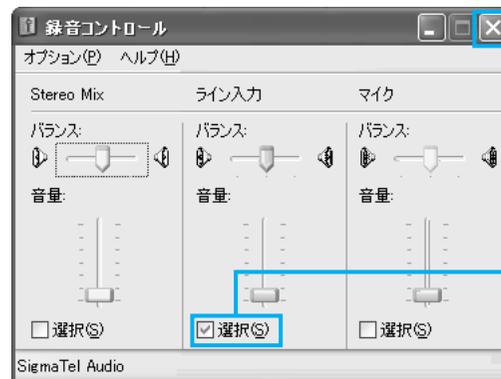
③ 【録音】 をクリック



④ 【ライン入力】 をクリック



⑤ 【OK】 をクリック



⑦ クリック

⑥ 【ライン入力】の【選択】をクリック

パソコンとオーディオ機器を接続したら、「BeatJam」を使って音楽データをパソコンに取り込みます。

1 BeatJamを起動する

起動方法は、「本節② 音楽CDから曲を取り込んで聴く (BeatJam)」の手順2と同様です。

2 Musicライブラリパネルを表示する



3 外部入力からの録音に切り替える



マイク入力端子に接続した機器の音楽データが、「BeatJam」で再生/録音できるようになります。

4 録音先フォルダとファイル名を設定する

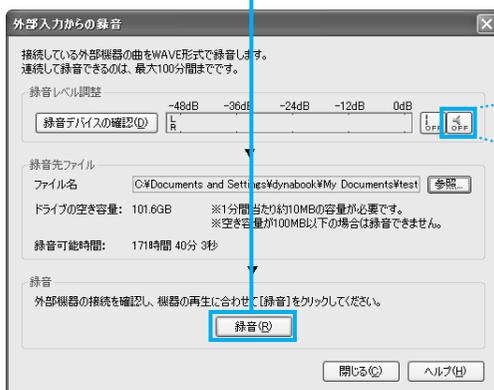


5 オーディオ機器を再生する

再生や停止などの操作は、接続した機器で行ってください。

6 録音する

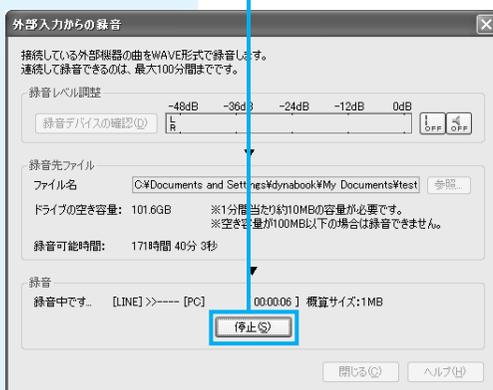
① [録音] をクリック



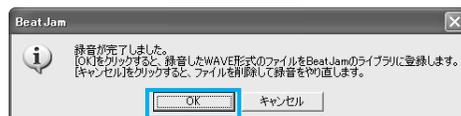
クリックしてONになると、録音中の音を確認しながら録音できます。

7 録音を停止する

① [停止] をクリック

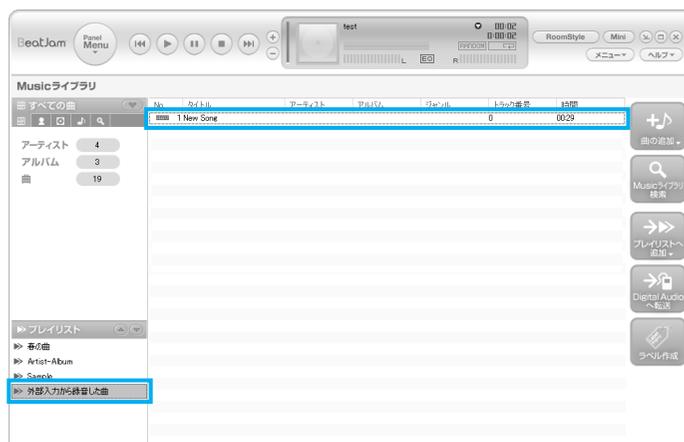


録音が完了すると、「録音が完了しました。」というメッセージが表示されます。



② [OK] をクリック

オーディオ機器から取り込んだ音楽データが、WAVE形式のファイルとして録音されました。[Musicライブラリ]に登録されるので、確認してください。



◆ 「BeatJam」 「RoomStylePlayer」 の問い合わせ先

●ユーザー登録に関するお問い合わせ

ユーザー登録ご相談窓口

受付時間 : 平日 10:00~19:00 土・日・祝日 10:00~17:00
(特別休業日を除く)

TEL : 東京 03-5412-2624 大阪 06-6886-2624

ホームページ : <http://www.justsystem.co.jp/service/>

●製品の使い方に関するお問い合わせ

ジャストシステムサポートセンター

* サポートセンターへお問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。

受付時間 : 平日 10:00~19:00 土・日・祝日 10:00~17:00
(特別休業日を除く)

TEL : 東京 03-5412-3980 大阪 06-6886-7160

ホームページ : <http://support.justsystem.co.jp/>

④ 音楽CDを聴く (QosmioPlayer)

音楽CDを聴く前に、「付録2-7「QosmioPlayer (CD)」 「QosmioPlayer (DVD)」の使用にあたって」をよくお読みください。

QosmioPlayerを使って音楽CDを聴くときの起動/終了方法は、「13-② QosmioPlayerで観る」と同様です。

また、その他の操作方法は、「付録4 QosmioPlayerの操作一覧」を参照してください。ここでは、補足として、再生モードの変更方法を説明します。

◆ 再生モードの変更

音楽CDを聴くとき、次の中から再生モードを選択できます。

再生モード	リモコン	切替えキー	内容
通常再生	—	—	CDの1曲目から順番に最後の曲まで再生する
1曲リピート*1	リピート	(CTRL)+[R]	現在選択されている曲を、繰り返し再生する
Discリピート*1	リピート	(CTRL)+[R]	CDの1曲目から順番に最後の曲まで再生した後、また1曲目から繰り返し再生する
シャッフル再生*2	シャッフル	(CTRL)+[S]	CDに収録されているとおりではなく、曲の順番を入れ替えて再生する

*1 **(CTRL)+[R]**またはリモコンの「[リピート]」ボタンを1回押しごとに、次のように切り替わります。通常再生(標準値) → 1曲リピート → Discリピート → 通常再生…

*2 **(CTRL)+[S]**またはリモコンの「[シャッフル]」ボタンを1回押しごとに、曲の順番を入れ替えて再生する/しないが切り替わります。

15

オリジナル音楽CDを作る

音楽CDを作る前に、「付録2-11 「TOSHIBA Disc Creator」を使うために」をよくお読みください。

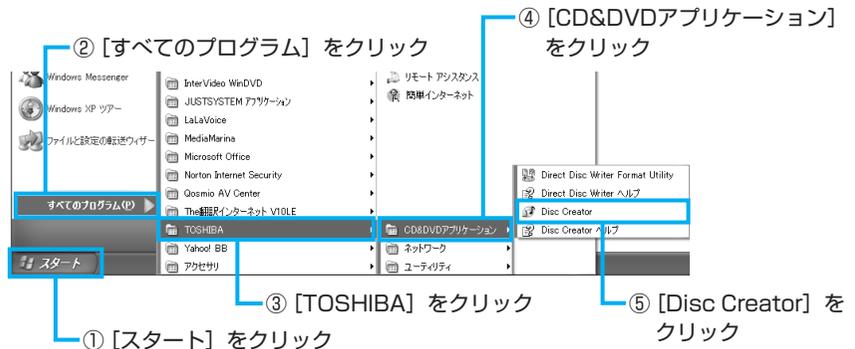
オリジナルの音楽CDを作るには、^{トウシバ ディスク クリエイタ}「TOSHIBA Disc Creator」を使います。パソコンに音楽CDから曲を取り込んで、好きな曲を1つのCDにまとめることができます。

オリジナル音楽CDを作るには、CD-RW、CD-Rを使います。作成したCD-RWは、再生機器によっては、再生できないことがあります。

① オリジナル音楽CDを作る

ここでは、既成の音楽CDから、曲をいったんパソコンに取り込み、その後CD-RIに書き込んで音楽CDを作る方法を説明します。

1 起動する



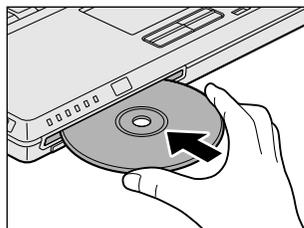
2 [音楽CD作成] をクリックする

手順2のあと音楽CDの情報をインターネットから取得するための「Windows Media Player」の設定に関する画面が表示される場合があります。必要に応じて「Windows Media Player」の設定を行ってください。設定方法については、「Windows Media Player」のヘルプを参照してください。



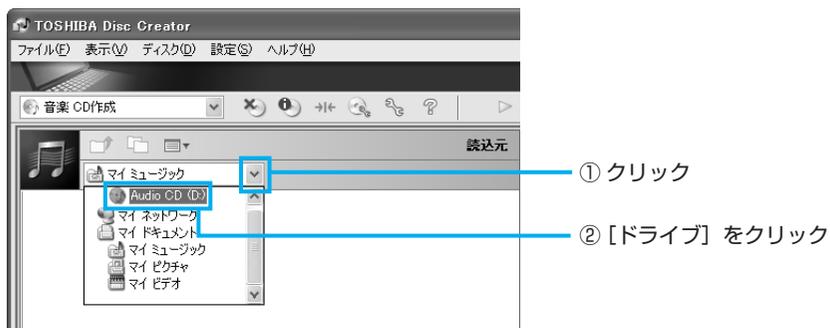
3 ドライブに音楽CDをセットする

CDが自動的に中に吸い込まれるまで押してください。



[Audio CD] 画面が表示された場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

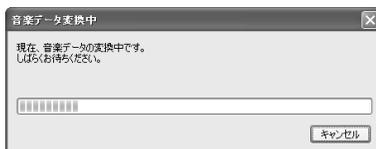
4 ドライブを選択する



5 書き込みたい曲 (トラック) を選択する

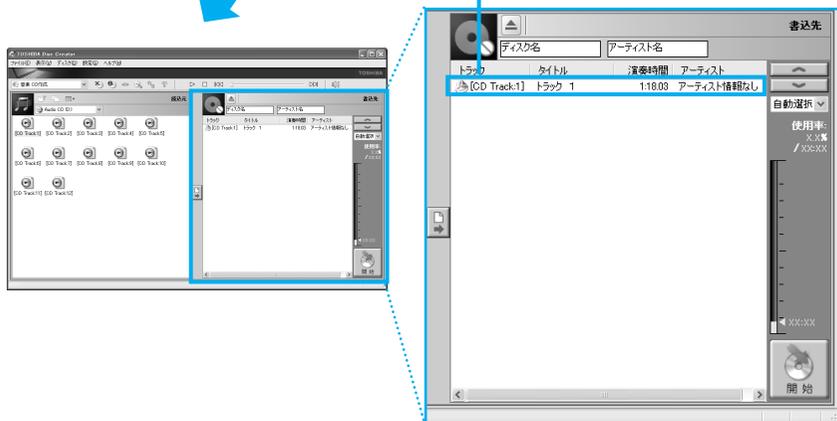


① 曲を選択する
曲は、「Track」と表示されます。曲を複数選択したい場合は、**(CTRL)** キーを押したまま目的の曲をクリックしてください。



選択した曲を、いったんパソコンのハードディスクに取り込みます。取り込みの進捗状態が表示されます。

書き込む曲の一覧



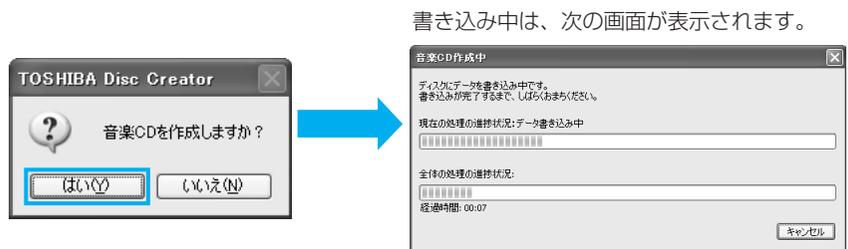
メモ

- 曲順を入れ替えたい場合には、トラックを選択して移動したい位置へドラッグアンドドロップします。

- 6** 音楽CDを入れ替え、手順5をくり返す
他の音楽CDからも曲を取り込みたい場合に行ってください。
- 7** ドライブから音楽CDを取り出し、未使用のCD-R、CD-RWまたは消去してよいCD-RWをセットする
- 8** 【開始】 ボタンをクリックする



- 9** メッセージを確認し、【はい】 ボタンをクリックする



CDの書き込みが終了すると、自動的にドライブからディスクが半分くらい出てきます。

- 10** 【いいえ】 ボタンをクリックする



さらに同じ内容のCDを作りたい場合は、未使用のCD-Rと入れ替えて、【はい】 ボタンをクリックしてください。

ヘルプの起動方法

「TOSHIBA Disc Creator」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。



「TOSHIBA Disc Creator」の問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号 : 0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）

技術相談窓口 受付時間 : 9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

16

音楽や映像の環境を整える

本製品には、より良い状態でパソコンを楽しんでいただくために、画質や音質を調整する機能が用意されています。目的にあわせてご使用ください。

① Qosmio AV Centerの映像を調整する

本製品には、Qosmio AV Center上でテレビを見たり録画映像を見たりする場合に、映像をより見やすく調整するための機能が用意されています。



1 起動する

- ① リモコンの [HOME] ボタンを押す
「Qosmio AV Center」が起動します。



- ② リモコンの方向ボタンで [設定] を選択し、[決定] ボタンを押す

画面はF30/795シリーズの場合です。そのほかのモデルでは、設定を変更できない項目があります。



- ③ タッチパッドまたはマウスで [表示設定] をクリック

(表示例)

2 各項目を、目的や好みにあわせて設定する

各項目の詳細は、「Qosmio AV Center」のヘルプを参照してください。

参照 ▶ 映像調整ユーティリティについて
「本節 ②- 映像調整ユーティリティ」

■映像調整ユーティリティとの関係■

「映像調整ユーティリティ」と同じ設定項目に関しては、「Qosmio AV Center」で設定を変更すると、自動的に「映像調整ユーティリティ」も変更されます。

② 状況にあわせて画質を調整する

本製品には、DVDやテレビ、ビデオカメラの映像を再生するときに高画質化処理を行う機能（QosmioEngine）が搭載されています。

1 高画質化処理

次の状態のときに自動的に高画質化処理が行われます。切替えの操作は必要ありません。

- QosmioPlayer（DVD）を使用して、DVDを再生しているとき

参照 QosmioPlayer（DVD） 「13-② QosmioPlayerで観る」

- 「WinDVD」を使用して、DVDを再生しているとき

参照 WinDVD 「13-① WinDVDで観る」

- QosmioPlayer（TV）を使用して、テレビを見ているとき

参照 QosmioPlayer（TV） 「6-② QosmioPlayerでテレビを見る」

- 「Qosmio AV Center」を使用して、地上アナログ放送を見ているとき

参照 Qosmio AV Center 「6-① Qosmio AV Centerでテレビを見る」

- ビデオカメラの映像を「Qosmio AV Center」を使用して再生しているとき

参照 ビデオカメラの接続 「12-④ アナログのビデオカメラの映像を取り込んで編集する」

お願い

- 「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用した場合は、高画質化処理を行わない通常表示になります。なお、DVD-Videoの再生にあたっては「付録2-6 Windows上でのDVD-Videoの再生にあたって」もあわせてお読みください。
- 「WinDVD」「Qosmio AV Center」を使用して映像を再生しているとき、字幕などの文字情報が粗く表示される場合があります。
- QosmioPlayer（DVD）、QosmioPlayer（TV）、「WinDVD」「Qosmio AV Center」を使用して映像を再生しているとき、再生しているデータにノイズがある場合は、強調して表示されます。

表示の対応

高画質化処理を行った表示は、本体液晶ディスプレイのみ対応しています。パソコン本体にテレビや外部ディスプレイを接続し、同時表示に設定している場合、テレビや外部ディスプレイは高画質化処理を行わない通常表示です。映像再生中の表示は次のような対応です。

◎：高画質化処理を行った表示 ○：高画質化処理を行わない通常表示
×：表示しない

	QosmioPlayer (DVD) 使用中	QosmioPlayer (TV) 使用中	WinDVD 使用中	Qosmio AV Center使用中
本体液晶 ディスプレイ	◎	◎	◎	◎
テレビ	×	×	○	○
外部 ディスプレイ	×	×	○	○
同時表示	×	×	○*1	○*1

参照 テレビや外部ディスプレイの接続 『活用ガイド 3章 周辺機器を使って機能を広げよう』

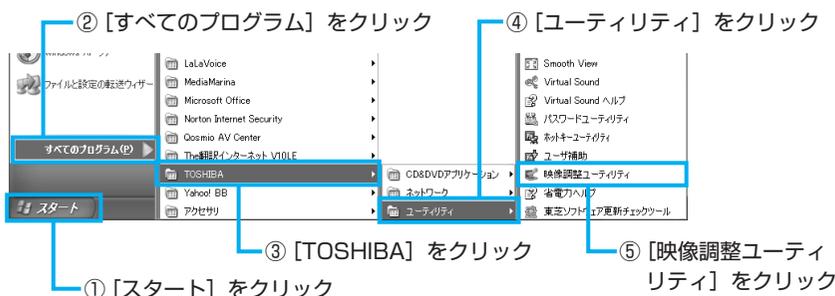
*1 本体液晶ディスプレイとテレビの同時表示、または本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示に設定したときのテレビ、または外部ディスプレイの表示状態を示します。

映像調整ユーティリティ

映像を観る環境にあわせて、映像モードの変更を行うことができます。この設定は、表示装置が本体液晶ディスプレイのみで、「WinDVD」、「Qosmio AV Center」を使用して映像を再生しているときに有効です。

起動する

デスクトップ上の「映像調整ユーティリティ」アイコンをダブルクリックしても起動できます。



「映像調整ユーティリティ」画面が表示されます。

■F30/795シリーズの場合■



■F30/790シリーズ、F30/77シリーズ、F30/69シリーズの場合■



2 目的にあわせて各項目を設定する

F30/795シリーズの場合、「シャープネス」と「LCDオーバードライブ」の設定は、「WinDVD」を使用するときに有効です。

3 「適用」または「OK」ボタンをクリックする

メッセージが表示されます。

4 「OK」ボタンをクリックする

5 「映像調整ユーティリティ」画面で「OK」ボタンをクリックする

次回、「WinDVD」や「Qosmio AV Center」を使用して映像を再生するときは、設定した映像モードで再生します。

■Qosmio AV Centerとの関係■

「Qosmio AV Center」の「表示設定」と同じ設定項目については、「映像調整ユーティリティ」で設定を変更すると、自動的に「Qosmio AV Center」も変更されます。

参照

「Qosmio AV Center」の「表示設定」について
「本節 ① Qosmio AV Centerの映像を調整する」

◆ ヘルプの起動方法

「映像調整ユーティリティ」についての詳細は、ヘルプを確認してください。
起動方法は、次のとおりです。

- 1 「映像調整ユーティリティ」を起動後、画面右上の **?** をクリックする



ポインタが **?** に変わります。

- 2 画面上の知りたい項目にポインタを置き、クリックする

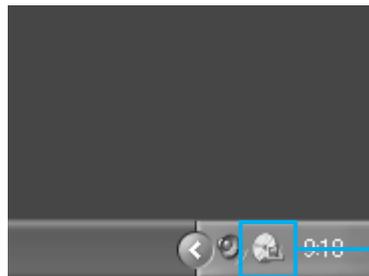
「映像調整ユーティリティ」については、東芝PCあんしんサポート（巻末参照）にお問い合わせください。

③ ドライブの動作音を小さくする

* 静音効果は、使用条件や個人の感覚によって異なります。

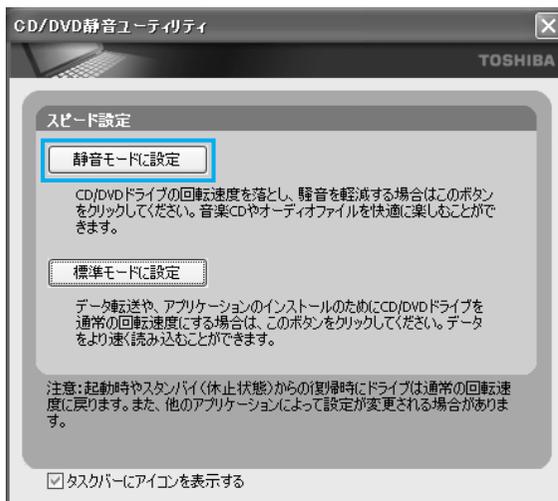
音楽CDを楽しんでいるときに、ドライブの動作音が気になるときは、「CD/DVD静音ユーティリティ」を使ってみましょう。
ドライブの回転速度を抑え、動作音を小さくします。

- 1 [CD/DVD静音ユーティリティ] アイコンをダブルクリックする



ダブルクリック

2 【静音モードに設定】 ボタンをクリックする

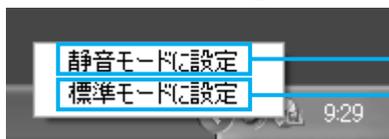


[タスクバーにアイコンを表示する] のチェックをはずすと、通知領域のアイコン () が消えます。この場合、「CD/DVD静音ユーティリティ」を起動するには、[コントロールパネル] → [パフォーマンスとメンテナンス] → [ CD/DVD静音ユーティリティ] をクリックします。通知領域にアイコン () をもう1度表示するには、[タスクバーにアイコンを表示する] をチェックしてください。

画面が閉じて、静音モードに設定されます。
これでドライブの動作音が小さくなります。

役立つ操作集

通知領域の [CD/DVD静音ユーティリティ] アイコン () を右クリックし、表示されたメニューから、モードを選択することもできます。



「静音モード」に設定したいときにクリック
「標準モード」に設定したいときにクリック

音楽CDを聴き終わった後は、「標準モード」に設定し直してください。「静音モード」に設定しているとCDの読み出し速度が遅くなるため、「標準モード」よりもCDの読み出しに時間がかかります。

「静音モード」に設定しても、次のような場合は、「標準モード」に切り替わります。

- システムを再起動したとき
- スタンバイ、休止状態から復帰したとき
- 「TOSHIBA Disc Creator」、 「TOSHIBA Direct Disc Writer」、 「TOSHIBA Recovery Disc Creator」 でCD/DVDの書き込み/編集を行うとき
- CD速度を設定するアプリケーションを使用したとき

「CD/DVD静音ユーティリティ」については、東芝PCあんしんサポート (巻末参照) にお問い合わせください。

④ 状況にあわせて音質を調整する

「TOSHIBA Virtual Sound」は、SRS社のSRS WOW HD（エスアールエス・ワウ・エイチディ）、SRS TruSurround XT（エスアールエス・トゥールーサラウンド・エクスティ）、Circle Surround Xtract（サークル・サラウンド・エクストラクト）技術を使い、音楽や音声を聴く環境にあわせて、サウンドの音質を調整するユーティリティです。SRS WOW HD、SRS TruSurround XT、Circle Surround Xtract技術の音響強化機能を利用して、好みの音質でサウンドをお楽しみいただけます。

1 起動する



「TOSHIBA Virtual Sound」が起動します。
[詳細設定を開く] ボタンをクリックすると、さらに詳細な調節を行うことができます。





メモ

- [オプション] ボタンをクリックすると、SRS WOW HD、SRS TruSurround XT、Circle Surround Xtractの動作を変更できます。

機能や操作の詳細は「TOSHIBA Virtual Sound」のヘルプを確認してください。ここでは機能の概要を紹介します。

4つのリスニング環境のそれぞれに適した音質を設定する（リスニング環境）

[内蔵スピーカー] [外部接続スピーカー] [開放型ヘッドフォン] [密閉型ヘッドフォン]の中から、お使いの環境にあわせたモードを選択でき、それぞれに適した音質を設定できます。

サウンドのステレオ感を調節する（サラウンドの制御）

音の広がりをお好みにより設定できます。

低音感を調節する（低音の制御）

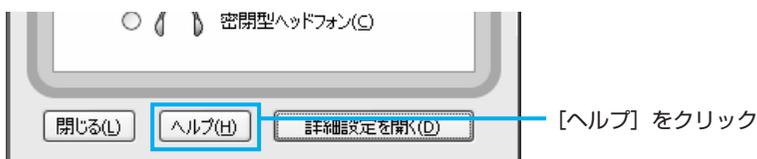
音の出力レベルとスピーカーサイズを調節することにより、低音感をお好みにより設定できます。

サウンドのクリア感を調節する（高音の制御）

音のクリア感をお好みにより設定できます。

◆ ヘルプの起動方法

「TOSHIBA Virtual Sound」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は次のとおりです。



「TOSHIBA Virtual Sound」については、東芝PCあんしんサポート（巻末参照）にお問い合わせください。

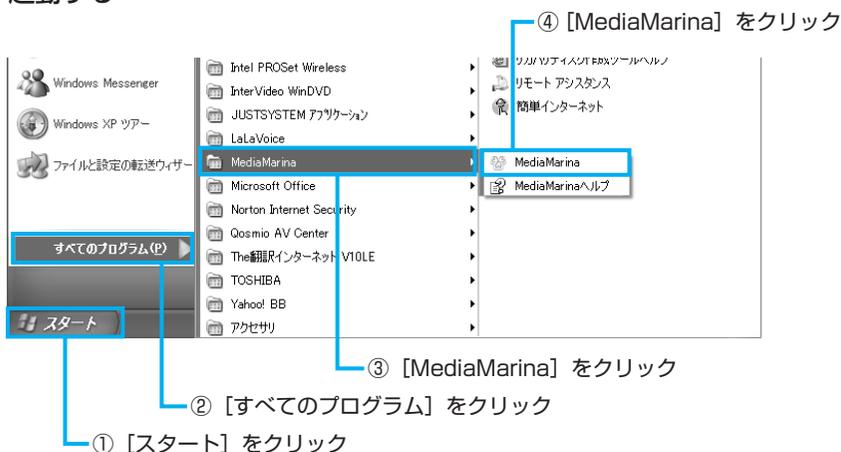
デジタルカメラの写真を編集する

デジタルカメラで撮った写真などの画像を閲覧し、編集するには、「MediaMarina」^{メディアマリーナ}と「写真スタジオ」を使います。文字を書き込むなどの編集操作を簡単に行うことができます。

① 写真を観る

ここでは、デジタルカメラで撮った写真など、フォトライブラリで管理されている画像を観る場合の手順を説明します。デジタルカメラからパソコンへの取り込みかたは、接続するデジタルカメラによって異なります。取り込みかたは、「MediaMarina」のヘルプを確認してください。

1 起動する



「MediaMarina」が起動します。

初めて起動したときは、[使用許諾契約の確認] 画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、[同意する] ボタンをクリックしてください。続けて、ユーザ登録をおすすめする画面が表示されます。この方法でユーザ登録を行うには、インターネットに接続できる環境とメールが受信できる環境が必要です。ユーザ登録を行う場合は、[今すぐ登録] ボタンをクリックし、画面の指示に従ってユーザ登録を行ってください。後でユーザ登録を行う場合は、[閉じる] ボタンをクリックしてください。

2 画像を一覧表示する

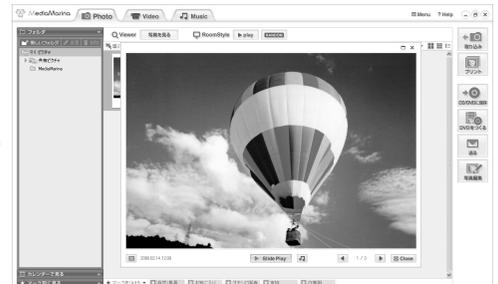
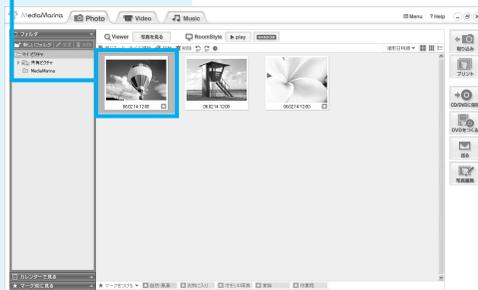
初期状態では、[マイ ドキュメント] の [マイ ピクチャ] に保存されている画像を表示します。



- ① リモコンの [項目選択] ボタンで [フォトライブラリ] を選択し、[決定] ボタンを押す

3 目的の画像を拡大表示する

- ① リモコンの方向ボタンで目的の画像を選択し、[決定] ボタンを押す



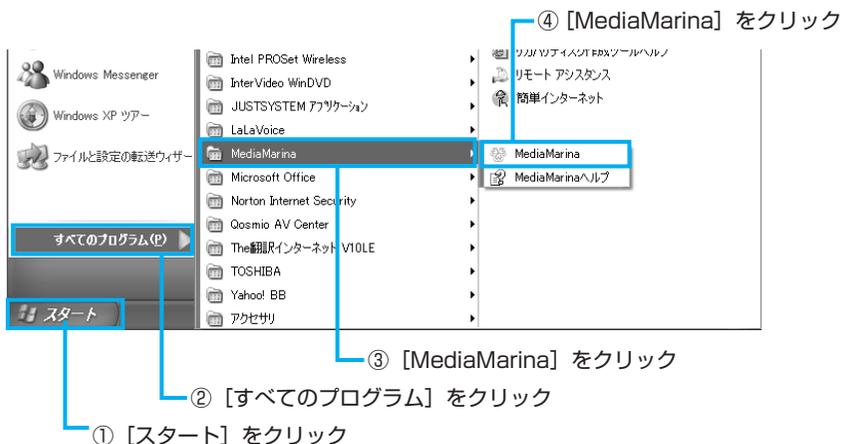
ビューア画面上に画像が拡大表示されます。

続けて、次の画像を拡大表示したい場合は、リモコンの方向ボタン [▶] を押してください。

② 写真を編集する

ここでは、「写真スタジオ」を使って画像を編集する方法を説明します。

1 起動する



「MediaMarina」が起動します。

初めて起動したときは、[使用許諾契約の確認] 画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、[同意する] ボタンをクリックしてください。続けて、ユーザ登録をおすすめする画面が表示されます。この方法でユーザ登録を行うには、インターネットに接続できる環境とメールが受信できる環境が必要です。ユーザ登録を行う場合は、[今すぐ登録] ボタンをクリックし、画面の指示に従ってユーザ登録を行ってください。後でユーザ登録を行う場合は、[閉じる] ボタンをクリックしてください。

2 画像を一覧表示する

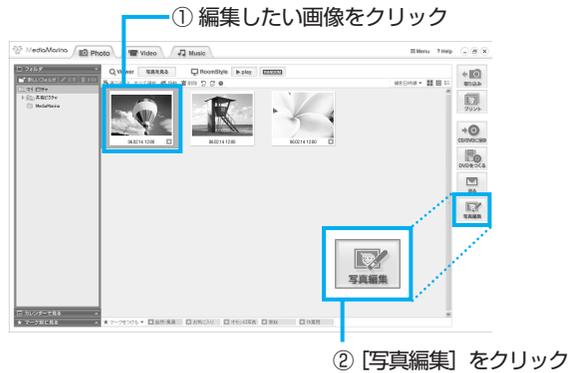
画面の構造は、「写真を観る」と同じです。



- ① リモコンの [項目選択] ボタンで [フォトライブラリ] を選択し、[決定] ボタンを押す

3 画像を編集する

ここでは、画像に文字を追加します。

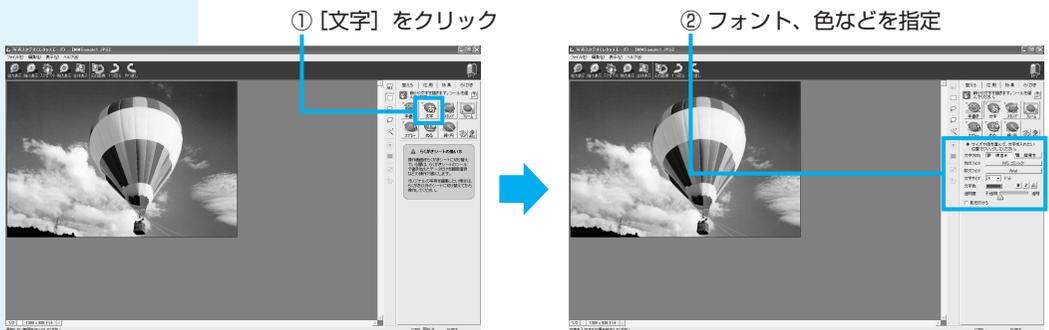


「写真スタジオ」が起動します。

4 [らくがき] タブをクリックする



5 入力する文字の種類を設定する



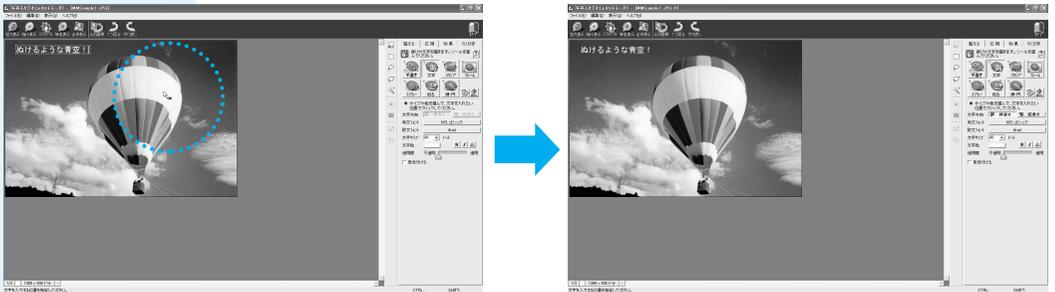
6 文字を入力したい位置でクリックし、文字を入力する

クリックすると、カーソルが点滅表示され、文字を入力できるようになります。



7 文字を囲んでいる枠（文字入力領域）の外でクリックする

ポインタを文字入力領域の外に動かすと、ポインタの横に「OK」と表示されるので、クリックしてください。



画像に文字が追加されました。

いろいろな画像編集

「写真スタジオ」では、次のような画像の編集も行えます。
手順4で、目的に応じてそれぞれのタブを選択し、編集を行ってください。

整える

色合いを変更したり、シャープ／ぼかしの加工などの画質調整、サイズを調整できます。



効果

油絵風やモザイクなどのおもしろい効果をかけられます。



らくがき

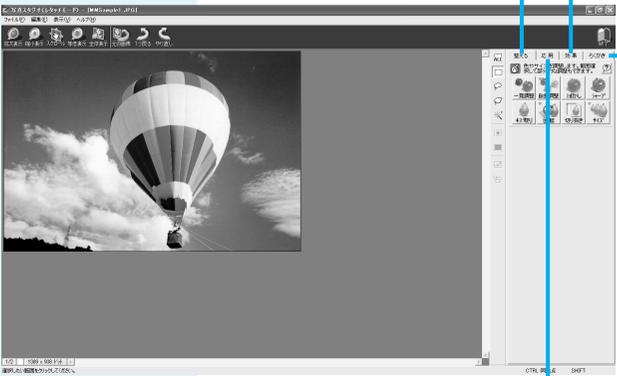
文字以外にも、スタンプやフレームの飾りをつけられます。



応用

色や形などを修正できます。





- 各タブの  をクリックすると、ヘルプが起動するので、参考にしてください。

ヘルプの起動方法

■MediaMarina■

「MediaMarina」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。



- ① [Help] をクリック
- ② [ヘルプの表示] をクリック

メモ

「MediaMarina」の写真に関する機能では、次のようなことができます。

- デジタルカメラの写真をパソコンに取り込む
- カレンダー表示で撮影された「月」や「日」ごとに写真を見る
- 画像の向きを変える
- 画像を印刷する

■写真スタジオ■



① [ヘルプ] をクリック

② [写真スタジオの使い方 (ヘルプ)] を
クリック

◆「MediaMarina／写真スタジオ」の問い合わせ先

●ユーザー登録に関するお問い合わせ

ユーザー登録ご相談窓口

受付時間 : 平日 10:00~19:00 土・日・祝日 10:00~17:00
(特別休業日を除く)

TEL : 東京 03-5412-2624 大阪 06-6886-2624

ホームページ : <http://www.justsystem.co.jp/service/>

●製品の使い方に関するお問い合わせ

ジャストシステムサポートセンター

* サポートセンターへお問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。

受付時間 : 平日 10:00~19:00 土・日・祝日 10:00~17:00
(特別休業日を除く)

TEL : 東京 03-5412-3980 大阪 06-6886-7160

ホームページ : <http://support.justsystem.co.jp/>

③ 編集した写真をCD/DVDにコピーする

データCD/DVDを作る前に、「付録2-11「TOSHIBA Disc Creator」を使うために」と「付録2-12 データCD/DVDを作るにあたって」をよくお読みください。

本製品には、CD/DVDにデータを書き込むアプリケーションとして、^{トシバ}「TOSHIBA Disc Creator」と「TOSHIBA Direct Disc Writer」が用意されています。お好みで使い分けてください。

- TOSHIBA Disc Creator
一般的に互換性の高いCD-R、DVD-R、DVD+Rに書き込めるので、配布・保存に適しています。
- TOSHIBA Direct Disc Writer
CD-RW、DVD-RW、DVD+RWにしか書き込めないのですが、書き込み手順が簡単なので、一時保存→上書きと繰り返す場合に適しています。

1 TOSHIBA Disc Creatorを使う

メモ

- CD-R、CD-RWなどにデータを書き込んだ場合、データを保護するために「読み取り専用」になっていて、記録ができない場合があります。データを使うときには、1度ハードディスクドライブなどにコピーしてからそのデータを右クリック→「プロパティ」で、「読み取り専用」のチェックをはずしてください。

ここでは、パソコンに保存されているデータをCD-R/DVD-Rに書き込んで、データCD/DVDを作る方法を説明します。

書き込み可能なメディア

○：使用できる ×：使用できない

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW	DVD-RAM
○	○	○*1・2	○*1	○*1・3	○*1	×

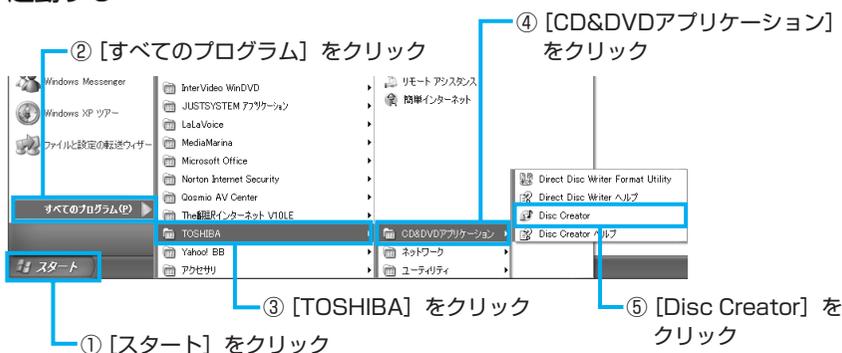
*1 DVD-Video、DVD-Audioの作成はできません。また、DVD プレーヤなどで使用することはできません。

*2 DVD-R DLを含みます。なお、DVD-R DLには追記ができません。

*3 DVD+R DLを含みます。

1 あらかじめ書き込みたいデータを用意しておく

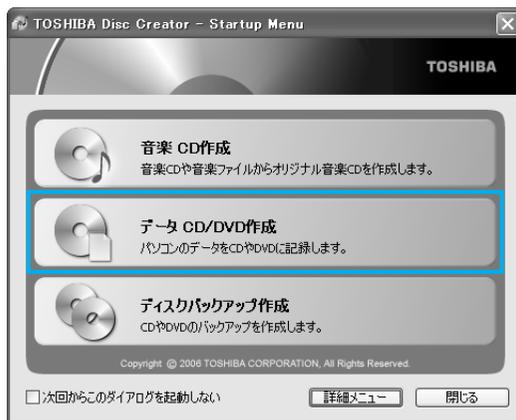
2 起動する



3

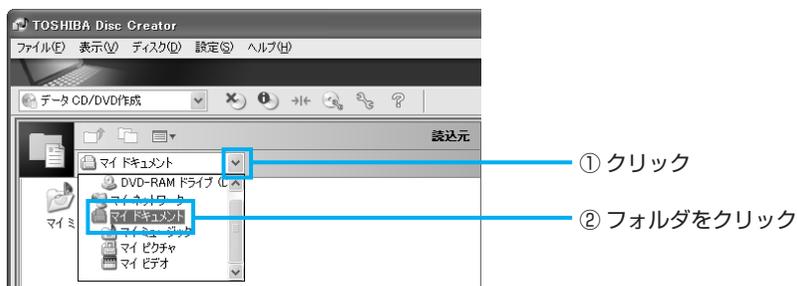
[データCD/DVD作成] をクリックする

手順3のあと音楽CDの情報をインターネットから取得するための「Windows Media Player」の設定に関する画面が表示される場合があります。必要に応じて「Windows Media Player」の設定を行ってください。設定方法については、「Windows Media Player」のヘルプを参照してください。



4

書き込みたいフォルダやファイルのある場所をクリックする



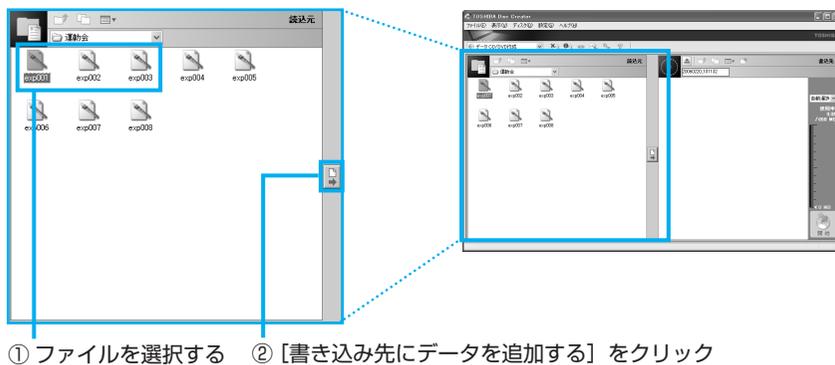
5

書き込みたいフォルダやファイルを指定する



メモ

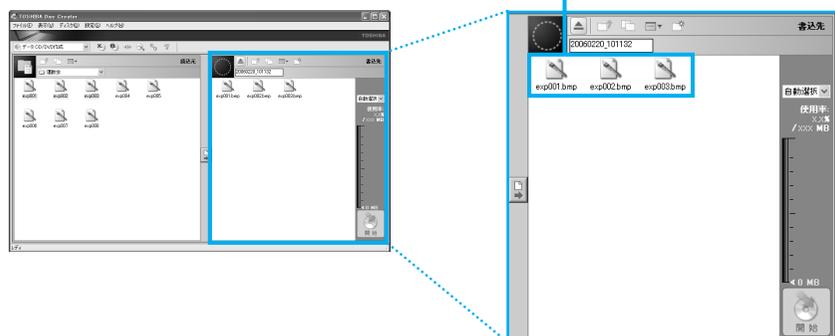
- **CTRL** キーを押しながらフォルダやファイルをクリックすると複数指定できます。



① ファイルを選択する ② [書き込み先にデータを追加する] をクリック

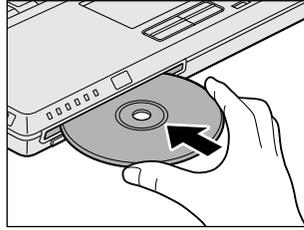


書き込むデータの一覧

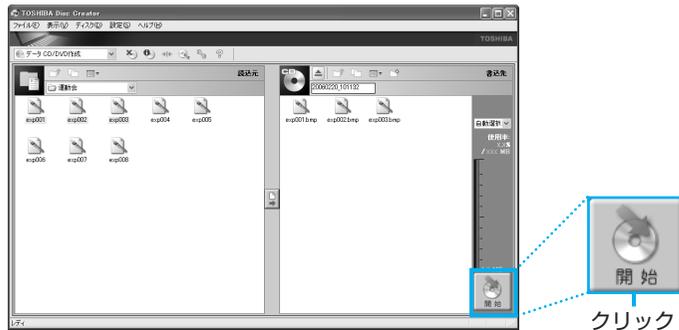


6 未使用のCD/DVD、または追記可能なCD/DVDをドライブにセットする

CD/DVDが自動的に中に吸い込まれるまで押してください。

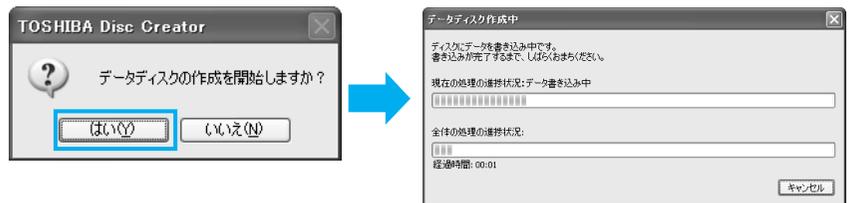


7 [開始] ボタンをクリックする



8 メッセージを確認し、[はい] ボタンをクリックする

書き込み中は、次の画面が表示されます。



CD/DVDへの書き込みが終了すると、自動的にドライブからディスクが半分くらい出てきます。

9 [いいえ] ボタンをクリックする



- 「TOSHIBA Disc Creator」のヘルプの起動方法については、「15 オリジナル音楽CDを作る」を参照してください。



さらに同じ内容のCDを作りたい場合は、未使用のCD-Rと入れ替えて、[はい] ボタンをクリックしてください。

「TOSHIBA Disc Creator」については、東芝PCあんしんサポート（巻末参照）にお問い合わせください。

「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使う前に、「付録2-13 「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使うために」をよくお読みください。

書き込み可能なメディア

○：使用できる ×：使用できない

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW	DVD-RAM
×	○*1	×	○*1	×	○*1	×

*1 新品のCD-RW、DVD-RW、DVD+RWを「TOSHIBA Direct Disc Writer」で使用するためには、あらかじめフォーマットが必要です。

CD/DVDをフォーマットする

初めて「TOSHIBA Direct Disc Writer」で使用するCD/DVDは、使用前に「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」でのフォーマットが必要です。次の手順でフォーマットを行ってください。

1

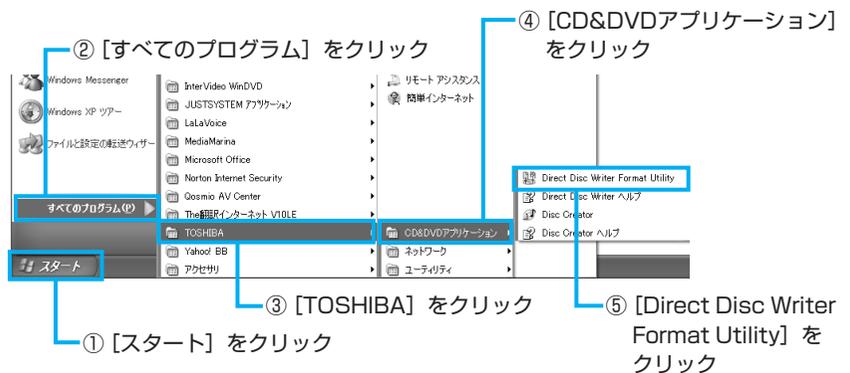
ドライブにフォーマットしたいCD/DVDをセットする

CD/DVDが自動的に中に吸い込まれるまで押してください。



2

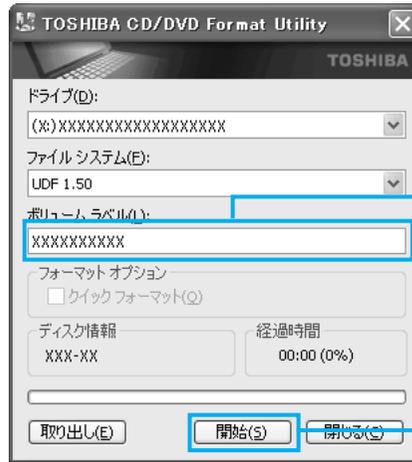
起動する



3 フォーマットを実行する



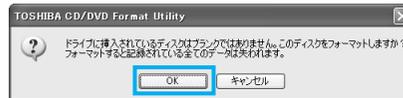
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」で初めてフォーマットするCD/DVDの場合は、「フォーマットオプション」を選択できません。「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」でフォーマットしたことがあるCD/DVDの場合はチェックを付け、クイックフォーマットを行うことができます。



① ボリュームラベル名を入力

② [開始] をクリック

4 メッセージを確認し、[OK] をクリックする



フォーマットの進行状況が表示されます。

5 [OK] をクリックする

他のCD/DVDも続けてフォーマットする場合は、CD/DVDを入れ替えて、手順3から実行します。フォーマットを終了する場合は、[TOSHIBA CD/DVD Format Utility] 画面で [閉じる] ボタンをクリックしてください。



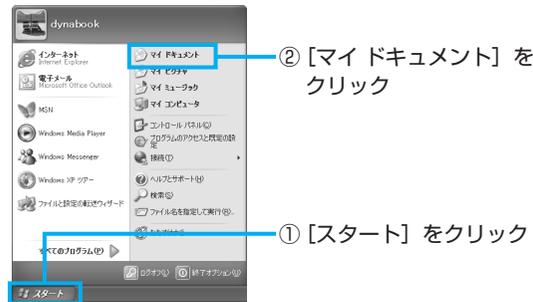
フォーマットが完了しました。

◆ データをCD/DVDに書き込む

「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」でフォーマットしたCD/DVDにデータを書き込む方法を説明します。「TOSHIBA Direct Disc Writer」では1枚のCD/DVDに繰り返し書き込むことができます。あらかじめ書き込みたいデータを準備し、ドライブにCD/DVDをセットしておいてください。

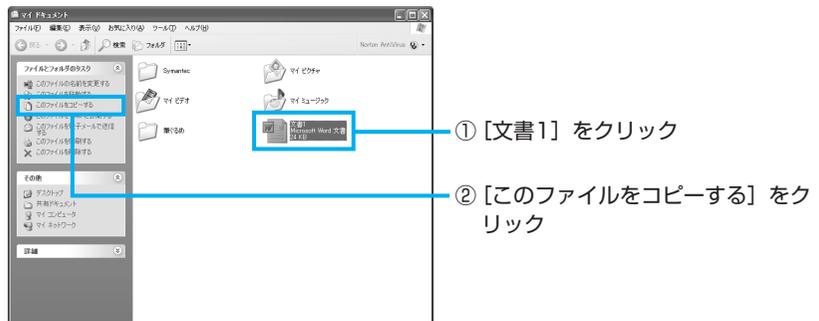
1 書き込みたいデータを表示する

ここでは、[マイドキュメント]に保存している「文書1」を表示します。

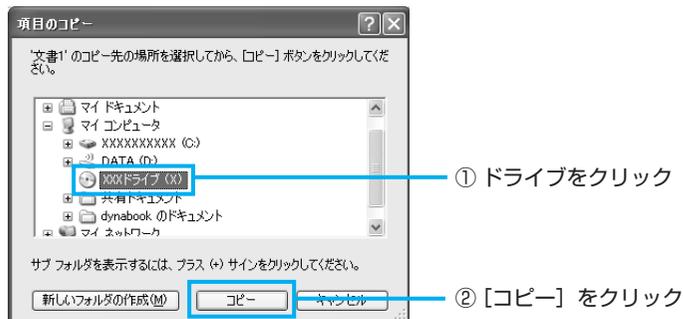


2 コピーするデータを選択する

①でフォルダをクリックした場合は、②で「このフォルダをコピーする」をクリックしてください。



3 データをコピーする

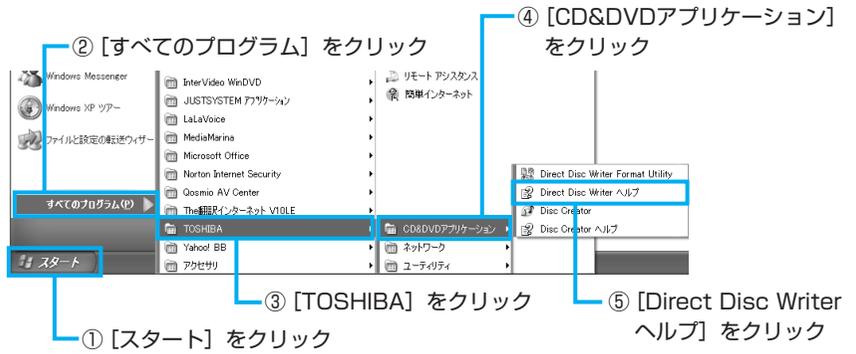


データが書き込まれます。

「TOSHIBA Direct Disc Writer」については、東芝PCあんしんサポート（巻末参照）にお問い合わせください。

ヘルプの起動方法

「TOSHIBA Direct Disc Writer」についての詳細は、ヘルプを確認してください。
起動方法は次のとおりです。



ここでは、本書で説明している機能についてのトラブル解消方法を、Q&A形式で説明しています。パソコンの操作全般についてのQ&A集は、『活用ガイド』、『おたすけナビ』、『よくあるご質問』に記載していますので、あわせてお読みください。

Q リモコン操作ができない

A 正しく操作できる環境になっていない可能性があります。
次のことを行ってみてください。
直射日光や蛍光灯の当たる場所からパソコンを離す
パソコン本体とリモコンの間にある障害物を取り除く
パソコン本体のリモコン受光窓とリモコンの発光部の汚れをおとす

A リモコンが無効に設定されている可能性があります。
次の手順で確認してください。
① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
② [東芝コントロール] をクリックする
③ [リモコン] タブで [リモコンを使用する] がチェックされているか確認する
チェックされていない場合は、チェックしてください。
④ [OK] ボタンをクリックする

A リモコンに使用している電池が消耗している可能性があります。
「4-② 電池の取り付け／取りはずし」を参考にして、電池を交換してください。

Q テレビが映らない

【地上アナログ放送・地上デジタル放送全般】

A テレビアンテナが正しく接続されていない可能性があります。
参照 ▶ テレビアンテナの接続「3 テレビアンテナを接続する」

A チャンネルが設定されていない可能性があります。
「Qosmio AV Center」, 「QosmioPlayer (TV)」で、それぞれ個別に設定してください。
参照 ▶ チャンネルの設定「5 チャンネル設定をする」

A アンテナの向きが正しくない可能性があります。
参照 ▶ テレビアンテナの接続「3 テレビアンテナを接続する」

A 積雪や豪雨、雷などで電波が弱くなっている可能性があります。

【地上デジタル放送の場合】

A 「QosmioPlayer (TV)」は、地上デジタル放送を視聴できません。
地上アナログ放送のみ、視聴できます。

A 地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを使用していない可能性があります。
確認し、地上デジタル放送に対応したアンテナを使用してください。

A B-CASカードが正しくセットされていない可能性があります。
正しくセットされているかを「Qosmio AV Center」の「[B-CASカード情報] 画面で確認し、正しくセットされていない場合は、セットし直してください。

参照 確認方法「5-①-2- 地上デジタル放送が受信できなかった場合」、
B-CASカードをセットする方法「2 B-CASカードをセットする」

A 「Qosmio AV Center」で地上デジタル放送が映らない場合、次の可能性があります。

- お住まいの地域が地上デジタル放送の受信可能エリアではない
- 受信障害がある環境のため、電波が弱い
- 受信状態が悪い

詳しくは、アンテナの販売店や社団法人地上デジタル放送推進協会のホームページ (<http://www.d-pa.org/>)、総務省地上デジタルテレビジョン受信相談センター (ナビダイヤル0570-07-0101 平日：午前9時～午後9時、土曜・日曜・祝祭日午前9時～午後6時) などにお問い合わせください。

A 電波の状況が影響している可能性があります。

参照 「本節 Q テレビの映りが悪い」

Q テレビの映りが悪い

A 電波の状況が影響している可能性があります。
画像や音声の品質はアンテナの電波受信状況によって大きく左右されます。

- ・ アンテナ線は、他のテレビやパソコン、テレビゲーム、オーディオ機器、電化製品などやこのパソコンの電源コードや接続ケーブルなどからできるだけ離してください。
- ・ 室内アンテナをご使用になる場合は、簡易的に使用していただくことを目的としているため、特に電波妨害を受けやすく、安定受信には適しておりません。そのため一部の地域では受信できないことがあります。電波環境の良い場所でご使用ください。

それでも現象が改善されない場合は、電波の状況によって対応が異なります。

- 電波の弱い地域で受信状態が悪い場合
ブースタを接続する前のテレビ受信画像より、接続したほうが多少よく映る場合は、ブースタ/アッテネータをご使用ください。

参照 「付録1 ブースタ/アッテネータの接続」*1

- 電波の強い地域で受信状態が悪い場合
アッテネータを接続すると接続する前よりもテレビ受信画像が粗くなる場合は、ブースタ/アッテネータをご使用ください。

参照 「付録1 ブースタ/アッテネータの接続」*1

また、市販のVHF/UHF用のアンテナブースタやアッテネータをご購入される場合は、お近くの販売店にご相談ください。ご使用方法は、『購入されたアンテナブースタまたはアッテネータに付属の説明書』をご覧ください。

*1 F30/79シリーズ、F30/69シリーズのみ

A テレビを見ているときに、他のアプリケーションを起動させている可能性があります。
パソコンのプロセッサ (CPU) への負荷が重くなると、テレビの映像にコマ落ちが発生することがあります。
他のアプリケーションは、なるべく起動させないでください。

Q テレビの映像をDVDに直接録画したい

A 「DVD MovieWriter」を使用して、地上アナログ放送のテレビの映像や、デジタルビデオカメラ、ビデオデッキやその他の映像機器の映像を、DVD-R、DVD+R、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAMに直接録画（DVDダイレクト録画）できます。

参照 ▶ 詳細について「8-③ DVDに直接録画（DVDダイレクト録画）する」

なお、「DVD MovieWriter」では地上デジタル放送は受信できません。
地上デジタル放送はDVDメディアに直接録画することはできません。
また、地上デジタル放送の録画データは、バックアップをとることができません。

Q 「Qosmio AV Center」で、電子番組表が利用できない

A 電子番組表を利用するための設定が正しく行われていない可能性があります。

参照 ▶ 「Qosmio AV Center」のヘルプ

A チャンネル設定が正しく行われていない可能性があります。

参照 ▶ 「5 チャンネル設定をする」

A 地上アナログ放送の電子番組表が利用できない場合、コンピュータの管理者アカウントでログオンしていない可能性があります。
コンピュータの管理者アカウントでログオンしてください。

A 地上アナログ放送の電子番組表が利用できない場合、インターネットに接続していない可能性があります。
インターネット接続について、詳しくは《できるdynabook》を確認してください。

A 地上アナログ放送の電子番組表が利用できない場合、ファイアウォールの設定を確認してください。

参照 ▶ 「付録7 ファイアウォールを設定する」

A 地上デジタル放送の電子番組表が利用できない場合、地上デジタル放送が受信できていない可能性があります。

参照 ▶ 「5-①-2- 地上デジタル放送が受信できなかった場合」

A 地上デジタル放送の電子番組表が利用できない場合、地上デジタル放送のテレビ視聴や録画を行わない状態（ホーム画面、地上アナログ放送の視聴／録画、ビデオ再生、写真表示、音楽再生など）で、2時間程度お待ちください。

参照 ▶ 「7-①-1- 地上デジタル放送の場合」

A 「Qosmio AV Center」のヘルプを確認してください。

参照 ▶ ヘルプの起動方法「6-1 Qosmio AV Centerとは」

なお、「QosmioPlayer（TV）」では電子番組表は利用できません。

Q 「Qosmio AV Center」で、録画予約した番組が録画できていない

- A** テレビアンテナが正しく接続されていない可能性があります。
参照 ▶ テレビアンテナの接続「3 テレビアンテナを接続する」
-
- A** 「録るナビ」に予約が残っている場合は「予約詳細」画面を開き、画面上部にメッセージが表示されている場合は、内容を確認してください。
参照 ▶ 「Qosmio AV Center」のヘルプ
-
- A** 「録るナビ」に予約が残っている場合は「予約詳細」画面を開き、「実行」が「実行する」になっているかを確認してください。「実行しない」になっている場合は録画されません。
参照 ▶ 「Qosmio AV Center」のヘルプ
-
- A** Windowsのログオンパスワードの登録が正しく行われていない可能性があります。
参照 ▶ 「7-② Windowsログオンパスワードを登録する」
-
- A** 録画予約が重複していた可能性があります。
参照 ▶ 録画予約が重複した場合「8-①-2 電子番組表から録画予約する」
-
- A** メール予約を行った場合は、メールの内容（フォーマット）が正しいかを確認してください。
参照 ▶ 「Qosmio AV Center」のヘルプ
-
- A** 放送休止中の番組は、正しく録画できない可能性があります。
-
- A** ハードディスクに録画用の空き容量がない場合はエラーメッセージが表示され、録画は開始されません。
-
- A** パソコンの時計があっていない場合があります。
 パソコンの時計を正しい日付と時刻にあわせてください。
参照 ▶ 時刻の設定『セットアップガイド 1章 3-5- 日付と時刻の設定』
-
- A** 地上デジタル放送の番組が録画できていない場合、地上デジタル放送が受信できていない可能性があります。
参照 ▶ 「5-①-2- 地上デジタル放送が受信できなかった場合」
-
- A** 地上デジタル放送の番組が録画できていない場合、録画が禁止されている番組の可能性があります。
-
- A** 「Qosmio AV Center」のヘルプを確認してください。
参照 ▶ ヘルプの起動方法「6-1 Qosmio AV Centerとは」

なお、「QosmioPlayer (TV)」では、録画予約はできません。

Q CATV放送が見られない

A CATVホームターミナルとパソコン本体が、正しく接続されていない可能性があります。CATVホームターミナルについては、『CATVホームターミナルに付属の説明書』をご覧ください。ご加入のCATV会社に確認してください。

参照 CATV（ケーブルテレビ）をご利用のお客様の場合
「5-③ CATV（ケーブルテレビ）をご利用のお客様へ」

Q テレビ、DVD-Video、動画ファイルを見ようとすると、映像が表示されない

A 「Qosmio AV Center」、[Windows Media Player]、[InterVideo WinDVD]、[DVD MovieWriter]などのアプリケーションを複数起動させ、AVIファイル、MPEGファイル、DVD-Videoなどを再生すると、映像が表示されない場合があります。起動しているアプリケーションを終了させた後、使用したいアプリケーションを起動させてください。

Q サウンド再生時に音飛びが発生する

A PCカード接続のハードディスクドライブまたはドライブの動作中にサウンドの再生を行うと、音飛びが発生する場合があります。

Q CD-ROM、DVD-ROMのデータを読み出せない 音楽CDの再生中に音飛びする

A CD、DVD、音楽CDが正しくセットされていない可能性があります。CD、DVD、音楽CDの表裏を確認し、水平にセットしてください。

A CD、DVD、音楽CDが汚れている可能性があります。乾いた柔らかい布で内側から外側に向かってふいてください。

A CD、DVD、音楽CDに傷がついていないか確認してください。傷ついているCD、DVD、音楽CDは使えないことがあります。

A CD/DVDがシステムに対応していない可能性があります。アプリケーションなどのCD/DVDは、使用できるシステム（OS）が限られている場合があります。『CD/DVDに付属の説明書』を確認してください。

Q Windows上で、DVD-Videoをドライブにセットしたときに、再生するアプリケーションを選択する画面が表示されない

A 次の手順で設定を変更してください。

- ① [スタート] → [マイコンピュータ] でDVDをセットしているドライブのアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- ② [自動再生] タブで [DVDムービー] を選択し、[動作] で [動作を毎回選択する] をチェックする
- ③ [OK] ボタンをクリックする

Q 再生中の動画がとぎれる 動画がなめらかに再生されない

- A** DVD-Videoの再生には、「InterVideo WinDVD」または「QosmioPlayer (DVD)」を使用してください。
「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してDVD-Videoを再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。このようなときは、「InterVideo WinDVD」または「QosmioPlayer (DVD)」を起動し、DVD-Videoを再生してください。
- A** Windows上でのDVD-Video再生時は、なるべくACアダプタを接続してください。
省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。バッテリー駆動で再生する場合は「東芝省電力」のプロファイルを「DVD再生」に設定してください。
また、使用するDVDディスクのタイトルによってはコマ落ちするケースがあります。
- A** CD-ROM、DVD-Videoからデータを読み込んでいる可能性があります。
CD-ROM、DVD-Videoからデータを読み込んでいるときは、再生が止まる場合があります。
- A** 動画の再生中に、他のアプリケーションを実行していないか確認してください。
複数のアプリケーションを同時に使うと、動画データの処理が追いつかなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなります。他のアプリケーションを終了してください。
- A** 動画の再生中にウィンドウの大きさや位置を変更すると、音飛びや画像の乱れの原因になります。

Q 映像をハードディスクに取り込むことができない

- A** ハードディスクの空き容量が不足している可能性があります。
録画した映像やテレビ番組をDVDに書き込み、必要のなくなったデータを削除して、ハードディスクの空き容量を増やしてください。
- A** パソコンとテレビアンテナ、ビデオデッキ、ビデオカメラが正しく接続されていない可能性があります。
参照 ▶ テレビアンテナの接続「3 テレビアンテナを接続する」
参照 ▶ 周辺機器の接続『活用ガイド 3章 周辺機器を使って機能を広げよう』
- A** デジタルビデオカメラからi.LINKコネクタを使って映像の取り込みや録音を行うときは「DVD MovieWriter」や「Windowsムービーメーカー」、テレビやビデオデッキなどから録画を行うときは「Qosmio AV Center」または「QosmioPlayer (TV)」を使用してください。
それ以外のアプリケーションでは動作保証していません。市販のアプリケーションは使用しないでください。
- A** 著作権保護技術の採用により、録画禁止のものは視聴したり録画したりできません。また、アナログTVまたは外部入力からの番組に関しては、録画1回のみ可能なものも、パソコンでの視聴や録画はできません。

Q 録画中の音声は録音されない 「Qosmio AV Center」や「DVD MovieWriter」で音が出ない

A ボリュームダイヤルまたはボリュームコントロールで音が聞こえないように調節されている場合があります。

映像を取り込んでいる間にボリュームコントロールで調節しようとする、パソコンの処理が遅くなり、取り込みが停止する可能性があります。

映像の取り込みや録音を行う前にボリュームコントロールを確認してください。

参照 ▶ ボリュームダイヤルの位置『活用ガイド 1章 パソコンの基本操作を覚えよう』

参照 ▶ ボリュームコントロールについて《おたすけナビ（検索）：スピーカの音量を調整する》

A デジタルビデオカメラからi.LINKコネクタを使って映像の取り込みや録音を行うときは「DVD MovieWriter」や「Windowsムービーメーカー」、テレビやビデオデッキなどから録画を行うときは「Qosmio AV Center」または「QosmioPlayer (TV)」を使用してください。それ以外のアプリケーションでは動作保証していません。市販のアプリケーションは使用しないでください。

Q 「BeatJam」が起動できない

(OMGファイル、MP3ファイル、WMAファイル、WAVファイル、CD Audioトラックをダブルクリックしても、「BeatJam」で再生できない場合)

A 「Windows Media Player」の初回起動時に、音楽再生アプリケーションの設定が変更された可能性があります。

次の手順に従って、「BeatJam」が起動するように設定してください。

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [BeatJam] → [BeatJam] をクリックする
「BeatJam」が起動します。
- ② CDパネルの [メニュー] → [オプション] を選択する
- ③ [関連付け] タブで [OpenMG Audioファイル (oma, omg)], [MP3ファイル (mp3)], [Windows Media Audioファイル (wma)], [WAVファイル (wav)], [CD Audioトラック (cda)], [音楽配信サイトでの試聴・購入 (oma2, oml2)] をチェックする
- ④ [OK] ボタンをクリックする

Q 「BeatJam」で音楽ファイルを再生できない

A 「Qosmio AV Center」と「BeatJam」を同時に使用すると、「BeatJam」で著作権保護された音楽ファイルを扱う操作に失敗することがあります。

その場合は、「Qosmio AV Center」を終了してから使用してください。

失敗するおもな操作は、次のとおりです。

- OpenMG Audio (ATRAC3plus/ATRAC3/PCM) 形式の音楽ファイル、著作権保護されたWMAファイルの再生
- OpenMG Audio (ATRAC3plus/ATRAC3/PCM) 形式でのCD録音
- OpenMG対応機器への音楽転送
- OpenMG Audio形式への変換
- 音楽配信サイトでの楽曲試聴・購入

なお、「Qosmio AV Center」で録画中および録画準備中は、「BeatJam」を終了できません。録画終了後に使用してください。

Q 音楽ファイルをメモリスティックにチェックアウトできない



メモリスティックまたはメモリスティックスロットがMagicGate対応していない可能性があります。

「BeatJam」を使用してOpenMG形式の音楽ファイルをメモリスティックにチェックアウトするには、メモリスティックメディアおよびメモリスティックスロットがMagicGate対応している必要があります。なお、本製品のスロットは、MagicGate対応していません。

Q 「QosmioPlayer (TV)」でテレビを見ているときに現在のチャンネル番号や音声情報を表示したい



次の手順で表示を切り替えてください。

- ① パソコンの電源が切れている状態で、リモコンの [TV] ボタンまたはフロントオペレーションパネルの [TV] ボタンを押す
「QosmioPlayer(TV)」が起動し、テレビ番組が映し出されます。
- ② リモコンの [表示] ボタンまたはキーボードの [D] キーを押す
1回押すごとに、次のように切り替わります。
[現在の状態を数秒表示] → [情報を常時表示] → [表示なし] → [現在の状態を数秒表示] …

Q 映像を書き込んだDVD-RAMが、「QosmioPlayer (DVD)」で再生できない



「QosmioPlayer (DVD)」では、Video CD、DVD-Audio、-VRフォーマットまたは+VRフォーマットで保存されたデータの再生はサポートしていません。また、ファイナライズされていないメディアや「ミニDVD」形式などの再生、およびMPEGやDivXなどのファイル再生もサポートしていません。

直接録画 (DVDダイレクト録画) で書き込んだDVD-RAMや、「Qosmio AV Center」で地上デジタル放送の録画データをムーブ (移動) したDVD-RAMは、-VRフォーマットで書き込まれているため、「QosmioPlayer (DVD)」では再生できません。

- 「QosmioPlayer (DVD)」で再生できない形式
 - VR
 - +VR
 - Video CD
 - DVD-Audio
 - MPEG
 - DivX

「QosmioPlayer (DVD)」では、DVD-Videoフォーマットで書き込まれたメディアを再生することができます。

直接録画 (DVDダイレクト録画) でのフォーマットについて、詳しくは「8-③ DVDに直接録画 (DVDダイレクト録画) する」の「お願い」を確認してください。

参照 ▶ 「QosmioPlayer (DVD)」でのDVD再生について「13-② QosmioPlayerで観る」

なお、「InterVideo WinDVD」では、直接録画 (DVDダイレクト録画) で書き込んだDVD-RAMを再生することができます。

参照 ▶ 「InterVideo WinDVD」でのDVD再生について「13-① WinDVDで観る」

Q 「QosmioPlayer (TV)」で録画したテレビ番組をWindows上で見たい

A 「QosmioPlayer (TV)」で録画したテレビ番組を、Windows上のアプリケーションで再生したり、編集してDVDに残したりするには、ライブラリに登録されている録画タイトルをWindowsに転送する必要があります。

「QosmioPlayer (TV)」で録画したテレビ番組をMPEGファイルに変換して、Windows上で見られるようにするには、「QosmioPlayer転送ユーティリティ」を使用します。

参照 ▶ 詳細について「9-②-2 Windows上で再生する/DVDに残す」

なお、Windows上から「QosmioPlayer」には転送できません。

Q 「QosmioPlayer」でニヶ国語放送の番組視聴時、または複数の音声を用意されているDVD再生時の音声を切り替えたい

A テレビ番組視聴時、DVD再生中に次の手順を行ってください。

●テレビ番組の場合

- ① リモコンの「音多」ボタン、またはキーボードの[A]キーを押す
画面左上に現在の音声情報が表示されます。
1回押すごとに次のように変更されます。

主音声→副音声→主/副音声→主音声… (テレビの音声多重放送の場合)

LR→LL→RR→LR… (再生中の場合)

LR : 左右、両チャンネルの音声を出力します。

LL : 左チャンネルの音声を左右両方から出力します。

RR : 右チャンネルの音声を左右両方から出力します。

●DVDの場合

- ① リモコンの「音声」ボタン、またはキーボードの[A]キーを押す
DVDに用意されている音声切り替わります。

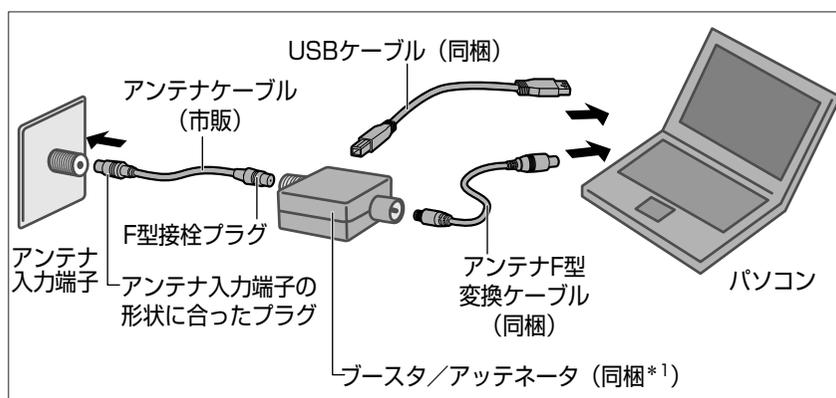
F30/79シリーズ、
F30/69シリーズのみ

電波の弱い地域で、受信状態が悪い場合や、集合住宅などでTV電波を増幅していて、極端に電波が強い場合には、ご家庭のテレビアンテナ（アンテナ入力端子）にブースタ/アッテネータを接続してから、ケーブルを接続します。ここでは、F30/79シリーズ、F30/69シリーズに同梱の「ブースター/アッテネータ」の接続方法を説明します。市販のブースター/アッテネータを接続する場合は、『購入されたアンテナブースターまたはアッテネータに付属の取扱説明書』を確認してください。

ブースタ/アッテネータを接続しない場合は、この操作は必要ありません。

ブースタ/アッテネータとパソコン本体をつなぐアンテナF型変換ケーブル（同梱）は、最後に接続してください。

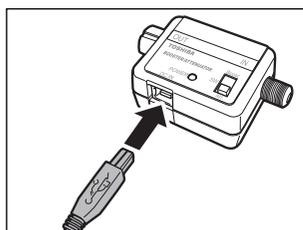
■ケーブル接続の一例■



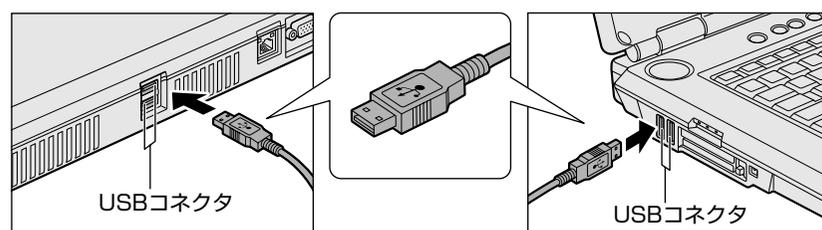
*1 F30/79シリーズ、F30/69シリーズの場合

参照 ▶ USB対応機器の取り付け
『活用ガイド 3章 3
USB対応機器を使う』

1 ブースタ/アッテネータのDC-IN端子（USBコネクタ）にUSBケーブルを接続する

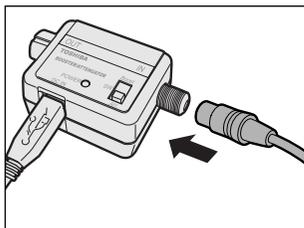


2 USBケーブルの反対側のUSBコネクタをパソコンのUSBコネクタに接続する

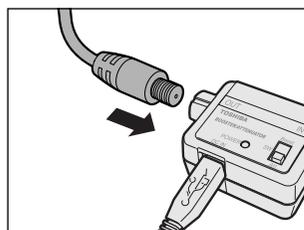


3 ご家庭のテレビアンテナ（アンテナ入力端子）に市販のアンテナケーブルを接続する

4 アンテナケーブルのプラグをブースタ／アッテネータの「IN」側コネクタに接続する

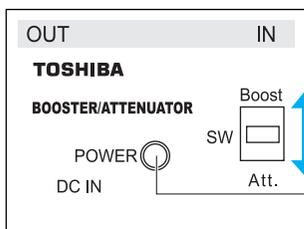


5 アンテナF型変換ケーブルのプラグをブースタ／アッテネータの「OUT」側のコネクタに接続する



6 ブースタ／アッテネータのスイッチを調整する

ご購入時の状態では、スイッチは「Boost」側に設定されています。



電波の弱い場合はスイッチを「Boost」側にスライドし、電波の強い場合はスイッチを「Att.」側にスライドします。

パソコンの電源を入ると、ブースタ／アッテネータのPower LEDが緑色に点灯します。

7 アンテナF型変換ケーブルのもう一方のプラグをパソコン本体のアンテナ入力端子に接続する

参照

接続方法
「3-②-1 アンテナF型
変換ケーブルの接続」

ブースタ／アッテネータの調整方法

パソコンの電源を入れ、テレビの表示画面を見ながら、ブースタ／アッテネータのスイッチを調整します。

映像の受信状態がよくない場合には、テレビの表示画面を見ながら、ブースタ／アッテネータのスイッチを調整してください。電波の弱い場合は、スイッチを「Boost」側にスライドし、電波の強い場合は、スイッチを「Att.」側にスライドします。映像の受信状態が悪い場合には、まず、スイッチを「Boost」側にスライドし、映像の受信状態が改善するか確認します。改善しない場合には、「Att.」側にスライドし、映像状態が改善するか確認します。

それでも、映像の受信状態が改善しない場合には、UHFアンテナの向きの調整や、途中に接続している分配器があるときは、分配器を減らすなどしてみてください。また、市販のブースタを購入し、ブースタ／アッテネータの代わりに接続するなどの方法を試してみてください。詳しくは、お近くの販売店にご相談ください。

役立つ操作集

アンテナレベルの確認

次のようなときは、アンテナレベルを確認してみてください。

- はじめて「Qosmio AV Center」で地上デジタル放送を受信しようとしたが、受信できない
- 地上デジタル放送のチャンネル設定を変更したら、受信できなくなった

確認方法は、次のとおりです。

- ① 「Qosmio AV Center」を起動する
- ② 「設定」をクリックする
- ③ 「地域チャンネル設定」をクリックする
- ④ 「地上デジタル放送設定」タブで「アンテナレベル表示」をクリックする
「アンテナレベル表示」画面が表示されます。

画面に受信中のチャンネルのアンテナレベルが表示されています。受信レベルの値が低い場合は、テレビ信号が弱いため受信がうまくいっていません。詳細は、「Qosmio AV Center」のヘルプを参照してください。



付録2

ご使用にあたってのお願い

お願い

本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

1 大切な録画・録音・編集について

- 大切な録画・録音・編集の場合は、事前に試し録画・録音・編集を行い、正しくできることを確かめてください。
- 放送チャンネルや番組によっては、音量オーバーすると音が割れたり、飛んだりすることがあります。必要に応じて調整してください。

2 テレビ視聴と録画について

参照 省電力機能について
《おたすけナビ（検索）：省電力の設定をする》

- バッテリ駆動で使用中にテレビ視聴や録画を行うと、バッテリーの消耗などによって画像がコマ落ちするおそれがあります。必ずACアダプタを接続して、使用してください。また、本製品の省電力機能が実行されないようにしてください。
- 録画中や再生中にパソコン本体に振動や衝撃を加えると、映像がとぎれたり、停止したりしてしまふことがあります。
- ビデオデッキなどの映像を取り込んだとき、「垂直帰線区間 (VBLANK)」と呼ばれるノイズも同時に取り込まれ、画面上部、または下部にノイズがのることがあります。これは、信号の同期をとるためにNTSCなどアナログテレビの映像信号の先頭に付与されているもので取り除くことができませんので、ご了承ください。
- ビデオデッキでビデオテープを再生して本製品に入力する場合、古いテープなどノイズが多いテープを使用すると、コピープロテクト機能が働いて正常に動作しない場合があります。

3 TVチューナに関するご注意

- 本製品のTVチューナはステレオ、音声多重対応です。CS放送、BS放送のチャンネルは受信できません。
- CATV番組の受信には、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった番組（有料放送など）の視聴・録画にはホームターミナル（アダプタ）が必要になる場合があります。詳しくは、ホームターミナルに添付の説明書をご覧になるか、各CATV会社にお問い合わせください。
- 著作権保護技術の採用により、録画禁止のものは視聴したり録画したりできません。また、アナログTVまたは外部入力からの番組に関しては、録画1回のみ可能なものも、パソコンでの視聴や録画はできません。
- 日本国外ではご使用になれません。日本国内でご使用ください。
- 本製品に搭載されているTVチューナは仕様上、韓国への持ち込みと使用は韓国の法令により禁止されています。

大切なお知らせ

■「Qosmio AV Center」ご利用にあたって■

- 「Qosmio AV Center」ご利用時には、コンピュータの管理者アカウントでお使いください。制限付きアカウント、Guestアカウントではご利用になれません。
- F30/79シリーズ、F30/69シリーズでは、セキュリティ保護などの性能向上のため、緊急にソフトウェアの更新を必要とすることがあります。その場合には、ソフトウェアのアップデートをお知らせするメッセージが表示されますので、表示にしたがってソフトウェアをダウンロードしてインストールを行ってください。メッセージに表示されている使用期限を過ぎると、ソフトウェアは使用できなくなりますので、期限までに新しいソフトウェアをダウンロードして、インストールしてください。
なお、ソフトウェアをダウンロードするには、インターネットへの接続環境が必要です。

■著作権に関する注意事項■

- 外部入力機器からコピープロテクトがかかった映像を録画すると録画データの映像が単色に塗りつぶされます。

■DLNA™対応について■

- DLNA (Digital Living Network Alliance) とは、デジタル時代の相互接続性を実現するための標準化活動を推進している団体です。
- DLNA対応機器には、コンテンツを送り出すサーバ機器（デジタルメディアサーバ）と、コンテンツを再生するプレーヤ機器（デジタルメディアプレーヤ）があります。コスミオは、相互接続性を実現するために、DLNAの認証機関によるデジタルメディアサーバおよびデジタルメディアプレーヤの認証を取得しました。
- DLNA経由でつながっているサーバ上にあるデジタル放送で著作権保護された番組のタイトルは再生できません。また、地上デジタル放送で著作権保護された番組をコスミオから送りだすことはできません。
- コンテンツによっては他のDLNA CERTIFIED™ 製品とは互換性がない可能性もあります。

使用上のお願い

■大切な録画・録音・編集について■

- すべての動作中に電源プラグを抜くと、記録内容がすべて消える場合がありますので、ご注意ください。
- 録画を予約した番組にコピープロテクトなどの録画制限があると予約録画が実行できない場合があります。録画予約の際には、録画制限がないことをお確かめください。

■対応する地域について■

- 日本国外ではご使用になれません。日本国内でご使用ください。

■ 「Qosmio AV Center」全般に関すること■

警告

- パソコン本体を航空機に持ち込む場合には、録画予約などの設定を解除すること
航空機内でパソコンが自動的に起動し、計器に影響を与える場合があります。
次の説明に従って、録画予約などの設定を解除してから、航空機へ持ち込んでください。
「Qosmio AV Center」は、以下の場合、パソコンの状態が電源オフ/スタンバイ/休止状態でも自動的に起動します。航空機等へパソコンを持ち込む場合は、必ず設定内容をご確認ください。
 - 予約録画実行時
「録るナビ」で、録画予約が登録されている場合は、「予約詳細」画面の「実行」を「しない」に変更してください。
なお、本確認後にメール予約を行う場合は、録画の開始時刻に十分ご注意ください。
 - 地上デジタル放送の電子番組表の情報取得時
「設定」「その他の設定」画面で、地上デジタル設定の「電子番組表の定期取得」を「しない」に変更する。
 - メール予約のためのメール取得時
「設定」の「メール予約設定」画面で、「メール予約」を「OFF」にしてください。
- F30/79シリーズ、F30/69シリーズで初めて「Qosmio AV Center」を起動したときは、地上デジタル放送の初期化処理を行うため、「Qosmio AV Center」の画面が表示されるまでに数分かかります（時間がかかる旨をお知らせするメッセージが表示されます）。
「初期設定が完了しました」というメッセージが表示されましたら、内容を確認して [OK] ボタンをクリックしてください。
- 他のアプリケーションが動作していると、音が飛んだり、映像が正しく表示されないなど、正常に動作しない場合があります。
- 電子番組表（地上アナログ放送の場合）、メール予約、ホームネットワーク機能については、インターネットまたはホームネットワークへのアクセスを行います。Windows XPのファイアウォール機能や「Norton Internet Security」などのファイアウォールソフトをお使いの場合は、アプリケーション（Qosmio AV Center）の通信を許可する設定にしてください。
- 「Qosmio AV Center」の画面を外部ディスプレイやテレビに出力させた場合、出力先で正しく表示されない場合があります。
- 「Qosmio AV Center」で録画中または録画準備中は、スタンバイ・休止状態に移行することができません。パソコンのディスプレイを閉じたときに、スタンバイや休止状態に移行する設定にしている場合でも、「Qosmio AV Center」で録画中または録画準備中はスタンバイ・休止状態に移りません。
また、「Qosmio AV Center」で録画中または録画準備中でないときに、パソコンをスタンバイや休止状態にすると、スタンバイや休止状態に移行する前に「Qosmio AV Center」が自動で終了します。
- 「Qosmio AV Center」はMicrosoft SQL Server Desktop Engine (QOSMIOAVCENTER) プログラムを使用しています。このプログラムをアンインストールしたり、サービスを停止したりしないでください。
- ホーム画面の [CD/DVD]、[音楽を聴く]、[AVコンテンツの活用] メニューを実行して、対応するアプリケーションを起動すると、「Qosmio AV Center」は終了します。
次の場合は、ホーム画面でこれらのメニューを実行しても、対応するアプリケーションは起動されません。
 - ・ 「Qosmio AV Center」で録画中および録画準備中
 - ・ 地上デジタル放送で録画したデータをDVDへ移動中（F30/79シリーズ、F30/69シリーズのみ）

- 「Qosmio AV Center」の起動中は、次の操作に失敗することがあります。その場合は、「Qosmio AV Center」を終了してから操作を行ってください。
 - ・ 「BeatJam」や「Windows Media Player」で、著作権保護された音楽ファイルを扱う操作
 - ・ OpenMG Audio(ATRAC3plus/ATRAC3/PCM)形式の音楽ファイル、著作権保護されたWMAファイルの再生
 - ・ OpenMG Audio(ATRAC3plus/ATRAC3/PCM)形式でのCD録音
 - ・ OpenMG対応機器への音楽転送
 - ・ OpenMG Audio形式への変換
 - ・ 音楽配信サイトでの楽曲試聴・購入
 - * 「MediaMarina」から「BeatJam」を起動して著作権保護された音楽ファイルを再生する場合も同様です。
 - ・ 「Windows Media Player」で、著作権保護されたWMAファイルの再生や操作なお、「Qosmio AV Center」で録画中および録画準備中は、「Qosmio AV Center」を終了できません。録画終了後にご使用ください。また、「BeatJam」や「Windows Media Player」以外にも著作権保護ファイルを扱うアプリケーションによっては、「Qosmio AV Center」と同時使用ができない場合があります。
- Windowsの自動更新（[コントロールパネル] → [セキュリティセンター] → [自動更新]）で、[自動（推奨）]の設定を行っている場合、スケジュールされた更新の時刻に新しい更新プログラムがインストールされます。更新プログラムによっては、インストール処理を完了する前に、コンピュータの再起動が必要な場合があります。この場合、Windows上にメッセージが表示されてから一定時間後に、コンピュータが自動的に再起動します。「Qosmio AV Center」で、録画や予約録画、地上デジタル放送の録画データをDVDへ移動している場合は、「Qosmio AV Center」が強制終了されてしまうため、操作を実行できない場合があります。「Qosmio AV Center」で録画や予約録画、DVDへの移動を行っているときは、自動更新によるコンピュータの再起動が行われないように、自動更新の設定を変更してください。録画や予約録画、録画データのHDDからDVDへの移動中には、Windows Updateの自動更新が中断されることがあります。Windows Updateの自動更新は録画や予約録画、録画データの移動終了後に改めて実行されます。
- 「DVD MovieWriter」でテレビを使用している場合は、「Qosmio AV Center」で地上アナログ放送の番組をご覧になることはできません。
- 「DVD MovieWriter」など、TVチューナを使用する他のアプリケーションでテレビを使用している場合は、「Qosmio AV Center」で地上アナログ放送の番組の録画や予約録画を行うことはできません。録画を行うときは「Qosmio AV Center」を起動する前に、予約録画を行うときは録画開始時刻の10分前までに、TVチューナを使用する他のアプリケーションを終了させてください。
- 「Qosmio AV Center」の起動中は、**[PRTSC]**キーによる画面のコピー機能が無効になります。
- CPU使用率やメモリ使用量、ハードディスクへのアクセス頻度が高い状態で録画や再生を行うと、録画したデータがコマ落ちしたり、再生画面がコマ落ちすることがあります。コマ落ちした映像データを修復することはできません。録画中や再生中は他のアプリケーションを使用しないようにするなど、負荷が高くなるようにご配慮ください。
- 「見るナビ」に登録できる動画ファイル数は、最大で「地上デジタル放送の録画ファイル 200件」「地上アナログ放送の録画ファイルと取り込んだ映像ファイルの合計 400件」です。最大件数登録されている場合は、録画できません。

■テレビの視聴と録画に関する注意事項■

- テレビアンテナを正しく接続していないと、地上デジタル放送／地上アナログ放送ともに視聴／録画することはできません。詳しくは、「3 テレビアンテナを接続する」をご覧ください。
- アンテナケーブルを接続する順番や組み合わせによっては、電波が弱くなり、映像がちらついたり、画像のコマ落ちが著しく発生するなど、きれいに映らなかつたりすることがあります。このようなときには、ブースタ／アッテネータを接続してください。
- ユーザパスワード、スーパーバイザパスワードなど、電源投入時にパスワードを要求する環境下ではスタンバイからの予約録画が実行されません。
- 録画予約を設定する場合は、録画したデータの保存先（ハードディスク）の容量など、録画可能時間を確認してください。
- ハードディスクに録画用の空き容量がない場合はエラーメッセージが表示され、録画は開始されません。
- 録画予約を行う場合は、必ずパソコン本体の時計（日付と時刻）が正しく設定されていることを確認してください。
- 使用状況やシーンによっては映像がスムーズに再生されない場合があります。
- 地上アナログ放送の番組を録画する際、設定したビットレートによる圧縮を行うため、直接映像を視聴する場合と比べて映像が劣化する場合があります。
- 録画予約する際、録画時刻の重複する予約録画を実行すると、録画開始時刻が優先されます。録画時刻が重複していると、番組が最後まで終了していても、次の予約録画の開始30秒前になると、今録画している番組の録画を終了し、次の録画を開始します。
なお、「録画開始時刻」が同じ場合は、先に登録された予約が優先されます。また、地上アナログ放送の番組と地上デジタル放送の番組の予約録画時刻が重複していても、両方の番組を同時に録画できます。
- 「Qosmio AV Center」は予約録画実行時にパソコンが起動していない状態やログオフ状態でも、自動的に録画を開始します。ただし、パソコンの起動時にログオン画面やようこそ画面を表示する設定にしているときは、「Qosmio AV Center」の設定画面でログオン設定の「アカウント名」と「パスワード」を登録しておかないと予約録画が実行されません。
- 再生するコンテンツによっては「早戻し」や「早送り」、「スロー再生」などの再生が正しくできない場合があります（タイムスタンプが不連続なものや、ネットワークのコンテンツなど）。
- 録画予約が入っているときにチャンネルの設定を変更すると、正常に録画できなくなるおそれがあります。
- 録画中にウイルス対策ソフトの予約検索が実行されると、正常に録画できないことがあります。録画や予約録画中に予約検索が実行されないよう、ウイルス対策ソフトの設定時刻などをご確認ください。

■地上デジタル放送全般と設定に関する注意事項■

- 付属のB-CASカードを正しく装着していないと、地上デジタル放送を視聴／録画することはできません。詳しくは、「2 B-CASカードをセットする」をご覧ください。
- お住まいの地域が地上デジタル放送の受信可能エリアでない場合、もしくは、受信可能エリアであっても電波が弱い場合や受信状態が悪い場合は、地上デジタル放送を視聴できない場合があります。詳しくは、「5-①-2-地上デジタル放送が受信できなかった場合」をご覧ください。
- 周波数に変更があった場合は、チャンネルスキャン（再スキャン）が必要です。詳しくは「Qosmio AV Center」のヘルプをご覧ください。
- イベントリレー*¹には対応していません。
- マルチビュー番組*²には対応していません。
- デジタルラジオ放送には対応していません（地上デジタル放送では、ラジオ放送は行われておりません）。
- ワンセグメント放送（携帯機器向けの地上デジタル放送）には対応していません。
- 緊急警報放送*³には対応していません。
- 臨時サービス*⁴には対応していません。
- 放送局によっては、データ放送を行っていない場合があります。
- データ放送表示中のキー操作は、番組によって異なる場合があります。
- データ放送の印刷には対応していません。

F30/79シリーズ、
F30/69シリーズのみ

- 電話回線を使ったデータ放送の双方向サービスには対応していません。LAN、もしくはダイヤルアップによるインターネット接続にて対応しています。
- データ放送で双方向通信を行う場合、番組によってはルート証明書が必要になる場合があります。証明書のダウンロードが自動的に行われます。このとき、ポップアップメッセージが表示され音がします。
 - * 1：高校野球中継のように、番組の途中でその続きを別のチャンネルで継続して放送する場合に、自動的にチャンネルを切り替えて視聴を継続する機能。
 - * 2：同一チャンネルの放送波に複数の映像／音声が流され、放送局が意図する映像音声の組み合わせ単位で切替えが可能な番組。
 - * 3：災害時の放送。緊急時に、放送中の番組を中断して放送される。
 - * 4：通常の編成チャンネルとは別のチャンネルにおいて、臨時に放送される番組。
- データ放送で早押しゲームなどを行う場合、素早いボタン操作が要求されるコンテンツでは、お客様の意図した操作が行えず、意図したボタン操作とゲームなどの結果が合わないことがあります。
- 地上デジタル放送の全画面表示に切替えを行うと、画面左上に灰色の正方形が数秒間表示され、その後、地上デジタル放送の映像に切り替わることがあります。
- 他のアプリケーションでビデオ機能を使用している場合は、地上デジタル放送を視聴／再生できない場合があります。他のアプリケーションでビデオ機能を使用していないか確認してください。

■ 地上デジタル放送の視聴と録画に関する注意事項 ■

- 放送休止状態もしくは番組情報が正常に取得できない場合は、地上デジタル放送を視聴／録画できない場合があります。
- 「Qosmio AV Center」で録画した地上デジタル放送の番組は、録画を行ったパソコンでのみ再生可能です。他の機種にファイルをコピーしても再生することはできません。
- タイムシフト機能には対応していません。
- 9時間以上の連続録画はできません。
- 録画されたデータ放送は、番組によっては無意味な場合があります（クイズやアンケートの回答などリアルタイム性の要求される内容の場合）。
- 予約録画準備中（録画開始時刻の約30秒前から録画開始までの間）は、「Qosmio AV Center」を終了したり、予約録画をキャンセルしたりすることはできません。
- 5.1chサラウンド放送の音声は、2chに変換されて出力されます。
- AVアンプ等に対して、音声ストリームをAACのコーデックのまま出力を行うことはできません。5.1ch音声はバーチャルサラウンド機能により2chに変換されてPCMで出力されます。
- 地上デジタル放送の番組や録画ファイルを、テレビや外部ディスプレイに出力する場合、出力可能な端子は番組によって異なります。また、番組によっては出力できない場合があります。
- 地上デジタル放送の番組や録画ファイルをテレビなどの外部機器に出力する場合、外部機器とパソコン本体のディスプレイの解像度が異なる場合は、画像の出力先を切り替えると正しく表示されないことがあります。
- 録画や予約録画を行う際、録画開始時に放送が休止されていた場合や、放送波の受信レベルが低い場合、テレビアンテナが抜けていた場合は、正常に録画できないことがあります。また、録画や予約録画の開始後に、テレビアンテナが抜けたときや、電波状況の悪化により放送波を受信できなかった場合は、受信できなかった部分は静止画（音声なし）で録画されます。また、「見るナビ」に表示される録画時間が予定されていた時間より短くなる場合があります。地上デジタル放送の録画や予約録画を行う場合は、地上デジタル放送を受信できていること、テレビアンテナが正しく接続されていることを確認してください。
- 複雑なデータ放送を表示しているときは、映像がコマ落ちしたり乱れる場合があります。そのような場合は、データ放送を非表示にしてご覧ください。

F30/79シリーズ、
F30/69シリーズのみ

電子番組表利用時の注意事項

■地上アナログ放送の「番組ナビ」ご利用に関する注意事項■

- 「番組ナビ」で地上アナログ放送の番組表を利用するには、インターネット常時接続が必要です。
- 番組表の内容は突発的な事件や緊急番組、スポーツ中継の延長などによって時間の変更や延期・放送中止、内容が変更になる場合があります、正しく録画できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 「Qosmio AV Center」は「番組ナビ」に番組内容を表示する機能を提供するもので、表示する内容に関しての責任は一切とることはできません。
- 番組表は、あるタイミングで自動的にサーバからダウンロードしたときに更新されるため、リアルタイムに番組情報を更新することはできません。
- 番組説明やキーワード検索は、番組表に表示される結果と異なる場合があります。
- 番組表などに利用するチャンネル設定については、地域や住居の放送事情によって固有の設定が必要となります。他地域のチャンネル受信、CATVの影響で受信チャンネルが変更となる場合やすでに変更済みの場合など、番組ナビ設定の変更と表示・動作内容の確認が必要となります。
- 「番組ナビ」などのネットワークサービスを前提とするデータの提供は、その継続を永久保証するものではなく、予告なく終了される場合があります。
- 「番組ナビ」ご利用時は、サーバにアクセスしてデータを取得します。サーバ側では、お使いの機器で設定されたチャンネルやキーワードに基づき、番組名、番組情報などの番組データを機器に送信し、番組ナビ内の表示を行い、サーバ側にはアクセスログとして履歴が蓄積されますが、個人を特定することはありません。
- サーバ側で取得した情報は、お客様のさらなる便宜を図るためや、サービスとして利用する場合があります。情報の取り扱いについては、東芝個人情報保護方針 (<http://www.toshiba.co.jp/privacy/>) をご覧ください。
- 番組情報サーバから取得して表示する「番組名」「番組説明」は可能な限りすべてを表示する仕様ですが、取得後に本体に保存された文字数や表示領域の関係で表示できる範囲が異なります。
- 「番組ナビ」(地上アナログ)で表示できるのは地上アナログ放送の番組表のみです。
- 番組表を取得できるチャンネル数は最大32です。
- 東芝チャンネルコードが正しく設定されていないと、電子番組表は取得できません。
- 電子番組表に過去の番組は表示されません。
- 「スキップ」に設定されているチャンネルの番組は表示できません。
- パソコンの時計(日付と時刻)を正しく設定していないと、番組表は取得できません。

■地上デジタル放送の「番組ナビ」ご利用に関する注意事項■

- 地上デジタル放送の電子番組表は、放送波のみ対応しています。インターネットなどで提供される番組表には対応していません。
- 電子番組表の情報取得の設定時刻は、購入時の設定で午前0時20分です。パソコンの状態が電源オフ/スタンバイ/休止状態の場合でも、パソコンが自動的に起動し、音が鳴ります。購入時の設定時刻は、最新の情報を取得できる時間帯です。ご利用状況にあわせて設定時刻を変更してください。
- パソコンの時計(日付と時刻)と放送波の時計が大きくずれていると、予約録画に失敗することがあります。「設定」の「その他の設定」画面の「システム時刻設定」を「地上デジタル放送波で調整する」に設定しておくことをおすすめします。
- 地上デジタル放送の場合、番組についての情報(番組名や放送時間など)が放送電波の中に入って送られてきます。「Qosmio AV Center」は、その番組情報を取得して、番組表表示やジャンル検索、録画予約などに利用します。そのため、番組情報の取得ができていないときには、番組表が正しく表示されない場合があります。
- 臨時サービス、エンジニアリングダウンロードサービス、部分受信サービスなどは番組表に表示されません。
- 番組表で表示できるのは最大7日後までですが、放送局やチャンネルによって異なる場合があります。これは、電子番組表の情報取得時刻に、地上デジタル放送のテレビ視聴や予約録画で「Qosmio AV Center」が動作していると、番組表のデータが取得できないことがあるためです。
- 番組が予告なく変更されたために、番組表の情報が実際の番組と異なってしまいうことがあります。

F30/79シリーズ、
F30/69シリーズのみ

■iNETご利用時の制限事項■

* 地上アナログ放送のみ

- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての環境での動作を保証するものではありません。
- 「Qosmio AV Center」の通信状態によっては、表示が遅くなったり、表示や通信エラーが発生する場合があります。
- プロバイダ（インターネット接続業者）側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でお支払いください（携帯電話によるメール予約の送受信費用も含む）。なお、プロバイダ指定の回線接続機器（ADSLモデムなど）に10BASE-Tまたは100BASE-TXのLANポートがない場合は、接続できません。
- ADSLをご利用いただくには、ADSLモデムが必要です。通信事業者やプロバイダが採用している接続方式・契約借款などによって、「Qosmio AV Center」をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります（契約が1台に制限される場合、すでに接続されている別のパソコンがあると、「Qosmio AV Center」搭載のパソコンを2台目として接続することが認められないことがあります）。
- プロバイダによってはルータの使用を禁止、あるいは制限している場合があります。
- ネットワークの通信状況によっては、番組情報が更新あるいは取得できない場合があります。
- 番組データは以下の場合に、一度空の状態になります。次回番組表や番組リストを表示するときにデータを取得し、再表示ができません（再表示できるまで数分かかります。待ち時間は環境によって異なります）。
 - ・「番組ナビ」に表示する「表示チャンネル」を追加／変更した場合
 - ・「番組ナビ」でチャンネルの表示順序を変更した場合
 - ・パソコンの時計（日付と時刻）を変更した場合
 - ・「地域・チャンネル設定」で地域設定を変更した場合
 - ・「Qosmio AV Center」を再インストールした場合

■おすすめサービスに関する注意事項■

- 本サービスは、iNET電子番組表を利用されているお客さまが予約、録画された番組名や番組説明情報（地上アナログ放送、地上デジタル放送とも）などを集計し、毎日更新される全国の予約ランキング情報や、お客さまの好みに合わせた推薦番組の情報を、サーバで集計のうえ、お使いの録画機器に配信するものです。

なお、集計および番組の推薦は、サーバへのアクセス数、およびソフトウェアが生成した機器固有のID番号のみから行いますので、本サービスのご利用により、お客さまのお名前等、個人情報が増えることはありません。これらの情報は、お客さまのさらなる便宜を図るためや、サービスとして利用する場合があります。
- 本サービスメニューは予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本サービスは、お客さまへの予告無く一時停止したり、終了する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 「予約ランキング」は本サービス設定の後、iNET電子番組表更新後に表示されます。
- 「あなたのおすすめ」「みんなからのおすすめ」は利用設定後に録画予約、録画を行うと、数日程度でiNET電子番組表更新後に表示されるようになります。
- お客さまのおすすめサービス情報をリセットするには「おすすめ設定」の「おすすめサービス」を「利用しない」に設定してください。

情報をリセット後、改めてサービスの利用を開始するには、再び「おすすめ設定」の「おすすめサービス」を「利用する」に設定し、録画予約、録画を行ってください。数日程度で「あなたのおすすめ」や「みんなからのおすすめ」が表示されるようになります。
- 本サービスを2カ月以上ご利用されなかった場合、お客さまのおすすめサービス情報は自動的にリセットされ「あなたのおすすめ」や「みんなからのおすすめ」は表示されません。
- 「Qosmio AV Center」をアンインストールした場合、お客さまのおすすめサービス情報は自動的にリセットされ、お客さまの好みに合わせた「あなたのおすすめ」や「みんなからのおすすめ」は表示されません。

F30/79シリーズ、 F30/69シリーズのみ

- チャンネル設定で選択した地域によって、表示される番組が異なります（その地域で視聴可能な番組を表示するためです）。
- 本パソコンの録画や予約状況によっては、番組リストに番組が表示されない場合や、表示されるまで数日かかる場合があります。
- 番組リストの更新は、地上アナログ放送の電子番組表の更新と同時にを行います。詳しくは、「7-1-1 電子番組表の更新と表示について」をお読みください。
- おすすめサービスの設定を「利用する」から「利用しない」に変更した場合、サービスご利用時に蓄積された番組の嗜好情報などのデータは削除されます。再度「利用する」に設定した際に、以前にご利用時のデータはおすすめ番組の結果に反映されません。

■地上デジタル放送の録画ファイルのDVD移動に関する注意事項■

- CPRM（Content Protection for Recordable Media）という著作権保護技術に対応したDVD-RAMにのみ、移動（ムーブ）ができます。
- 本機能は、ハードディスクに保存されている地上デジタル放送録画データ（以下、録画データ）をDVD-RAM（CPRM対応）へ移動する機能です。
DVD-RAMへの移動を開始した時点で、移動対象となったハードディスク内の録画データは消去されます。また、1度DVD-RAMへ移動した録画データは、他のDVD-RAMへのコピーやハードディスクに戻すなど、更にコピー、移動することはできません。
- ハードディスク内のハイビジョン（HD）の録画データは、通常（SD）の画質に変換されてDVD-RAMに移動されます。
- 録画データ中のサラウンド音声はステレオ音声に変換されてDVD-RAMに移動されます。
- 録画データ中の番組情報・出演者情報等やデータ放送のデータ、字幕および文字スーパーは、DVD-RAMには移動されません。
- 録画データのDVD-RAMへの移動処理には、長時間かかります（録画データの長さの2倍程度）。（例：1時間の録画データの移動に、2時間程度かかります。）
- 必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続した状態で行ってください。本機能をバッテリー駆動で実行しないでください。
- 録画データの移動を開始後、次のような場合にDVDへの移動が中断されますので、十分注意してください。
 - ① ユーザ操作によって移動処理が途中で中止された場合（途中で「キャンセル」ボタンが押された場合）、移動対象となったハードディスク内の録画データが削除されます。
 - ② 移動処理中にDVD-RAM書き込みエラー等、何らかのエラーが発生した場合、移動対象となったハードディスク内の録画データとDVD-RAM内に移動途中のデータの両方が削除されます。
- 1枚のDVD-RAMに納まらない場合は、複数枚のDVD-RAMに連続して記録します。必要数のDVD-RAM（CPRM対応）を準備してください（必要枚数は、「開始」ボタンを押した後に表示されます）。
- 録画データの移動中にCD/DVD書き込みソフトやCD/DVD再生ソフトなどを起動・操作しないでください。その他、DVDへのファイルのコピー、移動および削除、DVD上のファイルの読み書きをしないでください。録画データの移動中にこれらの操作を行うと、DVDへの移動に失敗することがあります。失敗してしまった場合、移動対象となったハードディスク内の録画データとDVD-RAM内に移動途中のデータの両方が削除されますのでご注意ください。
- 使用するDVD-RAMに、傷や指紋などの汚れがないことを確認してください。メディアに傷や汚れがあると、正常に記録できないことがあります。また記録が正常に終了しても、再生が正常にできなくなることがあります。
- 「DVDへ移動」を実行して表示される画面上や「DVDへの移動機能」のヘルプに記載されている注意事項も、必ずお読みください

5 DVDへの直接録画について

* DVDを作るには、下記以外にもお願い事項があります。「本節9「DVD MovieWriter」の使用にあたって」、「本節10 DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて」とあわせてご覧ください。

- 地上デジタル放送の番組は、DVDに直接録画することはできません。
- 「QosmioPlayer」にも録画機能がありますが、DVDに直接録画することはできません。
- フォーマットが必要なDVDをセットすると、メッセージが表示されますので、フォーマットを行ってください。「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」でフォーマットしたDVDは形式が異なりますので、改めてフォーマットが必要です。フォーマットを行うと、そのDVDに保存されていた情報はすべて消去されます。
- 予約録画はできません。放送中の映像を取り込みます。
- 著作権保護された映像の再生、録画はできません。

6 Windows上でのDVD-Videoの再生にあたって

- DVD-Videoの再生には、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してDVD-Videoを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。このようなときは、「InterVideo WinDVD」を起動し、DVD-Videoを再生してください。
- DVD-Video再生ソフト「InterVideo WinDVD」は、Video CD、Audio CD、MP3の再生はサポートしていません。
- DVD-Video再生時は、なるべくACアダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができないことがあります。バッテリー駆動で再生するときは「東芝省電力」で「DVD再生」プロファイルに設定してください。
- DVD-Videoを再生する前に、他のアプリケーションを終了させてください。また、再生中には他のアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。
再生中に、常駐しているプログラムの画面やアイコンなどがちらつくときは、「InterVideo WinDVD」を最大表示にしてください。
- Regionコードは4回まで変更することができますが、通常は出荷時のままご利用ください。出荷時の状態では、Regionコードが「2」に設定されておりますので、Regionコードが「2」または「ALL」のDVD-Videoをご使用ください。
- 外部ディスプレイまたはテレビに表示するときは、再生する前にあらかじめ表示装置を切り替えてください。また、クローン表示（本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイまたはテレビの2つの表示装置それぞれに同時に画面を表示すること）の設定では、外部ディスプレイまたはテレビに表示するための設定が必要です。本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイにクローン表示をしているときDVD-Videoを再生すると、画像がコマ落ちすることがあります。この場合は表示解像度を下げるか、本体液晶ディスプレイまたは外部ディスプレイのみに表示するか、デュアルビュー（拡張表示）に設定してください。
- デュアルビュー（拡張表示）でDVD-Videoを再生した場合、外部ディスプレイ側のDVD-Video再生画像が表示されないことがあります。その際はいったん再生を終了し、外部ディスプレイ側の解像度、リフレッシュレートや色数を下げてください。

その他の注意については、「Readme」に記載しています。

「Readme」の起動は、[スタート] → [すべてのプログラム] → [InterVideo WinDVD] → [readme\st.txt] をクリックしてください。

参照

表示装置の切り替え
「活用ガイド 3章 周辺機器を使って機能を広げよう」

- 汚れや傷のあるCD/DVDは、再生できない場合があります。また汚れや傷がひどいとCD/DVDを取り出せなくなる場合もあります。パソコンを強制終了してCD/DVDを取り出してください。

■ 「QosmioPlayer (DVD)」 の使用にあたって ■

- DVDは、制作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。QosmioPlayer (DVD) はディスク制作者が意図した内容に従って再生をするため、操作したとおりに動作しないことがあります。
- 操作中に「Ⓢ」が画面に表示されることがあります。「Ⓢ」が表示されたときは、「QosmioPlayer (DVD)」またはDVD-Videoがその操作を禁止しています。
- 再生するDVDに付属の説明書もあわせてお読みください。
- リージョンRegionコードは4回まで変更することができますが、通常は出荷時のままご利用ください。出荷時の状態では、Regionコードが「2」に設定されており、Regionコードが「2」または「ALL」のDVD-Videoをご使用ください。
- 再生するDVDのタイトルによっては、コマ落ちまたは音飛びする場合があります。
- 本体液晶ディスプレイでのみ再生できます。外部映像出力はサポートしていません。
- パレンタルコントロールが設定されたDVDタイトルでは、DVD-Videoであらかじめ設定されているシーンが再生されます。パレンタルコントロールのレベル設定はサポートしていません。
- Video CD、DVD-Audio、-VRフォーマットまたは+VRフォーマットで保存されたデータの再生はサポートしていません。また、ファイナライズされていないメディア、MPEGやDivX、「ミニDVD」形式などのファイル再生もサポートしていません。
- 「Qosmio AV Center」の移動（ムーブ）機能で映像ファイルを移動したDVDの再生はサポートしていません。
- ClosedCaptionの表示は行いません。
- 音声は必ず2chで出力されます。
- DTS、SDDSの音声を含むタイトルの場合、それらの音声を選択した場合には、音声は出力されません。
- SPDIFからの音声出力はサポートしていません。
- カラオケモードには対応していません。
- 連続して操作をする場合は、直前の動作が完了してから次の操作をしてください。動作が完了する前に次の操作をすると、目的の動作をしない場合があります。

8 テレビ番組の取り込みについて

- テレビ番組、ビデオデッキやアナログのビデオカメラのテープの映像をハードディスクに取り込んで編集するときは、まず「Qosmio AV Center」を使用して映像を取り込み、その後「DVD MovieWriter」で編集してください。映像をハードディスクに取り込む際に「Windowsムービーメーカー」やその他の市販ソフトは使用できません。

なお、地上デジタル放送の番組を録画したファイルは編集できません。

9 「DVD MovieWriter」の使用にあたって

映像の取り込みや映像の編集は、「DVD MovieWriter」の機能です。

- 「DVD MovieWriter」はコンピュータの管理者アカウントで使用してください。
- 本製品にインストールされていない、その他の映像データを取り込むソフトウェアは使用しないでください。
- 「InterVideo WinDVD」などの映像を再生するアプリケーションが動作していると、編集中のプレビューが正しく表示されないことがあります。編集中は他のアプリケーションを終了してください。
- 編集中のプレビューは本体液晶ディスプレイにのみ表示されます。外部ディスプレイには表示されません。
- 著作権保護された映像が保存されているDVDの映像の編集は行えません。
- 著作権保護されているコンテンツは再生できません。
- 「DVD MovieWriter」の動作中は、画像の解像度・色数の変更は行わないでください。
- バッテリー駆動で使用中に映像データの取り込みを行うと、バッテリーの消耗などによって取り込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。
- 「DVD MovieWriter」では、ソース（映像ファイル）のビットレートによっては、1枚に圧縮できない場合があります。
- [Ulead Label@Once] 画面でのDVDラベルの作成は、必ずレーベル面に直接印刷できるプリンタとメディアをご利用ください。市販のDVDラベルシールを貼付したDVDをご利用になると、ドライブの故障の原因になります。DVDラベルシールは使用しないでください。

参照

省電力の設定について
《おたすけナビ（検索）：省電力の設定をする》

■DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しを行うにあたって■

- 地上デジタル放送の番組を、DVDメディアなどへ、直接書き込んだりコピー・移動することはできません。なお、「Qosmio AV Center」で録画した地上デジタル放送の番組は、CPRMに対応したDVD-RAMへ移動することができます。
- バッテリ駆動で使用しながら書き込みを行うと、バッテリーの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。
- 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。
- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
 - ・ 音楽CD／DVDの再生アプリケーション
 - ・ スクリーンセーバ
 - ・ ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
 - ・ ウイルスチェックソフト
 - ・ モデムなどの通信アプリケーション など
 ソフトウェアによっては動作の不安定やデータの破損の原因となるので、使用しないことを推奨します。
- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作は行わないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
PCカード、USB対応機器、外部ディスプレイ、テレビ、i.LINK対応機器、SDメモリーカード、メモリースティック、xD-ピクチャーカード™、マルチメディアカード、光デジタル対応機器、AV入力端子に接続する機器、マイク入力端子に接続する機器
- パソコン本体から、携帯電話および他の無線通信装置を離してください。

■作成したDVDについて■

- 作成したDVDは、一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できないこともあります。また、作成したDVD+R DLメディア、DVD-R DLメディアを再生するときは、それぞれのメディアの読み取りに対応している機器を使用してください。
- 作成したDVDを本製品で再生するときは、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用して再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。

■映像データをDVDに書き込む前に■

- DVDに書き込みを行うときには、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカーのメディアを使用してください。なお、再生する機器に応じて、その機器の取扱説明書でも推奨されるメディアを使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。
- 本製品に付属の「DVD MovieWriter」以外の映像データライティングソフトウェアは動作保証していません。

■「DVD MovieWriter」のムービー作成について■

- ムービー作成では-VRフォーマット、+VRフォーマットでの書き込みはできません。
- DVD-AudioやVideo CD、miniDVDを作成することはできません。
- DVD-RAMにDVD-Videoフォーマットで記録できますが、作成されたメディアは本製品にインストールされている「InterVideo WinDVD」でのみ再生可能となります。
- DVDへ書き込みを行うには、映像データのサイズの約2.5倍以上の空き容量がハードディスクに必要です。あらかじめハードディスクの空き容量を確認してください。使用する映像ファイルや編集のしかたによって、必要な空き容量が異なります。
- DVDに映像データを書き込む場合、映像データの大きさや編集のしかたによってはデータの変換に数時間かかることがあります。

参照

省電力機能について
《おたすけナビ（検索）：省電力の設定をする》

■CD/DVDに書き込む前に■

CD/DVDに書き込みを行うときは、Windows標準のCD書き込み機能や市販のライティングソフトウェアは、使用しないでください。

CD/DVDに書き込みを行うときは、次の注意をよく読んでから使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。

- CD/DVDに書き込むときには、それぞれの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rに書き込むときには、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカーのメディアを使用してください。
- バッテリ駆動で使用しながら書き込みを行うと、バッテリーの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。
- 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。
- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
 - ・ 音楽CD/DVDの再生アプリケーション
 - ・ スクリーンセーバ
 - ・ ウイルスチェックソフト
 - ・ ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
 - ・ モデムなどの通信アプリケーション など
 ソフトウェアによっては、動作の不安定やデータの破損の原因となります。
- SDメモ리카ード、PCカードタイプのハードディスクドライブ、USB接続などのハードディスクドライブなど、本製品の内蔵ハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込むときは、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- LANを経由する場合は、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- 本製品に付属している「TOSHIBA Disc Creator」を使用してDVD-Video、DVD-Audioを作成することはできません。

■書き込みを行うにあたって■

- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作を行わないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 書き込み中は、次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
PCカード、USB対応機器、外部ディスプレイ、テレビ、i.LINK対応機器、SDメモ리카ード、メモリースティック、xD-ピクチャーカード™、マルチメディアカード、光デジタル対応機器、AV入力端子に接続する機器、マイク入力端子に接続する機器
- パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
- 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。

* データCD/DVDを作るには、下記以外にもお願い事項があります。「本節 11 「TOSHIBA Disc Creator」を使うために」とあわせてご覧ください。使用できるメディアについては、『セットアップガイド 4章 大切なデータを失わないために』の「TOSHIBA Disc Creator」にあてはまる部分をご覧ください。

■書き込む前に■

- 「TOSHIBA Disc Creator」を使用してDVD-RAMにデータを書き込むことはできません。
- DVD-R、DVD+Rにデータを追記した場合、そのDVD-R、DVD+Rを他のパソコンやドライブで読もうとしたとき、OSやドライブの制限により、記録されているすべての内容を読み出せないことがあります。Windows 98SE*¹、Windows Me*²などの16ビット系OSではDVD-R、DVD+Rメディアに追記されたデータを読むことはできません。Windows NT4.0*³ではService Pack 6以降、Windows 2000*⁴ではService Pack 2以降が必要です。また、DVD-ROMドライブ、DVD-ROM&CD-R/RWドライブの種類によっては追記したデータを読むことができないものがあります。

* 1 Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system日本語版を示します。

* 2 Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版を示します。

* 3 Microsoft® Windows NT® Workstation4.0 operating system日本語版を示します。

* 4 Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system日本語版を示します。

■書き込みを行うにあたって■

- 「TOSHIBA Disc Creator」で、重要なデータを書き込む場合は、次の設定を行ってください。正常に書き込まれていることを確認できます。
 - ①「TOSHIBA Disc Creator」を起動し、[データCD/DVD作成]をクリックする
 - ②[ディスク作成モードの設定ダイアログ] ボタン () をクリックする
[データCD/DVD設定] 画面が表示されます。
 - ③[データチェック] の「書き込み後にデータをチェックする」と「詳細チェック」をチェックする
 - ④[OK] ボタンをクリックする

13 「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使うために

* 「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使うには、下記以外にもお願い事項があります。『セットアップガイド 4章 大切なデータを失わないために』とあわせてご覧ください。

- Windows標準のCD書き込み機能や市販のライティングソフトウェアは使用しないでください。
- CD/DVDをフォーマットすると、CD/DVD上のすべてのデータが失われます。内容を確認のうえ、フォーマットしてください。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer」はパケットライト形式での記録機能を備えたソフトです。「TOSHIBA Direct Disc Writer」でフォーマット/書き込みしたメディアを他のパケットライトソフトでは使用しないでください。
また、他のパケットライトソフトでフォーマット/書き込みしたメディアに、「TOSHIBA Direct Disc Writer」で書き込みは行わないでください。他のパケットライトソフトでフォーマットしたメディアを「TOSHIBA Direct Disc Writer」で使用する場合は、「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」で完全フォーマットを行ってから使用してください。
- ファイルやフォルダの「切り取り」→「貼り付け」は行わないでください。メディアやドライブに何らかの問題があった場合、もとのファイルやフォルダが消失することがあります。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer」で書き込んだDVD-RWメディアを「TOSHIBA Direct Disc Writer」がインストールされていないパソコンで読み出すには、DVD-RWメディアを「互換化」する必要があります。詳しくは「TOSHIBA Direct Disc Writer」のヘルプをご覧ください。DVD+RW、CD-RWメディアについては、「互換化」する必要はありません。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」でフォーマットされたメディア上にプログラムのセットアップファイルなどを保存し、そのメディア上からセットアップを実行しようとしたとき、エラーが発生することがあります。その場合は、セットアップに必要なファイルなどをいったんハードディスク上にコピーした状態で、ハードディスク上からセットアップを実行してください。

14 「RoomStylePlayer」「BeatJam」を使うために

- 「Qosmio AV Center」と「RoomStylePlayer」または「BeatJam」を同時に使用すると、「RoomStylePlayer」または「BeatJam」で著作権保護された音楽ファイルを扱う操作*1に失敗することがあります。
その場合は、「Qosmio AV Center」を終了してから「RoomStylePlayer」または「BeatJam」を使用してください。

- *1
- ・ OpenMG Audio (ATRAC3plus/ATRAC3/PCM) 形式の音楽ファイル、著作権保護されたWMAファイルの再生
 - ・ OpenMG Audio (ATRAC3plus/ATRAC3/PCM) 形式でのCD録音
 - ・ OpenMG対応機器への音楽転送
 - ・ OpenMG Audio形式への変換
 - ・ 音楽配信サイトでの楽曲試聴・購入

付録3

リモコン操作一覧

リモコン図

初めてリモコンを使うときには、同梱の乾電池を取り付けてください。

■リモコンのカバーを開けた場合■

リモコンのカバーは、くぼみに指をかけて開けてください。

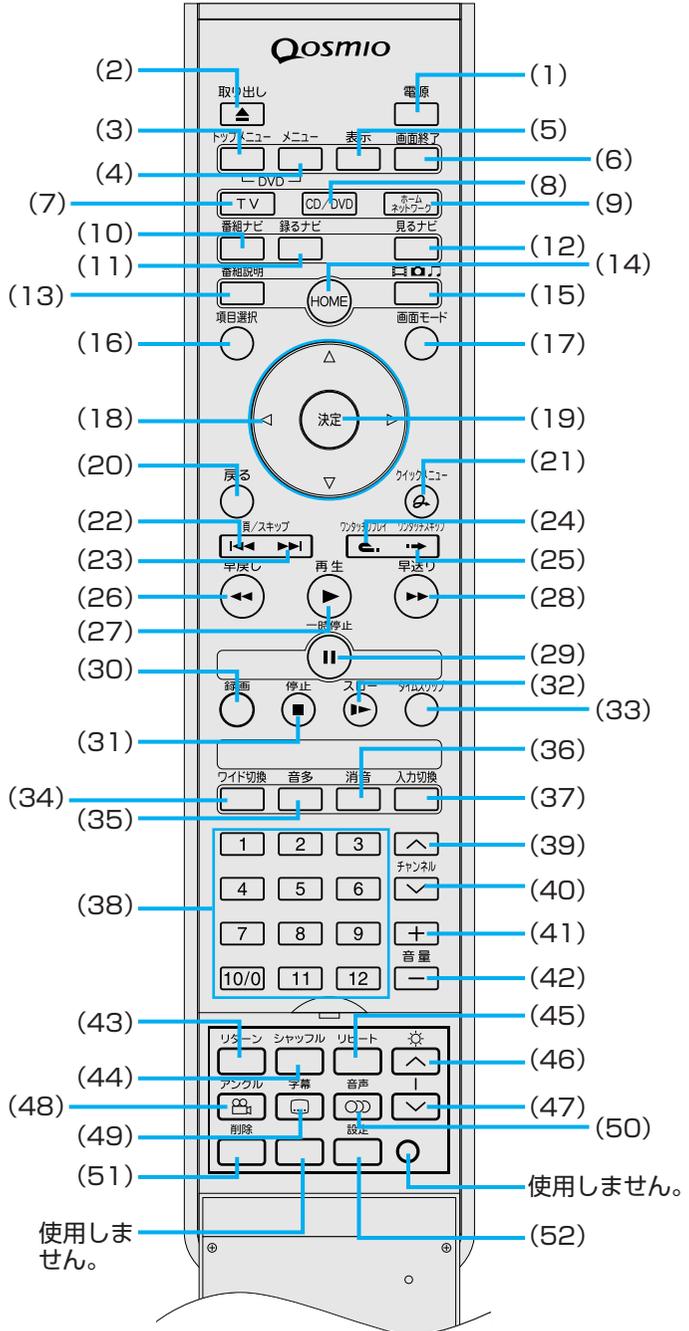
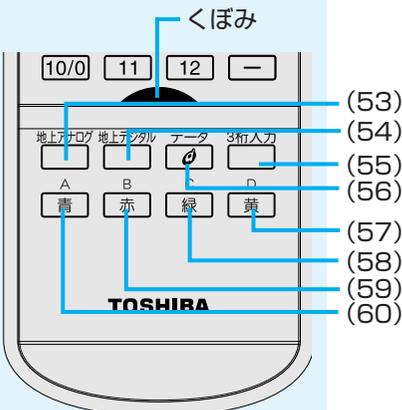
参照 リモコンの使いかた
「4 リモコンを使うには」

メモ

- [方向] ボタン (18) は、それぞれの記号の位置を目安に4方向を区別して押してください。中間を押したり、押しのまま指をずらしたりするなど、力の加わりかたがあいまいな場合、カーソルが止まることがあります。その場合は、1度指を離し、方向を区別して押し直してください。
- [電源] ボタン (1) を押したときの動作は、「東芝省電力」で変更できます。

参照 「東芝省電力」について《おたすけナビ(検索)：省電力の設定をする》

[リモコンのカバーを閉じた場合]
F30/79シリーズ、F30/69シリーズに同梱のリモコンにはカバーの上にボタンがあります。



① Qosmio AV Centerでの操作一覧

「Qosmio AV Center」を使用しているとき、次のようにリモコン操作が行えます。各機能について、詳しくは、「Qosmio AV Centerのヘルプ」を参照してください。

◆ ホーム画面／プレイヤー画面での操作

リモコン		ホーム画面	プレイヤー画面 (全画面)
画面終了	(6)	Qosmio AV Centerを終了	
TV	(7)	テレビ視聴 (全画面) を表示	
ホームネットワーク	(9)	「ホームネットワーク機器選択」画面を表示	
番組ナビ	(10)	「番組ナビ」を表示	
録るナビ	(11)	「録るナビ」を表示	
見るナビ	(12)	「見るナビ」を表示	
HOME	(14)		ホーム画面へ戻る
画面モード	(17)		マウスモードの画面に切替
方向 ◀、▲、▼、▶	(18)	項目移動	データ放送で利用
決定 *1	(19)	選択中の項目を実行	データ放送で利用
戻る	(20)		データ放送で利用
ワンタッチリプレイ	(24)		ワンタッチリプレイ
ワンタッチスキップ	(25)		ワンタッチスキップ
早戻し ◀◀	(26)		再生時の早戻し
再生 ▶	(27)		再生
早送り ▶▶	(28)		再生時の早送り
一時停止	(29)		再生時の一時停止
録画	(30)		録画
停止 ■	(31)		録画・再生の停止
スロー	(32)		再生時のスロー再生
タイムスリップ	(33)		タイムシフト (タイムスリップ機能) の開始・終了
ワイド切替	(34)		画面の表示サイズ切替
音多	(35)		音声多重の切替
消音	(36)		消音
入力切替	(37)		入力信号の切替
1~9、10/0	(38)		チャンネルの切替 ／データ放送で利用
11、12			
チャンネル (+)	(39)		チャンネルの切替 (UP)
チャンネル (-)	(40)		チャンネルの切替 (DOWN)
音量+	(41)		システムの音量調整 (UP)
音量-	(42)		システムの音量調整 (DOWN)
字幕	(49)		字幕の表示/切替
音声	(50)		音声 (吹き替え) の切替
設定	(52)	「設定」画面を表示	「表示設定」画面を表示

*1 「Video詳細」画面、「予約詳細」画面では、設定を保存して画面を閉じます。「番組詳細」画面では、画面を閉じて「予約詳細」画面を表示します。

リモコン		ホーム画面	プレイヤー画面 (全画面)
地上アナログ *2	(53)		地上アナログ放送への切替
地上デジタル *2	(54)		地上デジタル放送への切替
3桁入力 *2	(55)		3桁番号での入力開始
データ *2	(56)		データ放送を表示
黄 (D) *2	(57)		データ放送で利用
緑 (C) *2	(58)		
赤 (B) *2	(59)		
青 (A) *2	(60)		

*2 F30/79シリーズ、F30/69シリーズに同梱のリモコンのみ

※地上デジタル放送のデータ放送利用時のリモコン操作は、放送局が提供するデータ放送のコンテンツによって異なります。

番組ナビ／録るナビ／見るナビ

リモコン	番組ナビ	録るナビ	見るナビ
画面終了	(6)	Qosmio AV Centerを終了	
TV	(7)	テレビ視聴（全画面）を表示	
ホームネットワーク	(9)	「ホームネットワーク機器選択」画面を表示	
番組ナビ	(10)	テレビ視聴（全画面）を表示	「番組ナビ」を表示
録るナビ	(11)	「録るナビ」を表示	「録るナビ」を表示
見るナビ	(12)	「見るナビ」を表示	
番組説明	(13)	「番組詳細」画面を表示	「予約詳細」画面を表示
HOME	(14)	ホーム画面へ戻る	
コンテンツ種別切替	(15)		「見るナビ」に表示するコンテンツの切替
画面モード	(17)	マウスモードの画面に切替	
方向 ◀、▲、▼、▶	(18)	カーソル移動	
決定 *1	(19)	「予約詳細」画面を表示	コンテンツの再生
戻る *2	(20)	テレビ視聴（全画面）を表示	
クイックメニュー	(21)	クイックメニューを表示	
頁(前)スキップ ◀◀	(22)	1つ前のページに切替	
頁(次)スキップ ▶▶	(23)	次のページに切替	
ワンタッチリプレイ	(24)	ページのスクロールアップ	
ワンタッチスキップ	(25)	ページのスクロールダウン	
チャンネル (+)	(39)	表示チャンネルの切替 (UP) *3	
チャンネル (-)	(40)	表示チャンネルの切替 (DOWN) *3	
削除	(51)		予約情報の削除 コンテンツ／実ファイルを削除
設定	(52)	「設定」画面を表示	
地上アナログ *4	(53)	地上アナログ放送の「番組ナビ」を表示	地上アナログ放送の「見るナビ」(ビデオ)を表示
地上デジタル *4	(54)	地上デジタル放送の「番組ナビ」を表示	地上デジタル放送の「見るナビ」(ビデオ)を表示

*1 「Video詳細」画面、「予約詳細」画面では、設定を保存して画面を閉じます。「番組詳細」画面では、画面を閉じて「予約詳細」画面を表示します。

*2 「Video詳細」画面、「予約詳細」画面では、設定をキャンセルして画面を閉じます。「番組詳細」画面では、画面を閉じます。

*3 チャンネル別表示のとき

*4 F30/79シリーズ、F30/69シリーズに同梱のリモコンのみ

② Windows XPでの操作一覧

Windows XPを使用しているとき、次のようにリモコンで操作が行えます。「InterVideo WinDVD」および「RoomStylePlayer」でリモコン操作を行う場合、「InterVideo WinDVD」および「RoomStylePlayer」を最前面に表示してご使用ください。

リモコン		WinDVD	RoomStylePlayer	その他
電源	(1)			システムの起動/終了
取り出し	(2)	ディスクを取り出す	ディスクを取り出す	
トップメニュー	(3)	タイトルメニューを表示		
メニュー	(4)	ルートメニューを表示		
表示	(5)	チャプタ番号と時間の一時表示		
CD/DVD	(8)	「WinDVD」の起動	「RoomStylePlayer」の起動	
項目選択	(16)	項目を移動	項目を移動	TABキー同様
画面モード	(17)	フルスクリーン/ウィンドウ表示の切替		
方向 ◀、▲、▼、▶	(18)	カーソル移動	カーソル移動	カーソル移動
決定	(19)	項目を決定 再生中はオートリピートのOn/Off切替	項目を決定	ENTERキー同様
戻る	(20)	メニュー取り消しまたはフルスクリーン/ウィンドウ表示の切替	「RoomStylePlayer」の終了	ESCキー同様
頁(前)スキップ ◀◀	(22)	現在のチャプタの先頭/1つ前のチャプタを再生	頭出し/前の曲	
頁(次)スキップ ▶▶	(23)	次のチャプタを再生	次の曲	
ワンタッチリプレイ	(24)	インスタントリプレイ		
ワンタッチスキップ	(25)	先にスキップ		
早戻し ◀◀	(26)	映像を早戻し		
再生 ▶	(27)	再生/一時停止	再生/一時停止	
早送り ▶▶	(28)	映像を早送り		
一時停止	(29)	再生/一時停止	再生/一時停止	
停止 ■	(31)	映像再生を停止	再生を停止	
消音	(36)	消音/消音取り消し	消音/消音取り消し	消音/消音取り消し
1~9、10/0	(38)	チャプタ選択*1 (1~9、0)		
11、12				
音量+	(41)	音量上げる	音量上げる	音量上げる
音量-	(42)	音量下げる	音量下げる	音量下げる
輝度∧	(46)			本体液晶ディスプレイの輝度を上げる
輝度∨	(47)			本体液晶ディスプレイの輝度を下げる
アングル	(48)	アングル切替		

*1 2桁以上のチャプタ番号を選択する場合は、数字ボタンを1つずつ押してください。例えば、「10」を選択するときは、「1」、「0」の順に押します。

リモコン		WinDVD	RoomStylePlayer	その他
字幕	(49)	サブタイトル切替		
音声	(50)	音声切替		
設定	(52)	セットアップ画面の表示		

付録4

QosmioPlayerの操作一覧

参照 ▶ リモコン図
「付録3- リモコン図」

QosmioPlayerの操作は、リモコン／キーボード／フロントオペレーションパネルから実行できます。リモコンとキーボードからの操作は、次の表を参照してください。フロントオペレーションパネルからの操作については、『活用ガイド』をご覧ください。

■操作について■

- 操作の一覧の中で、キーを「+」でつないで記載されているときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。
 - ・例：CTRL + K
この場合は、**[CTRL]**キーを押したまま**[K]**キーを押します。
- CD/DVDの再生で、再生したい曲またはチャプタの番号を選択したい場合に、曲の番号が1桁のときは、次のいずれかを実行してください。
 - ・再生したい曲またはチャプタの番号を入力し、リモコンの**[決定]**ボタンまたはキーボードの**[ENTER]**キーを押す
 - ・再生したい曲またはチャプタの番号を入力し、2秒待つ
 再生したい曲またはチャプタの番号が2桁の場合は、その番号を入力するとそのまま再生されます。

リモコン		パソコン本体	TV機能	CD機能	DVD機能
電源	(1)	電源スイッチ	TV終了	CD終了	DVD終了
取り出し	(2)	E	ディスクを取り出す	ディスクを取り出す	ディスクを取り出す
トップメニュー	(3)	F8			トップメニュー表示*1
メニュー	(4)	F9			メニュー表示*1
表示	(5)	D	表示切替*2	表示切替*3	表示切替*4
TV	(7)	F10	TV起動*5	CD終了→TV起動	DVD終了→TV起動
CD/DVD	(8)	F11	TV終了→ CDまたはDVD起動	CD起動*5	DVD起動*5
見るナビ	(12)	F9*6 または TAB	ライブラリ表示 ／非表示		
方向▲	(18)	↑	設定項目移動		設定項目移動
方向◀		←	設定項目移動		設定項目移動
方向▶		→	設定項目移動		設定項目移動
方向▼		↓	設定項目移動		設定項目移動
決定	(19)	ENTER	決定または設定完了	曲選択決定	決定または設定完了

- *1 DVDには構造によってさまざまなメニューが用意されています。この操作をしたときに表示されるメニューは、DVDによって異なります。
- *2 1回押すごとに、現在の状態を数秒表示→情報を常時表示→表示なし→現在の状態を数秒表示…と切り替わります。
- *3 音楽CDを聴いているとき、表示モードを次のいずれかに切り替えることができます。
 - ・現在再生している曲の再生時間／現在再生している1曲の演奏時間（標準値）
 - ・ディスクの先頭からの再生時間／ディスク全体の演奏時間
- *4 1回押すと現在の状態、タイトル番号、チャプタ番号、時間を表示し、もう1回押すと非表示になります。再生しているシーンによって、表示される項目は異なります。
- *5 リモコンでの操作のみ有効です。
- *6 TV機能使用中に押すと、ライブラリが表示されます。

リモコン		パソコン本体	TV機能	CD機能	DVD機能
戻る	(20)	ESC	設定メニュー取り消し ／非表示 ／ライブラリの非表示		メニュー取り消し ／戻る／リターン*7
頁(前)スキップ◀◀	(22)	K	ライブラリ前ページ	前の曲*8	ひとつ前のチャプタ ／チャプタの先頭*9
頁(次)スキップ▶▶	(23)	L	ライブラリ次ページ	次の曲	次のチャプタ
ワンタッチ リプレイ	(24)	CTRL + K	約10秒前に戻す		約10秒前に戻す
ワンタッチ スキップ	(25)	CTRL + L	約30秒後にスキップ		約30秒後にスキップ
早戻し◀◀	(26)	< または 0	早戻し*10	約10秒前に戻す	早戻し*10
再生▶	(27)	SPACE	再生	再生	再生
早送り▶▶	(28)	> または P	早送り*10	約10秒後にスキップ	早送り*10
一時停止 	(29)	SPACE	再生／一時停止*11	再生／一時停止*11	再生／一時停止*11
録画	(30)	CTRL + R	録画		
停止■	(31)	CTRL + SPACE	停止*12	停止	停止
スロー	(32)	Y	スロー再生*13		スロー再生*13
タイム スリップ	(33)	CTRL + T	追っかけ再生または お好み再生		
ワイド切換	(34)	W	画面サイズ変更*14		
		W		SRS WOW XTの モード切替*15	
音多	(35)	A	音多切替*16		
消音	(36)	M	消音／消音取り消し*17	消音／消音取り消し*17	消音／消音取り消し*17
入力切換	(37)	I	TV/ライン切り替え*18		
		V	バージョン情報*19	バージョン情報	バージョン情報*19

*7 リターン：DVDで指定された画面に戻ります。再生するDVDに付属の説明書もあわせてご覧ください。

*8 曲の再生が始まって3秒以上たってから押すと、再生中の曲の先頭から再生します。

*9 続けて2回押すと、1つ前のチャプタの先頭から再生します。

*10 同じ操作を続けて行くと、速度が変わります。例えば早送り再生中にリモコンの [▶▶] ボタンを続けて押すと、1回押すたびに早送りの速度が変わります。通常再生に戻すには、リモコンの [再生／一時停止] ボタンまたはキーボードの [SPACE] キーを押します。

*11 1回押すごとに再生／一時停止が切り替わります。

*12 録画／再生／追っかけ再生／お好み再生の停止をします。

*13 再生中にキーボードの [Y] キーを続けて押すと、1回押すたびに再生速度が変わります。通常再生に戻すには、リモコンの [再生／一時停止] ボタンまたはキーボードの [SPACE] キーを押します。

*14 1回押すごとに、ノンリニアスケールリング→ズーム→フル→ノーマル→ノンリニアスケールリング…と切り替わります。

*15 1回押すごとに、内蔵スピーカ→外付スピーカ→開放型ヘッドホン→密閉型ヘッドホン→SRS OFF→内蔵スピーカ…と切り替わります。

*16 1回押すごとに、次のように切り替わります。

・主音声→副音声→主/副音声→主音声… (テレビの音声多重放送の場合)

・LR→LL→RR→LR… (再生中の場合)

LR : 左右、両チャンネルの音声を出力します。

LL : 左チャンネルの音声を左右両方から出力します。

RR : 右チャンネルの音声を左右両方から出力します。

*17 1回押すと消音し、もう1回押すと消音する前の音量レベルに戻ります。消音中に音量を調整すると消音は解除され、消音前の音量レベルから調整されます。

*18 1回押すごとに、テレビ→ビデオ入力 (→□) →テレビ…と切り替わります。

*19 設定画面表示中のみ有効です。

リモコン		パソコン本体	TV機能	CD機能	DVD機能	
1	(38)	1	1チャンネルを選択	1曲目を選択	1番目のチャプタを選択	
2		2	2チャンネルを選択	2曲目を選択	2番目のチャプタを選択	
3		3	3チャンネルを選択	3曲目を選択	3番目のチャプタを選択	
4		4	4チャンネルを選択	4曲目を選択	4番目のチャプタを選択	
5		5	5チャンネルを選択	5曲目を選択	5番目のチャプタを選択	
6		6	6チャンネルを選択	6曲目を選択	6番目のチャプタを選択	
7		7	7チャンネルを選択	7曲目を選択	7番目のチャプタを選択	
8		8	8チャンネルを選択	8曲目を選択	8番目のチャプタを選択	
9		9	9チャンネルを選択	9曲目を選択	9番目のチャプタを選択	
10/0		1、0	10チャンネルを選択			
		0			2桁の曲番号 選択時、ゼロ	2桁のチャプタ番号 選択時、ゼロ
11		1、1	11チャンネルを選択			
12	1、2	12チャンネルを選択				
チャンネル △	(39)	FN + ↑	チャンネルを進める			
チャンネル ▽	(40)	FN + ↓	チャンネルを戻す			
音量+	(41)	CTRL + ↑	音量上げる	音量上げる	音量上げる	
音量-	(42)	CTRL + ↓	音量下げる	音量下げる	音量下げる	
リターン	(43)	ESC	設定メニュー取り消し ／非表示 ／ライブラリの非表示		メニュー取り消し ／戻る／リターン*7	
シャッフル	(44)	CTRL + S		シャッフル再生		
リピート	(45)	CTRL + R		1曲リピート ／Discリピート*20		
輝度△	(46)	FN + F7	画面の輝度を上げる	画面の輝度を上げる	画面の輝度を上げる	
輝度▽	(47)	FN + F6	画面の輝度を下げる	画面の輝度を下げる	画面の輝度を下げる	
アングル	(48)	G			アングル切替	
字幕	(49)	S			字幕切替	
音声	(50)	A			音声切替	
削除	(51)	DEL	タイトル削除			
設定	(52)	F2	設定メニュー表示 ／非表示		設定メニュー表示 ／非表示	
		T			タイトル選択	
		F1	キーガイド表示切替	キーガイド表示切替	キーガイド表示切替	

*7 リターン：DVDで指定された画面に戻ります。再生するDVDに付属の説明書もあわせてご覧ください。

*20 1回押すごとに、1曲リピート→Discリピート→通常再生→1曲リピート…と切り替わります。

付録5

QosmioPlayerの再インストール

メモ

- QosmioPlayerの再インストールを行うと、各種設定値が初期状態に戻ります。

参照

作成方法 『セットアップガイド 4章 4 リカバリディスクを作る』

参照

CDへの保存 『セットアップガイド 4章 3-③ CD/DVDにデータのバックアップをとる』

QosmioPlayerは、購入時の状態では本製品にプレインストールされています。QosmioPlayerを削除してしまった場合の復元方法と、アップデートや削除の方法について説明します。

■必要なもの■

- QosmioPlayerのリカバリCD *1
 - 『オーディオ&ビジュアルガイド』（本書）、『セットアップガイド』
- *1 QosmioPlayerのリカバリCDは、あらかじめ作成しておく必要があります。

■アップデート方法■

アップデート情報については、弊社ホームページ「dynabook.com」の「サポート情報」→「ダウンロード」をご覧ください。

URL : http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm

QosmioPlayerをアップデートする場合は、次の2つの方法があります。

- ① Windowsからのアップデート
- ② QosmioPlayerのリカバリCDを使用したアップデート

それぞれ手順が異なります。

● Windowsからアップデートする場合

- ① プログラムをホームページからダウンロードする
- ② ホームページに記載の手順書にしたがって操作する

● QosmioPlayerのリカバリCDを使ってアップデートする場合

- ① プログラムをホームページからダウンロードする
- ② ダウンロードしたプログラムをCDに保存する
- ③ 「本節 1 操作手順」にしたがって操作する

1

操作手順

お願い

参照

「9-②-2- 録画データをWindows上へ転送する」

- QosmioPlayerの復元または削除（手順4で **①** **④** **⑤** キー）を行うと、録画タイトルがすべて削除されます。必要なタイトルは「QosmioPlayer転送ユーティリティ」を使用して、必ず保存しておいてください。
- 「録画領域以外を復元する」（手順4で **②** キー）または「QosmioPlayerをアップデートする」（手順4で **③** キー）を選択した場合は、録画タイトルは削除されません。
- QosmioPlayerの復元を行うと、アップデート情報は削除されます。復元後にもう1度アップデート操作を行ってください。

1

AC アダプタと電源コードを接続し、QosmioPlayer のリカバリCDをセットして、パソコンの電源を切る

2

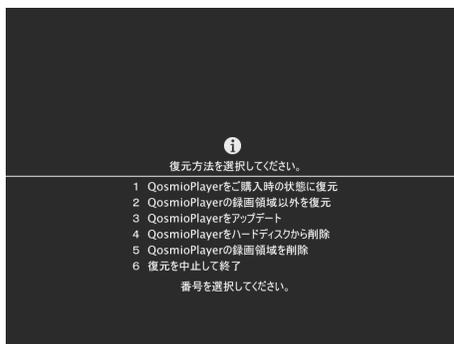
キーボードの **F12** キーを押しながら、パソコンの電源を入れる

警告音が鳴るか、[Qosmio] 画面が表示されたら指をはなしてください。

3

→ または ← キーでCDのアイコンにカーソルをあわせ、**ENTER** キーを押す

[QosmioPlayerの復元を開始します。] 画面が表示されます。
そのまま待つと、[復元方法を選択してください。] というメッセージが表示されます。



4

購入時の状態に復元する場合は**1** キーを、QosmioPlayerの録画領域以外を復元する場合は**2** キーを、QosmioPlayerをアップデートする場合は**3** キーを、QosmioPlayerを削除する場合は**4** キーを、QosmioPlayerの録画領域を削除する場合は**5** キーを押す
6 キーを押すと、何もしないで終了します。

■ **1** キーを押した場合 ■

「QosmioPlayerを復元中です。」という復元中のメッセージが表示された後、しばらく待つと、「QosmioPlayerの復元が完了しました。」という終了のメッセージが表示されます。

何かキーを押して終了してください。

● エラーメッセージが表示された場合

「本項-1- エラーメッセージ」を参照してください。

■ **2** キーを押した場合 ■

● 録画領域がある場合

録画タイトルおよび録画領域はそのまま残り、それ以外を復元します。

「QosmioPlayerを復元中です。」という復元中のメッセージが表示された後、しばらく待つと、「QosmioPlayerの復元が完了しました。」という終了のメッセージが表示されます。

何かキーを押して終了してください。

● 録画領域がない場合

QosmioPlayerの復元を行いますが、録画領域の作成は行いません。

復元後はQosmioPlayerで録画することができません。

「録画領域がない場合、録画が行えません。」という確認メッセージが表示されます。
ここで **Y** キーを押してしばらく待つと、「QosmioPlayerの復元が完了しました。」という終了のメッセージが表示されます。

何かキーを押して終了してください。

● エラーメッセージが表示された場合

「本項-1- エラーメッセージ」を参照してください。

■ ③ キーを押した場合 ■

「QosmioPlayerのアップデートCDを挿入してください。」というメッセージが表示されます。

ドライブにアップデートプログラムを保存したCDをセットし、**[ENTER]**キーを押してください。

しばらく待つと、「QosmioPlayerのアップデートが完了しました。」という終了のメッセージが表示されます。

何かキーを押して終了してください。

● QosmioPlayerがインストールされていない場合

QosmioPlayerがインストールされていないと、アップデートはできません。削除してしまった場合は、アップデートしようとする「QosmioPlayerがインストールされていません。」というメッセージが表示されます。先にQosmioPlayerを購入時の状態に復元してから、アップデートしてください。

● エラーメッセージが表示された場合

「本項-1- エラーメッセージ」を参照してください。

■ ④ キーを押した場合 ■

「QosmioPlayerの削除を開始します。」という削除の確認メッセージが表示されます。ここで**[Y]**キーを押してしばらく待つと、「QosmioPlayerの削除が完了しました。」という終了のメッセージが表示されます。

何かキーを押して終了してください。

● エラーメッセージが表示された場合

「本項-1- エラーメッセージ」を参照してください。

■ ⑤ キーを押した場合 ■

「録画領域がない場合、録画が行えません。」という録画領域削除の確認メッセージが表示されます。

ここで**[Y]**キーを押してしばらく待つと、「QosmioPlayerの録画領域削除が完了しました。」という終了のメッセージが表示されます。

何かキーを押して終了してください。

● エラーメッセージが表示された場合

「本項-1- エラーメッセージ」を参照してください。

お願い

- 録画領域を削除すると、録画領域分のハードディスク領域が使用可能になります（このとき、この領域はWindowsの「ディスクの管理」では「未割り当て」の領域として表示されます）。この状態でWindowsの「ディスクの管理」などを使用して録画領域の位置に新たにパーティションを作成した場合、またはWindowsを再インストールした場合、QosmioPlayerを購入時の状態に復元することができなくなります。

■エラーメッセージ■

操作中に次のようなメッセージが表示された場合は、右側に記載している対処方法を実行してください。

メッセージ	対処方法
QosmioPlayerの復元中にエラーが発生しました。	何かキーを押して終了し、QosmioPlayerの復元を最初からやり直してください。
QosmioPlayerのアップデート中にエラーが発生しました。	何かキーを押して終了し、QosmioPlayerのアップデートを最初からやり直してください。
QosmioPlayerの削除中にエラーが発生しました。	何かキーを押して終了し、QosmioPlayerの削除を最初からやり直してください。
録画領域を確保するのに十分なハードディスクの空き領域が不足しています。	ハードディスクの終端に、20GB以上の使用されていない未割り当て領域がないと、QosmioPlayerを購入時の状態に復元することはできません。 何かキーを押して終了し、Windowsの「ディスクの管理」を使って不要なパーティションを削除し、ハードディスクに未割り当て領域を確保してから復元をやり直してください。
ハードディスクの空き領域が不足しています。ハードディスクに使用されていない200MB以上の空き領域を準備して、もう一度復元をやり直してください。	ハードディスクの終端に使用されていない200MB以上の未割り当て領域がないと、QosmioPlayerの復元はできません。何かキーを押して終了し、Windowsの「ディスクの管理」を使って不要なパーティションを削除し、ハードディスクに未割り当て領域を確保してから復元をやり直してください。
この機種はサポートしていません。	使用しているパソコンは、QosmioPlayerに対応していません。QosmioPlayerの復元はできません。

お願い

- パーティションを削除すると、そのパーティションに保存されているすべてのデータが削除されますので、必要なデータは必ずバックアップをとってください。

付録6

言語コード一覧

参照 ▶ 「13-②-1-DVD設定-言語設定」

QosmioPlayerで言語コードを入力する場合、次の表を参照してコード番号を入力してください。

コード	言語	コード	言語	コード	言語
AA	アファル語	EO	エスペラント語	IT	イタリア語
AB	アブバジア語	ES	スペイン語	IW	ヘブライ語
AF	アフリカーンス語	ET	エストニア語	JA	日本語
AM	アムハラ語	EU	バスク語	JL	イディッシュ語
AR	アラビア語	FA	ペルシャ語	JW	ジャワ語
AS	アッサム語	FI	フィンランド語	KA	グルジア語
AY	アイマラ語	FJ	フィジー語	KK	カザフ語
AZ	アゼルバイジャン語	FO	フェロー語	KL	グリーンランド語
BA	バシキール語	FR	フランス語	KM	カンボジア語
BE	ベラルーシ語	FY	フリジア語	KN	カナダ語
BG	ブルガリア語	GA	アイルランド語	KO	韓国語
BH	ビハーリー語	GD	スコットランドゲール語	KS	カシミール語
BI	ビスラマ語	GL	ガルシア語	KU	クルド語
BN	ベンガル語、バングラ語	GN	グアラニ語	KY	キルギス語
BO	チベット語	GU	グジャラート語	LA	ラテン語
BR	ブルトン語	HA	ハウサ語	LN	リンガラ語
CA	カタロニア語	HI	ヒンディー語	LO	ラオス語
CO	コルシカ語	HR	クロアチア語	LT	リトアニア語
CS	チェコ語	HU	ハンガリー語	LV	ラトビア語、レト語
CY	ウェールズ語	HY	アルメニア語	MG	マダガスカル語
DA	デンマーク語	IA	インターリングア語	MI	マオリ語
DE	ドイツ語	IE	インターリング語	MK	マケドニア語
DZ	ブータン語	IK	エスキモー語	ML	マラヤーラム語
EL	ギリシャ語	IN	インドネシア語	MN	モンゴル語
EN	英語	IS	アイスランド語	MO	モルダビア語

コード	言語	コード	言語	コード	言語
MR	マラータ語	SA	サンスクリット語	TI	ティグリニャ語
MS	マレー語	SD	シンド語	TK	トゥルクメン語
MT	マルタ語	SG	サンゴ語	TL	タガログ語
MY	ミャンマー語	SH	セルビアクロアチア語	TN	セツワナ語
NA	ナウル語	SI	シンハラ語	TO	トンガ語
NE	ネパール語	SK	スロバキア語	TR	トルコ語
NL	オランダ語	SL	スロベニア語	TS	ツォンガ語
NO	ノルウェー語	SM	サモア語	TT	タタール語
OC	プロバンス語	SN	ショナ語	TW	トウィ語
OM	(アフアン) オロモ語	SO	ソマリ語	UK	ウクライナ語
OR	オリヤー語	SQ	アルバニア語	UR	ウルドゥー語
PA	パンジャブ語	SR	セルビア語	UZ	ウズベク語
PL	ポーランド語	SS	シスワティ語	VI	ベトナム語
PS	パシュトー語	ST	セストゥ語	VO	ボラピュク語
PT	ポルトガル語	SU	スンダ語	WO	ウォロフ語
QU	ケチュア語	SV	スウェーデン語	XH	コーサ語
RM	ラエティ=ロマン語	SW	スワヒリ語	YO	ヨルバ語
RN	キルンディ語	TA	タミール語	ZH	中国語
RO	ルーマニア語	TE	テルグ語	ZU	ズール語
RU	ロシア語	TG	タジク語		
RW	キニヤルワンダ語	TH	タイ語		

「Qosmio AV Center」は、iNETを使って地上アナログ放送の電子番組表を更新します。このとき、ファイアウォール制限がかけられていると番組表の更新ができなかったり、ホームネットワークを利用するときに、コンテンツの公開などができない場合があります。

次のファイアウォールを、以降の説明を参照して設定変更しておいてください。

- Windowsのインターネット接続ファイアウォール
- 使用しているセキュリティソフトのファイアウォール制限 (Norton Internet Securityなど)

1 Windowsのインターネット接続ファイアウォール

次の手順に従って、設定してください。

1 [Windowsファイアウォール] を起動する

② [コントロールパネル] をクリック

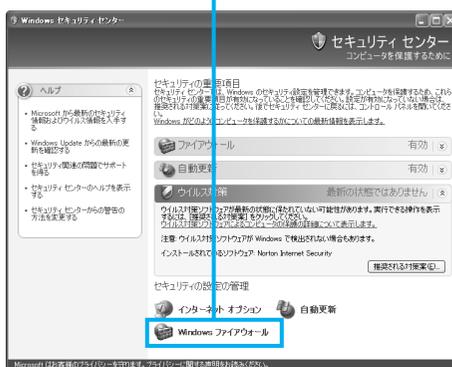
③ [セキュリティセンター] をクリック



① [スタート] をクリック

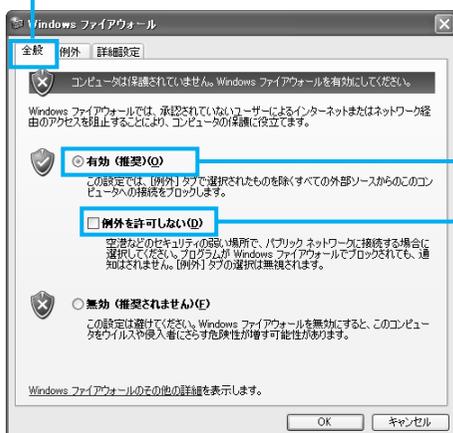


④ [Windowsファイアウォール] をクリック



2 [全般] タブで必要事項を設定する

① [全般] タブをクリック

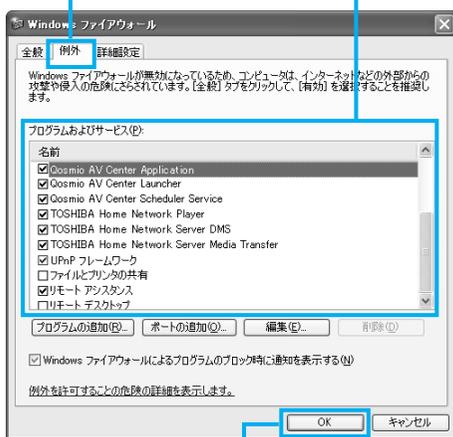


② [有効] にチェックを付ける

③ [例外を許可しない] のチェックをはずす

3 [例外] タブで必要事項を設定する

① [例外] タブをクリック



② 「プログラムおよびサービス」の、次の項目にチェックを付ける
※ 購入時には、チェックが付いています。

- Qosmio AV Center Application
- Qosmio AV Center Launcher
- Qosmio AV Center Scheduler Service
- TOSHIBA Home Network Player
- TOSHIBA Home Network Server DMS
- TOSHIBA Home Network Server Media Transfer
- UPNP フレームワーク
- ファイルとプリンタの共有
- リモート アシスタンス
- リモート デスクトップ

③ [OK] をクリック

これで「Windowsファイアウォール」の設定は完了です。
[セキュリティセンター] や [コントロールパネル] などを、**X** ボタンをクリックして終了してください。

お願い

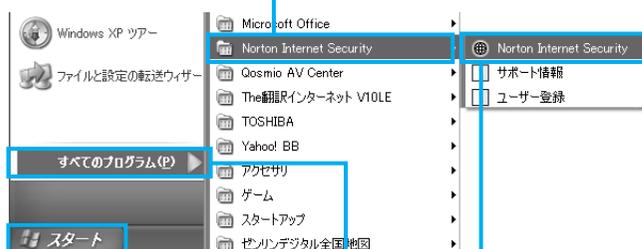
- 本設定により、一部の機能がファイアウォールの保護からはずれてしまい、コンピュータウイルスの攻撃を受けやすくなります。コンピュータウイルスの被害を防止するために、常にコンピュータウイルススキャンプログラムを最新の状態でお使いください。

2 Norton Internet Securityのファイアウォール設定

次の手順に従って、設定してください。

1 「Norton Internet Security」を起動する

③ [Norton Internet Security] をクリック



① [スタート] をクリック

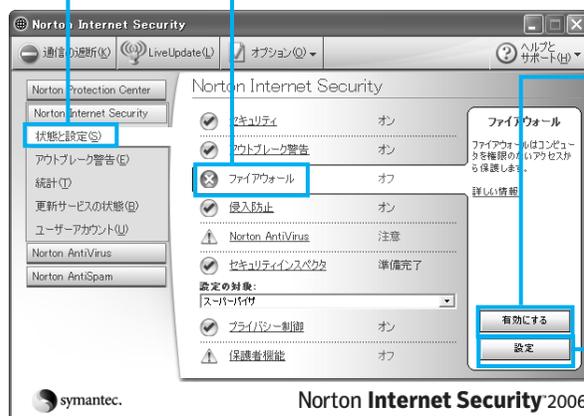
④ [Norton Internet Security] をクリック

② [すべてのプログラム] をクリック

2 「ファイアウォール」を有効にする

① [状態と設定] をクリック

② [ファイアウォール] をクリック

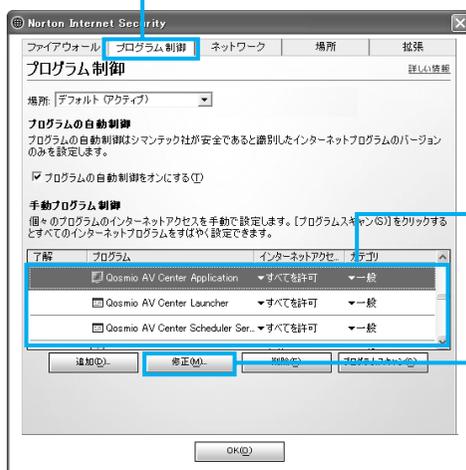


③ ファイアウォールが「オフ」になっている場合は、[有効にする] をクリック
* 「オン」になっている場合は、何もしないで手順④へ進んでください。

④ [設定] をクリック

3 【プログラム制御】 画面を起動する

① 【プログラム制御】 タブをクリック



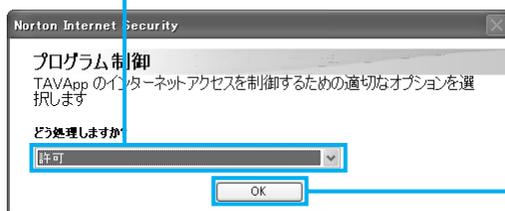
② 【Qosmio AV Center Application】 をクリック

③ 【修正】 をクリック

「手動プログラム制御」一覧に【Qosmio AV Center Application】がない場合は、【追加】ボタンをクリックし、「C:\Program Files\Toshiba\AVApplication\TAVApp.exe」を一覧に追加してください。

4 インターネットアクセスを許可する

① 「どう処理しますか？」の ▾ をクリックし、【許可】を選択する



② 【OK】 をクリック

手順3の画面に戻ります。

「手動プログラム制御一覧」に表示される次のプログラムに対して、手順3、4をくり返してください。

- Qosmio AV Center Launcher
- Qosmio AV Center Scheduler Service
- TOSHIBA Home Network Player
- TOSHIBA Home Network Server DMS
- TOSHIBA Home Network Media Transfer

「手動プログラム制御」一覧に該当するプログラムがない場合は、【追加】ボタンをクリックして、それぞれ次のファイルを一覧に追加してください。

- Qosmio AV Center Launcherの場合：
「C:\Program Files\Toshiba\AVApplication\Application\TAVLauncher.exe」
- Qosmio AV Center Scheduler Serviceの場合：
「C:\Program Files\Toshiba\AVApplication\Application\TAVScheduler.exe」
- TOSHIBA Home Network Playerの場合：
「C:\Program Files\Toshiba\AVApplication\DLNA\TDLNADMP.exe」
- TOSHIBA Home Network Server DMSの場合：
「C:\Program Files\Toshiba\AVApplication\DLNA\TDLNADMS.exe」
- TOSHIBA Home Network Server Media Transferの場合：
「C:\Program Files\Toshiba\AVApplication\DLNA\TDLNAHTTP.exe」

- 5** 「手動プログラム制御」一覧で [Microsoft Generic Host Process for Win32 Services] を選択し、手順3、4と同様にインターネットアクセスを許可する
[Norton Internet Security] 画面に戻ります。

6 [ネットワーク] 画面を起動する

- ① [ネットワーク] タブをクリック

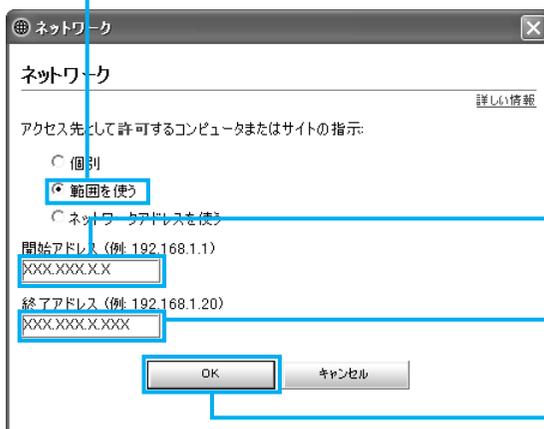


- ② [信頼] をクリック

- ③ [追加] をクリック

7 アクセス許可の範囲を指定する

- ① [範囲を使う] をチェックする



- ② [開始アドレス] を入力する

- ③ [終了アドレス] を入力する

- ④ [OK] をクリック

「開始アドレス」と「終了アドレス」にはIPアドレスを入力します。IPアドレスについては、ご契約しているプロバイダから送られてきた書類などを確認してください。

入力する数値は、接続しているインターネット環境によって変わります。

例：192.168.100.XXXのアドレスを取得している場合、

192.168.100.1/192.168.100.255と入力します。

開いている画面をすべて、[OK] または  をクリックして閉じてください。

パソコンを再起動したら、「Norton Internet Security」の設定は完了です。

お願い

- この設定をすることによって、一部の機能がファイアウォールの保護からはずれてしまい、コンピュータウイルスの攻撃を受けやすくなります。コンピュータウイルスの被害を防止するために、常にコンピュータウイルススキャンプログラムを最新の状態でお使いください。